

▽倉田百三——個性、冬篇
 ▽小島政二郎——奈翁救援、猿轡の家、
 ○蘇我種まかへの日、喉に十の字、山冷
 か、濡れた珊瑚
 ▽今更光緒——の記憶、朱槍隊、○掃部
 頭の時計、若い女優、海入族、尾張駒丸、
 脂粉の風、月の夜の夢、武士なればこそ
 ▽小酒井不木——ある自殺者の手記、腰
 越人同、死體燻燻、妖術魔、記憶抹殺術、
 二重人格者、迷に迷は鳴つた○響の夜の
 傑作、大雷雨夜の殺人、うららら、ラム
 ール、二人の思想家、謎の死美人、悪魔
 怪曲、黄色の街、鬱鬱狂時代、野江の鏡、
 好色邪術正、怪談秘録
 ▽甲賀三郎——電話をかける女、ダイヤ
 モンド、蛇の眼、窪田村事件、拾つた和
 銅開珍、沈められた寶、逃げられざる復
 讐、○連士士の憂鬱、曇を昏む男、日の
 射さない家、神木の空洞、佛の顔も三度、
 公園の殺人、暗黒研究室、魔窟の壁、
 眼の動く人形、深夜の良婦人
 ▽近藤経一——○黒き結婚
 ▽新藤龍太郎——手紙、○一つの進化論
 ▽相馬泰三——喜左衛門どんが機置にな
 った話、○から騒ぎ
 ▽佐々木邦一——脱獄息子、抜目のある男、
 軍校候補の話、○日記の毒心、使ふ人使
 はれる人、悪形賢兄、馬鹿な話、をかし

い話
 ▽酒井眞人——指環と二十五年、○契約
 解除法、實地教育、艶書
 ▽佐佐木茂察——○ともにおおゆ、おもふ
 は、話しが……、或日の日記、魚の心、
 尼
 ▽ささきふさ——その秋、燃かれて、フ
 ル——とたあ坊、○春淡く、前の話
 ▽佐々木味津三——仇討危難録、大雅堂
 夫妻、捕物女双六、○將軍の見本、復讐
 魔談、むつり右門、劍狂兒、旗本風流
 陣、耳賣り、右門三番手柄、毒癡背扇の
 女、賤金使ひ、直參八人組
 ▽佐藤春夫——一葉友、人間事、○海の
 人、奇談、神々の戯れ、むかしの花、燕
 ▽里見弴——善魔、蛇咬毒、白狐のおき
 ん、○秋晴、不動、木を伐る、或る夫婦
 ▽十一谷義三郎——心の夕月、○殺音、
 芽の出ぬ男、杜立屋マリの半生、あの
 道この道
 ▽下村千秋——炎天の下、○浮浪兒
 ▽潮山長三——○魔影合せ、河童戀修
 行

漢
 ▽志賀直哉——暗夜行路、邦子、○犬
 ▽白柳夢湖——○飛鳥の歌垣
 ▽白石實三——○霜夜又姫物語、江戸娘
 談話
 ▽島東吉——赤い帆のヨット、○我輩は
 飯である
 ▽白井喬二——邪魂草、源平盛衰記○月
 兎逃走、虞美人草街、日本鐵假面、江戸
 市民の夢、ばつさい、時代日の出島
 ▽皆忠雄——○續成る家の家風、畝田三
 良の結末
 ▽鈴木彦次郎——夏日感傷園、東北血涙
 録、○哀しき細胞、地盤
 ▽須藤鏡一——怪人快報、○白體空奇聞
 ▽新三郎——点上の毒薬、胡瓜畑、○
 毒雪
 ▽岡口次郎——二度死んだ祖父、花巻る
 月、稲妻、○さまよへる魂、眠、虫を
 鳴く男の話、妻の指環、強盗に會つた人
 ★高田保——侍勤助左衛門、○勇士
 一家
 ▽高桑龍生——明治斷髮奇聞、○白癡誌
 門
 ▽田村西男——遺告品、腕時計、異説延
 命院、○お龍と清右衛門
 ▽藤井孝作——○父來たる
 ▽谷原次——○だんでかあらん、○春、

CHOP・SUEY
 ▽田中貢太郎——閨閣秘記、悪少年記、
 ○女の怪異
 ▽田中純——父の住生
 ▽谷崎潤一郎——運魂、○泥、黒白
 ▽谷崎精二——一夜、邪魔される人、會
 見、○空に描く、彼女たち
 ▽田山花袋——病妻、こころの珊瑚、死
 の前二日、○家鴨、孤舟、埋れた春、春
 草
 ▽中野百合子——未開な風景、帆、一本
 の花、○ヴアリエテ
 ▽近松秋江——北條泰時、兒病む、せ、
 らぎ、○寂しき生涯、早春の温泉湯、春
 と女、開ヶ畑後日物語、遺言
 ▽筑波四郎——赤城山二人忠次、遠見の
 隠居、○忠次の登期、名將川上操六
 ▽村京村——群狂
 ▽戸川貞雄——憑きもの、斷腸、○短篇
 二つ
 ▽徳田秋聲——情人の頓死、犬を返ふ、
 草いきれ、○土に癒ゆる、幽痛、微笑の
 湯
 ▽聖島與志雄——○濡る、もの
 ▽中河與一——思ひ出す家、海路秘程、
 死人の靴、○靴下だけの女、眞情、愛の
 技師家、女體
 ▽中里介山——夢殿、大菩薩峠

▽長田秀雄——華福な父、瀧野忠廣、文
 宅狐、○遊園古塔記、死刑を望む男、關
 帝廟の怪
 ▽長田幹彦——狂へる孔雀、猿の夜、鳥、
 ○雲の柱、緑衣の聖母
 ▽中村吉蔵——○頭、豫告者日蓮、鬼ヶ
 島から来た男、大隈重信
 ▽中村武羅夫——三造と或る女、湖畔心
 中、怪人、青春、無愛、結婚の前、○地
 獄の花嫁、情痴の岸、或る妻の悩み、流
 れ行く
 ▽長與善郎——○正露坊
 ▽直木三十五——櫻井暖、烏組就緒始末
 喰はされた伴太郎、○沼松城、旗本寶買
 ▽南部修太郎——秋新く頃
 ▽額田六福——鏡、相馬大作、○藩政、
 恩徳無二、旗本五人男
 ▽野上彌生子——片脚の問題、○眞知子
 ▽海爪健——母性凱旋
 ▽葉山嘉樹——天の怒聲、鼻を覗ふ男、
 別離、○船の犬「カイン」、ハンケチ泥棒、
 暗い顔
 ▽長谷川時雨——北國樂研谷、○縁髪、
 妖しき花、邊島秘話
 ▽林不忘——龍神の侍女、つれ鳥羽玉、
 劍談御用十手、新版大岡政談、○念力女
 敵討、劍を捕る浪人、浮世芝居女看板、
 日照り雨

▽長谷川伸——命の罟罟、研辰手向草、
 代理殺人、枕の二郎兵衛、七尺六寸不通
 用、○紅葉番所流行記、日染月染、異人
 屋住来、梅子の家、小便公方、入器者の
 死、ころつき住来、食通ひ道中咄、哀し
 き美貌、高町小屋の人々、怪談處刑、強
 ツ氣時代、查六屋敷、笹喜三郎主従
 ▽土師清二——砂輪呪縛、光脚御殿風行
 雷門炎上、鑄刀刀、果心居士の幻術、帆
 あげた紀文、○近松門左衛門、もとの壺
 阿彌、お勢以の道、多田清仲、青鷲の蓋、
 文政編年隨動、根来ト爾、姫路隨動
 ▽平山蘆江——熊本城、心中博多帯、
 泣笑ひ、敵妙心中、○命のつぎ目、靈こ
 もり、晦日の雪、紅丸紫丸、ふところ手、
 唐人船、心中お玉床
 ▽廣津和郎——○薄暮の都會、別離、妻、
 梅雨近き頃
 ▽藤澤清造——木音の陳列、○狐の後侮
 ▽藤森成吉——祖母、孫、夏休一風景、
 父と子、○親友、鈴の感謝
 ▽木田美福——俺は男だ、蛇精の子、生
 命の火柱、似顔繪草紙、○智勇連懸幕
 ▽細田源吉——名氏の問題、空の袋、○
 さんくれ、路傍、夜光、昔氣質の遺産
 ▽細田民樹——愛人、めぐり合ふ、反抗
 する女、○電話係、鷗、わが戀愛、鱧、
 或る未亡人

▽前田河廣一郎——○多を憎む、俺達五
 人前、引越、關、近世大體女體傳
 ▽前田曜山——密使の女、義血俠血、魔
 人時三郎、國王女仙傳、落花風流陣、高
 台寺下の割腹、○快麗龍巻組、美女か美
 男か、愛恨美人傳、神秘紅毛鎗、南樓催
 眠酒、艶色古渡珊瑚、美女の逆立
 ▽牧野信一——夏景色、○十三夜までの
 こと、波の戯れ
 ▽牧逸馬——舞馬、水晶の座、○白仙境、
 第七の天
 ▽正宗白鳥——愚人の唄、衰頹時代、午
 後の客、玉の輿、秋草に剛まれて、○浮
 世の末、人情の中に、吉日、一萬圓、男
 の一生、小さな慾、みんな出鱈目、奇怪
 な客
 ▽前田孤泉——不幸者綺譚、時雨、○松
 海の松五郎、夜
 ▽正岡春一——偽版支那街風景、○牛乳屋
 隨動
 ▽眞山青果——假名屋小梅、借金四十萬
 弗、雲のわかれ路、○薩摩紅梅、阪本龍
 馬、京都御構入墨者、故郷の山々
 ▽松岡謙——藍泉、邪戀な愛人、○田園
 の英雄
 ▽正木不如丘——お白狐漫、冷やかなる
 鑑定人、○生きてゐる女、ランブ掃除よ
 り失戀迄、仇討山鏡

▽三上於菟吉——夜の空、日光山覆滅記、
 水妖の死、百萬兩秘聞、地妖、彼女の本
 島、首都、水邊の編織、秋の人魚、秋の
 戀、妻、首都の離別、○春の鳥、情熱時
 代、悪少年全傳、美鏡、虎君、火刑、激
 流、毒草、胎教、生霊、貴妃行狀、落花劇
 光録、叛符
 ▽南幸夫——少年
 ▽水谷準——追ひかけられた男の話、○
 酒場の中の手記
 ▽水守鶴之助——黙禱、途上、かよと僕
 習、有本家の人々、おゆみと小助、田園
 小娘、妹の結婚、○彼女は誰に殺された
 か？、ある結婚、お願可儀や、戀と力、
 青年、春、麗人若
 ▽水上瀧太郎——○遺布
 ▽三宅透三郎——悪夢、三十前、○海濱
 挿話
 ▽三宅やす子——雲ゆる花びら、海を越
 えて、眠と心臓、○約束、五月の夜、あ
 てっこ
 ▽宮地嘉六——故郷なればこそ、軍港風
 景、彼はさう感じた、○奇遇
 ▽武者小路實篤——断片、秀岡氣、Aの
 夢、囁つきの夢、○殺される人々、栗領
 を得ない男
 ▽室生犀星——鴉、イワンの戀人、○三
 つの宿、山吹、観音院、金曜日、友情、

山のほとり、紙碑
 ▼村松桐風——轉生、菊家の佳人、茨城
 智雄、鳥飼國次、○崇る刀、大陸に棲む
 女、續編、一週間、正傳清水の次郎長
 ▼森崎紅——はめちやめちや、現代を
 んな十二時、狐垂の茶の湯、色男取替世
 し、變な強請、何分宜しく、散歩の旅情、
 のんきな親子旅、せんたく日和、世話女
 房、ふられ與三郎、○踏台自動車、櫻の
 初ゆめ、お正月心、毛斷ガール、おち
 ら山吹、新落、劍戟正張、苦虫踏出し
 豈圖らんや、藝者教育
 ▼本山扶舟——夜叉文珠、貧乏武士道、
 ○一層橋雪城、義民時代
 ▼山崎城——北へ北へ、○足跡
 ▼山田順子——審判の彼方へ、○最後の
 逃亡
 ▼矢田挿雲——木蘭記、賭博打つ武士、
 夕涼雨八景、○平尾山莊の密會
 ▼山本有三——波
 ▼行友季風——獄門首土藏、死裝束八人
 旅、紀伊家の金飛脚、○女敵討八幡夜話、
 白粉蜘蛛、野田山籠城、半返りの生首
 ▼横光利一——七階の運動、滑稽な復讐、
 皮膚、○古い女、花婿の戀想、或る職工
 の手記、笑つた皇后
 ▼米田華虹——西太后、支那珍記録
 ▼吉川英治——鳴門絶帖、萬花地獄、神

變遷香猫、○江戸三國志、女來也、續鳴
 門絶帖
 ▼吉田絃二郎——石に撃たるゝ女、深夜
 曲、時計、○雄鷄、新作の妻、靜夜曲、
 足輕三右衛門の死
 ▼吉井勇——大黒の繪、雨の夜話、○醉
 狂、渡り鳥、麗州遊、狸の行方、二つの
 戀
 ▼吉屋信子——覗き眼鏡、母の心配、不
 渡手形、○白梅の宿、空の彼方へ、寧樂
 秘抄、アルバム、時雨るゝ日
 ▼横溝正史——夫婦書簡文、三年の命、
 ○劉夫人の脱獄、抱恨録、生首事件、夜
 讀むべからず
 ▼綿貫六助——二つの別れ
 ▼渡邊均——加茂川夜話、九月、喜美代、
 ある自殺、母を戀ふ、○不思議な辻斬、
 妾宅廢業、都をどりの夜、既婚の春、照
 髮炎上
 ▼渡邊温——どぶ鼠、可哀さうな姉
 ▼渡邊歌爾——處女を喰ふ怪盜、地を飛
 ぶ明星、血染の薙刀、○童謡、廣切文舟、
 姫路城の人柱、麗阪の顔まん、魂歸來、
 二つの魂

美術

二年から三年と僅か一

氏の「貴妃賜浴」など、彫刻部では
 新同人として喜多武四郎、橋本平
 八、新海竹藏、大内青圃、木村五
 郎、牧雅雄の六氏を推挙して勢威
 を張つた。二科では鍋井克之氏の
 「春の中之島公園」有島生馬氏の
 「海邊」石井鶴三氏の「母古稀像」湯
 淺一郎氏の五十年回顧作品室を設
 けたことが特記される。帝展では
 鑄木清方氏の「築地明石町」齋藤與
 里氏の「水郷の夏」などで、鑄木清
 方、田邊至、横江嘉純の三氏が帝
 國美術院賞をから得た。世評は先
 づこれを妥當と見たが、獨り彫刻
 の横江氏に對しては非難の聲を聞
 いた。第四部設置、販賣受理等か
 ら可なり紛擾を惹起した。偶々そ
 れが新設部であるだけに一般の視
 聴を惹いたわけである。昭和三年
 に入つて春陽會では木村莊八氏の
 「パンの會」森田恒友氏の「田園和
 樂」昨年若くして逝いた萬達五郎
 氏の遺作室を設けて故人を偲んだ
 ことも特記に價される。國展では
 小野竹齋氏の「冬日帖の内」川島理

一郎の「ニースのカナバル祭」
 などが佳作に數へられた。
 美術院の改革騒ぎ 帝展開催
 を前にして帝國美術院では新海竹
 太郎氏の死亡と高村光雲翁の辭任
 による補缺人選に端を發し、和田
 英作の辭任と意見書の提出とな
 り第二部會員の結束によつて院の
 獨立と、院當局彈劾とも見らるゝ
 「院長幹事を會員中より互選によ
 つて決定する」と「會員補缺の場合
 は會員全部の決議によること」の
 二項は十月十九、廿日に互る美術
 院會議で當初強腰を見せた文部省
 も辭職を賭してもと頑張つた會員
 側も面目を傷けぬ程度で譲り合ひ
 の上なほ研究の余地あるものとし
 て相當波瀾を豫想された改革案も
 遂に保留となつた。
 大阪市展見合せ 大阪市美術
 協會第四回展覽會は十月開催の筈
 だったがこれまで開催毎に數千円
 の缺損つきで、これまで理事そ
 の他が穴埋めをして來たが愈々財
 政上の基礎を缺き、更らに會内部

ケ年の間にわが美術界のみが、特
 に素晴らしい進展を遂げよう筈も
 ないが、いろいろな意味からいつて
 愈々堅實に進展の道程に歩を進び
 つゝあるといふことはいひ得られ
 ると思ふ。
 一年三百六十五日、日として展覽
 會のない日はないと聞く。東京府
 の美術館は夏八月を除くの外、正
 面支那の大扉は閉ぢるとがない。
 デパート畫商のそれははいはずもが
 な、亦盛んなるかなといひつべし。
 昭和二年秋の美術シーズンは九月
 恒例の二科院展によつて幕は切つ
 て落され、十月十一月の帝展を以
 て華々しく終つた。明けて昭和三
 年は春陽展の兩展覽會に先つて
 二月、東京府美術館主催で大原孫
 三郎氏蒐集の泰西美術展が開催せ
 られ、近代繪畫七十點、エジプト
 古美術、エジプト、ペルシャ、ト
 ルコの古陶器九十七點が陳列され
 た。更に三月は國民美術協會主催
 の下に、松方幸次郎氏將來の泰西
 美術展があり、十七八世紀の古畫

十九世紀の英佛繪畫等百九十六點
 オランダおよび古代家具等二百數
 十點の公開があつた。却つて六月
 には報知新聞社の主催で矢張り松
 方幸次郎氏蒐集八千餘點の浮世繪
 版畫中からその粹を抜いた八百餘
 點が會期中四回に分つて一般の肉
 筆浮世繪と併せて陳列された。第
 一回は歴史的展覧として年代順に
 五十二作家のものを列べ、第二回
 は清長、歌麿、第三回は春信、春章、
 春重、第四回は初期版畫と寫樂の
 ものが列べられた、今こゝではそ
 の内容の煩を避けるが、いづれも
 その量において、その質において
 我邦空前に見るの展覽會で、洵に
 意義深く亦最も時宜を得た成功せ
 る企てで斯界に多大なるセンセー
 ションを呼び起こした。
 これ等の展覧によつても今更なが
 ら常設美術館の必要をしまくと
 痛感せられるのであつた。
 この問世評を惹いたものに院展に
 あつては横山大觀氏の「瀟湘八景」
 前田青邨氏の「羅馬使節」中村岳藏

の統一をも缺いたので同會の將來
 に對しても漸く悲觀説が多くなつ
 て來た。
 構造社の旗上 帝展から離反
 して別に彫刻界の一角に新天地を
 築かうとする新團體、構造社展覽
 會は濱田三郎、日名子實三、齋藤
 素廉氏等によつて作品の發表があ
 つた。展覽會の方式として新しい
 試みは、名刺持参者しくは署名者
 であれば歡迎して一切入場料を取
 らぬといふ公開展である。
 作品の撤回要求 帝展第四部
 に出品した美術學校教授六角紫水
 氏の作品圖案は渡邊香涯氏、刀筆
 は輪島塗の前大峰氏の作で六角氏
 の自作でないこと、漆藝正風會から
 右作品の撤回要求の決議文を福原
 院長に提出した。
 帝展の總勘定 帝展の入場者
 總計は東京廿四万九千百卅四人、
 これが収入九万二千五百九十二円
 五十錢、賣約は各部を通じて九十
 五點、この價格三万七千二百九十
 余円、京都は入場者六万九千八百

八十人でいづれも從來の記録を破
 り世相に反した好景氣を示した。
 關稅百萬圓の版畫 發澤稅十
 割百萬圓の關稅品として評判のあ
 つた、正金銀行の小島鳥水氏が十
 二年間アメリカ大陸で蒐集した版
 畫一千點は昭和二年三月以來横濱
 稅關倉庫内に保管されてゐたが、
 いつまでたつても百万圓の稅金は
 出せないとなつて小島氏は右版畫
 全部をアメリカへ積戻す旨稅關へ
 申出たが、稅關とも諒解がつき擔
 保金納入の上假輸入を許され四月
 一日東京朝日新聞社主催で同社樓
 上で展覽會が催された。
 作品はデユラ、レンブラント、
 ゴヤから近代に入つてコロロ、ミ
 レーのエツチングの代表作を始め
 印派派以後マネー、シスレー、ピサ
 ロ、ドガ、ルノアール、シャヴァ
 ンヌ、セザンヌ、ゴッホ、ゴーギ
 ヤン、シャニツク、マチス、ピカ
 ソ等フランス派の權威網羅され、
 泰西創作版畫の早期より現代に至
 る歴史的道程の展覧として意義の

あるものであった。

神宮繪畫館開館 明治神宮外苑の聖徳記念繪畫館は館内に收容される壁畫日本畫、洋畫各四十枚が未完成のため今日まで開館のこびに至らなかつたが全部の完成をまつては開館期がいつになるか分らないので、十月から土曜日曜に限つて午前九時から午後四時まで假開館することになった。收容された繪畫は日本畫四十枚のうち近藤樵仙氏の「西南役熊本館城」(細川護立侯奉納)一枚だけで洋畫は五味清吉氏の「山形秋田巡幸磯山御覽」をはじめ寺崎武男氏の「軍人勅諭下賜」北蓮藏氏の「岩倉邸行幸」五姓田芳柳氏の「樞密院憲法會議」安宅安五郎氏の「教育勅語下賜」長谷川昇氏の「大婚廿五年祝典」鹿子木孟郎氏の「日露役奉天戰」東城紅太郎氏の「凱旋觀艦式」田邊至氏の「不豫」江永氏の「日韓合邦」山下新太郎氏の「歌御會始」片多徳郎氏の「憲法發布觀兵式」瀧谷國四郎氏の「東京慈惠醫院行幸」

跡見泰氏の「華族女學校行啓」松岡壽氏の「兌換制度御治定」

東京府美術館増築 かねて懸案であつた、東京府美術館の増築案は評議員會議の結果、豫算四十万円で二階建八百坪の別館増築と決定昭和三年の秋までに完成の設計は岡田信一郎氏が擔當した。大阪府美術館 百万円を投じて天王寺公園茶臼山舊住友邸跡に設立する建坪千二百二十三坪の大阪府美術館の地鎮祭が三月十七日茶臼山で舉行された。

國際美術協會 美術的國際交誼の中心機關を目的とする、國際美術協會は六月十八日帝國ホテルに關係者を招待し、會長小松輝久侯、副會長正木直彦氏より事業計畫を發表した。それによると同會は三年に一回づつ繪畫、彫刻、工藝の各部門に亘る我作品を海外諸國で展覽することを最も重要な仕事とし、その準備として内外國展覽會を東京、大阪で開き國際的にも美術の普及をはかる筈で、こ

れら展開される作品は會議制によらず、協會が指令囑託した鑑別員が獨斷で各自一定数までの出品を責任をもつて推薦するといふ新しい方法をとりことゝなつた。帝國畫會決定 帝國美術院では五月廿一日會議を開き昭和三年度の帝展審査員を左の通り決定した。

(第一部) 矢澤鼓月、松岡映丘、縮木清方、飛田周山、島田墨仙、廣島晃浦、西山翠峰、中村大三郎、川村曼舟、福田平八郎、宇田萩郎、會員より竹内栖鳳、都路華香、小堀朝香、川合玉堂、小室翠雲の五氏が参加する。

田英一、清水六兵衛、板谷波山、次に昨年同様仙部會員兼務として竹内栖鳳、結城兼明、和田英作、和田三造、朝倉文夫の五氏が加はることになつた。美術工藝獎勵の大御心 長き邊りでは来るべき御大典に際し御内儀御祝ひの記念品として、長くも聖上陛下より皇太后陛下を初め奉り各宮殿下に御贈り遊ばさるゝ美術品は聖旨を奉戴して一木宮相、關屋次官、福原美術院長、正木美術學校長、大島帝室博物館總長の五氏が慎重協議をかさね七月十一日京都側作家にこの光榮の聖旨を傳達した。御用命を拜した作家は左の通り。

人事

- ▽伊藤道洲氏 八月廿一日逝去。
▽里見三郎、木下義謙の兩氏 は會友に里見勝藏、小島善太郎の二氏は二科賞、長谷川利行、三浦善太郎氏は科賞をいづれも九月十日發表された。
▽伊藤隆、宮田重雄の兩氏 は九月十六日神戸出張中逝去した。
▽喜多武四郎、牧雅雄、新海竹藏、大内青圃、木村五郎、橋本平八の六氏は九月十五日日本美術院の同人に推薦された。
▽橋井弘三氏 は帝展に出品して落選したので十月十日同會編で辭業を相手に憤慨演説中を上野署に送られた。
▽縮木清方(日本畫) 出送案(西洋畫) 國畫(彫刻)の三氏 は十月十九日帝國美術院賞を授與された。
▽浮世繪版畫の祖とまでいはれる淺川御實の墓が房州保田町にあるが菅原野野の吉田久徳氏が此程石碑を再建した。
▽藤堂三郎氏 十月二十三日歸朝した。
▽明治神宮繪畫館の壁畫は日本畫一點、西洋畫十等の完成、見たので十月一日から土曜日曜祝日に限り假開館することになつた。

木清方、松岡映丘、安田靉彦、前田書邨、小林古徑、池上秀武(洋畫) 岡田三郎助、和田英作、藤島武二、金山平三、兒島虎次郎、南蕪造、小杉未醒、白瀧幾之助(彫刻) 高村光雲、山崎朝雲、内藤伸、朝倉文夫、北村西望、藤井浩祐(工藝) 大島如雲、津田信夫、香取秀眞、清水龜藏、海野清(漆器) 赤塚自得、六角紫水、辻村松華、植松包美、都筑幸哉、松田權六、梅澤隆眞、堆朱揚成、溝口三郎(陶器) 板谷波山、宮川香山、小森忍、石野龍山。

相、勝田文相、三土藏相、宮内省から關屋宮内次官、民政黨を代表して濱口總裁、安達謙藏氏、學者側から瀧精一氏、黒板勝美氏などその他渡澤子爵、徳富猪一郎の諸氏であつた。瀧博士から計畫についての報告があり田中首相、濱口總裁は演説を述べ關屋宮内次官は帝室博物館再建準備の宮内省の計畫を述べて座談的に各自意見の交換をした、資金については民間から五百万円、寄附と政府補助その他五百万円合計一千万円とする見込みである、午後引續き協議をなし發起人の顔觸れも決定した。國畫創作協會解散 土田泰偲、神原紫峰、小野竹齋、村上華岳、入江波光、野長瀬晚霞氏などを會員とし大正七年創設以來、日本畫壇の一權威として毎年東京、大阪京都に展覽會を開き美術界に貢獻するところ少くなかつた國畫創作協會は、積り積つた經營難から三年六月大阪における展覽會を最後として解散することとなり、七月

美術

▽戸張孤雁氏 十月九日逝去した。
日本美術院同人。
▽松岡銀六氏 十一月十日逝去。
▽北村西海氏 十一月十四日逝去した。
元帝室技藝員。
▽山下品蔵、伏見源一、川端信一、鈴木長久、高田博厚の五氏 は十一月廿日大調和展覧會の奨励賞金を受けた。
▽吳昌碩氏 中風症に罹りて九月九日逝去した。
一月廿九日上海の自邸で逝去した。
▽日名子實三氏 は十二月五日瀧澤藩帆船根丸で渡歐した。
▽鈴木千久馬氏 一月七日門司出帆の北野丸で渡歐した。
▽松風嘉定氏 一月九日逝去。
▽長谷川昇氏 一月廿一日シベリア經由佛國へ再遊。
▽林俊衛氏 シベリア經由佛國へ再遊。
▽橋本關雪氏 二月一日歸朝した。
▽田南岳瑛氏 二月十三日逝去。
▽川路柳虹氏 二月十四日歸朝。
▽藤宮拜觀 京都繪畫專門學校今年度卒業生及研究科生は二月廿四日御所及修學院、桂、二條の各離宮を拜觀した。
▽美術交換の使命を帯びてルクサンブルグ美術館所蔵の名畫二十三點と種多の工藝美術を携へてデルスニヌ氏は二月二十三日東京へ着いた。

▽遠山五郎氏 二月廿七日逝去した。
▽磯田眞秋氏 は水戸侯爵家から明治神宮繪畫館に奉納する明治年間最初の地方長官會館の贈畫を三月十日完成した。
▽東伏見宮大禮殿下 皇久親王御孫五殿下御同伴、三月十五日東京下谷區池の端横山大觀氏邸に成らせらる。
▽川合玉堂、山元春樹の兩氏 は御大禮の悠紀、主基兩地方の風俗屏風畫揮毫の光榮を拜命した。
▽阿以田治修氏 は太平洋會館に出願中の「裸婦圖」を三月六日窃取された。
▽河邊華嶽氏 四月六日逝去。
▽白濱徹氏 四月九日逝去。元東京美術學校教授。
▽高村光復氏 の喜慶祝賀會が四月十六日東京會館で開催された。
▽故アノノロ博士 の墳墓改修とビグロ氏の墓落成四月廿七日江州三井寺法明院で追善法要が営まれた。
▽ゴヤ百年記念祭スベイン(首都マドリッド)に於て皇帝その他重臣出陣の下に盛大なる記念展覽會が開かれた。
▽石高和訓氏 明治神宮繪畫館に明治大帝トランド將軍拜謁の聖畫寫眞の光榮を荷ひながら未完成情况のまま五月三日逝去した。

▽岡田七藏、島海壽兒、加山四郎の三氏は五月六日春陽會賞を受けた。
▽徳力富吉郎、佐原修一郎(日本橋)山口品隆、辻登蔵(西洋画)の四氏 は國體奨励賞を受けた。
▽日本美術協會では五月十三日創立五十年記念役員遺作展を十六日物故者の追悼會を行った。
▽山田新一氏 五月二十日ヘルピン發パリへ直行滞る二ヶ年の豫定。
▽和田英作氏 秩父宮殿下の御慶事奉祝のため學習院在學生及び教授一同より献上の大額揮毫を五月二十五日委嘱された。
▽木下孝則氏夫妻 は五月廿四日神戸出帆名丸で渡歐した。
▽小早川秋聲氏 五月二十四日渡支。
▽服部英英氏 五月二十五日シベリア經由で渡歐。
▽森口多里氏 歸朝。
▽石野隆、岡登貞治の兩氏 は六月十八日横名丸にて國際美術教育會館に本邦代表として渡歐。
▽木村盤男、遠山國子の兩氏 は六月廿二日神戸出帆名丸で渡歐。
▽日本漫遊會同人 は六月十日朝鮮金剛山探勝に赴く。
▽初代廣重の記念碑が帝展日本畫發賣

員講氏の發起で六月廿四日東京淺草區北松山町東長寺に建てられた。
▽江中無牛氏 七月六日逝去。
展覧會
▽大阪洋館展 九月一日—五日大阪三越
▽向井潤吉氏渡歐展 一月—五月大阪三越
▽日本美術院第十四回展 三月—十月
▽四日東京府美術館
▽二科會第十四回展 四月—十月四日東京府美術館
▽阪神在住洋畫家第一回展 七月—十月一日神戸大丸
▽日本南畫院第六回展 八月—廿七日日本美術協會
▽上野清實氏個展 七月—十六日大阪丸藏
▽鶴入社第三回展 十五日—十九日東京丸藏
▽メキシコ版畫展 十六日—廿日東京三越
▽森谷辰氏歸朝展 廿日—廿五日丸藏
▽船川未純氏個展 廿二日—廿七日丸藏
▽パステル展 廿三日—廿九日東京朝日新聞社

▽河合卯之助氏作陶展 廿三日—廿七日三越
▽村井家寶立展 廿六日東京美術俱樂部
▽日本自由團體展 十月二日—六日三越
▽陶器堂陶器展 九月—十三日三越
▽朝鮮陶器展 十月—十六日三越
▽舞台美術協會展 十二月—十六日朝日新聞社
▽海原龍三郎氏小品展 十二月—十七日鳩居堂
▽榮重儀一氏個展 十六日—廿日三越
▽ウイリアム・ブレイク記念展 十七日—廿日朝日新聞社
▽帝國美術院第八回展 十七日—十一月廿日美術館
▽小林徳三郎氏個展 廿二日—廿八日紀伊國屋
▽原宮太郎氏個展 二十九日—十一月四日瀧澤生糸檢査所
▽神戶三越 廿九日—十二月十一日
▽淺野孟府氏個展 三十日—十一月五日紀伊國屋
▽京都名陶家歴史展 十一月一日—五日大隈會館
▽日本漆藝協會展 一月—七日三越

▽イタリ、マール展 一月—七日三越
▽藤六作陶展 一月—七日三越
▽淡交會第四回展 二月—十日三越
▽六合會第二回展 五月—六月名古屋伊藤銀行
▽石山光哉氏郷地巡禮展 五月—九日大阪丸藏
▽川村清雄氏個展 五月—十五日丸藏
▽池田勇八氏個展 九月—十一月俵屋
▽メキシコ版畫展 十二月—十七日大阪丸藏
▽大調和美術第一回展 十五日—廿四日美術協會
▽西洋會第一回展 十五日—廿四日應義堂
▽秋季フランス展 十六日—廿五日朝日新聞社
▽山陽會第一回展 十八日—廿二日丸藏
▽新日本室内裝飾展 十九日—廿日東京高田裝飾店
▽不二會第一回展 廿日—廿八日三越
▽了々會第一回展 廿日—廿八日三越
▽長谷川利行氏個展 廿日—卅日日本秋社

▽漆藝第九回展 廿一日—廿六日三越
▽古陳設器陳列會 廿一日—廿三日丸藏
▽ビル館店
▽光原社第一回展 廿二日—十二月四日流足チグサストア
▽支那古書畫展 廿四日—廿六日大阪中央公會堂
▽趣味の展覧 廿四日—廿六日東京メラン
▽藤井達吉氏個展 廿七日—廿九日上野梅川亭
▽津田青楓氏小品展 十二月—廿五日銀座美術館
▽生作社第五回展 一月—七月京都府繪畫館
▽リーチ、マレー、モーレ三氏作陶展 三月—七月銀座廣居堂
▽創字社建社第五回展 七月—十一月朝日新聞社
▽遠山五郎氏個展 八月—十三日丸藏
▽ヴァント・ア・レッセイ 八月—十三日信濃橋研究所
▽人形座展 十月—十六日紀伊國屋
▽矢崎千代二氏パステル展 十月—廿八日三越
▽鈴木良三、鶴田吾郎、鈴木金平三氏繪畫展 廿一日—廿五日紀伊國屋
▽彌々會第三回展 廿三日—廿九日大

阪三越
▽中央美術社紙本畫展 一月十七日—廿二日大丸三
▽寺崎武男、小原野守、上野春彦三氏洋畫展 十四日—廿日紀伊國屋
▽王清遠氏個展 廿日—廿四日丸藏
▽日本創作版畫展 廿日—廿四日丸藏
▽古琉球紅型衣裳展 廿五日—廿九日松屋
▽影會第二回展 廿六日—卅日丸藏
▽テンペラ繪會第一回展 二月一日—五日三越
▽ルイトマン氏エツチング展 五月—九日大阪丸藏
▽若葉會第九回展 六月—十九日美術館
▽白日會第五回展 六月—十九日美術館
▽大隈屋寶立展 十五日—十七日共榮美術俱樂部
▽四鳥會第五回展 十八日—廿二日丸藏
▽繪畫社第五回展 十九日—三月九日美術館
▽太平洋第廿四回展 廿七日—三月九日美術館
▽古銅美術展 廿七日—廿六日朝日新聞社

- ▽大阪氏蒐集美術展 廿二日—三月十日
- ▽山口眞作氏個展 三月一日—十五日
- ▽ブラウングン氏百畫展 二月—五日
- ▽現代二十大家群畫展 三月—七日
- ▽吉田家寶立展 四月—六月共樂美術クラブ
- ▽小茂田青樹氏個展 八月—十一月
- ▽京都藤澤近作展 九月—十一月日佛
- ▽河合卯之助氏個展 九月—十三日大
- ▽青甲社第五回展 十月—十二日京都
- ▽松方氏蒐集美術展 十月—三十日
- ▽日本水彩畫會 十月—廿日美術館
- ▽戊辰會第一回展 十月—十八日三
- ▽光風會第十五回展 十月—三十日
- ▽善法會第四回展 十月—十八日京

- ▽吳昌碩遺畫展 十七日—廿日東京高島屋
- ▽安塔安五郎氏日本畫展 十七日—廿一日鳩居堂
- ▽渡邊氏洋畫立展 廿日—廿四日日佛畫廊
- ▽吉田博氏版畫展 廿一日—廿五日高島屋
- ▽橋本八百二、堀田清二洋畫展 廿日—廿八日丸善
- ▽早苗會第廿九回展 廿四日—廿六日京都朝日會館
- ▽西島會第五回展 廿四日—廿八日大
- ▽日本美術協會第七十六回展 十五日—四月五日美術館
- ▽フランス美術展 廿四日—五月六日美術館
- ▽天平文化綜合展 廿五日—四月廿日朝日會館
- ▽松方家寶立展 廿六日—東京俱樂部
- ▽新興大和繪第六回展 四月一日—廿日美術館
- ▽南齋院小品展 一日—五日三越
- ▽ギリシャ、テラコッタ展 一日—十五日村の會館
- ▽中華現代名家畫展 五月—十一日大阪丸善

- ▽田中豐三郎氏遺作展 五月—八日京都圖書館
- ▽中央美術第九回展 六月—廿日美術館
- ▽小穴謙一氏個展 七月—十一日丸善
- ▽木村雄男氏個展 十月—十二日三共ビル
- ▽新堀美術院第二回展 十月—十五日大阪三越
- ▽松方家第二回寶立展 十二月東京俱樂部
- ▽油谷達氏個展 十月—十八日大
- ▽津田青楓氏新南畫展 十六日—廿日大阪三越
- ▽讀畫會第三回展 十九日—廿三日三越
- ▽聯合藝社展 十九日—廿三日主婦の友社
- ▽吉田喜藏氏個展 廿一日—廿二日根公會堂
- ▽凸凹人工藝美術展 廿二日—廿七日丸善
- ▽大倉陶園新製品展 廿二日—廿八日三越
- ▽藤村氏版畫展 廿四日—廿九日日佛畫廊

- ▽日本畫家第一回展 廿六日—廿七日大阪三越
- ▽池田治三郎氏個展 廿六日—廿九日三越
- ▽國畫創作協會第七回展 廿七日—五月十四日美術館
- ▽春陽會第六回展 廿八日—五月十四日美術館
- ▽南紀美術會第六回展 五月一日—五日丸善
- ▽京丙會第七回展 一日—六日三越
- ▽維新諸家遺畫展 二日—十日東京博
- ▽六角繁水氏鑲嵌漆器展 五日—六日東京美術
- ▽イタリイ名作展 九月—十四日三越
- ▽全關西洋畫第二回展 十一日—廿日大阪朝日會館
- ▽聯合藝社展 十二月—六月三日美術館
- ▽商業美術協會第三回展 十二月—廿三日美術館
- ▽善法會第三回展 十月—廿二日丸善
- ▽美術工藝第四回展 十月—廿二日京
- ▽高野山特別展 十月—廿一日高野山

- ▽米蓮會第十一回展 十月—十九日丸善
- ▽郷土會第十三回展 十月—廿一日三越
- ▽七人社第三回展 十月—廿一日三越
- ▽東台邦畫第三回展 十月—廿一日美術館
- ▽工人社第一回展 十月—廿二日朝日新聞社
- ▽岩井尊人氏南歐風景展 十月—廿一日三越
- ▽寶生堂美術展 十月—廿日寶生堂
- ▽大野凌風氏南洋寫生展 十月—廿九日大阪三越
- ▽吉田喜藏氏個展 十月—廿七日大
- ▽推古會第七回展 十月—廿七日東京美術文庫
- ▽島津家寶立展 十月—廿八日東京美術俱樂部
- ▽造型美術協會第一回展 十月—廿九日
- ▽早稲田繪畫展 十月—卅一日朝日新聞社
- ▽春陽會第六回展 十月—卅一日大
- ▽板白水展 十月—卅一日大阪丸

- ▽染織刺繍作家協會第一回展 一日—五日寶生堂
- ▽國畫創作第七回展 二日—十一日朝日會館
- ▽近藤浩一路氏個展 二日—六日三越
- ▽國風畫會展 二日—五日丸善
- ▽葛飾北齋展 二日—六日村の會館
- ▽柘榴江第三回展 八月—十二日丸善
- ▽浮世繪展 六月—廿五日美術館
- ▽昭和美術展 七月—十一日寶生堂
- ▽コーペンハーゲン陶器展 十月—十六日三越
- ▽陶山、東山、蘇山、作陶展 十月—十六日三越
- ▽日本陶器第三回展 十月—十九日松屋
- ▽フランス美術展 十月—廿一日朝日會館
- ▽工人社展 十月—廿日大阪丸善
- ▽フランス家具工藝展 十月—廿二日大阪三越
- ▽廣田家寶立展 十月—十八日大阪美術俱樂部
- ▽藤堂三郎氏個展 十月—廿七日大阪三越
- ▽新堀美術院展 十月—十九日美術館

- ▽南蠻史料展 十月—十六日三越
- ▽現代新進雜誌插畫展 十月—十八日三越
- ▽日本上流美術會第三回作品展 廿五日—卅日大阪三越
- ▽七難會 九月—十五日朝日新聞社
- ▽帝國美術院 東京市麹町區元國町文部省
- ▽院長 藤原鏡二郎 幹事 正木直憲、久米住一郎、河原春作
- ▽會員 小堀精吉、川合玉堂、竹内栖鳳、山元春樹、荒木十歌、小室翠雲、結城素明、都路雅香、菊池梨月(日本畫)
- ▽顧問 岡田三郎助、和田英作、中村不折、藤島武二、瀧谷國四郎、和田三造(西洋畫)
- ▽朝倉文夫、北村西望、建島大影、山崎朝雲、内藤伸(彫刻)
- ▽日本美術院 東京市下谷區谷中上三崎町
- ▽評議員 高田早苗、原富太郎(以上贊助員) 辰澤延次郎、齋藤三三、橋山大觀、下村觀山、木村武山(以上經營者)
- ▽同人 橋山大觀、下村觀山、木村武山、安田朝彦、小林古徑、前田青邨、大智勝觀、平柳田中、吉田白嶺、佐藤朝山、宮田溪仙、荒井寛方、中村岳陽、山村耕花、鎌谷等觀、長野草風、橋本靜水、藤升齋

- ▽石井三郎、小川芋銭、北野恒實、水御母、川端龍子、保田龍門、廣道駿、近藤浩一路、小茂田青樹、橋本永邦、小林樹白、柳倉千鶴、堅山南風、酒井三良、富取風堂、小山大月、喜多武四郎、牧雅雄、新海竹藏、大内青龍、木村五郎、橋本平八
- ▽二科會 東京市外日暮里區日暮町石井
- ▽會員 有島生馬、藤井勇造、石井柏亭、小出橋翠、熊谷守一、國枝金三、藤田重太郎、正宗得三郎、鍋井克之、中川紀元、藤原製作、阪本繁二郎、津田青楓、山下新太郎、安井曾太郎、横井禮市、瀧澤一郎、アスラン、ピツシエール、ロート
- ▽春陽會 東京市外田圃町布四二四足立方
- ▽會員 足立源一郎、長谷川昇、長谷川源、齋伊之助、林俊衛、今藤啓司、石井鶴三、木村莊八、木下孝則、鬼頭繁二郎、小杉未洲、小山敬三、小林徳三郎、小林和作、倉田白羊、森田恒友、中川一政、岡本一平、田中善之助、山崎省三、山本朋
- ▽日本自由畫壇 京都市押小路通麩屋町東、石川勲助方
- ▽顧問 瀧三郎 評議員 和田孝治、上田萬次郎
- ▽同人 池田桂仙、井口肇秋、林文雄、

演劇

西井敬勢、渡邊公毅、玉舎行輝、上田萬... 日本南無殿、京都市御幸町三條下、...

鐘吉、後藤忠志、小寺健吉、兒島虎次郎... 東京市外池袋三三八三齋藤方...

鷺男、木下孝則、木下義謙、兒島善三郎... 東京市日本橋區區町三越内...

演劇

大阪劇界概観 大阪劇界にもさすがに内部の動搖が、外に現は...

演劇

もう五十の坂をとうに越したやうな若手... 老いたる若手に新作を連続して出させてある...

この意味において、遠い、曙光を仄かながらも認めつゝ、次の四年度を細心の注意を拂つて賸めて...

この意味において、遠い、曙光を仄かながらも認めつゝ、次の四年度を細心の注意を拂つて賸めて...

この意味において、遠い、曙光を仄かながらも認めつゝ、次の四年度を細心の注意を拂つて賸めて...

他に移つたやうだ。これが、今日の五郎劇が岐路に立つてゐると観る所以で、今日の興行師が、ともすると淡海の「喜劇」に興行的の成功を収めようとしてゐることが、仄見ゆる。五郎はもう往年の「社會劇」時代を不言の間に往はうとしてゐるが、五郎の最も危険な迷路がこゝである。これがよく導かれた場合の五郎は、或は次の時代の――即ち次の年度の大衆を相手の劇壇の覇者であらうが、一步を誤ると「失敗した喜劇役者」となつてしまふ。何よりもかよりも次の年度の最も注目し得るものは、この「五郎劇」の成否であると、私は断言する。

大阪の人

昭和二年九月 曾我廼家五郎が、喜劇に進出以來、初めて八月の休みを實行し、鐵砲玉旅行と稱して朝鮮滿洲と行ける處まで行く手はずが、日が迫つたので、九月八日に滿洲で打切つて歸阪、直接の

お土産狂言は、四月中座の「驢馬」十月 嵐吉三郎(六代目)九月二十七日中座の稽古場入りをしようとして、自宅で昏倒、嗜眠性腦炎で、嗜眠状態のまま遂に四日午前六時四十分永眠した。本名は福田彦太郎、享年五十六、大阪の最後の舞台は中座五月の「鹽原多助經濟鑑」の原丹次。六日密葬、十一日午前十一時より、南區下寺町光明寺で本葬。

十一月 十四日午後六時廿分中座の「本下」の三千歳姫に扮してゐた中村雀右衛門(二代目)は、狂言半ばで、發病し、箱登羅の番左衛門の腕に助けられ中車の本藏が早目に舞台に出て、三千歳姫を身軀で圍うて樂屋に入れたが、持病の腎臓病から腦溢血を發作的に發病し、頭取部屋へ寝かせたが、十五日午後零時八分遂に頭取部屋で逝去、享年五十三、本名中島笑太郎、大正十三年五月東京からの歸阪の汽車中で發病したのが第一次の腦溢血。爾來或は出演、休演と

體を養うてゐたが遂に舞台で倒れた、蓋し大阪における眞實の意味における女形の最後の人であらう十八日午前十時から、阿倍野新齋場で金光敬式で葬儀執行。

昭和三年一月 哥澤芝派の家元芝金から分離して獨立した芝金の姉芝勢以は、合三味線を東阪各所の師匠連中にたのんで、中座の「助六後日」に出演して、哥澤の「助六」を唄つた。藝の巧拙、當否は兎に角、新家元の劇場出演りは、これが始めてである。日活を演道以外の問題で退社した岡田嘉子はその問題の竹内良一と共に、松竹座に出演「道頓堀打進曲」を演ず、大阪では始めての舞台進出である

▲志賀廼家淡海附の事務員根椋政國といふ芝居國に珍しい忠義者を表彰すべく十六日記念品を贈り、それと共に、淡海と共に十五年苦節の弟子弁慶、淡海の父九重太夫、兄田邊重一と三代に仕へた頭取の大和孤舟をも表彰した。劇界まれに見る事象であるが、一方からい

つて、近州魂のある淡海の手堅い處世術の一つである▲十六日午前五時半北天下茶屋の自宅において尾上卯三郎(二代目)が永眠した。中座の「山科閑居」の岡平に出演中であつたが、十二日に樂屋で卒倒し自宅で加養中遂に逝去した、享年六十九、岐阜の乾物屋の妾腹に生れた人で、腕一本の努力で上方の歌舞伎に前人未踏の境地を拓いたが、その私淑した處は、故人嘉七にあつた。本名木下卯三郎、十八日午後三時小林町葬儀場で密葬に附し、廿七日午前十時より、阿倍野齋場告別式を執行。

二月 中座の二月は右團治の父齋入の十三回忌追善、右團治の一子達雄の初舞台披露し、追善興行は、「巴波紋」初舞台の役は義經の小姓で出演▲仁左衛門の弟子片岡當之助は藤治郎一座に出演中この二月中座で七代目嵐吉三郎を襲名す新嵐吉二十九歳▲市川莊藏も久しく上方の舞台を踏んでゐたが、この二月中座で三代目市川九

團次襲名▲市川齋入の追善を機會に、齋入の銅像も落成したので、一月廿九日中座で追善法要を督み銅像の除幕式を行つた▲豊澤猿糸同豊之助主催で五代目廣助の廿五回忌を、中寺町正法寺で十四日午前十時から督む▲曾我廼家六の妻せつ持病の心臓病で堀江清水橋の自宅で十二日夕永眠。

四月 曾我廼家一座にて久しく二枚目どこにゐた小次郎が、木内興行部に買はれ、十次郎の病氣の代りに淺草金龍館の喜劇春秋座に出演、五郎は小次郎の前途を快く祝福して引幕を贈つた▲藤治郎が英佛へ大掛りの巡業説が傳はつて世間の注意を惹いたが、この説の真相は、洋行歸りの佐多博士が藤治郎と白井松竹社長とに洋行を勧めた事實が誤り大袈裟に傳つて佐多博士限りの話であるといふのが實際談。

五月 五日午前十時大阪赤十字病院にて、今は舞台を引退してゐる竹本春子太夫事福井清吉が持

病の腎臓病のため死去、春子太夫は堀江派の重鎮であつたが近松座の没落とともに舞台を引いて東區北久寶寺町四丁目下駄屋を督んでゐたが、惜むべし、享年六十二。六日午後六時阿倍野にて密葬▲北大阪天満八千代座へ都築一派が白蓮女史の「戀談さんげ」を上演するにつき柳原白蓮女史舞台に立つて挨拶した、晝夜二回の出演、又引ついで京都新築京都座へ同じく出演、藝人とともに出演のため藝人の鑑札を必要として藝人となら、そとろその末路を哀れみ惜んだ▲小次郎が脱退の五郎劇に動搖あり、若女形の弁天が今月の興行を限りとして、五郎の許を離れ淡海へ加入した。

六月 若い舞踏振付師花柳壽三郎が、渡米し舞踏研究するとて十九日神戸出帆の天洋丸で故國を移にした、松竹座の春のをどりなど、この壽三郎の振付であつたがこの春の總をどりなど、最も洋行の急務を自覺したのであると▲ニ

ユイヨークのカムストツク・エン

ド・モリス興行會社のカムストツクが十八日横濱に入港來阪この機會に寶塚少女歌劇一團を米國にて興行の意思で實地の舞台を見物したが、カムストツクの希望は、純日本式、或は洋人向きの「日本式」の賑やかな狂言を目安にしてゐるが、寶塚のは、純日本式のは貧弱であり、洋化舞踊式のは固より米本國のそれに見劣ること勿論であるから話是不調に終つた▲藤一座に加はつてゐた市川莊平は五月興行中助膜炎と糖尿病を併發し、京都病院にて加療中十七日午前七時永眠した、享年三十七。

七月 曾我廼家五郎劇の内部は可なり團結の堅い實を従來ともに見せてゐたが、小次郎の脱退、弁天の脱退、ついで十五も引いた、五郎劇解散の噂まで生むに至つたが、これは實は抑も末で、五郎劇の内部に大動搖があつた、それは従來手を携へて來た太夫元の豊島と五郎とが手を切つたこと

だ、この太夫元との提携の斷絶の噂を五郎は否認し、豊島も否認して五郎劇の七月中座興行には、わざと「太夫元豊島」の五字を番付に摺込んだが、事實はかうだ。元來五郎は舞台一切狂言の仕込、狂言の撰擇の權利を持つて五郎の思ふがままにやつて來た、豊島は五郎劇のカーテンから外部一切を賄うて月々の興行先を決定して來たのであるが、たゞ一つ五郎一座の人々の任免の權は豊島の手にあつた、これを五郎が、この七月以後一座の人々の人事に關する一切を擧げて五郎の手に收めてしまつた

これで太夫元との手は絶たぬが、事實においては、豊島は五郎の働く出演先の賣込をその手に納めて歩をとつて行くといふに止つたのである、この意味において、五郎豊島が、従來の提携を斷つたといふ一面の解釋を事實と見て、この人事上の實權が五郎の手に納つたがために、小次郎は歸つて來たが、十五が出るといふとになり

五月

松居松翁作「平清盛」... 岡鬼太郎「當世草」... 山「浦島」...

六月

敵討権謀録「狐城落月」... 内「編庫」... 古上野の戦争...

七月

「國彩色扇扇」... 國朝口演河竹新七脚色... 竹葉金作脚色...

八月

十返舎一九作、木村錦花脚色「東海道腰栗毛」...

本郷座

昭和二一年九月「紅蜘蛛奇譚」...

本郷座

昭和二一年九月「紅蜘蛛奇譚」...

本郷座

昭和二一年九月「紅蜘蛛奇譚」...

本郷座

昭和二一年九月「紅蜘蛛奇譚」...

本郷座

昭和二一年九月「紅蜘蛛奇譚」...

本郷座

昭和二一年九月「紅蜘蛛奇譚」...

明治座

昭和二一年三月 島村民藏作「足利尊氏」...

明治座

昭和二一年三月 島村民藏作「足利尊氏」...

明治座

昭和二一年三月 島村民藏作「足利尊氏」...

明治座

昭和二一年三月 島村民藏作「足利尊氏」...

八月

大西利夫作「曲物語」...

八月

大西利夫作「曲物語」...

八月

大西利夫作「曲物語」...

八月

大西利夫作「曲物語」...

三月

「若き日の影」...

三月

「若き日の影」...

三月

「若き日の影」...

三月

「若き日の影」...

一月 松島作「雪のふる夜」瀬戸英一
 一作「次郎吉捕つた」真山青果作「生さぬ仲」の「節」乳に飼はるゝ歌」岸田國士作
 「驟雨」おさだの仇討」(花柳、藤村一席、廿一日初日)○「舞台の人々」(金を得た話)「息子」十六夜清心中後日開書(花柳、小太夫一席、十五日初日)
 二月 次郎長の内「荒神山」吉田絃
 二月作「新作の妻」中村吉藏作「新編朝霧」瀬戸英一作「行く水の流れ」(花柳、藤村小太夫一席、一日初日)○川口松太郎作「新編重四郎」徳富健次郎作「不如歸」(男選ばり)「益田太郎」誠者作「熱心の鬼」(同上)お名所、十五日初日)
 三月 伊井原作「捨身の太石」水木京太郎作「新編中村吉藏作」朝笑「真山青果作」相次夏吉(伊井、喜多村、重日出子、村相美彌子加入、一日初日)○北村寿夫作「勝と負」佐藤紅緑作、川村花菱補綴「依燈籠」長谷川伸作「掛旗の家」(同上)の替、十四日初日)
 五月 里見啓作「今年竹」岡鬼太郎作「眠野物語」鈴木泉三郎作「谷底」長谷川伸作「樋口角兵衛」(花柳、小太夫、筑波雪子一席、二日初日)○「陸奥物語」岡の花「愛智風韻」(同上)の替り、十八日初日)

六月 小山内薫作「塵埃」瀬戸英一
 作「上野の戦争」太郎冠者作「區制整理」岡鬼太郎作「巷談讀釣瓶」(八百蔵、花柳、大東、藤村一席、一日初日)○長田幹彦作「戀ごころ」島藤と千木「鈴木泉三郎作」山芋屋「岡本綺堂作」相馬の金さん(同上、十五日初日)
 公園劇場
 昭和二年十月 土師清二作、金子重香脚色、初篇「砂龍呪縛」お嬰物語
 「婿系圖」島境内、平野正夫作「戀の受難」(伊井、河合、喜多村一席、一日初日)
 十一月 「品川十人斬」實成物語
 「名工榎右衛門」紅葉狩(長十郎、横十郎、長太夫一席、一日初日)
 十二月 「深夜曲」酒の始り「懸掛」舞踊六種「獅子と喰はれる女」(水谷八重子の一席)
 昭和二年一月 「お梅、榮之助」
 「やきもち讀本」お坊ちゃん「人生列車」(諸口、筑波雪子一席、三十日初日)「侍助助左衛門」兵隊馬車屋「平安朝の賊」
 「語りのお坊ちゃん」(同上)の替、十一日初日)○「のろま」二人組「巷の人氣男」
 「お坊ちゃん失戀の巻」(須藤道中記)

(同上)の替、廿一日初日)
 一月 「官岡先生」勝者敗者
 「藤村國定忠次」(澤田の新編劇、一日初日)
 二月 「スポーツマン」「辯姫」
 「殉死」大尉の娘(水谷八重子、一日初日)○「地蔵屋由來」切支丹屋敷「白丹を抱へて」娘道成寺「天國」(同上)の替、十五日初日)
 四月 青々編作「世屋高尾」佐々木邦作門脇陽一郎脚色、次男坊「夏目漱石作、金子洋文脚色」我等は猫である「門脇陽一郎作」劇「なんせんす舞台放送」(諸口一席へ樂天會と新劇協會加入)○「鼠小僧次郎吉」狸「警人」ほだされ物語(諸口一席)○「お宿何處だ」滑梨初五郎「照葉集」五月雨「いろ男」(同上、廿一日初日)
 六月 「江藤新平」浮世風呂
 「假りの兄」どろせう物語(諸口一席、廿一日初日)○「蓬電」投羽織「ある夕イビスト」から聞いた話「赤鞘安兵衛」(世の中)同上、十一日初日)○「室の拍手」昭和モボモガ氣質「或るデカダンの群」(親ごころ)水戸黄門漫遊記(同上、廿一日初日)
 七月 「夫婦改造」ちよと雪

「乳房」一目物語「心中結」同上、廿一日初日)○「三軒長屋」なつちよら「海魔のモデル」朝次喜多「お坊ちゃん」水谷の巻(以上十日初日)○「裏表」朝から夜中まで「傘」梅の音「地下鐵騒動」(同上、廿一日初日)
 昭和二年一月 「書式三番鬼」風忠信「太十」七福神「どんつく」吉三と辨秀(新之助改め助高屋小傳次一席へ、三日間式三番の九め幸四郎、勘彌出演、一日初日)
 高砂座
 昭和二年十一月 「一條大藏卿」真山青果作「ルイズ」岡鬼太郎作「深奥」玉環橋「勢獅子」(守田勘彌、河合一席、一日初日)
 邦樂座
 昭和二年十一月 「クラスメート」松浦佐用姫「かなな扇」朝次喜多「踊り子ミミー」(實成少女歌劇、十二日初日)
 京南座
 昭和二年十二月 (豊)松居松翁

映畫

作「尾形光琳」二巻「引忍」(保名「勸進帳」岡本綺堂作「平家盛」一巻(夜)藤山吟葉作「津登」二巻「太功記」十段目「茨木」菊池寛作「藤十郎の戀」小鏡治「三社祭」(題辭一席へ梅幸、幸四郎加入、一日初日)
 昭和二年一月 「本朝廿四孝」諏訪明神より狐火まで「藤州合邦社」(心中天綱島紙屋内)明島六花唱(文樂座、二日初日)
 二月 岡本綺堂作「細川忠興の妻」二巻、大西利夫作「曲物語」二巻「宅兵衛上使」高安月弥作「さくら時雨」松居松翁作「大磯小磯」一巻(仁左衛門、秀調、延若一席、一日初日)
 五月 「再春松種詩」石切楓原「連獅子」法界坊「三巻」双面忍姿繪(吉右衛門、三津五郎一席、十二日初日)
 神戸八千代座
 昭和二年八月 「菅原一車場」幸子屋、「大森彦七」櫻御恨盛朝「巖谷」男選ばり「としま」布洒し(幸四郎、延若、三郎、五日初日)
 昭和二年七月 鶴屋南北作「晴の舞台」一巻「源平布引瀧」實成物語、近松門左衛門作、櫻本實彦脚色「安宅關」(伊勢若頭藤原兼光「見浦より油屋奥庭」文風と哀憤(藤原一席、一日初日)

日本映畫の製作数は年々確たる一方であるが、それでも各常設館からは映畫の不足を訴へて来る。映畫を見る人が年毎に激増する、そこで常設館が次第に積りて来る、そこで上映する寫眞が不足する。各社の撮影所は製作に追はれ、勢ひ製作の止むなきに至り、それでも尚ほ且つ映畫の数が足りないばかりである。製作、従つて優秀作品に乏しく、その間隙をねらふのが外國映畫であり、映畫の不足に乗じて割つて入るのが次ぎ々と名乗りを上げる獨立プロダクション——さういふ状態が、今年度もくり返されて来た。そして、數に於いては日本物が斷然優勢の地位を占めてゐるが、大都會の一流常設館へは一步も足を踏み込むことが出来ず、知識階級の觀客は依然として外國映畫へ走る。これも昨年度と同じ情勢をそのまま持越し

て來てゐる。來年もさ來年も、恐らくはこゝ當分の間はこの情勢が持ちつとけられることであらう。日本映畫は、依然として劍戟映畫全盛時代をつとけてゐる。劍戟映畫は行き詰つたといふ、さういふ、ではそれに代るべきものが現れたか? 何ソにも現れない。相變らず今日も劍戟、明日も劍戟である。劍戟映畫と呼ぶかはりに時代劇といつてもいい、松竹蒲田撮影所は時代劇の製作を停止した。しかしこれは時代劇が喜ばれなくなつたためではなく、飯東妻三郎、市川右太衛門の兩代表的時代劇映畫を松竹が配給し、その上に京都下加茂に林長二郎等の時代劇があるの浦田で作る必要がなくなつたのである。獨立プロダクションの殆ど大部分は時代劇である。衣笠貞之助監督が雄々しくも時代劇から劍を奪つて「十字路」を作つたが之は興行的には大成功とはいへなかつた。時代劇、すなはち劍戟映

畫はまだ亡びさうにもない。文部省及び警視廳では、これら劍戟映畫が小兒兒童に悪影響を與へることを恐れて四月一日から大英斷を以て防遏策を講ずることとなり、劍戟映畫の檢閲にも極度の注意を拂つてあまりに殘忍な斬り合ひはドシ／＼切斷する方針の新取締規則を出すなど、劍戟映畫の全盛時代が未だに亡びない證據と見ることが出来る。外國映畫では依然としてアメリカ映畫全盛である。ドイツ映畫「アウスト」フランス映畫「カルメ」などが相當立派な成績をあげたけれども全局から見れば歐洲映畫はアメリカ物の足もとへも寄りつてなかつた。たゞ、めづらしくもロシア映畫輸入の道が拓けて、「ボストマスター」「農奴の翼」「熊の結婚」などが公開されたことは特筆すべきである。アメリカ映畫は前半期において競争全盛の機運に遭遇し、「ピッダレイド」「榮光」をはじめとし

て「決死隊」「鐵血潮」「ペタオー
ル」「第七天國」など戦争を織り込
んだ映畫がしきりに好評を博し
た。これは直に日本映畫に影響し
て「砲彈彈雨」その他の戦争映畫を
生む原因ともなつた。後半期に至
つて、特に目立つのははゆるク
ルツプ・ブレイ(悪漢劇)もしくは
盜賊劇など犯罪を主としたもの
が映畫ブームの注意を惹いたとい
ふ一つの傾向である。代表的作品
はパラマウント社の「暗黒街」フ
オックス社の「闇より光へ」など
であるが、引きつゞいて「非常線」
「暗黒街の女」などの公開が期待
されてゐる。

獨立プロダクション消長 阪
妻プロダクションは現代劇を履し
つゞいて時代劇も阪東妻三郎主演
映畫のみを製作することになり、
多くの監督俳優が退社した。同時
に妻三郎自身も阪妻プロダクショ
ンの重役であることを退いて、單
に俳優としてのみ活躍すること
になつたから創立當時と同じやう

に妻三郎は自分の主演映畫にのみ
全力を傾倒することが出来る。作
品は松竹キネマの手で配給される
から後顧の憂ひもなく、將來の妻
三郎映畫こそ大いに期待されてゐ
る。獨立プロ成功者の第一人者で
ある。また市川右太衛門プロダク
ションは最初配給状態が巧く行か
ず、東亞キネマと提携しようとし
たりいろいろ營業上の辛酸をなめ
て来たが、四月つひに松竹と配給
契約を結ぶことに成功して、これ
も落ちつく所へ落ちついた。

三年二月には、月形龍之助(陽侯)
の獨立と河合プロダクションの創
設が斯界の注目を集めた。月形は
再三その獨立が傳へられてゐたが
監督井上金太郎、俳優高松恭助、
天野双一と共につひに獨立プロダ
クションを起した。五社聯盟(松
竹、日活、東亞、帝キネ、マキノ)
はこの時結束して月形プロ映畫を
上映しない決議をしたので、月形
プロの前途は危まれたが、その後
マキノ省三と瞭解が出来てマキノ

で配給することになつたので前途
は急に明るくなつた。河合プロは
關西映畫界で活躍した河合徳三郎
の創設に成り、丘虹二、惡魔之助、
松本英一、龜井清一等の監督と、
杉狂兒、鈴木澄子、吾妻三郎、里
見明その他の俳優を各社から引き
抜いて五社聯盟に對して奮ひ立
ち、最初東京府下三河島の町屋ス
タヂオで撮影を開始したが、後集
監督俳優に多少の異動があつた
が、今後の活躍こそ見ものである。

五月には大日本活動常設館主聯盟
と提携する日本映畫プロダクショ
ン聯盟が組織されて、更に斯界を
驚かした。これは主としてマキノ
を脱退せる俳優、監督、技師その
他七十余名の顔ぶれを集めたもの
で、片岡千恵藏を代表者とせる片
岡千恵藏プロダクション、市川小
文治の代表せる歌舞伎劇プロダク
ション、中根龍太郎の中根龍太郎
喜劇プロダクション、山口俊雄の
山口俊雄プロダクション、嵐長三

郎の嵐長三郎プロダクション(後
嵐寛壽郎と改む)等の各プロダク
ションが聯盟したものである。館
主聯盟によつて配給されるから作
品はそれとく、館に上映されるは
ずであるが、五社聯盟がこれに對
していかなる態度に出るか、とに
かく日本映畫プロダクション聯盟
の出現は最近における最も大きな
出来事の一つであつた。

勝見庸太郎プロダクションは依然
としてマキノ撮影所で製作をつゞ
け、二年十一月獨立して奈良のヤ
マト映畫製作所に據る谷崎十郎プ
ロダクション、五月に獨立プロを
起して名古屋の元マキノ撮影所に
立ちこる小澤得二監督の小澤プロ
ダクションなども新興の意氣に燃
れて製作をつゞけその存在を認め
られてゐる。その他、時々際もの
映畫を製作して奇勝を博してゐる
森本登良男プロダクション、活劇
専門の澤田義雄プロダクションが
あるが、高木新平プロダクション
は高木新平のマキノ入社によつて

解散し、諸口十九プロダクション
は「美代吉殺し」以後映畫界から
は消息を絶ち、小笠原プロダクシ
ョンが「譽れの四勇士」を機會に
復活するかと見ればさうでもない
く、それ以下の小プロダクション
に至つては生きてゐるのか死んで
ゐるのか一向に音沙汰がない。

兒童映畫デー 永年教育者や
世の心ある父兄の間に問題となつ
てをり、最近ではそれが實現につ
いて、いろいろと各方面で研究さ
れてゐた兒童と映畫の問題は、東
京市が率先して兒童映畫デーを設
けたことによつて一部解決をつけ
るに至つた。即ち、四月十七日、
丸ビル内教育局會議室に藤井教育
局長、池田社會局長、木暮警視廳警
部、倉橋惣三氏、西赤羽校長等出席
し、映畫業者側から松竹、日活東
亞、帝キネ、マキノの代表者が参加
して大體次のやうな具體案を得て
五月よりこれを實行するとになつ
た。(一)兒童映畫デーは毎日曜日
午前九時より同十一時まで十巻

以内を上映すること(二)中間に十
分の休憩をはさみ、料金は十錢乃
至十五錢とする(三)上映館は
一區平均二館とし、松竹、日活の各
直營館土地の環境よろしきものを
選定、東亞、マキノ、帝キネは各關
係館と交渉の上決定すること、そ
の他の獨立常設館は近く東京市が
直接懇談して決定すること(四)上
映々畫は五社聯盟と市の委員會が
選定したものに限ること。——こ
れによつて五月二十七日第一回の
兒童デーが催されたが、換氣法を
嚴重にすること、定員五割増まで
に制限すること、普通興行の時間
と二十分以上隔て、兒童を歸宅さ
せること、兒童映畫の時間中は普
通興行の繪看板を撤去するか露出
せしめざることなどいろいろ改善
案も出來た。引きつゞいて二回三
回と開催するに従つて、結果は非
常に良好で、一般映畫を見る兒童
の數が大いに減退したさうであ
る。これに刺激されて京都市、福
岡市なども兒童映畫デーを實施す

ることになつたが、その他の都市
でも追ひつゝ實現の機運に向つて
ゐる。

問題になつた映畫 本年度を
通じて最も評判のよかつた映畫は
外國物では「ビッグパレード」「榮
光」「第七天國」「ファウスト」「チ
ヤング」「カルメン」「ドンファン」
「サーカス」などであらう。この中
の全部が果して勝れた作品であつ
たかどうかは疑問とするも、とに
かく最も多くの觀客を吸収して、
彼等の絶讃を買ふことに成功して
ゐる。特に注目すべきは「ビッグ
パレード」「榮光」などが戦争映畫
全盛の潮流に乗つて成功したのに
反して、實寫映畫「チャング」が歡
迎されたことである。これは北部
シヤムの原始林に原始的な生活を
つゞけてゐる人類と野獸との永遠
の闘争を、驚くべき忍耐と努力と
冒險のもとに最も忠實にカメラに
収めたもので、千篇一律のメロド
ラマにあきつゞいてゐる映畫ブー
ンにとつてはまさに沙漠のオアシ

スであつた。實寫映畫の有様を面
白さを知らせた點で「チャング」の
残した功績は大きかつた。別の意
味で問題になつた映畫に「ダオル
ガの船唄」がある。これは内務省
の検閲を経て二年十月東京武蔵野
館に上映中、第二週目に至つて突
如、公安をみだすといふ理由で警
視廳より抗議が出てつひに上映中
止の憂目を見た。本邦において映
畫の検閲を統一してやつてゐる内
務省の検閲すみ映畫が、常設館に
上映中警視廳の手で禁止されたの
は、検閲制度不統一を暴露せるも
のとして業界に多大のショックを
與へたのみならず、内務省検閲當
局者が責任上の進退問題を起すな
ど果然問題の渦は大きくなつた。
結局十二月に至つて題名を「ダオ
ルガ・ポートマン」と改め内容にも
多少の心が加へられて上映許可
となり問題は落着いた。例年の如
く検閲に引かゝつて撤回を命ぜら
れるものゝ見るも無残に切斷され
て殘骸のみ封切られるものなどは

枚舉にいとまがなかつたが「ザオ
ルガの船唄」のみは如上の事件で
最も問題となつた映畫であつた。
日本映畫は大體においていづれも
ドン栗の背比べで飛び離れて問題
になつた映畫はないが、マキノが
三年がかりで製作に従事し劇壇の
伊井蓉峰主演のもとにマキノ空前
のオールスターキャストでやつと
完成した「實録忠臣蔵」のネガの一
部を三月六日マキノ營業所火災の
ため焼失したことは、相當大きな
事件と見ることが出来る。焼失の
分を不足したまま、映畫は直ちに
公開されたが、それが却つて世の
同情を惹いてか各館とも大入満員
の盛況を見た。大がかりな撮影と
多額の費用を投じたことによつて
世の視聽を集めたのは日活の時代
劇「尊王攘夷」現代劇「地球は廻る」
の二篇であつた。

之助、浦波須磨子、結城一郎、小
村新一郎、小林十九二、嵐狂藏、
平塚泰子、住吉恵美子、川島奈美
子、阪東三右衛門などで、外國映
畫からは、チャールズ・フアール
ル、ジャネット・ゲイナア、ダイ
クター・マクラグレン、チャール
ス・ロジャース、リチャード・ア
ーレン、ジョージ・バンクロフト、
ゲリー・クーパー、グレンダ・ガ
ルボ、グレン・トライオンなどを
數へることが出来る。

映畫人の洋行 映畫界の人々
が本年ほど多數歐米へ映畫研究の
旅に出たこともまためづらしい現
象であつた。アメリカ映畫界で奮
闘してゐる上山草人から日本の草
人會へ送つてよこした一千円で、
草人會推薦の松竹カメラマン三浦
光男が研究のため六月ロサンゼ
ルスへ向ひ、松竹を退いた衣笠貞
之助監督が七月ロシアを経て歐米
映畫界視察の旅に出で、マキノの
名古屋撮影所にゐた鈴木重吉監督
もまた七月歐洲を経てアメリカへ

と映畫行脚に出かけた。この外に、
ロシアへ行った左團次一行と共に
松竹蒲田撮影所長城戸四郎、同俳
優三田英兒も七月ロシアへ旅立つ
たなど、しきりに映畫人の洋行が
流行した。

人事一東

横田永之助 二年八月日活社長に
就任し、同十月映畫事業上の功勞
により勲章褒賞を賜ふ、全國映畫
業者はその功を記念するため日活
太秦撮影所内に胸像を建てた。
モンロー・ソールスベリ 往年の
日本における最大人気俳優であつ
たが二年十月來朝し各地常設館で
ファンに挨拶をした。
牧野省三 二年九月五十年祝賀會
を開く。
ハル・ローチ アメリカ喜劇映畫
界一方の大立物として知られた
人、三年二月來朝、京都の撮影所
を見學して上海へ向ふ。
關根達發 明治四十年頃より映畫
に出演してゐた最も古い俳優であ

つたが三年三月死去した。享年四
十九。
近藤伊與吉 フリー・ランサー制
度を首唱し、まづマキノと自由俳
優としての契約を結び「謎」その儘
に出演した。フリー・ランサー即
ち自由契約俳優を高唱せる者、わ
が映畫界ではこれが嚆矢である。
ジョージ・ヤン 多年アメリカ映畫界
に活躍してゐたが三年五月歸朝。
市岡俊恵 同じくアメリカ映畫に
出演してゐた日本女優、四月歸朝。

日本映畫各社の陣容と對
切一覽表(二年八月から三
年七月末まで)

松竹キネマ株式会社

本社 東京市京橋區新富町六丁目十
番地

撮影所 東京市外蒲田町及び京都市外
下加茂

蒲田撮影所では時代劇の製作を中
止し、もつぱら現代劇のみに力を
注ぐことになり、時代劇はすべて
京都下加茂撮影所で製作すること
になつたのは、可なりの大英斷で

あつたが、阪東妻三郎プロダクシ
ョン、市川右太衛門プロダクシヨ
ンの兩代表的時代劇プロダクシヨ
ンの作品を配給するやうになつた
松竹としては、けだし當然の行動
かも知れない。とまれ、蒲田現代
劇は依然として日本映畫の最高に
評價され、牛原虚彦、野村芳亭兩
監督の作品はいよく興行價值高
く、加ふるに新進五所平之助の輝
星的擡頭あり、栗島すみ子、まだ
老いず、こゝばかりは現代劇万歳
である。下加茂撮影所は監督衣笠
貞之助が去つて外遊しいさゝか淋
しい氣がするが、林長二郎の外に
新進阪東壽之助あり、とにかく時
代劇に濃潤たる意氣を見せてゐる
現在の陣容次の如し。

【監督】 牛原虚彦、野村芳亭、池田義
信、島津保次郎、大久保忠実、五所平之
助、清水宏、高見丈夫、佐々木恒次郎、
齋藤寅次郎、重宗務、小津安二郎、小石
榮一、星哲六、友成用三、多島泰三
【主なる俳優】 井上正夫、岩田祐吉
鈴木傳明、藤野秀夫、奈良真養、島田

【主なる作品】 秋草燈籠、女の影、
御守殿金次、破れ襦袢、むさび三吉
火喰鳥、木曾心中、戀は曲者、近代女
房改造、仇討逆ひ、戀を捨てた男、毒
唇、夜の強者、復讐鬼、島原美少年録
鷹の勇士、孤兒、海濱の女王、先生と
娘、珠を揃つ、久遠の像、炎の空、紅
涙、編組双紙、戀しの母、辻斬左門、
盲双、濡衣、悲戀劍闘、海の勇者、村
醫者とモダンガール、おかめ、人生の
涙、子に泣く、哀愁の湖、月下の狂双
弁天小僧、天保悲劇録、美女の秘密、
天使の罪、愛の凱歌、近代武者修業、
京洛秘帖、青春の小徑、櫻桃謎二人組
海國記、若しも彼女が、天國の人、村

日本活動寫眞株式会社

本社 東京市麴町區永樂町二丁目
撮影所 京都市外太秦村

三年四月に太秦に新築した新撮影
所へ移つて大いに製作能率を高め
老練日活の堅實さに今や激刺た
る元氣を加へた感がある。名物男
の池永所長のもとに、時代劇は池
田富保を、現代劇は村田實を先頭
に押し立て「尊王攘夷」「地球は廻
る」等の特作品を発表して大いに
ファンを喜ばせ、會社の配當を高
める一方、伊藤大輔、大河内傳次
郎の組合はせで「國定忠次」三部曲

を出して日本映畫最高標準の折紙
をつけさせるなど、依然として製
作方面一方の旗頭である。俳優の
中から谷崎十郎、櫻木梅子、南光
明、根岸東一郎等が失つたが、松
本泰輔、伏見直江、入江たか子、
監督志波西果等を加へてピクとも
せず、近くは監督の中で村田實が
計畫方面、溝口健二が脚本部を受
持つやうになり實際メガホンを取
らぬことになつたが、畑本秋一、
木村次郎等氣鋭の士が新に監督と
なつて新鮮味を出すなど、實力に
いさゝかの變動はない。淺岡信夫、
廣瀬恒美の兩スポーツ俳優が新に
教育映畫部となり交互に監督主
演するやうになつたのは、近時間
題となつて來た教育映畫に興行會
社が参加したものとして斯界の注
目を惹いてゐる。現在の陣容は次
の如し

【監督】 村田實、溝口健二、阿部豊、
田阪具隆、三枝源次郎、内田吐夢、東
坊城恭長、木藤茂、伊奈精一、畑本秋
一、木村次郎、池田富保、辻吉郎、伊

合録、仇討情録、嘔山東、捕吏、仇討制度、雷電、闇川堤
阪東妻三郎プロダクション
所在地 京都市外太秦村

大日本ユニバーサル社との聯盟決裂後は現代劇を廢して時代劇のみの製作を續けてゐたが、三年七月に至りさらに阪東妻三郎主演映畫のみ製作する方針を立て、そのため監督細山喜代松、枝正義郎、宇津芳國貴、首藤俳優市川松之助、草間實他十九名が退社して、大體において製作方針は三年以前阪妻プロダクション創立當時の状態に歸つた。作品の配給は松竹キネマ。現在の陣容は左の如し

【監督】 犬塚稔、安田憲邦

【主なる俳優】 阪東妻三郎、志賀靖郎、中村琴之助、梅若轉三郎、阪東妻三郎、阪東妻之助、春路謙作、春日清安田善一郎、中村政太郎、森田子、泉春子、駒井清枝

【主なる作品】 砂館呪縛、凡人杉作、鬼百合、大前田英五郎、九番倉庫鮮血歴史、戀の鳥、護國の鬼、妖炎魔刃、降魔、虛無僧、暗夜のバノヲマ、

鼠小僧次郎吉、お神樂半次、任侠五十三次、白鬼、毒眼、斷魂、仇討三羽鳥、天保俠義録、阪本龍馬、凡生奈落、風浪の快兒、金五郎改心録、闇

市川右太衛門プロダクション
所在地 奈良市外大軌沿線あやめ池

獨立プロダクションの何れもが苦しめられる配給難に苦しめられ、一時東亞キネマと提携する形勢にあつたが途中から模様がかはつて三年四月、一立商店立花良介氏の手を經て松竹キネマと配給契約が成立した。松竹との提携第一回作品、酒井忠輔以後の作品はすべて全國松竹系常設館に封切りされることになつたので、撮影所は俄かに活氣づいて、今では堂々阪妻プロダクションと共に珍しくも成功せる獨立プロダクションと見られてゐる。現在の陣容は次の如し。

【監督】 長尾史雄、竹村快一、山口哲平

【主なる俳優】 市川右太衛門、中村吉松、高堂國典、巴羅子、春日碧子、春登子

【主なる作品】 狂血、怒苔呂、天下無双の劍豪、青春日記、高濱常盤、酒井忠輔、水野十郎左衛門、丸橋忠彌
河合プロダクション
配給所 東京市下谷區豐住町五八
撮影所 東京市外豊島

三年二月、河合徳三郎氏が突如プロダクションを設立して、各社の監督俳優を引抜いて陣容を整へ、斯界に大きな波紋を投げたが、後、名稱を河合映畫製作社集鴨撮影所、河合映畫配給本社に二つに改めて合資會社を組織した。現在の陣容は次の如し。

【監督】 曾根純三、古海卓二、松本英一、丘虹二、筒見野、鈴木桃作

【主なる俳優】 杉狂兒、森野五郎、里見明、市川市丸、大岡怪童、永井柳太郎、松尾文人、鹿島陽之助、葉山純之助、鈴木澄子、鳥羽惠美子、千草みどり、橋本久子、小波初子、隅田ます代

【主なる作品】 くらら組、青春散歩、悪風に吹かれて、出世事件、女敵、舞臺曲、四谷怪談、鮮血の風、血まみ

れ草紙、河豚奇譚、野ばら火ばな、地獄から這ひ上つた彌次喜多、額田金さん、敵討本願、面妖舞臺裏、與へよ榮冠、ぬかるみ小路、戀慕断、御用登三、次、天保水滸傳、お秀の方、黒髪草紙、我こそは英雄

その他のプロダクション作品

▲勝見庸太郎プロダクション——雁の遺文七元結、べらぼう長屋▲月形陽俊プロダクション——酒毒の劍法、鼠賊道中録、敵討板れ傘、首斬同心▲谷崎十郎プロダクション——舌通魔、修羅惡鬼、怪龍神組、落花の辻、深泊の劍士、劍龍之助▲森本登良男プロダクション——進軍ラッパ、戦艦三笠、戦後義勇行士▲高木新平プロダクション——阪本龍馬▲日本映畫プロダクション聯盟——天下太平記、助太刀商賣、蒼白の劍士、鞍馬天狗、月形半平太▲瀧田義雄プロダクション——熱球飛ぶ▲小笠原プロダクション——響の四勇士

主要外國映畫封切一覽

パラマウント社映畫
神我に二十仙を賜ふ、紐青、森の男、踏覺戀愛、戦艦くらがね號、夜會服、あれ、決死隊、金髪か黒髪か、曲者痴人、肉體の窟、グラフィスの婚儀屋、總督、飛脚

人づれ、ベタオール、人生サーカス、紐青狂想曲、ひとときの情炎、マノンレスコオ、指紋探偵探偵探、倫敦の丑満時、鍍金小路

その他のアメリカ映畫

花嫁花迎、ブラッドシップ、我等のサリ、大衆の花形、ロンドンウルフ、長恨悲歌、香気な商賣、女ラッフル、見所通ひ大賞(以上コロムビア映畫)名馬天來、第一曲馬劇、ゴリラ大勝、鐵拳兄弟、豪勇トムソン、女知事閣下、荒療治一手引受、ドンマイク、覆面女頭目、未來派女學生(以上エフビーオー映畫)變文甲斐(ブリンシバル映畫)ヴォルガの船唄(ビーデイシー映畫)足でける戀(ティンアニメ映畫)

ドイツ映畫

タルチエフ、深夜の悲劇、ブラーグの大學生、ファウスト、ドン底、野鴨、ライオン戀曲、戀は盲目、戀のロサツク、ラスター、戀しの巴里

フランス映畫

カルメン、ふもと、家なき子
ロシア映畫
農奴の翼、熊の結婚、ポストマスター

カンクー、チャンク、彌次喜多消防の巻、男装女劍客、飛入拳闘大勝利、亂暴ロージ、熱砂を踏んで、ジャズの酒場、赤ちん母ちゃん、アジジナの天州、電話姫、抜き足さし足、闇の小路、近代女風俗、敵隊専門員、アラビヤ三人盜賊、決闘商賣、チヨビ舞タイオン張り、彌次喜多空中の巻、頑十八泳げや泳げ、喧嘩機關車、合婚馬賊、フラ、人間力、モダン十誠、暗黒街、戀に身を焼く、ジェスジエム、舞に立つ、婦人にお給仕、脚光の影、女から女へ、悪人強奪、ボウサブルー、上海目指して、凸凹青春の巻、つばき、彌次喜多女難の巻、先驅者時代、ネバタ男、女シータ、セレナーデ、最後の命令、オール持つ手に、曠原の烽火、微笑の劍士、特製運動服、オレンヂ實る頃、姿は偽らず、野生愛、燃ゆる青春、彼女の戀物語、ショウダラン、凸凹サーカスの巻、頑十八冒險時代、大尉の娘、彌次喜多探偵の巻、魔の家、砂金地獄

フアスト・ナシヨナル社映畫

桃色女白浪、喧嘩友達、想ひ叶うて、結ぶ戀戀の釣天井、本盤打王、與太奮闘記、粒々相摩す、相愛、感傷の秋、嶺新嘉南、面鏡、弱虫運動療法、痛ましの親心、鷺鷥の歌、女賊怪賊、在りし日、熱血探偵

手、蒼空の覇者、白ズボンウキリ、力漕一艇身、赤腸に鞭ちて、笑ふ門には福来る、與太成功記、圓窓れハリー、僧房に咲く花、戀のかけひき、最後の一歌、珍婚ジャム成金、雲始崇拝、トロイ情史、ゴリラ、戀せよ乙女、巨人の天地、断想悲曲、女權擴張、黎明の丘、與太空中旅行、アメリカ義人

ユニテッド・アーティスト社映畫

キートンの大學生、魔炎、紅白亂舞、ガウチヨウ、美人團二人行脚、デパート娘大戦、惡魔の踊子、サーカス、ソレルと其の子、五つの魂を持つ女、ラモナ、紅い鳩、樂園に歸る

フオックス社映畫

憤慨の彼方へ、意欲天驕手、夜會服の男、海底の銀寶、暗黒の樂園、任侠の義人、榮光、横掃逆轉白雲の巻、古今無双の強者、惡魔の樂聖、青雲、雲晴れて愛は輝く、待てば海路の日和とか、第七天驕、モガ地獄、ミツタスの曲馬大王、燃頭ミツタス、マザー・マタリ、青春探歌、明けゆく魂、タイクニツク、電光石火の男、カルメン、水陸狂走樂、横は語る、香氣大將功名の巻、アマゾンの紅バラ、近代戀愛ごっこ、散華三味、蘭より光へ、宣

傳地獄、身を傾して、二人水兵戀行脚、胡の足
ユニバーサル社映畫
慕遊デニー、突飛な悪人、美しの踊子、猫とカナリヤ、南京小僧、雲勇ギブソン、大自然を敵として、天空の修羅王、天空魔王、御身者御發展、怪探偵ブレーク、デニーの俄か探者、翼の踊き、新大學生々活、焼餅騒動の巻下、無敵砲一番乗、支那のおぼむ、ある男の過去、降伏、法螺吹靴屋大當り、南京豆小僧天空の巻、舞踏學問早變り、珍サーカス王、裁かる、魂、戀と學問、君が命捧げん、私のババさん、長屋騒動巴里の巻

メトロ・ゴールドウィン社映畫

ビツクバレード、明眸罪あり、真紅の文字、美人帝國、惡魔の曲馬劇、海軍士官候補生、マンダレイへの道、イバニエズの激流、拳闘屋キートン、戀愛大擴張、フボエム、陽炎の夢、劍俠時代、東は東西は西、紅唇百蓮華、踊る英雄、新舊戀の三段返し、ジョニー髪を切れ、からくり四人組

ワーナー・ブラザース社映畫

ドンファン、極光に叫ゆ、珍勇亂舞、操り人形糸繰ひ、嵐の花嫁、隨樂トンボ三

イギリス映画

情熱の海人、コルネル及びフォートラン
下島の大海賊、追憶

邦樂

この一年間（昭和二年八月—三月
七月）における邦樂界の現象—
それは著しく目立つものはない、
が、たゞ何となく動いてゐる。あ
る建設に向つて地盤ならしをやつ
てゐることはどうも間違ひなきさ
うだ。

ラヂオに並行する邦樂趣味の普及
はどうだ。蘭入、一中、新内、荻
江、河東、等曲などの邦樂界の御
隠居さへ新時代の照明を浴びて御
頭は大躍をあげる世の中だ。また
JOBKなどでは稽古放送を始め
て杵屋佐吉、竹本叶太夫、哥澤芝
金、中尾都山、清元梅吉……とい
ふ名流がマイクを通じて萬長屋
の講左衛門にさへ「調子は本調子
……トン、タン、タンでござんす
と」といふ御親切な御手ほどきを

してくれる。まつたく邦樂の民衆
化である。

普及に伴ふ向上、これは近頃邦樂
が雲の上の御方の御耳にお達し申
上げる機会が頻々としてあること
だ。杵屋佐吉がロンドンで秩父宮
殿下の御前演奏をしたとは昨年二
年鑑で述べておいたが昭和三年二
月東京麻布富士見町なる徳川義親
侯邸の御前演奏こそ或意味に於て
藝界空前の名譽でなくて何ぞやだ
御臨席遊ばされたのは、秩父宮、
高松宮、東久通御兩宮、朝香御兩宮
竹田宮大妃殿下の貴き御方々、御
前演奏の光榮者は吉住小三郎、稀
音家六四郎、清元榮壽太夫、同正
太夫、榮次郎、芳村伊四郎、杵屋
和吉以下数名であつた。

こゝに期待すべきは来るべき十一
月の曠古の盛典に際して邦樂界に
如何なる抱負と準備があるだらう
か？ これは斯道の名家にとつて
は必ず腹案があるのだらうと思つ
てたら、果して五月廿八日乗杉東
京音樂學校長は顧問吉住小三郎、

等）七、越後獅子（孝次郎、勝太
郎等）

であつた。第三回の女流演奏大會
は六月二十六、七日東京帝國劇場
で、又關西支部では四月廿七朝
日會館で開いたが、これは大した
反響はなかつた。

かうした機運の醸成は、個人にあ
つては杵屋佐吉が麹町區元園町に
長唄學校を設けて寄宿舎制度の下
に組織的な長唄教育を發願した。
又杵屋榮藏は所藏文献を公開して
長唄圖書館建設を意企した。又杵
屋和吉、芳村伊四郎を中心とする
東樂會では十月古曲「虛無僧」を紹
介した。

この一年間の長唄界の事件として
前年に引續いて、もとの芳村孝三
現在の長唄富次郎對長唄協會問題
で協會では除名して相當壓迫を加
へてゐるらしいが、富次郎側の後
援者が強固で頑として譲らせない
相變らず獨立獨歩で長唄富次郎獨
唱會などを備してゐる。それにひ
きかへ富次郎問題を起すべき原因

清元延壽太夫、常磐津文字太夫等
の各家元を招集して、御大典記念
事業大演奏會の新曲奉作について
協議した。この新曲は歌詞曲譜と
も兩陛下に奉獻するものだからで
蓋し昭和新政の國家樂として必ず
や六千万同胞の期待にそむかぬも
のが謹作されるとだらう。それと
同時に同校では大禮奉祝和洋樂大
演奏會を催し、雅樂（宮内省雅樂
部）能樂（觀世宗家）常磐津（文字太
夫）清元（延壽太夫）長唄、等曲と
それと、その奉祝曲を上演するさ
うである。

とにかく唯一の官立音樂學校であ
る東京音樂學校長に乗杉嘉壽氏を
迎へたことは、ある意味において
當局が邦樂への心眼の開けた事實
を物語るもので、從來の洋樂中心
主義に併せて我國固有の邦樂の研
究、教授の必要を認め、新に昭和
四年度から豫科一年、本科三年の
邦樂部を設けることとなり、初年
度豫算四万円を計上、文部省に提
出したが、我國固有文化の宣揚に

である大正十五年秋に喧嘩別れと
なつた芳村孝次郎、杵屋勝太郎の
仲は何時の間にか仲直りが出來て
四月十一、十二兩日長唄清明會を
東京日本橋俱樂部に發會した。
多年劇場に出勤してゐた杵屋佐吉
が昭和二年の暮突然佐次郎、佐三
郎、松島庄三郎、阪田鎌次郎等の
一門一族を率ゐて劇場引退を聲明
した。これは一面杵屋榮藏一派に
對する反感かの如く噂されたが、
事實は専心長唄研鑽の機會を得ん
眞意であつて、のち松竹側との話
がつき松竹長唄音樂部が組織せら
れるやその部長として從來の受負
制度でなく給料制度で迎へられた
かうして佐吉の多年理想だつた藝
道精進の目的は達せられた。
改名者は阪田鎌次郎が杵勝家元及
び杵屋勝太郎の推薦で三月亡父四
世の名跡を襲ひ五世杵屋勝五郎に
望月長佐久は三月亡兄の名跡を襲
ひ、九世望月太左衛門となり望月
の家元格となつた。

専念する近來の國情よりしてそれ
はいと容易く通過するものと思は
れる。その内容は從來小規模なか
らあつた能樂科、等曲科を系統的
なものとし、長唄科を新設して吉
住小三郎、芳村孝次郎等が招聘さ
れるかも知れないと。

又、直接邦樂には關係ないが、萬
野辰之博士は名著「日本歌謠史」に
よつて學士院賞をから得、なほ畏
れ多くも博士は歌謠史研究につい
て約一時間半、赤阪離宮において
天聰に達し得る光榮さへ荷つたの
であつた。

さうして博士多年の集成であつた
日本歌謠集成は一般市井に公刊さ
れたとも、この一ヶ年の特記すべ
き事實であつた。

久しく空位のままだつた長唄協會
の會長に小笠原長幹伯を戴いた長
唄協會の活動は、長唄界の貫流だ
けにさすがに影響するものが頗る
多かつた。

長唄

禰の母六濱は十月一日藥山の別荘
に逝く、享年七十四。
一年間の重なる新曲は杵屋佐吉の
「ヴェニス」の夕「月雪花」研精會の
「酒」杵屋利吉の「芳流園」など

長唄界なる會名
研精會、研精獎勵會（吉住小三郎、稀音
家六四郎）
鶴命會、芳村會（杵屋榮藏）
正調會（芳村孝次郎）
芙蓉會、早苗會、紫野會（杵屋佐吉）
寶櫻會（望月太左衛門）
東樂會、和合會、おきな會（杵屋和吉）
東樂會（杵屋勝太郎）
六世會（杵屋六）
杵屋勝樂會（杵屋勝三郎）

常磐津

長唄協會に刺激されて成立した常
磐津協會は成立一年後九月廿四、
五兩日東京歌舞伎座に初めて演奏
大會を開き、文字太夫、三藏、松尾
太夫、文字兵衛、佐喜太夫、古式部、
操太夫、勝藏等が出演、發會を記念
する意味で平山蘆江の作歌「高砂
聲」上下巻を、上を文字太夫、三

まづ（一）長唄會館の設立計畫
——これは五十万円の株式組織に
して約二千人の大講堂と、五百人
の小講堂によつて成立し場所は麹
町といふことで、近き將來に實現
の可能性はあると見る。（二）長唄
各派の音譜統一を目的に副會長松
平頼和子を委員長に、杵屋佐吉、
杵屋榮藏、吉住小三郎、福原百之
助、田中傳左衛門、望月朴清、望
月長之助が委員に選ばれた。（三）
中内蝶二作歌「雛祭」の作曲を會員
より募つて杵屋佐三郎、榮次郎が
詮釋に上りこれを發表した。（四）
演奏會として、十一月廿九日市村
座にて幹部技藝員演奏會を催し、
二月廿六日東京歌舞伎座における
第二回の演奏大會には珍しく吉住
小三郎も出演、曲目は

一、梅の榮（伊四郎、六三郎等）
二、翁三番叟（音藏、榮藏等）
三、雨乞其角（六左衛門、佐吉
等）四、有喜大盡（小三郎、六四
郎等）五、秋色種（伊十郎、寒玉
等）六、舟弁慶（伊四郎、和吉

蔵が、下を松尾太夫、文字兵衛が作曲演奏し、作曲は豊後橋、古式部が校訂して常磐津、岸澤の新舊派大同團結の實をあげて常磐津界空前の盛況であつた。

この新舊兩家元の提携は明治座六月興行三津五郎、奨助の「勢獅子」に廿五日間の興行中、上半は文字太夫のワキにもと新派の佐喜太夫が勤め、下半はもと舊派の彌生太夫、三味線は古式部を初見、岸澤一派で勤めた。これを機として兩者は益々接近し、又家元文字太夫の劇場出勤も殆ど異例といつてよい程であつた。その他協會の仕事として第一回女流大會を三月廿七、八兩日日本橋俱樂部に開催。

一年間を通じて目星しい業績は松尾太夫が常磐津研究會に古曲「善知鳥」を文字兵衛は「二月堂」を紹介、物故者は常磐津金藏が五月五日四谷の自宅で逝去、享年八十五、常磐津界最高齢者。
常磐津界重なる會名
家元常磐津會(松尾太夫)

清元

常磐津研究會(松尾太夫、文字兵衛)
常磐津演奏會(三藏)
常磐津正派(勲右衛門)

清元界も相變らず延壽太夫の宗家派と梅吉、喜久太夫の清元流組合派の脱合ひが續いた。が梅吉の對社會的活動は目星しいもので、二年八月十八日夕には東京日比谷公園音樂堂で野外演奏を開いて、北原白秋新曲「紅提灯」「三社祭」「神田祭」「六玉川」「喜撰」「舞踊」「北州」と、卅人近いメンバーで大演奏して、大いに清元の民衆化の實際運動をやつた。又、梅吉は清元三味線正譜に着手し「梅の春」「神田祭」などを發表した。新曲として坪内逍遙の「お夏狂亂」を常磐津から移植した、山岸荷葉の「本町育戀の紺暖簾」岡鬼太郎の「かながき娘節用」をそれと清元研究會に發表し、また九月新橋演舞場に出る片岡仁左衛門のために「新口村」を清元へ移したのであつた。

うた澤その他

芝派哥澤のだらしなさ——姉妹か

一方宗家派でも組合派に劣らぬ仕事をしたのである。まづ特筆すべきは故岡村村紅の「幻術久」を作曲し六月の歌舞伎座に菊五郎の振りに延壽太夫、桂壽郎親子の獨吟が相當問題にされたことと、二月の清元會で延壽が古曲「十二段」を紹介したことだつた。とにかく、清元二派の分立といふものは双方相拮抗して譲らぬところに斯道の進歩をうかゞはせるのだが、この形勢では二、三四年では元の輪に納めることはまづむづかしいと觀測されてゐる。

物故者は組合派の元老清元家内太夫が二月十九日千葉縣市川町の自宅で逝去、享年七十一。
清元界重なる會名
清元會(延壽太夫、榮壽太夫)
清元研究會(喜久太夫、梅吉)
一枝會(梅吉)
清元絃正派(太兵衛)
清元研精派(吉太郎)

哥澤溫習會、哥澤會、研究會(芝野島)
歌澤松聲會(相模、寅右衛門)

かうしたうた澤界のだらしなさはだんく堀派、田村派の小唄に勢力を侵蝕され、取分け堀派は近來頓に頭を擡げるに到つた。一中節は菅野序遊一派だけがとにかく命脈を保ち、宮本節は女傑富本豊前、都路母子の豊前會が細々として氣を吐いてゐるに過ぎず、蘭八、萩江節などはチヨイ／＼ラヂオに放送されるほか記録に止める程の業績もなく、平岡吟舟を家元とする東明節は二年の十月東京本郷座で三津五郎、時藏の東明節「うぶや」を出した時に、梅元梅吉一派が東明節を演奏したのは注目された。

義太夫

義太夫の道場文樂座は前年に引續いて大阪道頓堀弁天座の假宅興行で相も變らず振はない。三年の正月の如き初春興行さへしなかつたが、恐らくこれは文樂座初まつての異例ではなかつたらうか。

舞踊

寺に奉納したが、扇額日本全國の太夫三味線の名を網羅し、天地五尺五寸、幅九尺五寸大のもの。物故者では先代大隅太夫の高弟で近松屋の立者だつたが久しく引退してゐた竹本春子太夫が五月五日病歿、享年六十一。
女義界の立者竹本小清が二月八日芝區三田一の尾上菊五郎邸で歿死享年六十五。

一方文樂座の本建築問題も舊の御靈神社境内では絶対に許可されぬものだから、敷地について相當松竹當事者の頭痛の種となつたが結局南區佐野屋橋南詰、舊の近松座あとのビルヂングを改築して根をかへすと定り、最初は三年四月までに引越すかの噂もあつたが商談進捗せぬらしく、松竹の自井社長は是非秋の御大典までに完成して、貴賓の接待用にしたい心組なのだが、モウ一つ事が運ばないらしい、果して十一月までに實現出来るかどうか、第三者はあやぶんでゐる。

文樂の外形まづ就つたとして、内には依然沈滞沈滞で、この一年は珍しく藝人の出入もなければ、改名披露もなく、目星しい事件とて何等記録に残すべきものがなかつた。たゞ一つ大隅太夫が四月興行に先代の極付「花の山壺監驗記」を語るを機會に先代の遺志を果すために津太夫、友次郎、松竹合名會社が發起人となり、扇額を壺阪

ひとしく花柳壽三郎が振付けた大阪松竹座の春のをどり「五色の花」も日本式の團體舞踊であつた。松竹もこゝに着眼して春のをどりの研究のために海外へ派遣した。かうした實録、松竹座の春のをどりの團體舞踊的傾向は、個人本位の春の春のをどりをしてだんく世の好尚からとり残さしめるに到つた。これについて議論は省く。とにかく東西各座の春の踊を左表に示しておくだけに止める。

- 大阪堀江木の花踊 御代の光(若柳)
- 大阪南地あしべ踊 日本風俗誌(山村、煤茂都)
- 大阪新町浪花踊 幸の春(若柳)
- 大阪北陽浪花踊 大文(花柳)
- 京都祇園都踊 旭の輝(井上)
- 京都先斗町 光の春(若柳)

囃執融和は幾度びか兩家後援の有力者によつて企てられながら實現にいたらない。殊に春ごろから中御門侯、三井元之助の有力者の幹旋により双方大分歩み寄りをはじめ梅若万三郎、觀世鐵之丞の如き意大いに動いてゐるのだが、たゞ梅若六郎一人が頑張つて梅若家の面目から復歸を肯ぜない。が梅若六郎一派をとり残して觀世宗家、万三郎、鐵之丞を同じ舞台に見ることとは遠い將來でなからう。

能樂の民衆化は世潮に順じて雖も異論はなく、大阪毎日新聞主催の大阪公會堂における梅若演能、又朝日新聞側の東西朝日會館における聯合能は春秋二季の行事とさへなつたが、又例外的に傳統を保守する空氣も幾分か残されて、觀世宗家の愛弟子だつた淺見健氏が、大正十四年邊りから林博太郎伯が宰領する後援會で演能を催して民衆化を企てたことが、その當時宗家の忌諱に觸れ、淺見氏が自發的に後援會から身を退いて、二年の

東京新橋東踊

千代の始(藤間、花柳) 純粹なる舞踊藝術運動として擧ぐるの新人花柳壽輔の花柳舞踊研究會は第一回以來の試み時代を過ぎて十一月二十三日帝國ホテルの第八回には新しい振りも格も崩さず、古きも陳腐に流れないで一流の品位を保つところに進歩を見せるに到つた。壽輔の「松の緑」佐吉曲の「隅田の四季」「手習子」「橋弁慶」「春の訪れ」「瘤とり」といふ曲目であつた。一方惜むべきは西の新人煤茂都陸平が多年主宰してゐた舞踊協會は父屬性的の跡をつぐために、傳統尊重派の反對で遂に新舞踊を封じられて、ひいては舞踊協會解散を二年十二月限り聲明したのは何とも残念の次第。菊五郎門下の舞踊團體七曜座も相當仕事をした、殊に九條武子夫人の最後の作「四季」を上演したが、それが九條夫人危篤の折柄だつたので一代の佳人を惜む心持が舞踊

十月宗家先代清藤氏の十七回忌追善能を機會に復歸すると豫測されてゐたところ突然破門となつた。これはやはり傳統因襲の一端と見るべきであらう。人事消息として、觀世宗家元滋が先代追善と同時に左近を襲名、その他震災と同時に焼失した寶生以下の能舞台がこの一ヶ年を通じて着々復興されて耐震的文化装置を加へたことを付記しておかう。

洋 樂

過渡期のがが洋樂界(一九二七—一九二八)は一九二七年度春の樂季から果然輩出した新進樂人によつて從來既成樂人によつてのみ占められてゐた樂壇の分野が開拓されることとなつた、所謂新進樂人のリサイタル(獨奏會)の勃興がそれである、從來固定した既成樂人の活躍にのみ委して顧みなかつた好樂家は、これらの發掘たる新進樂人の進出活躍を好奇の眼と

を見る人、踊る人ともに融けこむ一種の異つた空氣を醸したのだ。惜まれる大阪舞、吉村、山村、煤茂都流保存の聲が、相當力強いものとなつて、新町座が率先してこれに着手したことは前述の地唄の項で述べた通りである。一般舞踊界からいへば大した現象ではないが、大阪新町の名妓大西席菊吾が二月大阪松竹座を振り出しに神戸名古屋京都の各松竹座に「鏡獅子」一つを掲げて出演した。これは舞藝の社會的進出といふ意味で相當に注目された。

この社會的進出といへば二年の秋の大阪座の温習會には、大阪毎日新聞社と鐵道省とが推薦した日本新八景に取材した舞踊を挿んだことだつた。即ち堀江の「川山雲棧橋」は木曾川と雲仙岳を、新町は「室戸岬」に土佐日記を、北陽は「日本八景」一巻を……これは單に新聞社、鐵道省の宣傳でなく、新詩材の開拓として喜ぶべき一現象であつた。

能 樂

南地遊廓では秋の温習會のかかりに春のあしべ踊の大詰に藤岡の雲仙岳を選んだ。その他大阪松竹座でも「八景をとり」がその當時すばらしい人氣を呼ぶに至つた。個人消息として歌舞伎の振付で由緒のある藤間勘十郎の名跡を藤間宗家の諒解を得て梅幸、菊五郎の幹旋で、梅幸の弟子尾上梅雄が六代目を襲名したのは二年の秋であつた。日本青年館における郷土舞踊會は第三回を四月十三日から二日間開いて左記の郷土舞踊を紹介した。廣島縣山縣郡新庄村の「舞し田」沖繩縣八重山石垣島の「アングマア踊」鳥取縣東伯郡高城村の「追掛節」東京淺草區千束町の「びんざら舞」高知縣土佐郡鏡村の「太刀踊」青森縣三戸郡八戸町の「ねんぶり」

好意の耳とを以て迎へた。この現象は同年秋の音樂シーズンにおよんでも容易にやまうとはしなかつた。それは丁度一人の先驅者が勇敢に因襲を破つて自己の藝術を世に問うたのが動機となつて從來滿を持して放たなかつた新進の樂人がわれもくゝとこれに倣ふといふやうな現象とも見ゆるものであつた。事實春の樂季を過ぎて(昭和三年毎日鑑參照)七月に入つてもイタリ歸りのドラマチック・テナー奥田良三君が帝都の樂壇に初のデヴューをなし、七月十日にはリサイタルではないが高橋是清翁の令孫小百合嬢までがソプラノ歌手として晴れの集立ちをした、秋になつてテナー松永春一氏が未來派の歌曲にアメリカ歸りの新しさを見せれば久しくイタリに行つてゐた日下部ヨランダ嬢が洗練された女流ピアノリストとして樂壇に歸り咲きをなし船橋榮吉氏もドイツ留學から歸朝した等々、この新人輩出は越えて一九二八年の春

の樂季になつてもなほやまらず押すな押すな盛況を呈し遂には到底リサイタルを開く價値のないものまで出現するに至りさし寛大な好樂家をしてリサイタル制限論まで叫びしむるに至つた。然し靜觀すればこゝにも過渡期の姿は認め得られるわけである。一方一九二七年の秋の樂季には八月グイタタ一赤盤吹込以後最初の歸朝をした藤原義江氏が全國五十數回の演奏旅行をなして樂壇人をアツといはせた、その藤原義江氏は同年末又復外遊の途に上り越えて一九二八年五月にはロンドンのローヤルアルバートホールに邦人音樂家として最初の出演をなした。前年來朝して樂壇を横行闊歩してゐたモギレフスキー、プリンダー、エルデシコ、キティン兄弟及び同年秋來朝して秋の樂季を飾つたピアノリストのベニノ・モイセイウイチ、マキシム・シヤビロ、セロのシユビールマン等々の樂人も夫々歸國してわが樂壇はやゝ平靜な空氣に還つ

一九二八年を迎へたのである、その間巨匠デニス・バリスト氏が來朝、妙技を振つたことは又特筆すべきことであらう、一九二七年が新人輩出とリサイタルの勃興の年とするならば一九二八年はシンフォニー・オーケストラ勃興の年といへるかも知れない。それは山田耕作氏と袂を分つて獨立した近衛秀磨氏の新交響樂團がその組織を益々鞏固にして毎月二回の豫約演奏會を開催、毎回非常なる成功を見せてゐた事のみをいふのではなく、内田信也氏の甥内田元氏が指揮者として東京シンフォニー・オーケストラを組織したのと小松耕輔氏の令弟で作曲家としても聞かされてゐた小松平五郎氏が國民交響管絃樂團を組織したことを以て見て、いひ得られるであらう。

その組織の點において新交響樂團とは同日の比でなく一歩も二歩も新聲に譲らざるを得ないが、とにかくにもシンフォニー・オーケストラ發達の一階段として音楽發達史上特筆大書すべきことである。又これらのシンフォニー・オーケストラの内新聲は五月シニユーベルの百年祭を催し、國民音楽協會はクロード・ドビュッシーの十年祭を催し、漸く勢力を得て來たフランス音楽のために氣を吐いた。この間一九二七年よりレコード會社として開いてゐたポリドール、コロンビア、ダイクターの各會社が順次日本に吹込所を設け、プレスを入し、從來やともすれば高價のため、に非難があつたレコードの大量生産を始め、ラヂオの普及發達と相俟つて音楽熱の普遍化を來した。

一方音楽評論界は格別の波瀾を見せなかつたが、たゞ邦語獨唱(邦譯歌)獨唱、提唱の永井郁子氏がその主張に余りに忠實なために評論家伊庭孝氏を誹謗したことから、兩者の間に小葛藤があつたが、それも樂壇の輿論を起す程度にまでは至らずしてやんだ。

人事消息

者の中に小葛藤があつたが、それも樂壇の輿論を起す程度にまでは至らずしてやんだ。多事なる洋樂界は一九二八年の春にはフランスの生んだ世界的提琴家ジャック・テイボーを迎へ、秋には女流提琴家として令名あるシリヤ・ハンセンを迎へ、秋の御大典を期しては近衛秀磨氏の御大典奉祝曲の發表となり、意氣深き一年を送ることとなつた。

- を記念してレスピアン・ゾーカルフ・オーアと名づけられた
- ▽モギレフスキー氏 一年間日本に親しんだモギレフスキー氏は十二月歸國することとなり、置土産として十一月十九日八十名からなるオーケストラを組織し、チヤイコフスキーの「交響樂第六番」を指揮した、氏に指揮の技術があることを知らなかつた樂壇は大いに驚ろかされた
- ▽ウエルクマイスタル氏 わが樂壇にセロをもつて廿年間奉仕した氏の死に、若いセリスト十二人が集り、謝意の十二重奏團を組織した
- ▽パウエル・シヨルツ氏 在日十五年を記念して全部初演のピアノ曲を發表し、九二七年度の冬の樂季の最後を飾つた
- ▽近衛秀磨氏 一九二八年一月合唱附御大典奉祝曲の作曲に着手した、曲は二百人以上の合唱者と男聲二人女聲二人の獨唱者を要するもので、御大典の前夜に發表の筈、なほ同氏は七月の宮城道雄氏と協同で華のコンチエルトの作曲にも着手した
- ▽トリア・ポツパー ポーランド生れの十二歳の少年提琴家一月再度の來朝をしたが、余り演奏會も期せず六月歸國
- ▽甲斐美和子 アメリカ生れの少女ピ

洋 樂

- アニストで昭和二年末歸朝した、天分に恵まれた人で昭和三年になつて數回演奏會を開催した、先生は川崎前樂港總領事夫人イデス女史
- ▽ネトケ・レーベ夫人 東京音樂學校教授の女史は昭和三年三月歸朝を得て、故國ドイツへ歸つた、秋再び來朝
- ▽ローゼン・シユタント氏 セロのウエルクマイスタル氏を頼つて昭和三年二月來朝、クワイツァ教授の門下で演奏會を開催した
- ▽荻野鏡子氏 女流詩人深尾須磨氏と三年間のパリ生活をやつて昭和二年末歸朝した氏は歸朝後歸郷の獨唱會を開いてから女流ハーピストとして四月新聲に參加した
- ▽藤山英子嬢 少女ピアニストの同輩は同じ伊東真直氏門下の西澤操嬢と二人ドイツに行くこととなり四月を別演奏會を東京に開いた
- ▽井上園子嬢 甲斐美和子、藤山英子嬢等と共に少女ピアニストとして顯はれてゐる同輩は四月第一回のピアノリサイタルを東京に開催した、少女ピアニストの獨奏會はこれが最初
- ▽永井美奈子嬢 阿部秀子氏の門下でアルト歌手の同輩は昭和三年四月第一回獨唱會開催樂壇に出た

- ▽土川正浩氏 藤原直氏の門下で昭和三年度國立高等音樂院を卒業四月第一回のピアノリサイタルを開催
- ▽關根子夫人 往年の花形歌手の同氏は新劇俳優小野定吉氏と結婚してから久しく樂壇を離れ夫と共に新劇方面に關係してゐるが、又復ソプラノ歌手として樂壇に返り、四月更生第一回の獨唱會を催した、早川美奈子氏(現姓平井)なき樂壇に關子夫人を得たことはいろ／＼の意味で賑やかさを増すものであらう
- ▽白濱つた子 ソプラノ歌手の同氏は上野卒業後數年間沈黙を守つてゐるが、遂に昭和三年五月第一回の獨唱會を開いた
- ▽木田恒子夫人 古いソプラノ歌手として令名があつた夫人は右の白濱つた子嬢の獨唱會に十數年振りて伴奏を務めた
- ▽山本忠直氏 指揮學を専門に研究のためドイツに留學してゐる同氏は昭和三年四月歸朝、五月新聲を使つて第一回の演奏會を開いたが大體新聲に參加することとなつた
- ▽一柳信二氏 セリストの少い樂壇にパリ仕込みのセリストとして歸朝、五月演奏會を開いたが同氏は四年間パリ

- くことを發表、十一月七日郵船諏訪丸で出發した
- ▽渡邊宜子氏 ソプラノ歌手の同輩は提琴家田中英太郎氏と結婚し、田中を名乗る
- ▽山田耕作氏 日本交響樂團分裂以後孤城に立て籠つてゐるが九月廿四日、日比谷で再興第一回演奏會開催したが、唯一回だけで挫折するに至つた
- ▽ベニノ・モイセイウツチ氏 ロシアのピアニスト昭和二年九月廿六日から五月間帝國にピアノリサイタルを開催間もなく歸國
- ▽船橋愛吉氏 東京音樂學校からドイツ留學中の同氏は八月歸朝した
- ▽小松耕輔氏 我國最初の音楽競技會を計、十一月發表
- ▽松永一氏 十數年間アメリカに放浪してゐるが歸朝、未來派の樂人の色彩を發揮した
- ▽チンパリスト氏 三度目の來朝をなし、昭和二年十一月末帝國に出演
- ▽シャルフ・エエツ嬢 日本に生れ九ロシアの三人姉妹は十一月水入もずの演奏會を催した
- ▽松平佐登子氏 は十一月佐藤美子、内田榮一、田谷力三の三氏と共に四重唱團を創設、レスボスの女詩人サツフオ

演奏會一覽

昭和二年七月 十日 第一回家庭音樂會(主催小園會午後七時、報知講堂)
奥田良三氏歸朝披露獨唱會(午後七時半日本青年館) 廿三日 モギレフスキー教授大音樂會(午後七時、日本青年館)

八月 十六日 歌劇の夕(午後七時 比谷音楽堂)
 九月 四日 藤原江歌迎奏會(午後七時比谷音樂堂) 十一日 藤原江歌迎奏會(午後一時帝國) 十四日 エルデンコ提琴演奏會(午後七時比谷音樂堂) 廿四日 交響樂演奏會指揮者山田耕作(午後七時比谷音樂堂) 廿五日 新交響樂團第二樂季第一回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿六日 新交響樂團第三回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿七日 新交響樂團第四回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿八日 新交響樂團第五回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿九日 新交響樂團第六回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 三十日 新交響樂團第七回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館)

▽ベイトーベントリオ演奏會(午後七時 半報知講堂) 婦人共立育兒會慈善音樂會(午後二時日本青年館) 九日 川崎任第二回獨唱會(午後二時三會堂) 十日 春一獨唱會(午後六時半主婦之友社講堂) 十六日 東京アマチユアマユウジカ・ソサエタイ第一回演奏會(午後二時主婦之友社講堂) 十九日 ハイドウン・タルテツト十九回演奏會(午後七時日本青年館) 廿一日 宮原次郎第二回作品發表音樂會(午後六時日本青年館) 廿二日 新交響樂團第三回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿三日 新交響樂團第四回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿四日 新交響樂團第五回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿五日 新交響樂團第六回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿六日 新交響樂團第七回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿七日 新交響樂團第八回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿八日 新交響樂團第九回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿九日 新交響樂團第十回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 三十日 新交響樂團第十一回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館)

交響樂團第五回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十三日 高辻威長提琴演奏會(午後七時日本青年館) 十六日 日下部ヨランダ第一回ピアノ獨奏會(午後二時日本青年館) 三樂人演奏會(午後六時半日本青年館) 十九日 モーリス・スキーン氏室內樂演奏會(午後七時日本青年館) 二十日 コーラチエリヤ合唱音樂會(午後二時日本青年館) 廿一日 田中英太郎提琴演奏會(午後七時比谷音樂堂) 廿二日 鈴木三雄提琴演奏會(午後七時比谷音樂堂) 廿三日 ダス・ユトリオ第一回演奏會(午後七時日本青年館) 廿六日 日下部ヨランダ第二回演奏會(午後七時帝國) 廿七日 日下部ヨランダ第三回演奏會(午後七時帝國) 廿八日 日下部ヨランダ第四回演奏會(午後七時帝國) 廿九日 日下部ヨランダ第五回演奏會(午後七時帝國) 三十日 日下部ヨランダ第六回演奏會(午後七時帝國)

音樂會(午後一時日本青年館) 十一日 新交響樂團第七回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後二時日本青年館) 十四日 藤原江歌迎奏會(午後七時日本青年館) 十五日 藤原江歌迎奏會(午後七時日本青年館) 十六日 第五回オラトリオ演奏會(午後七時日本青年館) 十八日 新交響樂團第八回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後二時日本青年館) 十九日 新交響樂團第九回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿一日 ショルツ氏ピアノ獨奏會(午後七時日本青年館) 廿二日 モーリス・スキーン教授特別演奏會(午後七時日本青年館) 昭和二年一月 十二日 日下部ヨランダ提琴演奏會(午後七時帝國) 十五日 新交響樂團第九回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後二時日本青年館) 廿二日 新交響樂團第十回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 廿九日 新交響樂團第十一回豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 二月 三日 和泉千代ピアノ獨奏會(午後七時半報知講堂) 八日 日下部ヨランダ提琴演奏會(午後七時帝國)

ル・ワラフ・ピアノ獨奏會(午後七時 日本青年館) 十一日 吉田敬夫提琴演奏會(午後二時半報知講堂) 十二日 新交響樂團豫約演奏會(指揮者ユージェヌ・クレイ) 十九日 國民交響樂團第一回發表演奏會(午後七時三會堂) 廿五日 植村謙子第一回獨唱會(午後七時日本青年館) 廿六日 新交響樂團豫約演奏會指揮者ケムヒ(午後二時日本青年館) 三月 三日 日下部ヨランダピアノ獨奏會(午後二時日本青年館) 四日 ローゼンシュタットピアノ獨奏會(午後二時日本青年館) 六日 矢追婦美子獨唱會(午後七時三會堂) 七日 新交響樂團豫約演奏會(午後七時日本青年館) 十一日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後二時日本青年館) 十八日 古川勝雄第二回獨唱會(午後七時帝國ホテル演奏場) 廿一日 ネットケ・レゾエ夫人告別獨唱會(午後七時日本青年館) 廿一日 ヴォーカル・フォーア・歌劇の夕(午後七時日本青年館) 廿四日 新交響樂團豫約演奏會指揮者ケムヒ(午後七時日本青年館) 廿五日 秋田鼓子第一回ピアノ獨奏會(午後七時帝國ホテル演奏場)

四月 一日 東京シンフォニーオーケストラ成立發表演奏會(午後七時日本青年館) 八日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 伊東貞雄氏門下生演奏會(午後二時日本青年館) 十七日 ホツバ少年演奏會(午後七時日本青年館) 十八日 土川正浩ピアノ獨奏會(午後六時半報知講堂) 二十日 三浦牧子獨唱會(午後七時三會堂) 東京シンフォニーオーケストラ第一回定期豫約演奏會指揮者内田元(午後七時日本青年館) 廿一日 西洋英和演奏會安藤幸子、小倉末子、ウエルクマイステル三氏演奏會(午後二時日本青年館) 廿二日 スタンピアノ獨奏會(午後七時日本青年館) 廿三日 永井美奈子第一回獨唱會(午後六時半報知講堂) 廿四日 新交響樂團豫約演奏會(午後七時日本青年館) 廿四日 國民交響樂團豫約演奏會小松平五郎(午後七時日本青年館) 廿五日 國民音樂協會音樂會(午後七時日本青年館) 廿八日 湯山光三郎第三回獨唱會(午後六時半報知講堂) 廿九日 夫人獨唱會(午後七時日本青年館) 井上蘭子ピアノ獨奏會(午後七時日本青年館) 廿九日 飯井孝獨唱會(午後二時日本青年館) 五月 四日 ハイドウン・カルテ

ワト第廿回演奏會(午後七時三會堂) 五月 第二回音樂會(午後七時日本青年館) 五日 伊藤藤雄ピアノ獨奏會(午後二時日本青年館) 武岡代獨唱會(午後七時半報知講堂) 三宅總太郎作品發表演奏會(午後七時半報知講堂) 安藤幸子、コハンスキー、ウエルクマイステル三氏演奏會(午後七時半報知講堂) 井上蘭子、ユーベルト獨唱會(午後七時日本青年館) 十日、十一日 フランツ・シュニベル百年祭指揮者近衛秀麿(午後七時朝日講堂) 月岡謙之助獨唱會(午後六時國民講堂) 十二日 立松房子獨唱會(午後二時日本青年館) 東京シンフォニーオーケストラ第二回豫約演奏會(午後七時日本青年館) 平岡兼一木琴獨奏會(午後七時帝國ホテル演奏場) 十三日 ルーネスタキントツト發表演奏會(午後七時半三會堂) 十六日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十九日 ヴォーカル・フォーア第一回研究發表演奏會(午後七時半日本青年館) 沖不可止セロ獨奏會(午後七時半三會堂) 廿一日 白濱つた子第一回獨唱會(午後二時半講堂) 廿四日 川崎任第三回獨唱會(午後七時日本青年館) 廿六日 毛利幸尚獨唱會(午後六時半講堂) 廿六日 毛利幸尚り五日間 ジャック・テイボ提琴獨

奏會(午後七時帝國) 廿七日 甲斐義和子洋琴演奏會(午後二時日本青年館) 六月 一日 シンフォニーオーケストラタケキ(午後七時日本青年館) 二日 宗教音樂會(午後七時半主婦之友社講堂) 三日 若谷第一回演奏會(午後二時半三會堂) 五日 柳信二セロ獨奏會(午後七時半三會堂) 六日 山本直忠氏朝歡迎管絃樂演奏會指揮者山本直忠(午後七時日本青年館) 八日 戸田早苗提琴獨奏會(午後六時半國民講堂) 九日、十日 東京音樂學校演奏會指揮者ラウトルツ(午後二時同校講堂) 十日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十一日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十二日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十三日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十四日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十五日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十六日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 十七日 國民交響樂團第三回演奏會指揮者小松平五郎(午後七時日本青年館) 十八日 開關子獨唱會(午後六時半日本青年館) 廿四日 新交響樂團豫約演奏會指揮者近衛秀麿(午後七時日本青年館) 七月 廿六日 ストウビンセロ獨奏會(午後七時日本青年館) 八二五

ラヂオ

西曆一九二〇年一月十七日(大正九年)初めて米國がラヂオの放送を開始してから、僅に八ヶ年にして世界を風靡した放送無線電話は今や全世界を通じて放送局數一千五百余におよび聴取者は、各國その状況を異にするとはいへ、世界の主要國はこぞつてラヂオの發達に努めた結果、ラヂオの黄金時代を實現し、米國の如きはラヂオを通じて四千万の國民に同時に話することが出来るといひ、英國は二百三十九万五千余の聴取者を數へ、ドイツもまた二百九千の聴取者を有して歐洲第二位と稱し、放送加入者の平均は全國人口の三分二厘で、而も大ベルリンではその人口百人につき十二人余におよび、ロンドンの約八人、ニューヨークの約六人に比するとラヂオの加入者數の多いことにおいて世界大都市中第一位であると誇つてゐる。

ラヂオの急激なる發展は實に驚くばかりで、廿世紀における國民文化の標準はラヂオの普及如何によつて定められんとしてゐる。娯樂に初まつたラヂオは今や各國の文化教養機關として、重要事項の傳達機關として利用せられてゐるが、歐洲各國では更に國際放送聯盟を組織し、中繼線によつてプログラムを交換して各國の民族藝術の眞の美に接せしめ、理解せしめ、遂にその精神に觸れることも可能ならしめ、以て平和の源をたらしめんとさへ考へられて來た。最近一年間に最も發達し來つたのは有線中繼放送であり、この有線中繼放送は更に進んで、葡萄狀に放送局を結びつけた連鎖放送となり、一地方において演ぜられた國民藝術をそのまゝ、遠隔の地に中繼して同時に放送してゐる。ラヂオはこれに止まらずテレビジョンの力を借りて音響のみならず視覚に満足せず、更に眼で見らるゝ總ての現象をも同時に放送せんと研究

せられるまでに發達し來つた。このテレビジョンの出現よりも一歩を先んじてラヂオ放送に一大勢力を與へ、世界的連鎖放送即ち國際ラヂオプログラム聯盟の上に光明を與へんとしてゐるのは短波長によるラヂオ放送である。現在世界における百以下以下の短波長で通信してゐる局は約四百に及び、その内オランダのフイリツプス局(PCJJ)を最大として無線電話により世界的に音響なり、スピーチなりを放送して、短波長ラヂオの威力を發揮してゐるもの既に二十八局を算するのである。そして國際的ラヂオ放送はこの短波長ラヂオによつて初めて實現すべきことを證據立てゝゐるのである。

世界のラヂオ

次に海外諸國におけるラヂオの發達並に放送上における特殊なる施設および傾向の重なるものを摘記してみよう。

から一九二四年に一千五百局のラヂオ放送局が許可せられた米國では聴取特許制を布かなかつたため放送局の經營困難に陥り一九二六年には、その約半數が閉鎖するに至つた。そして殘余の局も互に混信から逃れかつ自己の勢力を擴張するため、お互に大電力の競争となり、十、二十、終には「3XN局」の如き五十、といふ超電力放送局さへ實現した。只でさへ國內に七百近くの放送局があれば混信して分離できないのは普通である、まして電力が増大すれば更に混亂に陥るのは當然のことである。そこでこの電力競争は更に進んで放送内容の充實競争に移つた。經濟的で立派なプログラムを編成するためには多くの局が合同して同一のプログラムを放送するにしくはない。この競争の結果は遂に現在の連鎖放送網の形をとつて現れて來た。即ち勢力範圍を異にする數多の局が葡萄狀に有線電話で連絡せられ、一ヶ所で演ぜられたも

のが同時に各局から放送せられるといふ連鎖放送の實現である。米國では現在常設の連鎖放送網は東部地方に赤、青、紫の三組、太平洋岸に一組と四放送網ができ、赤組はニューヨークのWEAF局からプログラムを發し、主として東部諸州を管理し延長二千三百三十の電話網によつて十五放送局を連絡して同時に同一のプログラムを放送し、青組はニューヨークのWJZ局を頭として九放送局と連絡し、二千三百の中繼電話網を張り、赤組と共にナショナル放送會社が經營し、紫組はコロンビア放送網ともいはれ約二千五百の電話網を持つて二十余の放送局と連りニューヨークにスタヂオを有するWOR局からプログラムを送るものでユナイテッド放送會社の經營するものである。又太平洋組はロサンゼルス、サンフランシスコ、シヤトルその他太平洋岸の五都市に跨つて一千七百の電話網を持つナショナル放送會社の經營

ラヂオ

するものである。米國でこの連鎖放送網により最も多くの放送局を連絡した實例は一九二七年九月廿一日ニューヨークのラヂオ・インダストリーズ・バンクエットのプログラムを放送した時で前記四組の連鎖網の外に十三放送局をも加へて合計七十四局で放送し更に翌廿二日には一万四千二百の電話線を用ひカナダの二局を加へて六十九局で、全米の人氣を沸騰せしめたタニ・デンプシの拳闘大會の模様を放送し電話線使用のレコードを作つてゐる。この大連鎖放送の出現は混信分離を緩和するのみでなく全米聴取者の四千万人に同時に聞かすことができ、威力を持つてゐるのである。この經濟的放送システムは又世界各國で採用せられんとしてゐる。

英國の超電力放送計畫 英國では米國の超電力放送と連鎖放送網制を同時に採用して少くともアンテナ電力三十キロ以上の超電力を有する最新局を十ヶ所に建設しこれを五組の二重局に組合し、國內如何なる處においても二三ヶ所の放送局から自分の欲するプログラムを選択して、氣持よく聞き分け得るやうに施設せんと計畫を立て、この二重波長の超電力の新設局を先づ最初にロンドンに建設せんとし、一九二八年四月選信大臣の承認を得たと發表してゐるから一年余りで最初の建設局を完成するものとして注目せられてゐる。

英國放送協會は現在存在してゐる廿二放送局すら多過ぎるから漸次これを停止して前記の超電力二重波長の新設局に改造せんとしてゐる。そして「今後増設すべきものは放送局にあらずしてマイクrohホンである」といつてゐる。即ち放送プログラムを興味あり、實際的にらしむるためには演奏室を使用せずできるだけ多方面にマイクrohホンを設置し各方面から最も興味ある生きた放送材料を有線でこの新設せられた完全な放送局に取入れ

機を行ふ國際放送聯盟に向つて進
まんとしてゐるのである。

ベルリンは世界的ラヂオ都市
一九二四年(大正十三年)に開始せ
られたドイツのラヂオは四年四ヶ
月間に二十九放送局を建設し、ペ
ルリンの如きは第一、第二の二放
送局を設備し、ライプツヒ外七
放送局の放送電力を増加するため
に改造するなど施設の改良に努め
二八年四月には聴取加入者二百萬
九千八百余名、一躍して全歐洲を
通じて英國に次ぎ、ドイツ國內の
世帯数の一割三分がラヂオを愛好
してゐるといはれてゐる、殊に大
ペルリンでは最も良く發達し聴取
加入者の平均は人口百人に對し十
二人余でその普及率において世界
大都市中第一位であると豪語して
ゐる。

ドイツもまた國際的ラヂオプロ
ラムの交換に向つて研究を進め、
二八年三月十一、十三の兩日に亘
つて夜間英獨放送プログラム交換
の試験を行つた。なほ放送内容に

おいても各局その特長を發揮し、
ベルリンは演劇、活動寫眞が第一、
ライプツヒは經濟市況が重きを
なし、特別放送事項として交通と
勞働局の報告、公報勞働案内の通
達放送を行ひ、ハンブルグは船舶
の出入、海洋報告に力を入れ、ミ
ュンヘンは山岳、降雪、天氣豫報
についての放送を第一とするなど
地方的の特別放送をなすなど少
らざる考慮を拂つてゐる。更に進
んでドイツ放送會社ではラヂオの
精神的自由を保護し、その悪用を
防ぐためには出版法を如何なる程
度で、如何に適用すべきかにつき
「ラヂオとドイツ出版法」と題する
縣賞論文を募集してゐる。

ベルギーの實演放送
ベルギー放送協會では放送室内で行はれ
る音樂以外にブラッセル帝國音樂
學校、ルブアン音樂學校における
演奏、ブラッセル帝國演舞場の室
内における聲樂及器樂の演奏、更
に進んでアカデミー殿堂における
皇帝陛下御前に行はせられた嚴肅

なる會議なども出張放送し、運
動方面ではイタリー對ベルギーの
擊劍試合、フランス對ベルギー軍
隊の蹴球試合、オランダ對ベルギ
ー蹴球試合等をも放送するなど實
演放送を盛んに行つてゐる。

チエツコスロヴァキア國の連鎖
放送
米國で發展しつつある連
鎖放送は歐洲の新興國チエツコス
ロヴァキアでも同一のプログラム
が同國內いたる處で同時に聞かれ
る様に盛んに行はれて來た。同國
では現在三ヶ所の放送局が連絡せ
られてゐるが近き將來に完成を見
るコヂス放送局もブラーグ、ブル
ノ、ブラチスラヴァ各放送局と共
に連鎖放送を行ふ筈であると、な
ほプレスツバグとマリツシ・
オストラウの兩地に十ヶ所の放送
局を新設することに決定してゐ
る。

ロシア ソヴェト共和國は
現在五十六個の放送局を有し、そ
の中四十四局は單なる地方的なも
のでなく、今なほ建設中の新放送

局十三局あつて完成の上は六十九
局に及ぶと。

英領カナダ のラヂオ放送は
何れも私設局で政府はこれに許可
を與へるに止つてゐるが、北米合
衆國との間に締結せられた協定に
よつて通信方法が非常に束縛せら
れて來たので、英本國に類似した
方法によつてこれが統一をなさん
と計畫してゐる。現在ラヂオ放送
局は七十六局あり内十一局はカナ
ダ北部鐵道の經營である。
主要國聴取加入者數 (一九二
八年四月一單位人) △米國 五、
二〇〇、〇〇〇 △英國 二、三九
五、二二六 △ドイツ 二、〇〇九、
八四二 △日本 三、八三三、二二六 △
スウェーデン 三、三二八、二二三 △
オーストリア 二、九一、五四八 △
濠洲聯邦 二、五八、一七九 △チエ
ツコスロヴァキア 二、二〇〇、〇〇
〇 △カナダ 二、〇八、〇〇〇 △デ
ンマーク 一、八八、二六〇 △ポー
ランド 一、一七、二二〇 △ハンガ
リー 一、八三、三二四

我國のラヂオ

我國のラヂオは大正十一年七月東
京日日新聞社主催で同社を通信部
とし丸の内工業俱樂部を受信所と
して放送試験を行つたのが初めて
の試みである。同十二年九月一日
關東大震災に際し無線が偉大な
威力を示したので急激なラヂオ
熱の勃興を見、同年十二月廿日放
送用無線電話規則が制定せられ
た。この規則によつて大正十四年
三月廿二日まづ東京放送局(同十
三年十二月設立許可)が成立し東
京芝浦の府立工藝學校を臨時送信
所として假放送を開始したのが放
送事業の始まり、大阪(十四年二
月設立許可)名古屋(十四年一月設
立許可)の各放送局もまた假放送
に移つた。これが我國の放送事業
の最初である。東京放送局は同年
七月十二日より、大阪は六月一日
より、名古屋は七月十五日より何
れも正式の放送を開始した。

ラヂオ

古屋の三局が放送を開始して僅か
に一年にして、逓信省は十ヶ大電
力放送によつて全國を礦石化しラ
ヂオの徹底的民衆化を目的とする
事業計畫を立て東京丸の内保險協
會で三局合同して日本放送協會の
設立者總會を開かしめ、劃一的に
全國放送事業を遂行すべき基礎を
固めしめた。

自來二ヶ年逓信省の根本方針によ
つて東京、大阪、廣島、熊本、仙
台、札幌に十ヶの大電力放送所の
新設を急ぎ、漸くにして昭和三年
五月廿日東京新郷、大阪千里兩十
ヶ放送所の開所式をあげ同時に大
電力放送を開始し、引續き札幌放
送局は六月五日、熊本、仙台兩放
送局は六月十六日、廣島放送局は
七月六日何れも十ヶの大電力放
送を開始したのである。放送開始
以來三ヶ年、昭和三年三月末にお
ける聴取者數は實に三十八萬三千
余に達し我國の放送事業は廣島、
熊本、仙台、札幌の新放送局増設
と共に益々盛況を呈し、ラヂオの

普及を見んとしてゐるのである。
全國礦石の大失態
今や全國
を礦石化せんとした設計の骨子と
もいふべき十ヶ所の放送電力を有
する六局が第一年度施行工事とし
て竣成し、何れも全電力を出して
活躍を開始して全國の大部分を礦
石化せんと努めてゐる。が、設計
上の誤は如何ともすることができ
ず、放送局の周圍百六十ヶの地帯
を礦石化する目的で建設せられた
六放送局も晝間周圍僅に九十ヶの
地域を礦石化するのみで、面積に
おいては豫定の四分の一しか礦石
化しない結果を實現してゐる。

若し日本放送協會が從來のこの誤
つた計畫によつて今後進むならば
全國の僅に四分の一を礦石化する
に止まるであらう。
日本放送協會の誤れる全國礦石化
は既に齟齬に終らんとしてゐる。
この設計上の大失態は我國のラヂ
オ發達に一大さつてつを來すものと
見られてゐる。もし全國を礦石化
せんとするならば更に超電力の放

送機に改めベルギーのラヂオ顧問
技師レイモン・ブライヤール氏の
研究發表せるが如く既設の六放送
局を片端からアンテナ電力二十二
ヶ以上の超電力放送機に改良し
なければならぬのである。日本
放送協會は將に計畫の大變更を余
儀なくせられてゐる。

日本放送協會

- ▽本部 事務所東京市麹町區内山下町一ノ一東洋ビル内にあり、會長岩原謙三氏、常務理事小森七郎氏で支部を統轄し専ら全國的統一計畫、支部増設を分擔してゐる。
- ▽關東支部 事務所東京市麹町區有樂町二ノ六に置き、支部理事長門野重九郎氏、常務理事中山龍次氏で東京中央放送局の放送事業並に放送區域内の計畫を分擔してゐる。
- ▽關西支部 事務所大阪府東區博愛町二ノ一五第一徵兵館に置き松方正雄氏理事、常務理事廣江恭造氏で大阪中央放送局の放送事業並に放送區域内の計畫事務を分擔す。
- ▽東海支部 名古屋市西區南外堀町六ノ一、名古屋中央放送局内にあり、

事務長野金之助、常務理事中林賢吉比
で名古屋中央放送局の放送事業並に放送
区域内の事務計画を分擔す。

▼中国支部 事務所を廣島市上流川
町乙五六に置き、理事長藤田一、常務
理事中村厚次郎氏で廣島放送局の放送事
業並に放送区域の事務計画を分擔す。

▼九州支部 事務所は熊本市花畑町
歩兵第三聯隊跡にあり、理事長松野章
氏、常務理事菅光氏で熊本放送局の放
送事業並に放送区域の計画を分擔す。

▼東北支部 事務所を仙台市北一番
町番町に置き、佐久間俊一、理事長、常
務は佐藤吾一氏、仙台放送局の放送事業
並に放送区域の事務計画を分擔す。

▼北海道支部 札幌市中之島公園内
に事務所を置き、理事長は太田其太郎氏、
常務は古賀隆吉氏で札幌放送局の放送事
業並に放送区域の事務計画を分擔す。

既設放送局

▼JOAK 東京中央放送局
波長三三〇メートル、電力一〇キロワ
ット、演藝所東京芝居町山上新郷放送
所、埼玉縣北足立郡新郷村
大正十四年七月十二日から放送を開始し
初め放送機は米國WE台社製、電力一キ

ロワット機を使用して放送してゐるが新
郷放送所が昭和三年五月廿日落成と共に
有線連絡により新郷放送所に設備した英
國マルコニー台社十キロワット放送機に
より電波を出してゐる。尚同局は大正十
五年三月短波長送信機の許可を得てから
短波長放送の試験を行つてゐる。放送部
長矢部謙次郎氏、技術部長北村政次郎氏
である。演藝所建物鐵筋コンクリート二
階建二百七十二坪、放送室三室あり、
放送所は局舎鐵筋コンクリート平家建總
坪三百三十二坪、舎宅平家木造四棟百五
十三坪である。

▼JOBK 大阪中央放送局
波長四〇〇メートル、電力一〇キロワ
ット、演藝所(1)大阪市天王寺區上本
町九丁目(2)京都市下京區七條烏丸
(京都演藝所)、千里放送所大阪府三島
郡千里村
大正十五年十二月一日から放送を開始し
三層構上の假設送所を設けず、放送機は
初め米國WE台社製一キロワット機を使
用してゐるが昭和三年五月廿日千里放送
所の落成と共に英國マルコニー台社製空
中線電力十キロワット機を使用し演藝所
より有線中継により放送してゐる。使用
周波數七百五十キロサイクル(四〇〇
米)、演藝所は大阪、バラック二階建、放送

サイクルで放送してゐる。演藝所建物鐵
筋コンクリート二階建二百十三坪、放送
所局舎コンクリート平家二百坪、舎宅
木造平家三棟六十九坪あり、空中線鐵塔
自立式二基、高さ五十五メートル、演藝所と
の距離六・八キロ間架線ケーブルを使用
して演藝所と連絡放送を行ふのである。

▼JOHK 仙台放送局
波長三九〇メートル、電力一〇キロワ
ット、演藝所仙台市北一番町番町、
放送所宮城縣宮城郡原町大字小田原天
邊前上
昭和三年六月十六日熊本放送局と共に放
送を開始した新設局で、二年六月九日創
立者總會を開いた東北支部の經營する放
送局である。放送機は英國スタンダード
・テレフォン台社製の送信機で七百七十
キロサイクルの周波を使用してゐる。事
務所は木造二階建延八十五坪、演藝室は
鐵筋コンクリート平家建七十四坪あり、
放送局舎は同コンクリート平家建二百九
坪舎宅三棟七十一坪あり、演藝所との間
七・二キロは特殊鐵線ケーブルで連絡す
▼JOIK 札幌放送局
波長三六一メートル、電力一〇キロワ
ット、演藝所札幌市中の島公園、月事
放送所北海道札幌郡平町大字月事村
字徳山
昭和三年六月五日放送を開始した新設局
で、同年六月廿日創立した北海道支部
の經營するもので放送機は英國スタン
ダード・テレフォン台社製放送電力十キ
ロワット送信機使用周波數八百三十キロ

室大小二室、京都演藝所は京都縣前物産
館上にある、御大典ニユースその他を專
用電話により千里に連絡せしめて放送す
る。放送局舎鐵筋コンクリート平家建三
百二十坪、舎宅木造平家四棟百十四坪で
ある。

▼JOCK 名古屋中央放送局
波長三三〇メートル、電力一キロワッ
ト、放送所演藝所共名古屋市西區南外
堀町(名古屋城前)
大正十四年七月東京に次いで完成し放送
機は英國マルコニー台社製一キロワット
送信機により放送してゐる。局舎はセセ
ツシヨ式鐵筋コンクリート二階建延二
百十六坪、放送室大中小三室あり空中線
の高さ百三十尺、地上二十五尺の處にか
ウンターポイズを架し空中線の垂直百五
尺に距離されてゐる、三年九月御大典ま
では大阪、京都、東京間の中継線が完
成する筈でこれが完成の曉には東京大阪
から自由にプログラムの供給を受け得る
絶好の地位にあつて、送信電力は本邦最
少のものとなつたが、放送プログラムは
最良となるであらう。

▼JOFK 廣島放送局
波長三五四メートル、電力一〇キロワ
ット、演藝所廣島市上流川町、原放送
所廣島縣安佐郡原村
昭和三年七月六日より放送を開始した新
設局で、六月廿九日から開局まで一週高
假放送を行つた、同局は昭和二年六月三
日廣島公會堂に創立總會を開いた中國支
部の經營すべき放送局であつて、放送機
械は英國スタンダード・テレフォン台社
の製造で複調式空中線を使用し周波數八
百五十キロサイクル(三五二・九米)を使
用してゐる。放送局舎鐵筋コンクリート
平家建二百八坪、舎宅木造平家三棟七十
坪、演藝所鐵筋コンクリート二階建二百
二十七坪
▼JOGK 熊本放送局
波長三八〇メートル、電力一〇キロワ
ット演藝所(1)熊本市元歩兵第三聯
隊跡(2)福岡市藥院堀端、清水放送所
熊本縣鹿野郡清水村大字鶴井字坂原
昭和三年六月十六日初めて放送を開始し
九州支部に屬する新設局である。二年
五月廿日熊本で設立者總會を開いて以
來工事を急ぎ三年五月廿一日送信機の認
可を得て以來約二週間に亘り試験放送を
行つた。放送機は英國マルコニー台社製
QD十三型送信機で周波數七百九十キロ
サイクルを使用し、放送局舎鐵筋コンク
リート平家建二百九坪、舎宅木造三棟七
十一坪あり、演藝所は何れも鐵筋コンク
リート二階建で熊本は延二百廿八坪、福

中継線の建設

日本放送協會では三年秋京都にお
いて行はせらるゝ御大典の御盛儀
の模様を、いち早く國民に報道せ
んと既設六放送局間中に鐵線を新
設するととなり既に選定省の手で
工事中である。なほ三年十一月ま
でに完成する中継線延長は地下線
路約七十二キ、架空線線路約六
百七十二キに達するものである。その架
設區間は東京、仙台間、大阪、廣
島間、熊本、福岡間、京都、大阪間
の豫定であつたが御大典放送のため
四年度工事を繰上げて更に廣島
、福岡間、東京、名古屋、大阪間
をも開通せしめ九州熊本放送局か
ら仙台放送局間全部を連絡し、御
大典に際しては米國におけると同

様連鎖放送を行ひ同時に六局より
同一放送をなさんと計畫せられて
ゐる。

放送上の新傾向と新記録
東京、大阪、名古屋の三局を通じ
て、最近スタヂオばかりを使用せ
ず中継放送によつて現場から放送
する。即ち生きた材料をそのまま
放送しようとする傾向ができて來
た。所謂リモートスタヂオ、英國
流にいふとマイクホンの増設
(移動かも知れぬ)が利用され始め
た。そしてその周囲の空氣までを
マイクホンに取り入れようとする
生きた放送が盛んになつて來た。

最近の重なるものをあげると、そ
の多くは中継方法によつて有線に
よるものと無線によるものとに大
別せられる。我國で有線中継の先
鞭をつけたのは名古屋放送局であ
つた。しかし何といつても東京放
送局が最も多くこれを利用し次い
で名古屋である。大阪は單に甲子
園球場の野球試合を毎年春夏の二

回無線中継によつて放送する以外
には殆んど利用しない。最近一年
間の重なるものを次に記載して見
よう。

▼大觀禮式の放送 東京放送局
では二年六月二十五日帝國劇場内
から開演中の「お富與三郎」中「玄
治店の場」を無線中継で放送した
のを手始めに、陸軍戸山學校内軍
樂隊の吹奏樂、日比谷公園音樂堂
の三曲合奏その他明治神宮外苑球
場における一高對三高野球戦、玉
川ブルの汎太平洋水泳競技その
他約二十回に亘つて各所から有線
或は無線中継によつて放送してゐ
る。就中一般の注意をひいたのは
十月卅日横濱神樂中軍艦並剛
から無線中継で大觀禮式の模様を
放送したのは我國のレコードであ
る。又十二月十四日の夜芝高輪泉
岳寺境内で行はれた野外劇「義士
討入」並に三年三月十九日代々木
練兵場の「奉天會戦」における吉岡
聯隊の奮戦の野外劇放送は共に
我國最初の試みである。

▼陸軍大演習の放送 名古屋放送局は東京放送局と共に昭和二年六月三日有線中継により御園座の會我酒家喜劇「走馬燈」を初め三年三月十五日まで十四回に亘つて中継放送を行つてゐる。その内特筆大書すべきは二年十一月十五日から十九日までの間に三日間名古屋附近において行はれた秋季大演習の戦況を有線と無線の両方とも同時に使用中継して放送したことでこれは我國のレコードである。

▼地上一千三百の氣球上から放送 甲子園球場から無線中継によつて毎年二回野球の中継放送をする以外に思ひ切つた計畫をしない大阪中央放送局では、三年は東京の軍艦上からの放送、名古屋の陸軍大演習放送に刺戟せられて、大阪防空演習の行はれた三年七月五、六、七の三日間、市内三ヶ所にマイクホンを設置して防空演習の實況を放送した。殊に市内北区扇町公園における第三氣球隊の空中高く浮遊する氣球の中にマイ

クロホンを持ち込み、前後二回に亘り、夜間行はれた燈火管制の模様を一千三百(約四千二百尺)の上空から有線中継で放送したことは唯に我國のレコードであるのみならず世界の新聞録であらうといはれてゐる。

ラヂオに關する新法規

▼聴取者の負擔軽減 逓信省では三年四月一日から放送用私設無線電信電話規則を改正實施すべく三月廿八日の官報で發表した。改正の主旨は從來聴取者は放送局へ聴取料として毎月一円を支拂ふ外に毎年一円宛を聴取施設特許料として逓信局に納めてゐたが、今後は逓信局へ最初特許出願の際特許料として願書に一円の郵便切手を貼付して出すだけとなり、二年目からは納めなくてよいことに改正せられた。その代りに放送局が聴取者一人につき毎年廿錢宛を逓信局に納めることとなつた。

ラヂオ放送中 SOS の遭難通知を接受した場合には各放送局は直ちに放送を中止して救助機關の活動を敏活ならしむることは無電法に規定されてゐるが、三年三月十日銚子沖で甲隆丸その他が遭難の際に東京中央放送局が一晝夜に亘つて放送を中止したまゝ SOS の内容について一言も放送せず、廿數萬の聴取者に非常に不便と不安とを與へたのに鑑み、逓信當局は左の如く放送の適宜處置を決定した

一、放送局において船舶危急符號を受信した時は直ちに放送を中止して船舶遭難の通知を受信したる上「海上船舶並に海岸救護機關にお知らせいたします」と冒頭して遭難の船舶名、位置及び遭難状況その他救助上必要な事項を放送すべきこと

二、放送局において前項の放送をなしたる後遭難船舶附近の海岸局又は船舶無線電信が救助に關する通信を開始したることを確めた時は放送を再開するも差支へないこと

短波長アマチユア放送局

今迄は海軍關係や逓信關係以外には許可せられなかつた私設放送局を民間のアマチユアに許可することとなり、一般に短波長の研究を許すこととなつたことは實に喜ぶべきことである。その第一に許可せられたのは草間氏、それに次いで笠原氏が相前後して許可せらるゝに至つた。

草間貫吉放送局 兵庫縣武庫郡御影町、昭和二年十月七日附で許可せられた、呼出略號は「JX JX」名稱は「草間貫吉放送局」使用電波長は「三十八」使用空中線電力十以下と制限せられてゐる。同氏は大正九年大阪高工の電氣科を出で現在は日本電力の送電課に勤めてゐる、放送時間は平日午後六時から同八時迄、日曜祭日は不定である。

▼笠原功一放送局 大阪市住吉區天王寺町八八〇、呼出略號は「JX JX」名稱は「笠原功一放送局」使用電波長は「三十八」使用空中線電力十以下と制限せられてゐる放送時間は多く夜間である。同氏は未だ學生で目下關西學院商科四年生に在學し、その余暇で研究的に放送してゐるため放送時間は不定である、異中休暇中は殆んど毎日試験してゐると。

人事消息

日本放送協會の大改革 昭和三年五月廿三日早くも日本放送協會では逓信省から天降つた初期役員任期満了を機に常務理事の監理を断行せんと東京大阪、名古屋の三局委員廿余名によつて決断せられ、本部、大阪、名古屋、東京の常務理事各二名を一名に減員する外本部職員を減少して大整理を執行することとなり、それ、各支部理事會は常務一名を選出し最後に六月廿日開催せられた本部社員總會並に同理事會において本部役員の大改革を断行し、申合せ通り常務理事四名を減員した、その結果常務理事、地方理事、本部理事に大異動を生じ同協會役員は左の通り改選せられた。

- 【本部】理事 岩原謙三、常務理事 小森七郎、會長 岩原謙三、高田善彦、上田碩三、理事 阿部基一、伊東敬三郎、岡谷惣助、青木謙太郎、澤原精一、松本健次郎、福島謙、磯野進
- 【關東支部】理事 門野重九郎、常務理事 中山徹次、理事 石井光次郎、千野米作、大倉發身、小野賢一郎、津守豐治、長瀨欽司、若目由利助、上田碩三、加納與四郎、山根眞治郎、松代松之助、櫻山二郎、越野宗太郎、青山謙郎、明石徳一郎
- 【關西支部】理事 松方正雄、常務理事 廣江恭造、理事 矢野義二郎、伊東敬三郎、猪飼九兵衛、友金喜三郎、岡野養之助、菅野米太郎、神田喜三郎、勝田銀次郎、高山圭三、村井基一、山根文雄、山田潤二、北村長三郎、瀧川忠三郎、龜藤信藏
- 【東海支部】理事 神野金之助、常務理事 中林賢吾、理事 松原敬忠、伊藤次郎左衛門、生駒重彦、服部彌八、富田重助、遠山孝三、大島守吉、岡谷惣助、高橋定助、高橋正彦、村瀬淳一郎、野々村佐一郎、九鬼敏七、森一兵、深田三太夫、青木謙太郎
- 【中國支部】理事 前田一郎、常務理事 中村厚次郎、理事 熊平源藏、澤原精一、林平四郎
- 【九州支部】理事 磯藤章、常務理事 伴善光、理事 橋本辰三郎、太田清一、沖原熊、山田珠一、松田精一、松本健次郎、福田慶四郎
- 【東北支部】理事 佐久間俊一、常務理事 佐藤吾一、理事 伊澤平左衛門、福島謙藏、小林富吉、金田一國士、三浦權四郎
- 【北海道支部】理事 大瀧甚太郎、常務理事 古賀傳吉、理事 磯部進、大谷岩太郎、渡邊權四郎、金子元三郎、久保兵太郎、平出喜三郎

【關西支部】理事 松方正雄、常務理事 廣江恭造、理事 矢野義二郎、伊東敬三郎、猪飼九兵衛、友金喜三郎、岡野養之助、菅野米太郎、神田喜三郎、勝田銀次郎、高山圭三、村井基一、山根文雄、山田潤二、北村長三郎、瀧川忠三郎、龜藤信藏

大阪放送局の職制改革

大阪放送局では常務の下に秘書係を置き人事一切、月給の支拂迄等その下に總務、計畫、放送、技術の四部を設けてゐるが放送部長は伊藤俊光氏が三年一月辭職し次いで計畫部長山田耕二氏が廣島放送局に榮轉して以來二部長の缺員となり、これに代つて元理事入江邦太郎氏が囑託として入局し専ら講演集の編輯を行つてゐるに止り、局内の準幹部級の決定を見ないので事務上支へが多くので協會本部の各支部における部制統一案のある折この方針により内部の職制を改正することとなり、放送部長を東京方面で物色中であるからこの人選ができた第八月中旬改正發表する豫定である。多分、總務、放送、技術の三部制を採用するに至るであらうといふ。

本部職制問題につく、三年六月廿日日本郵政省に移動を生じた結果、本部技師長高田善彦氏は技術部長で理事を兼ねることとなつた。放送協會の内規によると職員が理事を兼ねる事を嚴禁してあり、そのため關東支部では北村政治郎氏が東京放送局から放送協會に統一の際理事に選出せられたが就任せず、又東京放送部長矢野義二郎氏は理事を辭して

現職につき、又大阪中央放送局では現職事務部長樋口卯太郎氏が理事を兼ねてゐたの無難から辭職せしめ、さらにまた入江邦太郎氏が入局の際理事を辭して囑託となるなど、職員と理事を兼ねることの弊害を認めて兼任を許さなかつた實例があるにも拘らず本部は高田氏に理事を兼ねしむるは何事ぞと問題を再送してゐるが、萬一にも本部が理事兼任を認めるならば前記の四氏をも當然理事に復職せしめる必要があるので高田技師長の理事兼任は多分否決せらるゝに至るであらう。

金澤放送局常務理事

大正三年度内に金澤放送局を新設することは既述の方針であるが日本放送協會北陸支部の建設には元名古屋放送局常務理事で改革の結果、平理事となつた通信省係の松原正忠氏に内定、同氏はこの記事執筆當時金澤方面に出張して支部設立に努力してゐるから速からずして金澤放送局を組織し同氏が常務理事に就任するであらうと。

新設放送局の放送部長

新設放送局長 新設放送局長も廣島、熊本、仙台、札幌の四放送局中、仙台放送局の放送部長として仙台商工会議所書記長草野吉氏が就任したのを初めとし札幌、熊本、仙台、札幌の各土地の商工会議所書記長が就任することとなり、結局新設四放送局のうち三局迄が會所系といふ奇現象を呈することになつた。

大阪無線局長選定 大阪無線電信局長角重氏は二年末日本無線電信株式會社に入社し四日市の對歐無線電信局受領所長に決定十二月廿日附で同局を辭したので藤兒島無線電信局長武田半氏がその後任となり廿七日赴任した。

無線電信局

完成した對歐無線電信局 昭和二年五月二日、日本無線電信株式會社が三重縣三郡那賀村の垂阪山において地線敷設を行ひ、對歐無線電信受領所の建設に着手してより約十ヶ月、同三年二月末を以つて全部竣工し自來試驗受領を行つてゐるが、成績頗る良好で、四月十五日開所式を行つた。この受領所は、ラグビー(英)ナウエン(獨)サンタツシズ(佛)コルタノ

(伊)ワルソー(ポ)ランド)クーチツクメンエンデル(オ)ランダ)ゴードンブルグ(ス)ウェーデン)の歐洲七大無線局から發信せられる無線電信を受信するのである。敷地一萬一千坪本館二百坪、その内に受信室、發電室、電池室、修繕室、操縦室、受信室四室等あり、空中線は三重郡羽津村海岸と垂阪山上との二ヶ所に二百尺の鐵塔を立て三角型の空中線を架し、そこから地下線によつて局内に引入れてあるゴニオ・ダブルによつて我國で初めて使用する珍らしい空中線である。この外に枠型空中線、室内空中線等三種を設備し、受信機はドイツのテレフンケン式で十三頁空管を使用したもの四台を持つてゐる。そしてこゝで受けた電波をそのまゝ三萬三千九百八十三頁を隔てた名古屋郵便局に有線で送り、サイホン・レコーダー三台によつて受信するのである。所長は倉地角重氏。

線刈谷驛南方約一里、愛知縣碧海郡依佐美村にあつて敷地四萬五千坪、その中央にある本館は鐵筋コンクリート二階建二百四十坪、その裏に四百坪の發電機室、送信室あり、發電機の如きはドイツのテレフンケン式高周波發電機出力八百六十。のもの四台を地下室に掘付け、送電線の如きも全部地下配線として危険を防いでゐる。この外電池室、油庫、倉庫、工作所、附屬舎、倉宅三十余戸あつて無線村をなしてゐる。殊に最も壯觀を呈してゐるのは空中線である。本館建物から、西々北即ち歐洲大陸方面に向つて、延長十六町余、面積百五十六町歩の田畑の中に林立してゐるラヂアルアリス柱の兩側には高さ八百二十五尺鐵塔を貫くかと思はれるほど高い組上鐵塔八基が二列に並び、この鐵塔の間を十六條の空中線が空間に走つてゐる。その延長實に一千五百尺に及び、一見して雲間に連るの壯觀を呈してゐる。發電室から飛び出した鐵

いので、直接東京サンフランシスコ間の通信を可能ならしめるため改造工事に着手し、六百六十尺もある中央の自立コンクリート塔と同一高さの鐵塔五基を周圍に増設し最早空中線の架設換へをなす迄に至つたので今後約六ヶ月の豫定で空中線の切替を行ふこととなつてゐる。この切替期間中は、富岡局の短波長によつて對米通信を臨時に取扱ひ四年春早々原の町放送所の工事完成の上は直接サンフランシスコと通信を交換するはずである。

二大無線局の建設

日本無線電信株式會社は更に進んで將來通信の幅を來すべき日米間に備へるため對米第二送信局と、濠洲、インド、南洋諸島、支那およびシベリア等我國政治上、經濟上最も緊密なる關係を有する地方との交信に使用するため對南洋極東局の二大無線局を建設せんと計畫を立てこの稿執筆當時建設地を物色中であつた。

運動

關東	東(JOAK)	二八、三三八
關西	西(JOBK)	一〇、六六〇
關東	東(JOCK)	四、三三九
關西	西(JOGK)	四、〇四九
中	中(JOFK)	二、四三九
九州	九(JOGK)	四、六三三
東北	北(JOHK)	二、八五一
北海道	北(JOIK)	三九、三三九
總計		三九、三三九

野球 野球の一般的普及は年一年と盛んである。東都六大學の春秋リーグ戦の觀衆は學生の數よりも一般社會人の數がはるかに多くなつたのはその最もよい例である。これはこゝ二三年殊に目立つて見ゆる事柄である。夏の大朝主催の全國中等學校大會、春の大毎主催の全國選抜中等學校大會その他いろいろの野球試合で東洋一と稱せらる甲子園が立錫の余地もな

くなる。見物の數はその物の偉大さを示め一つのバロメーターに外ならない。大毎東日主催都市對抗野球大會も日本野球界の一大イベントである。大會がかく盛大に開催せられる事はスポーツ普及のため甚だ喜ぶべきことである。六大學リーグ戦、中等學校野球大會、都市對抗大會と日本野球のトリオは實に昭和三年度に完成せられたのであつて、競技の發達こそ今後の重要な問題ではあつた。しかしこれも昭和三年には地方に代表的の球技場が設けられた。即ち大阪鐵道の藤井寺大野球場、名古屋の鳴海の野球場および豊川鐵道の競技場等理想に近い球技場が次から次へと設けられるといつた。社會人の野球普及は實にすばらしいものであるがしからば學生野球如何といへば時代はめぐつて野球の早稲田時代は昭和二年の春で先づ方向をかへて慶應時代がそれに代つた。即ち昭和二年秋の早慶

野球試合は同野球復活後慶應にとつて最初の勝利であり早稲田としては永年の球界の覇を他にゆづらなければならぬ時であった。昭和三年春のシーズンには慶應の宿望はとげられて米本土への遠征となり廿五勝十五敗の良成績を挙げた八月三日歸朝した、一方内地の球界は最後の幕までいづれが春のシーズンに覇者となるか全く不明であつたが明大いよく確實にリーグの覇者となり慶應不在のリーグ戦は一先づ終つた。また中等學校の野球の殿堂である春の選抜大會(大毎主催)は關學中等部優勝して渡米の榮冠をになつた。

ラグビー 野球の一般的普及についで次の時代を形づくるものは何か。さういふ疑問の聲も高まりそして次の競技の進出を期待し誘導する者が多くなつた。その期待を多大にファンからうけたのは大衆運動ラグビーであつた。然し丁度このラグビーが正に延びんとした大正十五年の冬は疎闊である

出、國際的地位の向上は相當永い間の日本運動界の希望であつた。それがためには幾多の犠牲がある。一九〇五年のストックホルムのオリムピックに金栗、三島の兩選手が派遣せられてから約廿年、その間明治の練習時代、大正の試練時代といふ二時代を送つて第八回オリムピック大會が大正十三年パリに開かれ、織田選手が貴重な一歩を得ていよく日本陸上競技界も試練時代終るといはれた。その言葉はよく日本陸上競技界を物語る。昭和最初の海外進出ともいふ二年夏の上海極東オリムピック大會には我選手は多年の宿望達して陸上競技の覇者となつた。かくていよく内容の充實した日本陸上競技界は堂々世界の舞臺に踏出す最後の準備をととのへた。そして例年海外的進出の時にはつき物であつたいざこざもなく第九回オリムピック大會への門出は先づ喜ばしき旅路であつた。そしてこの本舞臺で三段跳に日本のた

越けて昭和二年の夏空前の壯舉である早大の渡洲遠征が行はれ、その歸朝後の一戦は従来のラグビーがなさんとして成し得なかつた事業をなし正に世人の期待する問題の解決を爲しとげてくれたのである。かくて昭和二年から三年へかけてのシーズン程多忙な年はなかつた。常勝慶應は二年十一月廿三日終に東京神宮球場に早大軍のため一敗血にまみれた。次いで關西軍の雄京大チームは三年の新春早々關西軍を代表して東上し早慶帝の三強を向うにまはし堂々全勝の榮をになひ終に斯界の覇權は昭和三年の一月西下したのである。かくて中等學校の優勝校は同志社中學、高専大會の優勝は六高、神宮競技オールドボーイスは關西ラグビー俱樂部、そして大學チームは京大チームが全勝した。次いで斯界のナンパワンを集めた東西對抗試合は昭和三年二月十二日阪神甲子園に舉行、この試合には秩父宮殿下御臨場御自ら御下賜の優

めに最初の得點をなした織田選手によつて終に會場高く日章旗は翻へる様になつたのである。第九回オリムピックの收穫は昭和三年度の陸上競技界の譽れであると同時に日本運動競技界の今後の行くべき道を示したものである。これに先だつて日本人をめぐる二つの競技會はロンドンに開かれ我等のためには見事な結果をもたらした。それはインタークラブ競技會における人見願の優勝と世界的記録の作られた事と、日本學生チームの代表である早大競技部と劍牛二大學の精銳よりなるアキレスクラブの對戦である。前者は外人の日本女性に對する觀念を根本的に變更させ後者はオリムピックを前にして日本選手の技量の尺度となつた。その上にスポーツを通じて國際的情誼をあつくしたことは正に我國陸上競技界の名譽である。對外的には前述の様な陸上競技界は對内的にはどうであつたか。昭和二年春のシーズンに東西に相別

勝盆を關東軍選手に御授けになつた。今一つ見落してならないのは上海防備英國軍隊のラグビーチームが明治大學の誘導により東京日日新聞の招待によつて來朝した事である。僅かに在留外人によつてラグビー競技を見せられ独自の練習によつて今日までの地位をきづいて來た日本ラグビー界は早大遠征軍の歸朝とこの來征軍のプレー振りを見て覺醒の眼をみはつた譯である。

サッカー ラグビー界の發展は近年運動史上特筆大書すべきものである。しかしそれに至るまでの準備時代は相當の永き日時であつた。このラグビーの兄弟分であるサッカーはそれと反對に大いに伸びるものをのばしてその後に関の完成をなしとげたやうである。昭和二年度までの日本サッカー界は協會が斯界の中心であるや否や明でない有様であつたがその後斯界は斷乎として目を醒し日本蹴球協會の内容完成にすんだの

れてゐた學生陸上競技聯合は一九二〇年真に全日本學生陸上競技聯合となつてその第一回大會を神宮競技場に開催した。また中等學校級の陸上競技界も統一される時が來た。それは大毎東日主催の全國中等學校競技大會で、これは眞に斯界の權威を集め斯界のために喜ばしき結果を招來して今後の日本陸上競技の行くべき道を示したのである。

陸球 一九二七年度の我國陸球界を通じて最大の收穫最大の出來事は米國の名選手グインセン・リチャーズ氏の來朝であらう。氏は大阪毎日新聞社の招聘に應じて同社員原田武一氏に伴はれて昭和二年十月二十五日來朝、二週間に東京、大阪、名古屋その他の地で模範試合に費し、その精妙のヴォレーとコート・タクトとに思ふさま天才的の神技を發揮して吾等を驚嘆せしめた。このために我が陸球界が啓蒙されたところは計るべからざるものがあり、ために行

であつた。そしてその理事者の眞面目な態度は着々効を奏し堂々の陣を張るやうになつた。即ち中等學校大會の統一、東西學生聯盟組織の確立その他各地の選手權大會に對する準備の完成等あらゆる方法あらゆる時に新理事者の抱負が現れた。そしてその最も大なるものは昭和二年の夏極東大會が上海に開かれた時の日本軍選手の成績である。日本が極東大會に参加して蹴球に勝利の一點を得たのは昭和二年の大會が最初で他のあらゆる競技が國際的地位に進出した時に一人とり殘された感のあつたサッカーもこの極東大會の對比軍勝利で永年の宿望はなしとげられたのである。この實き勝利は遠征軍の努力はもとよりであるが、統一機關の完成があつた力があつた。今日昭和時代を代表するスポーツをもとめるとそれは恐らくラグビーに並んでサッカーであることは何人も認めることであらう。

陸上競技 運動競技の海外進

詰れる斯界をして新に劃期的轉回を見せしめた。リチャーズ氏が我がテニスを評して「いたづらの模倣を避けて各自の得意とする所を更に深く眞摯に研究して大成に力めよ」といつた。これこそ我が原田選手が常にいふところの「自分のテニスをせよ」と全く一致するところの最もタイムリーな苦言忠告であつて、吾等はいかに傾聴して模倣より創造へ——さうして「世界のレベル」への進出發展を期待するものである。またこゝに特筆すべきことは昭和二年十月の全日本女子大會においてハワイの森分廣が單身遠征し來り突如としてシングルスの覇權を奪ひ去つて吾等を呆然たらしめたことである。リチャーズ氏の來訪といひ森分廣の優勝といひ、一九二七年度は何かしら米國のテニスの力が強く鋭く我が國のテニス界へ刺激と影響とを與へて行つてくれたと見てもよからう。同年度の最終を飾る第六回全日本男子陸球選手權大會に

は強剛安部軍の兩選手権を奪つて昔日の面影を新たにし、ダブルスに安部と組んで優勝した福田の返り咲きも華やかに素晴らしかつた。この年四月の第七回早慶兩大學對抗試合には慶大六對三で四年振りに勝ち、更に同年九月の第八回の試合には慶大再勝して強味を確立し、一九二八年度に入つても依然として強い、一九二八年度の劈頭春のシーズンにおいて多年の懸案であつた關東關西學生選手對抗試合の實現したことは學生陸球界の一新紀元としてまことに慶賀に堪へない。世界陸球界の興隆を一つに免れるデヴィスカップ争奪戦も、一九二七年度は七年振りに關東はアメリカを去つてフランスに移り、ポロトラ、ラコスト、コシエをして名を成さしめた。かくて一九二八年も米軍の追撃効を奪はず佛軍の再勝となつた。續つて大毎主催全國中等學校陸球大會は一九二七年度にはシングルズに池田師範、ダブルスに高知商業優

勝して覇を全國に稱へたが、翌一九二八年度にはシングルズに豐中中學ダブルスに池田師範優勝して覇権は大阪の二校にあつまつた。この會に參するもの實に二百校に垂んとし若き天才の熱技を戦はず正に斯界第一の壯觀である。デ盃戦といひ極東大會といひ願れば我が國選手は對外的に不幸榮冠を奪ひ得なかつたとはいへ、内に漲る熱と力と絶えざる練磨とはたゞ向上の一路を辿つて世界のレベルを目ざして洋々たる未來を多分に約束されてゐるといはねばならぬ。

ボート 従來國內の競漕にのみ終始してゐた我が漕艇界にとつて眞にエポック・メイキングな出來事は實にスカール及びフオアの我が代表選手第九回萬國オリムピック大會出場である。良コーチの指導の下に月余の猛練習を英國で積んだ我選手は、必勝を期してアマステルダムの特舞台に立つたが實力の差は如何ともし難くスカール、フオア共に不幸落選にも入

らず空しく退いた、が然し、今回の代表選手等の骨めたる苦き試練と貴き體験による幾多の研究資料は、その歸來を俟つて我が國漕艇界の發達向上に資するところ莫大なものがあらう。さてこれに先立つて一九二七年九月隅田川において催された第七回十二大學レガッタ(日本漕艇協會主催)は右代表派選手陸衡の豫選の意味を兼ねてゐたことゝ例年に増して滿都のフアンの血を湧かせたが、商大クルー優勢で強敵明大を抑へて覇者となつた。一方關西においても關西漕艇協會の主催にかゝるレガッタには京大優勝した。かくて東西兩協會は互に相對峙して東西の斯界に貢獻するとなつた。一方同年度の新現象としては女子スカラートの出現で琵琶湖スカール競漕、明治神宮競漕大會等に登場して氣を吐き、KRCの高田千代子嬢が最初の榮冠を獲た。また同年七月には新たに第一回全國高等學校競漕大會が京大主催の下に行はれて

も大なる原因をなしたのである。かくて上海、ハワイからほとんど時を同じくして歸來した日本水泳軍は直ちに陣容をたて直して昭和二年九月末および十月上旬に行はれた汎太平洋大會の準備にかゝつた。そしてその結果は日本水上競技聯盟の一九二六年の聲明書通り世界オリムピック大會に對する自信を得るやうな効果を取つたのである。殊に二百米平泳における鶴田行氏の活躍は目覚しく三分台を破つて二分台のレコードを作つたかと思へばその次の競技にはまたもその記録を破り歩一步と世界記録に接近した。その他各競技とも肩々進歩を示し恐らく米國を除いて他に比較のできない水泳國となつたのである。

邁ドイツの水泳界には平泳にラヂマールがあるが恐らく鶴田選手の敵ではなく日本は名實ともに世界の水泳國となりきつたのである。殊にインター・カレデイトの試合では恐らく各國とも日本の有する早大チーム程のものを見出す事ができない。高石、米山、新井、竹林、木村、森その他の日本の代表選手を有する早大チームは完全な世界一のカレデ・チームと成り上つたといつて過言でない。對外的にかくも進出した水泳界は勿論對内的にも確立して行つた。即ち各地にプールは建設され僅か十年前まで一つのプールすらもなかつた日本に今や無数のプールができ各地からスイマーが輩出する様になつた。そして中等學校の水泳競技界は東西の學生聯盟で統一的大會を行つて指導に努める様になり、またカレデと中等學校の中間にあつて常に進歩の程度の遅れてゐた高等學校級にも帝大聯盟主催の下に全國高等學校大會が舉

行せられる様になつたのは昭和三年の大きな出來事である。ウインター・スポーツ 近年著しく發達して來た我が國のスキ、スケートは短いシーズンの中に目ざましい活躍をしたが就中第九回萬國オリムピック大會のさきがけとして一九二八年二月スイスの絶勝サン・モリッツにおいて催された第二回冬季競技大會に我が代表スキー選手竹節、高橋、矢澤、永田、伴の五氏が初めて參加したことは特筆大書さるべき快事で、遺憾ながらその成績はいさゝか不振であつたが、万里遠征の貴重な體験は何等かの偉大な報酬を齎らさねばおかないであらう。一方内地においても登山熱の流行に伴つてスキー、スケートは單なる娛樂の意味をはなれて實際的必要に迫られ次第に普通化の傾向を辿り今や全國的に非常に發達をなすに至つたのである。まづ一九二八年一月信州松原湖に催された第三回全國學生水上選手権大會、翌二月札

幌郊外三角山での第六回全日本スキー選手権大會の二大會に火蓋をきり全國各地方ではそれぞれ幾多の競技大會が開催されて盛大を極めた。また同シーズンにおいて、日本水上競技選手権大會は信州諏訪湖上に、全國學生スキー大會は青森縣大鰐スキー場においてそれぞれ第一回大會を開きウインター・スポーツの隆盛を物語つた。殊に後者の大會には長らく秩父宮殿下の台覽を仰ぎ、その名譽ある御下賜盃は優勝校北大の手に歸した。更にまた關西においても兵庫縣神鍋山スキー場で第一回關西學生スキー大會が開かれ權威あるものとなつたのである。かくして今やウインター・スポーツは競々乎として我が國の各階級を通じて異常の成長をとげつゝある。

拳闘と馬術 我が國においては拳闘は未だ十分に普及したとはいひ難いが、東京を中心とする學生界には大流行で全學生拳闘選手権大會の如き既に六回を開し、ま

た別にアマチュア拳闘大會も東京において開催されてゐる。第九回万国オリムピック大會には岡本、白田、松居三選手が参加し、こゝに我が國の國際的進出が見られるのである。かの有名な米國の重量世界選手權はジョン・タニーが一九二六年に七年間王座を保つてゐたデンプシーを破つて以來今日まで三年間引つゞき覇權を握つて強剛の名を擡にしてゐる。

我國では古來馬術は武士の表裏として尊重されて來たが近代西洋馬術の輸入と共に乗馬熱は急激に増大し陸軍方面の好意ある援助と相俟つて民間馬術は大いに發達普及し、各學校においてもいづれも乗馬クラブを設置してゐる有様である。第九回万国オリムピック大會には我が國より陸軍の遊佐、岡田、城戸、吉田四氏出場して各々その妙技を發揮した。

柔道 昭和三年度の我柔道界では大阪を中心にして柔道史上に一エポックを劃する大事業が遂行

された、それは多年堅懸に據つて對峙してゐた講道館大東柔道有段者會と武德會派の柔道有段者會とが互に垣を撤して一傘下に集り廣い大きな心で斯道の發展向上を圖りたいものだといふ意見から講道館幹部と武德會派幹部とがしばしば會見折衝の結果、つひに諒解が成り、會名を新に大阪柔道有段者會と名づけこれが發會式に兼ねて第一回柔道試合を六月三日午前九時から大阪中央公會堂に舉行、會則を議定し會長に講道館長嘉納治五郎氏を副會長に日高隆三郎、松野郎氏を副會長に推薦した。従前講道館では武德會の段を軽く見て四段のものも三段位にししか承認せず、武德會派また講道館派の段を容易に承認せぬといふ弊があつたが、今後は一方で段をとれば、他の一方でもそれを承認することとなり修行者の福音とも稱し得る次第である、しかして斯様に合同した結果は約七百名を算し得るであらう試合も合同第一回であつたので出

場者四百名に上る盛況で紅軍大將玉井勝(三段)白軍大將中島万蔵(二段)で勝負は紅軍大將を破つて優勝したが、たゞ遺憾なことは、かく合同第一回のさい先よき時において出場者の大將株が三段どまりであつたのは、豫想を裏切られ寂寥さを感じしめられた。次は大阪における高等、専門學校が新たに關西學生柔道聯盟を創立し、これが第一回柔道試合を五月廿日午前九時から大阪市東區鹽町小學校屋内體操場にて開催したが参加學校は 高工、日大專、關大豫、關大專、商大、藥專、醫大豫、高醫、外語、齒醫專、浪高

の十一校であつたが、齒醫專、浪高が棄權し試合は九校(選手十名づつ)でリーグ戦が行はれ、結局關大豫科が、二對〇で醫大豫科を破り大阪毎日新聞社の優勝旗を獲得、次勝醫大豫科が三軍會寄贈の優勝カップを授與された。本大會において特記すべきことは東京

にも、京都にも學生聯盟は設けられてあるが、よくその機能を發揮せぬ憾みがあつたところ、大阪が統一あり力強い行動を起したとと審判の如きも新舊兩審判法を折衷した新審判法を作つて適用し、審判者も専門家以外のアマチュア式先輩に囑したなど共に一新生面を拓いたとである。恒例による武德會京都本部春季武道大會の柔道大會の柔道部は出場者二千名に垂んとし五段以上の組合せも二十幾組を數へるといふ豪勢さであつた。更に七月十五日から四日間京都武德會で開かれた、京大主催の官公立高等、専門學校柔道大會は六高が六度優勝してをり今次は七年目の會戦で一般から重視されたが六高軍相變らず優勢を持し終に七度連勝の榮を得ることとなつた。

相撲 種々な新興運動が猛烈な勢で發達するの一人とり殘された様な感のあるのは我國技相撲である、昔日の兩國國技館の盛況も今は思ひ出としてのみ聞ゆる。

昭和時代にはゆる職業相撲に對する各人の考へが冷くなつたやうである。一時その名聲が高かつただけ一層淋しい感がある。併し職業相撲に對してはこの様な事もあるが學生相撲は着々その組織を完備し昭和二年に東西對抗が復活してからはその度を加へることに盛大になつて行き、春秋二季に開かれる學生相撲大會は今や斯界の中心となつた。そしてこれまた對内的ばかりの發展でなくその學生相撲の進出振りは實に目覺しく海外的發展に志してからこの方各年の米國遠征をなし國技を海外に伸すやうになつた。かくて運動界のすべては今や國際的舞臺に歩を進めつゝある有様である。

航空

昭和二年下半年から昭和三年上半期へかけての日本航空界は、歐米飛行家の大西洋横斷飛行の著しい刺激を受けて、帝國飛行協會が日

本製飛行機による太平洋横斷飛行實施計畫を發表してから幾多の波紋を捲起したのを初めとし、日本航空輸送株式會社設立問題、各種新製飛行機の活躍、外國飛行機の訪日飛行、大阪における本邦最初の防空演習等焦燥的の賑やかさを見せた。新製機としては大阪毎日新聞社購入のライオン單葉NYI型ライトワールウインド空冷二百馬力裝備機(リンドバーグ大佐がニューヨーク、パリ間無着陸飛行に成功せる機と姉妹機)は十月末日横濱着十二月四日試験飛行に成功、二年一月以來整備試験中であつた朝日新聞東西定期航空會のドルニエ一旅客機も活動を初める。日本航空會社が獨逸から購入したドルニエ一・ワル大型飛行機(ロールスロイス三七五馬力二個)は後藤飛行士試験飛行を行ひ、大阪上海間の飛行に就航する。又大阪毎日新聞社が海軍から艦上攻撃機の特別拂下を受け三菱航空機會社に注文して改造した輸送機(イ

スパノスイザ四五〇馬力)は二年十一月試験飛行終了後社務に従事してゐるが民間機として優秀な性能を具備してゐる。一方飛行實施の方面においては、大阪毎日新聞社のライオン機が、無着陸飛行距離並に滞空時間の新記録を作りたる外、民間の飛行機は定期飛行に通信輸送に遊覽に宣傳にそれ〴〵各方面に活動し又軍部においては不斷の演練飛行に技能と士氣を養ひ或は耐寒耐熱に練針盤飛行に長距離飛行に夜間飛行に日も足らざる有様であるが、唯全體を通じて會心の飛行を見ることの出来なかつたのが遺憾である今概観を列記して見ると

昭和二年七月 高松宮殿下には五日霞ヶ浦海軍航空隊で小田原大尉操縦のアヴロ一式陸上練習機に御同乗約廿分間の飛行を試みられ、初旬佐世保海軍航空隊の水上偵察機二機の佐世保台灣間往復飛行並に、十一、二兩日を以て實施された横須賀海軍航空隊の横須賀小笠原島間往復(千五百マイル)飛行は何れも好成績を収めた。

八月 海軍航空本部の松永中佐は民間飛行の實況視察を兼ね高知市における航空講演會に出席のため九日朝七時四十五分日本航空會社の藤本飛行士操縦の川西七型機に同乗大阪木津川發着中飛行を敢行して十時五分高知着水講演終了後又も大雨を冒して午後二時十分高知出發無事木津川に歸還着水、同中佐は翌日大阪毎日新聞社樓上で太平洋横斷飛行の講演を試みた。十三日には乾、平松兩飛行士操縦の川西式十型機による大阪大連定期飛行開始、二十日兩機とも任務を終へて大阪に歸還。廿五日には同社の大阪上海定期飛行開始、艇長後藤飛行士副長阿部飛行士以下五名乗組の大型飛行艇ドルニエ一・ワルは大阪出發福岡經由廿六日上海着、廿九日上海發ガソリン缺乏して的山大島の要塞地帯内に不時着水したがその筋の諒解を得て卅一日大島發福岡に一泊、

九月一日無事大阪に帰還した。

九月

太平洋横断飛行の具

體化、外國飛行機の來訪等で頗る多事。まづモスコから東京訪問を志して來た露國のシエスタコフ氏操縦ワフアホフ機士同乗のアンテトリ一式一葉半型(M5三〇〇馬力)は一日立川飛行場に到着

續いて四日にはプラーグからこれにも一葉東京を目ざして飛んで來たチエコ・スロヴァキアのスカラ中佐操縦タウフア機士同乗の自國製大型複葉機が所澤に到着する、更にニューヨークを出發世界早廻りの途上にある米國ウイリアム・ブロック、エドワード・シュリー

兩氏操縦のブライト・オブ・デトロイト(ステンソン式單葉ライトワイルド二〇〇馬力)機は十一日天候不良のため大村海軍航空隊の飛行場に迷ひ込み天候回復を待つて十四日一氣に霞ヶ浦に飛行機は汽船で米國に輸送した。一方露機とチエ機は十二日いづれも立川及所澤を出發して歸國飛行の

途に上り、チエ機は途中タラスノヤルスク附近で大破したが、露機は二十二日モスコへの歸還飛行を完了した。海軍航空隊の八丈島の飛行場はこの月を以て完成。

十月 所澤陸軍飛行學校の航空兵大尉加藤敏雄氏は乙式一型を操縦七日午後六時離陸夜半零時に一回着陸更に出發して翌日午前九時廿分まで飛行し途中一回着陸約十五時の飛行に成功し更に十八日には同じく乙式を操縦午前八時離陸途中二回着陸し準備してあつた飛行機に乗り換へては飛行を續け約三十時間の飛行を行った。二十三日には霞ヶ浦海軍航空隊の乙式三機(藤吉大尉栗原中尉ほか兵曹六名乗組)が海軍演習に参加して霞ヶ浦出發伊豆列島の上空を飛行中、烈風中發動機に故障起り神津島に不時着陸せんとした際船體吹き飛ばされて壊滅したが熊澤兵曹が負傷したのみで他の乗組員は無事、同船はイタリーより購入、四月六日ノビレ少將の手

にて進空式を行つたものである。十一月 一日太平洋横断飛行士決定發表(後藤、諏訪、藤本、海江田四飛行士)、三日東京代々木練兵場にて航空ペーチェント舉行陸海軍機民間機参加す。十四日代々木練兵場にて關東飛行俱樂部主催の民間飛行大會舉行一二等飛行士の着陸は鈴木一等飛行士が一等、地上描寫は岩田二等飛行士が一等を占め三等飛行士競技は除雄成氏が一等となつた。

十二月 各務ヶ原陸軍飛行第二聯隊の大坂市撮影飛行は十三日より大阪東練兵場を根據地として實施され二十日終了。昭和三年一月 所澤陸軍飛行學校の乙式一型による所澤新義州間耐寒針盤飛行は廿九日より開始(一番機辻中尉藤木中佐、二番機中村中尉込谷大尉、三番機宮所少尉由比大尉)無事往復飛行を完成した。

三月 豫て明野陸軍飛行學校に教官として招聘されてゐた大坂毎日新聞社の記者は、昭和二年八月下旬、大阪毎日新聞社では日本航空會社の大阪上海間定期飛行を巧に利用し、折柄上海で開催中であつた極東オリムピック大會の寫眞及活動フィルムの國際的輸送に成功した。大阪上海定期航のドルニュー・ワル大型飛行艇は八月廿五日後藤阿部兩飛行士操縦大阪木津川發福岡一泊二十六日上海ブラツクポイント着、大毎社撮影の寫眞及フィルムを積載荒天のため一日出發を延期して二十九日午前八時四十分上海發大阪に飛行中向ひ風とガスのため難航を續く中にガソリン缺乏して已むなく的山大島の要塞地帯内に不時着陸し飛行機は一時抑留されたるため大阪毎日新聞社では直に佐世保通

・レルミット少佐歸國送別を兼ね初旬各務ヶ原において聯合航空演習舉行。三十一日世界一周飛行途上の佛國コスト、ルブリ兩氏は愛機ブレゲー一九A二型(イスパノスイザ五〇〇馬力)を携へて又サンフランシスコ、ハワイ間の飛行に成功した米國ゲーベル大佐はフエヤチャイルド(ライトワイルド二〇〇馬力)機を携へて何れも横濱に到着した。海軍航空母艦「加賀」機裝成る。

四月 立川飛行場を整備中であつたコスト、ルブリ兩氏のブレゲー機は八日朝立川出發歸佛の途に上り、十四日夕刻パリに到着東京パリ間短時間飛行記録を作つた。二十七日大阪毎日新聞社のライアン單葉は同社員羽太飛行士操縦連續十三時間二十三分の飛行に二百里を飛んで日本航空新記録を作つた。

五月 群馬縣太田町の中島飛行機製作所の新造旅客機(デュビター四五〇馬力)は四日加藤飛

行士操縦試験飛行中墜落發火し搭乗者八名悉く焼死したのは本邦航空界最初の慘事である。十九日太平洋横断飛行練習機(BMW六〇〇馬力)藤本飛行士操縦の下に各務ヶ原にて處女飛行に成功す。

六月 三菱航空機会社が陸軍より試作命令を受け製作した三菱製戦闘機を十三日同社の中尾飛行士操縦所澤飛行場に垂直降下試験飛行中空中分解したが中尾飛行士は機帯してゐた落下傘で無事降下微傷を負つたのみ、飛行機墜落中落下傘を利用して助かつたのは本邦最初の記録である。

七月 五、六、七の三日間大阪市を中心として本邦最初の都市防空演習舉行さる。

大阪の防空演習 大阪第四師團司令部では昭和二年秋頃より防空演習を實施する計畫を立て、陸軍省航空本部その他各關係軍部並に大阪府市を始め民間側の賛同を得て第四師團長を統監とし昭和三年七月五、六、七の三日間に

互り本邦空前の防空演習は大阪市中心として實施された。陸軍飛行第二第三第七の各聯隊より車爆撃機輕爆撃機戦闘偵察機等約三十台の飛行機及び緊留氣球隊、高射砲隊、高射機關銃隊、照空隊の外歩兵隊も参加し、更に民間よりは消防署、警察署、在郷軍人團、青年訓練所等も参加し警備その他に任ずる一方朝日新聞社三機大阪毎日新聞社二機西田飛行場二機の各民間飛行機は愛國飛行隊に應じ木津川飛行場を根據地として大阪市の防備に努め軍部の飛行機と相對して演習間連日勇敢な飛行を試みたこの空前の防空演習は空中動作並にこれに聯繫する地上動作において得るところ多く又多くの研究資料を残したがその中において豫想外の好成绩を挙げたのは六七八の三日中に行はれた燈火管制の實施であつた。大阪市が悉く燈火を滅し電車自動車の交通機關も各燈光を蔽ひ全市が一齊に沈黙の暗に没入し美るの光景は凄愴の感人の胸

を打つに十分であつた程行き届いたもので、燈火管制の好成绩はこの演習の成功を意味するものであり又大阪市民が新時代の共同的精神の發露として誇るに足るべきものであらう。

新聞寫眞空輸の記録 昭和二年八月下旬、大阪毎日新聞社では日本航空會社の大阪上海間定期飛行を巧に利用し、折柄上海で開催中であつた極東オリムピック大會の寫眞及活動フィルムの國際的輸送に成功した。大阪上海定期航のドルニュー・ワル大型飛行艇は八月廿五日後藤阿部兩飛行士操縦大阪木津川發福岡一泊二十六日上海ブラツクポイント着、大毎社撮影の寫眞及フィルムを積載荒天のため一日出發を延期して二十九日午前八時四十分上海發大阪に飛行中向ひ風とガスのため難航を續く中にガソリン缺乏して已むなく的山大島の要塞地帯内に不時着陸し飛行機は一時抑留されたるため大阪毎日新聞社では直に佐世保通

は適時新聞社の寫眞輸送に助力し、副長飛行機製作所の鳥居飛行士信州松本の長谷川飛行士はいづれも各一回大阪毎日のため輸送飛行に従事した。

大毎の記録飛行

ライオン機距離と時間の新記録を作る

大阪毎日新聞では、本邦航空界の参考にする事を第一の目的として、米國のリンダバーグ大佐がニューヨーク、パリ間の大西洋横断を含む長距離無着陸飛行に使用成功したライオン式軍用機NY1型を米州サンデアゴのマホネー航空機製作會社から購入した。同機は所澤陸軍飛行學校の厚意により、同校格納庫にて中島飛行機製作所の手により組立整備を完了、昭和二年十二月四日所澤飛行場にて羽太飛行士操縦第一回の試験飛行を終り、續いて松下飛行士ともに練習飛行中軍部並びに民間航空關係者の見學多數あり。翌三年三月十

に決定した。

四月廿七日午前二時半、飛行擔任者並に大毎岐阜通信部員は各務ヶ原飛行場に集合した、前夜十二時までに得た東京中央氣象台および神戸海洋氣象台の天氣豫報は、いづれも廿七日の天氣不良を傳へ、飛行延期の通告さへ書き添へられし。所が航空路線各地の大毎通信員から廿七日午前二時に打電された天氣通報は殆んど前夜半の天氣豫報を裏切つて今度の飛行は雨終點廣島、仙台は何れも晴れ水戸、濱松、津の三地方の小雨又は雨模様を除けば全部飛行に差支へなき天氣であると判断する事が出来る材料を送つて来た。午前四時四十五分全航空路中最も天氣不良と判定された津及濱松から更に午前四時の天氣を報じて来た。これによると、津は「依然飛行見込なし」とあつたが濱松は「午前二時に比し天候やよし」と傳へて来たので、疑はしい天候では

九日羽太飛行士操縦所澤より大阪城東練兵場へ最初の野外飛行を試み大阪にても第四師團司令部員民間航空關係者、大阪高工學生、青年訓練所員等多數の見學を受けた。四月、逓信省航空局の第二種飛行機としての公式試験を受けるため大阪より各務ヶ原に飛行、四月十六日逓信省より安邊、森川、瀧名各航空官、本社より福知航空課長立會の上羽太飛行士操縦、豫期以上の好成績にて所定の試験飛行を終つた。引續き同十八日、羽太飛行士はライオン機を操縦し大阪府愛知縣岐阜縣の上空を縦横に飛ぶこと五時間、約八百哩を飛行して無事各務ヶ原に歸還した。小手調べの五時間飛行に豫期の成績を得た大阪毎日新聞社では、各務ヶ原を基地とし、よく計畫中のライオン機による日出日没無着陸飛行を決定することとなり、それら準備に着手した。まづ協議決定した豫定の航空路線は左の如くである。

あつたが、出發するに決定して直に機を出發線に導き、羽太飛行士は單身操縦席に着き、午前五時二分敢然スタートを切つた。機體は見る／＼早曉の曇天に浮び揚つて高度二百哩、忽ちにして東南の空に機影を没したが、飛行機出發後、各地の天候は全然前記の天氣豫報を裏切つて概して天候良好となり濱松と水戸附近にて雨中を翔破したのみ、一路所澤を経て仙台に達し同地を引返して正午には再び所澤を通過して西飛し午後三時大阪を通過したが此頃から西の向ひ風漸く強く、加ふるに脚部の緩衝装置の被覆に龜裂を生じ漸次擴大するのを發見したので、豫定の廣島行を變更して尾道から瀬戸内海を横斷し、高松に現はれ、同地から大阪に向ひ、午後六時十分大阪の上空に現はれ、同市上を旋回飛行して同廿五分無事豫定の歸着點大阪城東練兵場に着陸した。全飛行時間十三時間二十三分、全飛行距離二千二百哩。前年度まで

各務ヶ原出發—濱松—沼津—小田原—所澤—水戸—小名瀨—仙台より引返して—小名瀨—霞ヶ浦—東京—所澤—小田原—沼津—濱松—津—大阪—岡山—廣島
廣島より引返して—岡山—大阪着陸(總距離二千二百哩)

飛行準備要項

一、天候通報—飛行決行につき重要條件である天候通報は、東京中央氣象台築地技師並に神戸海洋氣象台の厚意により飛行決行の前夜十時における氣壓配置および豫想と飛行豫定路線に當る大阪毎日新聞社の各地支局、通信部、通信所から飛行決行當日午前二時の天候通報を大阪毎日新聞社岐阜通信部に設けた飛行本部に蒐集するとした。
一、空地連絡天候通報—以上の外、飛行機出發後の天候は所澤飛行場と大田城東練兵場とにおいて、所定の布板信號により前進航空路線の各地天候を機上の

操縦士に通信する方法をとつた
一、操縦者携帶品—機むすび十個、テコロレット製菓子少量、水筒二、便器
一、ガソリン積載量—二百七十ガロン(約二十七時間分)
一、飛行擔任者—操縦士大阪毎日新聞社航空隊員一等飛行士羽太文夫▲機關士大阪毎日新聞社航空隊員布施徳司▲監督大阪毎日新聞社航空隊長福知新次
斯くて準備全く整ひ昭和三年七月廿六日飛行決行の旨發表せし處、その前日試験飛行の際エキゾスト・バルブに故障あるを發見、東京に急電し三井物産會社の厚意によつて供給されたバルブを羽太飛行士の空友和田飛行士は直に大毎第九號機を飛ばして、その日の中に所澤より各務ヶ原に空中輸送して徹宵修理に努め廿六日午後羽太飛行士は約一時間の試験飛行を行ひ發動機の調整異常なきとを確め、こゝにいよいよ翌廿七日を以て日出日没飛行を實施すること

の滞空日本記録十一時間三十五分および野外無着陸飛行日本記録一千四百八十哩は、一舉にして、その記録を破られ、この飛行によつて二つの日本新記録が残されたのであつた。

この記録飛行に成功して大阪に着陸した羽太飛行士は僅に兩股に多少の疼痛を感じたのみで殆ど疲勞の痕跡なく十分の余裕を示して居たことは、この飛行による貴い經驗の一つであつた。
この飛行における各地通過時間およびライオン機の性能は左の通りである。

- 各地通過時間 ▲各務ヶ原出發午前五時二分▲濱松同五十一分▲静岡同六時十五分▲沼津同三十分▲小田原同四十五分▲所澤同七時十三分▲水戸同五十六分▲平同八時廿五分▲仙台同九時二十分▲水戸同十一時▲東京同四十五分▲所澤正午▲小田原午後零時卅五分▲静岡同一時三分▲濱松同五十八分▲津同二時廿分▲大阪同五十八分

▲岡山同四時二分▲尾道同三十二分▲高松同五時五分▲大阪着陸同六時廿五分
ライオン機性能概要 ▲翼長一四四〇〇▲機長八八〇六〇▲翼面積二八平方哩七〇〇▲速度(最高)二〇八哩▲航続時間四二時間▲座席一▲發動機ライトワールウインド空冷二〇〇馬力

航空設備

帝國飛行協會 帝國飛行協會は、大正二年四月二十三日、日本航空協會と帝國飛行協會との合併により成立、翌三年九月二十六日財團法人の認可を得て、久通宮邦久王殿下を總裁に仰ぎ、本部を東京市麹町區有樂町一ノ一三三二一號館内に置き、各府縣廳内に支部を設く。大正七年六月二十四日には更に國民飛行會を併合し、同八年六月万国航空協會に加盟した帝國飛行協會の主なる目的事業は航空に關する學術技術機材等の研究、民間航空従業者の保護獎勵及

航空觀念の普及にあり、先に多額の御内帑並を賜はる。目下東京市芝區櫻田本郷町に航空館を新築中である。大正十五年秋大阪に、昭和二年春名古屋に航空デイスプレを開催して成功を博し、時々各地において飛行會講演會を開く。毎月一回機關雜誌「帝國飛行協會報」を發行す。

定期郵便飛行 定期郵便飛行は、逓信省の指令により大正十四年四月二十日より開始され、飛行業による郵便物の運送を取扱ふ。取扱郵便物は料金を完納した第一種及第二種郵便物に限り、表面に飛行と朱書すること、引受及配達はすべて普通の方法による。現行の定期郵便飛行の航空路線と、その受命者は左の如くである。

日本航空株式會社 大阪、福岡線(四九〇キロ)一週三往復 使用機 川西式七型及同八型水上機(マイバツハニ六〇馬力) 日本航空輸送研究所

堺、大分線(四〇〇キロ)一週三往復 堺、高松、徳島線(三二〇キロ)一週一往復 使用機 ハンザ式水上機(イスポ二〇〇馬力) 東西定期航空會 東京、大阪線(四二五キロ)一週三往復 東京、仙台線(二五〇キロ)一週一往復 使用機 サルムソン式(サルムソン二二〇馬力) ▲ブレゲー式一九型(ローリン四〇〇馬力) 民間飛行場 左記の上半は管理者下半は所在地である。

三菱航空株式會社(陸)名古屋市南區大江町 長谷川鐵雄(陸)静岡縣掛塚町 宗里悦太郎(陸)千葉縣船橋町 根岸 錦藏(陸)静岡縣三保松原 伊藤音次郎(陸)千葉縣津田沼町

阪市港區船町西田仲右衛門▲徳島飛行學校 徳島市寺島町横山友象▲東亞飛行專門學校 千葉縣津田沼町川邊佐見▲郵便飛行の傍ら練習生を養成しつつあるもの▲日本航空株式會社 大阪市港區船町西龍三▲日本航空輸送研究所 堺市大濱海岸井上長一

横山 友象(陸)徳島市 長淵 三郎(陸)静岡縣三方ヶ原 川西 龍三(水)福岡市入船町 川西 龍三(水)別府市 井上 長一(水)堺市大濱海岸 井上 長一(水)大分市 井上 長一(水)高松市濱之町 安藤 孝三(水)愛知縣知多郡旭村 井上 長一(水)徳島縣小松島町

民間航空機關の組織 民間航空に關しては大正九年陸軍大臣の管理に屬する航空局の設置によつて初めて組織的機關の活動を見るに至つた。越けて大正十二年四月航空局は逓信大臣の管理に屬することとなり、更に大正十四年十一月官制改正の結果航空局は逓信省内の一局となり、左の各項の事務を掌ることとなつた。

(一)民間航空取締に關する事項 (二)民間航空に關する事業の監督及保護獎勵に關する事項 (三)民間航空に伴ふ施設に關する事項

逓信省航空局は監理、技術の二課に分れ、各の管理事項の種別は次の如くである。 監理課 (一)民間航空の取締 (二)民間航空事業の保護獎勵及監理 (三)航空に關する公益法人の監理 (四)國際航空 (五)本局主管に關する豫算の計理 (六)本局主管に關する統計 (七)本局中他課に屬せざる事項

技術課 (一)航空機の検査及登録 (二)航空機操縦士及操縦士の試験登録養成及取締 (三)航空機工業の保護獎勵及監督 (四)航空に伴ふ施設の實施並に取締 (五)航空地團及航空氣象 (六)航空機の救護及事故調査 官費の飛行家大養成 逓信省航空局では大正九年航空局設置以來毎年一般から飛行機操縦術練習生若干名を募集してゐる。練習生志願者は年齢十七歳以上二十歳未満の獨身の男子に限り、陸軍航空勤務者身體検査の例による體格検査と中學校卒業程度の學術試験を

巴拉シュエーター 原田 龍治 昭和二年九月十二日午後五時過和歌山縣熊木町にて乗機飛行士操縦のサルムソン式に乗機飛行中機上より飛び降りたが、落下の網からまづつて開かず、そのまゝ飛行機に吊り下り着陸の際地上に衝突し、上引きすられ遂に死亡し本邦最初の落下犠牲者となつた。

海軍大尉 宇田 正衛 海軍兵曹長 黒川 虎真 海軍二等兵曹 芳村 忠雄 昭和二年九月廿八日午後十一時頃、佐世保海軍航空隊の一四式を牛田大尉操縦秋季基本演習に参加、夜間飛行中前方不明となり捜索中廿九日朝五島尖峰沖にて破滅した機體と共に三殉難者の死體を發見した。

陸軍航空兵中尉 服部 勝雄 昭和二年十月十五日午前七時半頃、岐阜縣各務ヶ原陸軍飛行第一聯隊飛行機上空にて各甲式四型機を操縦、悪天候飛行中、高原原嶽の左翼が服部機師の尾部に衝突して兩機とも破損甚だし服部中尉は殉難、原軍曹は重傷を負つた。

津江海軍中尉 石井一等水兵 昭和二年十月十六日午前六時頃、航空隊艦隊操縦の偵察機を石井水兵操縦津江中尉同乗して海軍大演習の偵察飛行中宮崎縣南洲郡都井神十二連の海上附近にて霧海の中に没入し操縦者とも行方不明となる。

行つた上、合格者は飛行機操縦術練習生として採用、その教育は所屬陸軍飛行學校(陸)と霞ヶ浦海軍航空隊(水)とに依託して正規の練習をさせる。修業中は一定の宿舍に居住し、被服その他操縦術練習に關する諸経費は航空局から支給され修業中成績優秀の者は特待生として月額二十円の支給を受けることが出来る。正規の操縦術並に學科を修得したものは卒業と同時に二等飛行機操縦士の免狀を下附される。

民間飛行術練習所 以下上は名稱、中は所在地、下は代表者である。 第一航空學校 千葉縣船橋町宗里悦太郎▲福長飛行機製作所 静岡縣掛塚町長谷川鐵雄▲日本飛行學校 東京府立川町相羽有▲名古屋飛行學校 愛知縣小幡ヶ原御原福平▲宮城飛行協會 仙台市名掛町大石倫三▲伊藤飛行機製作所 千葉縣津田沼町伊藤音次郎▲西田航空研究所 大

阪市港區船町西田仲右衛門▲徳島飛行學校 徳島市寺島町横山友象▲東亞飛行專門學校 千葉縣津田沼町川邊佐見▲郵便飛行の傍ら練習生を養成しつつあるもの▲日本航空株式會社 大阪市港區船町西龍三▲日本航空輸送研究所 堺市大濱海岸井上長一

民間航空機、發動機製作所 以下上半は名稱、下半は所在地である。 三菱航空株式會社 名古屋市南區大江町▲株式會社川崎造船所 神戸市兵庫東尻池▲愛知時計電機株式會社 名古屋市千代町▲中島飛行機製作所 群馬縣太田町▲川西機械製作所 神戸市兵庫東尻池▲石川島造船所 東京市京橋區▲伊藤飛行機製作所 千葉縣津田沼町▲福長飛行機製作所 静岡縣掛塚町(以上飛行機々體製作所) 三菱航空株式會社 名古屋市南區大江町▲株式會社川崎造船

陸軍航空兵大尉 奥平 隆一 昭和二年六月廿一日正午頃、滋賀縣八日市陸軍飛行第三聯隊の飛行機にて甲式四型機を操縦練習飛行中機上より機體の隙飛行機西南隅の松樹に左翼を引かけ附近の田圃中に墜落して重傷を負ひ遂に殉難した。

陸軍航空兵大尉 伊藤 武雄 昭和二年七月廿八日午前九時半頃乙式一型を伊藤大尉操縦少佐同乗、所屬飛行機にて試験飛行中河津町宮本町新光寺境内に墜落伊藤大尉は即死、少佐は重傷を負ひ翌朝遂に殉難した。

海軍二等兵曹 眞田 武雄 昭和二年九月七日午前八時半頃十年式偵察機を眞田二等兵曹操縦一等水兵小椋廣市操縦田兵曹同乗、暴雨の中を飛行中茨城縣船橋郡江戸崎附近の水田中に墜落、眞田兵曹は問もなく死亡、小椋水兵は瀕死の重傷を負ふ。

陸軍航空兵大尉 河崎 壽助
昭和二年十月廿七日午前五時頃、台港岸東陸軍飛行第八聯隊東飛行場にて甲式四型戦闘機を操縦飛行中墜落惨死した。

陸軍航空兵 小前 常藏
昭和二年十一月十五日午前七時すぎ、岐阜縣各務ヶ原陸軍飛行第二聯隊の乙式一型偵察機を操縦中野中尉同乗して陸軍大演習に参加、通信筒投下の任務を終つて愛知縣小幡ヶ原飛行場に着陸の際墜落し小前特務は即死し、後野中尉は重傷を負ふ。

陸軍航空兵大尉 久能申二
昭和二年十一月十八日午後三時すぎ、所澤陸軍飛行場校の乙式一型偵察機を操縦川崎大尉同乗宇都宮師團の秋季機動演習に参加し烈風を冒して飛行中發動機に故障を生じて不時着陸地捜索中栃木縣那須町地先の堀米橋下の礫に墜落して久能大尉は即死し川崎大尉は重傷を負ふ。

海軍少佐 野口 司
海軍機關少尉 門松 重高
海軍大尉 田村 英俊
海軍機關兵曹長 田中 實

海軍機關兵曹長 寺尾 義計
昭和三年七月廿一日午前八時頃、朝鮮平壤陸軍飛行第六聯隊飛行場において甲式四型戦闘機を操縦、練習飛行中牡丹台附近の上空にて空中火災を起して墜落惨死殉職した。

海軍少佐 野口 司
海軍機關少尉 門松 重高
海軍大尉 田村 英俊
海軍機關兵曹長 田中 實

飛行準備演習のため兩機相前後して同隊飛行場を離陸し、高度約百メートルに達した際、先行機が方向を轉ぜんとして兩機衝突して墜落、三〇七號は火災を起して田村大尉中兵曹長は焼死し、三〇三號は野口少佐門松少尉は重傷を負ひ手筈中同七時すぎに絶命殉職した。

飛行練習生 長船 清藏
昭和二年十二月十八日午前八時四十分頃、落松市外神久呂村三方ヶ原日本中央飛行學校飛行場にてニューポール式十八平方型機を單獨操縦練習飛行のため離陸後間もなく三十メートルの低空より墜落即死す。

海軍二等兵曹 本廣 岩雄
昭和三年一月十九日午前八時半頃、茨城縣龍ヶ浦海軍航空隊の艦上偵察機を單獨操縦練習飛行中同縣龍ヶ浦朝日村の田圃中に墜落即死す。

一等飛行機操縦士 後藤 勇吉
昭和三年二月廿九日午前八時五十分頃、太平洋横斷飛行準備訓練のため海軍の艦上攻撃機を派司飛行士操縦、川村大尉、後藤飛行士同乗大村を發して龍ヶ浦に向ふ途中龍ヶ浦に突き込まれて佐賀縣藤津郡七浦村近郊附近で樹木に衝突して墜落、後藤飛行士は雄圖を抱いて焼死殉職した。

二等飛行機操縦士 小西 利明
昭和三年四月九日午後一時頃、郷土訪問飛行のため松山市北陸兵場にてニューポール四型を組立て試験飛行を終り着陸の際機體に故障を生じて墜落内に墜落重傷を負ひ同二時すぎに絶命した。

一等飛行機操縦士 姜 世基
昭和三年四月十八日午後三時四十分頃、玉野所澤町陸軍飛行場にて飛行場にてサルムン機を委飛行士操縦安武飛行士同乗練習飛行中飛行場北側の富岡村中谷の畑中に墜落し兩飛行士とも即死す。

陸軍航空兵 菅原勘十郎
特務曹長
昭和二年四月十四日午後三時四十分頃、東京府立川町陸軍飛行第五聯隊の乙式一型偵察機を操縦して訓練飛行中埼玉縣大里郡男沼村の利根川岸に墜落して殉職、同乗の高梨航空兵少尉は重傷を負ふ。

一等飛行機操縦士 加藤寛一郎
職工青山正則 同高島芳雄 同掛川登 同新井万平 同高木仲次 同根武仲次郎 同田中次郎

飛行練習生 崔 炳文
昭和三年五月四日午後一時頃、埼玉縣太田町中島飛行場製作所の新造旅客機(ジエビター四五〇馬力)を操縦飛行士操縦七名同乗して試験飛行のため同所飛行場を離陸後間もなく墜落、搭乗者悉く焼死す。同機は通信機の命令により製作したるものである。

百武陸軍航空兵大尉
昭和三年六月廿一日、國境に出動中の朝鮮平壤陸軍飛行第六聯隊の乙式一型偵察機を操縦、磯村少尉同乗して中江鎮を出發し江界に向つて飛行中午前十時廿分頃、浦上流の鴨綠江岸に不時着陸の際機體を大破し百武大尉は即死殉職し磯村少尉は重傷を負ふ。

海軍大尉 栗岡 茂夫
海軍大尉 平 利正
海軍少佐 中島 榮吉
海軍大尉 武 義照
三等兵曹 久保田 工
一等水兵 齋 正

昭和三年七月五日午後八時より九時まで
昭和三年七月五日午後八時より九時まで

太平洋横斷飛行問題 純日本
製の飛行機による太平洋横斷飛行(霞ヶ浦シヤトル間)計畫が世間の問題になり始めたのは昭和二年七月からである。八月四日の帝國飛行協會理事會では飛行決行の事を決議し、九月一日には海軍、陸軍、東大、中央氣象台、協會側等各方面の有力者を網羅した實行委員會が組織され主催者帝國飛行協會の理事山田陸中將が實行委員長となり飛行機は結局神戸の川西機械製作所で製作することに決定し十月十五日には神戸の川西製作所で山田委員長、馬越海軍少佐、和田陸軍大尉、佐々木航空官、川西清兵衛、同龍三、關口技師等の諸氏會

合飛行實行に關する主要事項につき協議した。かくて飛行擔任操縦士の決定を見たのは十一月の一日で、いづれも川西龍三氏が經營する日本航空會の飛行士である。一等飛行機操縦士一等航空士後藤勇吉、一等飛行機操縦士二等航空士藤本照男、同海江田信武、同諏訪宇一

四飛行士は十一月末日海軍の好意により霞ヶ浦海軍航空隊に入隊、横斷飛行に必須なる技術及び學術の訓練を受けることになりそれぞれ受持海軍將校の懇切なる指導の下に猛烈な練習を始めた。この邊まで計畫は順調に進んで行つたが川西製作所の飛行機が、出来上り掛つて来る頃から、機の問題について通信省航空局と主催者側とに製作者側間にいろいろの懸案が持ち上つて来るやうに見え初めた。その時、何たる不幸ぞ、この大飛行になつてはならぬと思はれてゐた後藤飛行士は昭和三年二月廿九日、歐訪飛行士操縦の際上攻

を再び同二時すぎに絶命した。
三等飛行機操縦士 姜 世基
一等飛行機操縦士 安武長右衛門
機操縦士
昭和三年四月十八日午後三時四十分頃、玉野所澤町陸軍飛行場にて飛行場にてサルムン機を委飛行士操縦安武飛行士同乗練習飛行中飛行場北側の富岡村中谷の畑中に墜落し兩飛行士とも即死す。

度から数町沖合の海中に墜落して操縦生は即死し、姜飛行士は重傷を負うた。
陸軍航空兵大尉 笹井 二郎
陸軍航空兵中尉 小澤 廣延
昭和三年五月廿九日午前九時半頃、岐阜縣各務ヶ原陸軍飛行第一聯隊飛行場において各甲式四型戦闘機を操縦練習飛行中に編隊動作の訓練飛行中千メートルの高度にて旋回飛行の利那小澤機は先登の笹井機に衝突して破損墜落し兩機とも即死殉職す。

むづかしい事と見ねばならぬ。しかし第二號機の試験飛行は第一號同様藤本飛行士の手で八月に入つたら各務ヶ原で實施される運びとなるであらう。
太平洋横斷飛行に關しては専門家の外には一寸解り兼ねる闘争が續き、感情問題が挟まつてゐるの、計算が違つてゐるの、終りにはいろいろ臆測まで打ちまじつて傳はる程に問題が紛糾してしまつた。なるほど感情もさしはさまれてゐるかも知れない、計算にもまちがつた點があるかも知れない。問題は意外は紛糾した。がそれ等は、いづれも監督者、製作者、主催者の眞面目、眞剣味の閃きが、遂にこの紛糾となつて現れたもので、言を換へて言へば關係各人が、好い加減のことをせず、誠意と熱情とを以て事に直面した結果に外ならぬと思はれる。
大體、この太平洋横斷飛行實施の問題が起つた時の日本の長時間飛行記録を調べて見ると

連続飛行十一時間卅五分
大正九年四月廿日(佐世保横須賀間)

海軍中尉 赤石 久吉
外國では五十何時間かの連続飛行をやつてゐるのに、わが日本で大正九年から昭和二年になるまで連続飛行時間の記録は依然として十一時間五分を出なかつたといふことは、飛行記録が必ずしもその國の飛行勢力のシンボルとはならないにせよ、少くとも、わが國では大正九年から太平洋横断飛行問題が起つた昭和二年まで航続力の豊かな飛行機を作るとに精進しなかつたこと、精進することが出来なかつたかも知れぬことは動かすことの出来ない事實である。昭和二年の日本航空界に何十時間でも飛べる自信がある飛行家があり何十分間かを飛べる飛行機を作るに十分の確信ある技術者があつたにせよそれは心もちだけで、眞の飛行経験に至つては、悲しいかな十一時間卅五分を出でないのである。十

一時間卅五分の経験から一事に五十分間の連続飛行に耐へる飛行機を作らねばならぬのである。そこに若干の問題が起るのは寧ろ當然のことである。ましてそこには航空行政がある。航空技術者の自信がある。誇りがあつた。航空監督者の明敏な耳目がある、計算がある。何故に主権者は問題の當初から、この當然の事を今少し深く考へなかつたか。國民擧つて、その達成に努めねばならぬ太平洋横断飛行問題の今日までの経過を見聞する毎に、この點について思ふこと多く切に計畫實施の円満に進捗せんことを祈るものである。

世界の石油國

(一七七年産額單位千バレル)
合衆國 六、八〇〇 ロシア 三、四〇〇
グエネツエラ 六、四〇〇 メキシコ 六、二〇〇
ペルシア 三、八〇〇 ルーマニア 六、一〇〇
蘭領東印度 二、一〇〇
コロンビア 一、六〇〇
(一千万以下略)

世界航空界

チャールズ・リンドバーク、クラレンス・チャンバレン、リチャード・エヴェリン・バード、これ等の人々が一九二七年の初夏、太平洋横断飛行を敢行し、それ〴〵成功を見せたことは、世界の航空界に異常のセンセーションを起して海洋飛行に長距離無着陸飛行に、長時間飛行に〴〵の計畫が續出した。勿論これ等の計畫が發表されるといふことはその大飛行に必須要件とする飛行者の優秀な技能、飛行機材の完備航空計器類の精妙といふやうな諸條件に對し相當の自信を有するからであり、又最近世界航空界の發達は十分の準備を整へた時、天候に非常の支配を受けぬかぎり、連続五十時間前後の飛行を實施する可能性を有する程度に達してゐるのではあるがリンドバークやチャンバレンの大西洋横断飛行成功が世界航空界

に投げかけた大きな影響の中には眞剣な航空研究者に幾多の好材料と教訓とを與へ將來の發達に資するところ頗る多大である。一方において航空界に一種の押へ切れぬ飛行熱を沸騰させ、中には幾分無謀な虚榮的の海洋横断飛行を企てるものなど現はれ、從つて犠牲者を出し、遂には海洋飛行禁止の提案まで見るに至つた。この雰圍氣の眞先をなしたのはハワイの富豪ドール氏が三万五千弗の懸賞をかけた米本土ハワイ間の無着陸飛行競技であり、これに續いて重なる飛行を列記する。

ドール懸賞飛行は參加機十五に達したが出發前空中火災のため米國海軍大尉ゴウエル氏とワツジエナー氏が最初の犠牲者となつた外準備不整および出發に際し故障又は破損のため落伍したものの離陸後間もなく引返して來たものもあり結局一九二七年八月十六日オーク

日本飛行記録

種別	記録時	日	場	所用機	搭乗者
速力	五、三〇〇	大正十年	千葉	白戸式イスマ	高橋 信夫
高	七、三〇〇	昭和三年	須賀	昭和三年式	海軍中尉 藤野 義一
野外無着陸	三、二〇〇	昭和三年	各務原、徳島、高松、大阪	P型ライオン	一等飛行士 藤野 義一
滞空時間	三時間三分	昭和三年	同	同	一等飛行士 藤野 義一
連続留返	五〇四回	大正十一年	明野	乙式一型	藤野 義一

世界飛行記録(昭和三年七月末)

種別	記録時	日	場	所用機	搭乗者
速力	五、三〇〇	一九二八年	三月三十日	ツェッペリン	ベルナルディー(伊)
高	三、四〇〇	一九二六年	八月廿三日	クロープラー	カリー(佛)
野外無着陸	三、二〇〇	一九二八年	イタリヤ	ツェッペリン	ツェッペリン(伊)
滞空時間	三時間三分	一九二八年	同	同	同
連続留返	五〇四回	一九二八年	同	同	同

ランド飛行場を出發してハワイに向ひ飛行競技を開始したものはフロスト機(ゴールデン・イーグル號)▲ベットラー機(ミスドゥラン號)▲ジェンセン機(アロハ號)▲ゲイベル機(ワイルロツク號)

の四機で、ベットラー機にはドール氏が同乗出發した。斯くてハワイのホノルル郊外ワイラー飛行場へ眞先に到着して一番乗の名譽を博したのはアーサン・シー・ゲイベル氏操縦、航空士ダグ・ワイス氏同乗のワイルロツク機で十七日午後零時十五分着、飛行時間廿六時間十九分五十八秒、次に同二時廿分ジェンセン機も無事ワイラー飛行場に着陸したがフロスト機とベットラー機は米國海軍の検査も効なく遂にドール飛行の犠牲となり又十六日出發の際故障のため途中からオークランドに引返したワイラム・アーウィン氏は行方不明の兩機搜索を兼ねてホノルルまで飛行すべく十九日午後一時半再び

オークランドを出發したが、同機も遂に行方不明となり第三の犠牲者となつた。

お馴染のリンドバーク大佐は米國に歸着空前の大歡迎を受けた後例のライオン單葉(ヘスピリット・オブ・セントルイス)を操縦して米國各地を縦横に飛行し更にメキシコから中米各地の訪問飛行を果して故郷セントルイスに歸朝し航空機四万に上つた愛機スピリット・オブ・セントルイス號はニューヨークの博物館に飾られることとなつた。

一方米國ニューヨークを起點に世界早廻り飛行第一番機プロツク飛行士操縦シユリー機同乗のスタンソン式單葉(ライトワイルウインド二〇馬力)ブライド・オブ・デトロイト號は一九二七年八月廿七日午前五時十四分ハイダレース出發一氣に大西洋横断を決定

して廿八日午前十時卅五分ロンドン郊外クロイドン飛行場に着陸、それより獨逸、トルコ、ベルシヤ、インド、支那を急速に翔破して九月十四日霞ヶ浦に着、太平洋は汽船に搭載しサンフランシスコより再び飛行十月四日午後三時無事デトロイトに歸還した。

二番手の米國の世界早廻り飛行機フエーチャイルド(ワスプ四〇馬力)機は劇作家ジョン・ヘンリー・ミアス氏同乗、ゴッド・コリアー氏操縦一九二八年六月廿九日午前五時ニューヨークのマンハッタン・アイルランドの飛行場を出発して航行中のアキタニア號に首尾よく乗船し七月五日佛國シエール港着直にモスコイに飛行しシベリアを横断、チタ、奉天、平壤、大坂を経て十一日立川飛行場着、十二日横濱出帆のエムブレックス・オブ・ルシア號に飛行機と共に搭乘、二十日夜ダイトリア着、機所の飛行機を飛ばして米大陸を横断し二十二日午前六時五十八分出

發點のニューヨークに歸還着陸した世界早廻り所要時日二十四日一時間五十八分、一九二六年米人ウエルス氏の作つた二十八日十四時間三十六分五秒を短縮すること四日半、見事に世界一周の新記録を作つた。これ等二つの世界早廻り機は相當航空界の注意を惹いたものであつた。

今一つアメリカ式のもので、ボストンの女流飛行家アメリー・イヤハート機はワイルバースワルト飛行士、ゴートン機士と共に愛機フレンドシップ號に搭乘、六月十七日午後零時二十分ニューファウンドランドのトレバシーを出發ロンドンに向け大西洋横断飛行の途についたが十八日午後零時四十分(ロンドン時間)無事ウエルス南海岸ラネスリーの西方約五哩パリポートに着陸、所要時十九時間四十九分、女流飛行家として海洋横断の最初の成功者となつた。

北米から濠洲へ南太平洋横断一万三千哩の大飛行を計畫した濠洲の飛行家キングス・フォード・スミス大尉(以下三名乗組)はサザン・クロス號(フオツカー式三發動機附)を操縦して、一九二八年六月一日米國オランダ飛行場を出發し、途中ハワイおよびフィジー島を経て九日午前十時十分濠洲のプリズベーンに着陸しこの離飛行に見事成功した。同大尉はこの飛行を敢行するため八年間の苦心を積んださうであるが、この飛行中の最難所ハワイ、フィジー島間約五千哩の純然たる海洋横断飛行を鮮かにやつてのけ三十四時間五十五分で翔破し去つたは見事であつた。

米國から歐洲への道にヨーロッパからアメリカへの飛行は、一九二七年リンドバークの成功に先だつた。佛國のナンゼツセー、コリ

一兩氏がイスパノ五〇〇馬力裝備の複葉機で佛國を出發したまゝ、行方不明となつて最初の犠牲となつてからドイツでも英國でも飛行を計畫したが何れも途中着陸したり引返したり墜落したりして成功を見なかつたが、一九二七年の夏の飛行を敢行し天候のためアイランドから引返してしまつたドイツのケール大尉は飽くまで初志を貫くため一九二八年二月廿六日の朝八時廿分、ひそかにベルリンを出發して午後四時三十分アイルランドのポードンネルに着陸、こゝで一切の準備を整へ天候を見定めてみた。ケール大尉の乗用機はユンカー式W三三型(ユンケル五型二八〇馬力)五ノの全備重量で四十時間の連続飛行に耐へ得る確信があつた。三月十二日天候順と睨んで、午前五時三十八分出發と睨んで、午後七時五十一分ローマを出發直線コース七千五百哩を物の見事に翔破して五日午後七時五分ブラジル國リオ・グランデ・ド・ノルテス州の首府ナタールの北方十哩の海岸に着水し長距離飛行の記録を作つたのは目ざましかつた。なほフェラリン氏はその後間もなくアルゼンチンにて飛行中墜落し兩脚に挫傷を負つた。

判明せず、ガソリン漸く缺乏を告げて来て、遂にニューヨーク行を断念してグリーンリー島の氷結した湖上に着陸し乗員は無事であつたが機體は大破した。しかし三十六時間五十分で三千五百哩を翔破し大西洋横断飛行逆コース最初の飛行成功者となつたのである。

米を経てニューヨークに飛び、米大陸を横断してサンフランシスコより汽船にて一九二八年三月卅一日横濱着、四月八日立川飛行場發一氣に二十五時間半を飛んで東京附近に着陸しそれよりインド、ベルシヤと晝夜兼行の驚くべき飛行を続け日本出發後七日目の十四日午後六時十五分パリ郊外ル・ブルヂエーに歸還着陸し熱狂せる佛國民の歡迎を受けた。パリ出發以來の全航空程五万六千哩。僚友の慰靈はいふに及ばず、佛國のために万丈の氣を吐く快飛行であつた。

お馴染の佛國飛行家ドアジ少佐は佛日商業飛行開拓を目的に一九二八年五月四日パリを出發東飛中十六日ビルマのアカヤにて着陸の際墜落して飛行機を大破し遂に東京行を中止した。

英國飛行家バート・ヒンクラー氏は僅かに三千馬力の發動機を裝備

した輕飛行機を操縦して一九二八年二月七日ロンドンを出發し單身オーストラリアに向け長飛行の途に上り十六日目の二十二日無事オーストラリアのポートダーウィンに着陸したが輕飛行機による長飛行の成功として大きな收穫といはねばならぬ。氏はこの飛行によつて次のやうな新記録を作つた。

- (一) 英濠間飛行十六日(二) ロンドン、ローマ間無着陸飛行(三) 英國インド間の最速記録(四) 輕飛行機による長距離飛行

ベルナルデ少佐が水上機をもつて時速五百十三哩の速力を出して世界を驚かしたイタリーは、更に歐洲から東洋への最初の飛行成功者であるフェラリン大尉によつて、すばらしい記録が作られた。一九二八年七月三日フェラリン少佐は五十七時間余の滞空記録を作つたばかりのファイアット六〇馬力裝備水上機を操縦デルブレテ

ヨーロッパからアメリカへの飛行に最初の犠牲となつて大西洋の藻屑と消えた佛國飛行家ナンゼツセー、コリー兩氏の靈を慰めるため僚友佛國飛行家コスト、ルブリの兩氏はナンゼツセー・コリー號と命名したブレゲー一九A二型(イスポノスイザ五〇馬力)を操縦世界一周飛行を敢行すべく一九二七年十月十日パリ出發、途中アフリカ西岸のサンルイに着陸、十四日同地發、見事に大西洋を横断して十五日ブラジルのポートナタールに着陸、廿日には第一目的地のダエノスアイレスに到着、更に中

オーストリアの飛行家ウィルキンズ大尉は米國製の單葉機ロツクヘツド・ウエガス機を操縦アラスカの探検家アイルソン氏同乗、一九二八年四月十六日一氣に北極上を飛過してスピツツベルゲンまで飛び貫く目的でアラスカのポイント・パローを出發したが途中暴風のためスピツツベルゲン北方のドールメン島に不時着陸し同所に閉ぢ籠められること五日間廿一日天候回復を待つて同島出發無事スピツツベルゲンに着陸し見事に北極

探極地横断飛行の目的を達成した。ポイント・バローよりドリルメン島までの飛行二十一時間。

再度北極探検飛行を敢行する目的で航空船「イタリア」を建造したノビレ少将は一九二八年四月十五日イタリーのミラノを出発した。同船には所定乗組員の外理化学専門家ミラン大學教授ポントレモリ氏スエーデン知名の氣象學者マルマクラー教授その他の乗客も加つて五月六日無事根拠地スピッツベルゲンのキングス・ベールに到着十五日出發飛行を開始十八日無事根拠地に歸還した更に廿三日午前四時四十分キングス・ベールを出發、引續き探検飛行中北極附近において大風雪に襲はれ、行方不明となり一時は絶望を傳へられたが六月初旬に至り無線電信によつて乗組員の生存することおよび避難地點の位置（北緯八十度十五分東經二十八度）が判明したのでイタリ

ロシア、スエーデンの各國はあらゆる方法を講じて救援作業に従つた。その後無電の報告によりイタリア號は山に衝突して墜落し、その際機長は即死したが他の乗組員は分れ／＼ながらも兎に角生存してゐるとがわかつて來た。かくて六月二十日に至りイタリー飛行家マデラ少佐の操縦する水上機は遂に浮氷の上に張られたノビレ少将一行の遭難天幕を發見し、携行してゐた食料品を投下してキングス・ベールに歸還、その旨を報告したので、茲に六ヶ國を代表する十三組の救援隊と十台の救援飛行機は更に新しき活動をつづけるのであつた。越つて二十三日、スエーデンの飛行家トインベルグ大尉は決死の救援飛行を試みて巧みに浮氷上に着陸すべくも手足に負傷してゐるノビレ少将一名だけを機上に收容してキングス・ベールに歸還し第一回の救助作業に成功した。勇敢なるトインベルグ大尉は再び獲れる隊員の救助に赴き、氷上に

着陸の際、飛行機を破壊して數日の後僚友の飛行機に救ひ出さるゝ等、氷雪の中に敢行されたこれ等の救援作業は全く熱心誠實の結晶ともいふべく、殊に作業甚だ困難なる酷寒地にあつて救援飛行に従事する操縦並に航空隊員の苦心と困難とは想像に余るものあるべく救援隊の各員に對し何人と雖も敬意を表さずにはゐられない。かゝる間にロシアの碎氷船は万難辛苦の末ノビレ少将を救ひ出した浮氷に近づきこの氷上にゐたイタリアの遺難者は全部救助されるに至つた。イタリア號の遭難に際し最も悲壯を極め、人格的に人々の胸を深く強く打つたものは北極探検家アムンゼン氏の行方不明である。前年ノビレ少将と共に北極探検に成功した當時のアムンゼン氏はノビレ少将との間に面白からぬことがあつたと傳へられてゐたが、ノビレ少将遭難と聞かや、すべてを放棄し老軀を起して救援に馳せつけたのである。空友を思ふアムンゼン

氏の眞情は單に救援に馳せつけるのみでは満足が出来ず、佛國政府から提供された水上飛行機に乗りトリクセン中尉を操縦者としてまづオスロからキングス・ベールに飛び、六月十八日にはいよいよノビレ少将遭難地點を發見救助に努めるべくキングス・ベールを離水して救援飛行の途に上つたが、その後遂に音として何等の消息なく行方不明となつてしまつたのである。恐らく海中に墜落したか、氷上に不時着して糧食盡きたか、何れにも絶望と見られたノビレ少将は助かり老軀を起して困難な救援飛行を斷行したアムンゼン氏は再びあの勇姿を現はさぬことになつてしまつたのである。極地探検家として僚友の遭難に當たりその救援のため極地の氷雪中に倒れたことはアムンゼン氏としては寧ろ本望であつたかも知れぬが、實に残念なことである。唯アムンゼン氏のこの眞情こそ航空美談として後世に傳はるべきものであらう。

一九二七年九月二十三日、ドイツのルフトリン社のドルニエ・メルクル機墜落、乗客の駐米ドイツ大使フオン・マルツァン氏ドイツ國立銀行頭取レール氏外三名斃死した▲十月四日ベルリン發大洋横断ニューヨークに向つたエンカー水上機（飛行士二、航空士機師各一名女優リニー・デイレント乗組）はアゾールス群島附近で墜落したが汽船に救助されリスボンに引返した▲十月十一日午後五時四分大洋横断の目的でニューヨークを出發した米國女流飛行家エルダー嬢及ジョージ・ハルニバマン飛行士搭乗の「アメリカムスメ」號軍機は途中送油管故障の爲アゾールス群島の東北五百マイル海上に不時着水漂流中をオランダの石油船バレンドレヒト號に救

れた運の好い女である▲別項佛國のコスト、ルブリ兩氏の世界一周機がブラジルに到着した際十月十

七日バビヤの上空でブラジルの歡迎飛行機二台中衝突を起し三飛行士斃死した▲一九二七年夏はばくく大洋横断飛行を企て途中から引返した時故ウイルソン大統領の姪グレイソン夫人は十二月廿三日水上機に搭乗、オムダル氏操縦で航空士ゴールズボロー氏機師ケイラー氏同乗ニューヨークを出發したが行方不明となる英國飛行家ヒンリッフェ大尉操縦の努力は英國實業界の大立物インテケー伯の令嬢マツケ嬢同乗一九二八年三月十三日英國クローンウエル飛行場出發大洋横断飛行の途についたが行方不明となる▲リンドバーク大佐は空の僚友ベンネット氏がドイツの大洋横断機救援のためにケベック灣在中肺炎に肋膜炎を併發したことを聞き、その急を救ふため、肺炎治療の血清を飛行機に積み込みニューヨークからケベックに飛んで僚友の病床を見舞つた。誠に航空佳話である▲英

月十七日英國ブリマスを出發した英國海軍航空隊の水上機四機は一九二八年六月二十九日漸く目的地の濠洲メルボルンに到着した。英國式の飛行だが、空中連絡にしては少し時日が掛り過ぎた▲大西洋横断で一時に名をあげたチャンバレン氏は一九二七年八月一日午前八時十四分、ニューヨーク海岸から百五十哩の沖合を航行中の汽船ベリアザン號の甲板から見事スタートして九時三十分カーチス飛行場に着陸、出入港時における船地連絡の模範的飛行振を見せた▲佛國の花形飛行士ドラモンド氏は一九二七年十二月二十日速力の新記録を作るため低空飛行中過つて高壓電線に觸れ斃死した▲佛國飛行家シャレー大尉機師土ラバン氏搭乗の佛機は一九二七年十一月十一日パリ發佛領インド支那のサイゴンに向つたが、十二月二十一日パリに歸着バリ、サイゴン間の往復飛行を完成した▲クラレンス・チャンバレン氏はロツカーウイ

リアムス氏と共に滞空記録を作るため一九二八年二月四日米國ヴァージニア州のバード飛行場を出發したが離陸後間もなく四五十哩の高高度から墜落機體大破して計畫は全く挫折した▲佛國飛行家コルロン、ジャラルドウ兩氏はモロッコのカツサプランカ出發、アルジェリア、スエーデン、セネガール經由の二万哩の長距離遊飛行に成功し一九二八年四月七日パリに着陸した。所要時間六十五時間

各國民間航空記録 (一九二八年)

國別	飛行機	操縦者	飛行
英國	三	三	三
佛國	三	三	三
加奈路	三	三	三
美國	三	三	三
日本	三	三	三

1929

製作専門

賞牌メダル

徽章七寶

金銀象嵌

銀器

トロフ井

造幣局御用

大阪南區安堂寺橋通二丁目界筋南

小林香林堂

電話場參參番・大阪九堂番六番

最新兵器

未來の戦争

陸海空を通過する
軍備對抗の世界

本社軍事記者 成田篤
陸軍砲兵少佐

人類は理想として平和を欲求しあ
るにもかゝらず、現在の世界は
依然として軍備對抗の世界であ
る。軍備は平和の保障ともなるが、
また戦争のための準備といふこと
も否認し得ない。

世界の現勢から將來の戦争を大観
すれば、益々複雑にして大規模な
ものとなることは争はれない。そ
れは主として世界の短縮に因る國
際關係の緊密、經濟的國家組織の
進歩、科學工藝の發達に伴ふ兵器
の進化等は斯く導かずに置かぬか
らである。ゆゑに現代の國民はそ
の生存上國際事情、經濟關係を明
かにすると同時に、軍備の本質を

特別記事—最新兵器

知らなければならぬ。本稿は從來
國民の理解に難く、興味に缺けて
ゐた兵器殊に進歩せる現代の科學
技術を應用せる最新兵器の趨勢を
通俗的に概説したものである。

日露戦争前までの兵器

そも、新しき兵器は新しき戦術
を生み出すものである。兵器戦術
が一定して來ると戦闘力も一定し
勝負が失はれるので更に新兵器が
考案される。そこでまたこれに對
する新戦法が生れ、兵器と戦術と
は先きになり後になり絶えずマラ
ソン競走を續けてゐるのである。
刀劍弓矢時代は戦士の體力と練磨
とに因り、一將の指揮掌握に便な

る密集隊形を以て大兵の團結力と
衝突力とを利用し、敵軍を破潰し
たものである。エジプトの方陣、ギ
リシヤの猪頭陣などがその一例で
ある。騎兵の乘馬襲撃は更にこれ
に速度を加へたものであつてその
威力は一層著大なものであつた。
火薬が發明され鐵砲(先き込め)が
戦争に幅をきかせ始めたのは、西
洋ではナポレオン戦争時代(一八
一〇年頃)わが國では群雄割據の
戦國時代である。當時は射程百
内外、發射速度は一發を射つて次
の弾が出るまでに傷が直つてゐた
といふ程であつた。その戦法は密
集隊形を以て近づいて來た所へ下

ンと一齊射撃を食はせ、その
擾亂に乗じて斬り込んだのである
長篠の戦で信長が鐵砲隊を以て、
無鐵砲の武田勝頼をやつつけたの
もこの戦法に依つたものである。

新舊兵器が戦闘に勝敗をつけたの
は長篠の戦のみでない。一八六六
年の普奥戦争の勝敗も主として兵
器の新舊相違に因るものである。
當時奥國軍の武裝が、尙先き込銃
(前装銃)の舊式であつたが、普國
軍は既にもと込銃を採用してゐた
ので發射速度の上から奥國軍は到
底普國軍の敵でなかつたのである
普國は小銃に先鞭をつけたばかり
でなく、大砲も先鞭をつけた。普
奥戦争當時の大砲は尙さき込砲で
あつて、その無力に苦み、戦後多
大の努力を拂ひ、もと込砲即ち克
式野砲に改裝した。この砲兵材料
の改裝は一八七〇年の普佛戦争に
佛のさき込四听野、山砲に對して
非常の威力を示し連戦連勝したの
である。

小銃大砲の威力漸く増大するに従
八五七

ひ、密集隊形では銃砲弾の前に存在することが出来ない、こゝに散兵を以て前進する散開戦法なるものが生れたのであつた。この戦法は歐洲列國軍では大戦の中頃まで、わが陸軍では大正十一、二年まで採用してゐた。

軍隊の指揮統帥に缺くべからざる通信連絡のためには、従来音響、人脚または馬脚信等によつたものである。また一部傳音機を使用せる時代もあつた。戦争にはじめて電信の利用されたのは、一八七〇年の普佛戦争であるが、それも出征軍と大本營との連絡に供したに過ぎなかつた。戦場に電氣的通信を利用したのは日清戦争を以て最初とする。

日露戦争から歐洲戰

日清戦争當時の小銃は二十二年式連發銃、大砲は野、山砲共七、半の青銅砲で、射程二、三千に過ぎなかつた。日露戦争では小銃は三十年式連發銃、大砲は三十一年式

五百斤から六千斤内外に延長した。しかし發達に行詰れる小銃に要求するところは射程よりも發射弾數、携帯彈藥の多量なことである。小型自動銃の考案はこの要求に應ぜんとするもので獨佛では戰前すでに相當の發達をしてゐたが大戦中には特に目立つた進歩を示さなかつた。大戦末期以後小銃と輕機關銃の合の子なる半自動銃が色々試製されてゐる。

機關銃 一八七〇年の普佛戦争に數本の銃身を束ねたものを使用したのが初めである。當時それをカットリング機關銃といつた。その後一八八四年自動式後坐のマキシム機關銃が生れ今日の精銳なものに發達した。日露戦争當時使用したのは今日の重機銃であるが、口径は小銃と同一であつても二人以上で取扱ふものを砲と呼んだ。慣習から機關砲といつたものである。同戦後わが陸軍の歩兵科では砲兵科の反對を排して十一、以下口径の火器を銃と呼ぶに改

特別記事—最新兵器

の鋼鐵中速射野、山砲となり、射程も四、五千に延長した。この外に九、十二、十五野戰重砲も出現し電信電話も戦場に多く使用された。運輸交通のためには戦場に輜重車、輕便鐵道、普通鐵道も利用した。露軍の兵器は日本軍よりも概して進歩し殊に大砲は半連射砲なるも新式で日本の野砲より千内外も遠距離に達しこれには甚だしく苦められたものである。露軍が常に守勢を取り防禦陣地を占め機關銃を据え、わが軍を惱ますので、日本軍も又戦争の半頃より今日の重機關銃を使用することとなつた。旅順要塞が非常に頑強で普通の攻城砲位では中々手應へがないので、一策を案じ内地要塞にあつた二十八センチ榴弾砲を密かに持出し不意打ちを食はせて露軍の度胸を抜いた。掩護物にかくれてゐる敵兵を驅り出すため、歩兵が接近して投げつける手榴弾も生れた。壕内の敵に對し近距離より榴弾を投下するため、花火筒式

めようと強硬に主張し遂に機關銃となつたのである。重機關銃は馬背に依り運搬し、短距離のみ兵士の手で移動することが出来る。一分間約六百發、中には千發内外のものもある。歐洲大戦に入り小銃の發達行詰れると重機關銃の少し重過ぎる結果、方面を轉じて手輕な輕機關銃が生れた。輕機關銃は兵士一人で持運びが容易である。一分間約四、五百發。重、輕機關銃の出現は歩兵の主要武器となり、殊に輕機關銃は小銃數を減じてその地位を奪ふに至り、大砲の威力又極めて偉大な發達を遂げ、ためにナポレオン戦争以來の戦法であつた散兵線法はその姿をかくして輕機關銃を中心に數名の兵士を小群として廣地域に不規則に、分散疎隔せる無陣群戦法といふ新戦法が生れた。大戦における機關銃の勢力を擧げると開戦當時の重機關銃數、佛千九百、獨二千二百、英六百六十が休戦當時は、佛一万二千、獨一万五千七百、英五千五百

追撃砲も試製された。狙いぶしの戦法も考案されたけれども、武士道の手前かゝる卑怯な手段を棄て、敏活勇敢な銃剣突撃に依り戦闘の結末をつけた。旅順港内の敵艦を撃沈する手段として観測のため藥留氣球の昇騰を試みたが、成功するに至らなかつた。兵器の進歩と露軍の戦法は陣地戦を多くしたるのみならず、火力の増大は當時すでに疎開戦法の必要さへも感ぜしめたものである。

以上述べた所を見ても、日露戦争は日清戦争に比して著しく科學的機械力加はり、如何に現代戰爭化してゐたかを知り得るであらう。

歐洲大戦の科學化

日露戦争の經驗は日本陸軍よりも歐洲列國軍に大なる刺激と暗示とを與へた。その最も犀利なる觀察を遂げ、適切な準備に着手したのはドイツであつた。ドイツが歐洲大戦の勃發と同時にベルギーに侵入して有名な堅塞を一舉に粉碎した四十二センチの巨砲は、即ちわが陸

に上り、開戦當時全くその姿をも見せなかつた輕機關銃は、休戦當時佛二万四千四百、獨三万五千三百、英三万七千であつた。この他に地上より飛行機を射つ高射機關銃、飛行機上に取つてある飛行機關銃も現はれた。

歩兵砲

猛威を逞くする機關銃を撲滅制壓しなければ味方の歩兵が敵陣に向つて接近することが出来ない。これを撲滅するのは砲兵の任務であるが、遠距離砲撃により神出鬼没の小目標を一つ残らず平らげることが不可能である。そこで歩兵自らこれを撲滅し、又新に出現した戦車といふ怪物を破壊するためにも輕易な大砲を歩兵に持たせる必要が起り、平射砲として口径二十七、曲射砲として七十内外の小型大砲をつけるやうになつた。これを歩兵砲といふ。現代の歩兵が幾分砲兵化したのである。

砲兵の大進化

従來大砲は地上から射撃を觀測しその遠近をた

軍の二十八センチ砲になつたものである。豫め毒ガスを研究してゐたのもわが軍が旅順で頭をひねつた問題であつた。機關銃をはじめ追撃砲、手榴弾、擲彈筒もまた日露戦に學んだものに外ならぬ。交通々信器材の利用も日露戦争の經驗を更に進歩擴大したものともしよう。この他にも幾多の新兵器が出現したが、戦争に劃期的大變革を來したのは何といつても航空機潜水艦の發達による戦争の立體化と毒ガス、戦車といふ怪魔兵器の暴威をふるふに至つたことである。以下各種の現代兵器について一通りの解説を試みる。

歐洲大戦以來の新兵器

小銃 日露戦争當時すでに發達の頂點に達してゐた小銃の進歩は、銃の構造の改良といふよりも寧ろ彈丸の形狀を變じて威力の増大を計つた點が多い。大戦前の最新銃彈は先きの尖つた尖彈であつたが、大戦後アメリカでは彈丸の後部を細くして戦前の射程約三千

しかめつゝ、人馬物體に對して効力ある射撃を加へたものである。従つて地上觀測には大抵極限あつた。然るに砲架の改造、冶金術の發達、火藥の進歩等は、砲の發射速度と、射程の増大を容易にし、航空機の出現は空中觀測可能となり、且射撃に必要な種々の精巧な新要具生れ、有線無線の通信指揮容易となり、自動車、カタピラ、鐵道の利用により砲の移動力、彈藥の供給力増進せるなど、砲兵の威力及その運用上に一大進化を示すに至つた。

砲兵の新射撃法について特に注意を要する點は無射撃無觀測射撃の可能となつたことである。これに依れば夜間でも濃霧でも森の蔭、谷の中どこでも敵の居ることさへ確め得れば不意に集中的砲撃を加へることが出来るのである。それには先づ諸情報と、地上空中偵察、空中寫眞等により敵狀を確める。寫眞には煙、霧、雲等を透して遠距

砲を撃つ方法もある。又敵砲兵の火光、音響を測定する火光測定器、音源測定器といふ光學電氣學を應用した不思議な器械もできた。これを使用すれば光、音の強弱の感應に依り、敵砲の位置、砲種まで判別し得る。右の諸方法と測地隊の測量とにより、敵の位置を地圖上に標定し、更に氣象班の氣象觀測にもつき學理的に砲撃に必要な距離、方向角、高低角、信管修正量等を算出して最初より命中確實な猛射を加へるのである。

野砲 砲身後坐式といふ速射砲をはじめて使用したのはフランスで、一八八七年である。明治三十三年の北清事變に日本軍が最舊式の青銅砲を持出してゐたとき、フランス軍はこの最新式砲を持つて来たが、秘密にして他國軍には一切見せなかつた。この砲の利點は一發射せば砲架が固定し發射毎に砲身の後坐復坐が自動的に進行はれ操縦にも照準にも便利なことである。日本でこの式を採用したのは

は日露戦争の終りにクルツプから四百門を輸入した現用の三八式野砲からである。大戦の初め野砲の射程六千呎内外であつたが、末期になり一万呎に伸び、現在の最新式は一万五千呎内外中には一万九千呎といふのも試製されてゐる。砲架も左右を廣く射つため開脚式にしたものもできた。

野砲重砲 堅固な陣地を破壊するもので、日露戦争でも大いにその必要を認められたが、歐洲戦以來非常に重要なものとなつた。口径は十呎内外から十五呎内外が普通である。射程は現在加農砲で二万四千呎に上るのである。開戦當時獨逸軍は八百門、佛軍は僅か二百門内外に過ぎなかつた。最初の佛軍の敗因は重砲の不足にあつたのである。自來各國共競争的にこれを増加し、休戦時には獨逸軍五千五百門、佛軍四千五百門の多きに上つた。

大重砲 主として要塞及び堅固な陣地の攻守に使用するもの

で、ドイツはベルギーの要塞を幾時日で陥落する必要から、秘密に四十二吋の巨砲を準備し、その不意打により容易に目的を達した。獨逸も三十七吋砲を造り、フランスは五十二吋榴彈砲を以てドイツに報復せんとしたが、製造完成に至らずして休戦となつた。四十二吋砲の射程は約七里半、彈量約一ト、三十二吋砲の射程約十里、三十八吋砲で十七、八里飛ぶのがある。

長距離砲 一九一八年三月ドイツの長距離砲は數十里の遠方より百八十發の砲彈をパリ市中に射ち込み、百人内外の死傷者を造り五十万の市民が一時ペリから逃げ出した。この砲は三十八吋の海軍砲に二十一吋の砲身を突込んだもので、射程百二十二、(三千里)物理學の原則により、上層空氣の稀薄を利用して最大射程を飛ばせる方法を取つたものである。將來はもつと進歩したものが出現するであらう。

鐵道砲 列車砲ともいふ大口

徑の重砲を列車に裝載し適宜の地點に移動して車上より發射するものである。歐洲大戦には盛に利用された。大戦後各國共この砲を準備してゐるが、殊にアメリカの太平洋岸及ハワイのオアフ島周圍には海岸防禦用として有力なものが準備されてゐる。

高射砲 航空機の出現は戦争に重要な地位を占むるに至り、その行動を防ぐために生れたのがこの大砲である。海軍ではこれを高角砲と呼ぶ。口径は七吋半から十吋級まである。最大射高一万二、三千呎内外、普通五、六千呎附近までが有効となつてゐる。高射砲の射撃は中々飛行機に命中しにくい、最近觀測具が電氣式になり、砲も精巧になつたので射ち落す率も著しく増大した。この射撃は上命合せずとも操縦者に大なる脅威を與へるので驅逐の效果大である。二千呎以下の低空飛行機に對しては、高射砲の射撃に不便なので、高射機砲又は同機關銃を使

用する。

無線電信は長足の進歩を遂げ、小電力の真空管式は飛行機、砲兵は勿論騎兵、歩兵まで利用するやうになつた。一方遠距離通信には短波長通信完成し六呎の波長で百哩の通信ができ、九十二呎で英海間の連絡可能となつた。有線無線の高速多量通信、赤外線を利用して光を熱に、熱を電氣に、電氣を音響に變ずる秘密通信や電送寫眞も實用の域に達した。しかし一方には文明通信法として一時廢絶した傳書鳩、犬の如き原始的通信法の復活したのも面白い現象である。

軍用寫眞 寫眞は軍事上重要なものとなつた。偵察と地圖と二つに利用される。偵察には地上よりも空中よりも寫す。その方法も照像機から機械だけ出して寫すもの、遠距離をとるもの、左右を廣く寫すもの、活動寫眞の應用により迅速に多くとるものなど色々ある。濃霧を透し、暗夜不可視

光線を以て寫す方法も現在實行されてゐる。

寫眞測量に利用するには飛行機上より寫し取るものであつて、殊に地圖なき地方や不完全な地圖を補ふ場合など迅速に廣地域を測量し得るので、戰略戰術上に及ぼす貢獻偉大である。例へば四時間の航線撮影により百里の路上地圖が可能なのを見てもその大したものがあることが想像し得られよう。

照相機 地上を照す最大なのは鏡の直徑二呎一億八千万燭光の航空機を照すものは十億燭光、アメリカには四十億燭光の海軍防禦用があるといふ。

聽音機 夜間または濃霧等の場合飛行機の唸り聲を聴取して、その位置をたしかめ、夜間は照燈の光を向ける案内役をつとめ、高射砲の射撃を助ける。これに喇叭型、反射鏡型、蜂の巢型等あることは防空演習當時から知られてゐる通りである。

穴掘機 陣地の構築が大變

強になり鶏嘴のシヨベルだけでは間に合はぬ時代となり、動力を利用する機械力をも使用するやうになつた。それは普通の露溝式に掘り進むものと、モグラの如く地中に穴を開けて進むのとある。掘つた土は石炭運搬機の如く後へへと送り自動的に出すのである。

自動車 歐洲戦以來軍用上自動車の利用は非常なものとなつた。近來自動車にも色々な種類が出来てゐる。裝甲自動車、自動貨車、水陸兩用自動車、飛行自動車、沙漠用、山地用、雪中用自動車、八輪自動車等々で式にも車輪式、カタピラ式、その併用式等色々ある。

その他新兵器を一々述べるに限りがないからこれ位にして、次には新兵器の大立物について少しく説明する。

飛行機 明治三十六年米國のライト兄弟が初めて離陸に成功してから僅か二十余年にして一氣に大西洋を飛び越ゆるやうになり、今や太平洋の横断にも成功せんと

してゐる。この長足の發達を助けしたのは實に歐洲大戦であつた。飛行機のはじめは戰場にその姿を現はしたのは大正十二年のバルカン戦争である。越えて二年、大戦の初期より空中偵察に偉功を奏し、間もなく爆撃機が密集部隊及び敵線後方の兵器工場などを爆撃するやうになつた。驅逐機は偵察及爆撃を妨げ、制空權を獲得するため生れたもので、その結果空中戰鬥を惹起するに至つた。飛行機の地上戰に加はつたのは一九一六年のソナムの戰であつた。飛行機、飛行機を以て遠くロンドン及パリを襲撃したことは讀者周知の通りである。大戦間各國とも偉大な軍需工業力を發揮したが、飛行機の製作には他のすべての兵器と殆んど同等の製造力を費したといふ。將來は飛行機的能力増加に伴ひ、製造の要求も一層増大するに相違なく、以て將來戦争における飛行機の威力を察知することができる。飛行機の空中襲撃猛烈となるに従

ひ、防空隊の必要を生ずるに至つた。高射砲、照空燈、聴音機の對空兵器がそれである。次の戦争には當然飛行機の大都市重要地の襲撃は免れないから、これ等重要地の防空設備は今や國防上の第一要件といはねばならない(航空機の一般的説明は別項)

毒ガス 化学兵器の代表物である。これを使用して敵兵を苦しめんとする思想は遠く三千年前に發してゐるが、一八九九年ヘーグ條約はこれが使用を禁じてゐた。然るに大戦に至り一九一五年イーブルの戦に獨軍が英軍に對して不意に毒ガス攻撃を加へ多大の損害を與へた。英軍はその後五ヶ月佛、は一年後新に準備を整へ獨軍に報復し、自來毒ガスは相互の重要な兵器となつた。毒ガスの用法ははじめ風上で放射し、風向を利用して擴散させたが、後には砲弾につめ込み、遠距離より發射するやうになつた。毒ガスには窒息性、藥毒性、催涙性、クシャミ性、中

毒性等色々種類あるが、今日ではドイツで全軍を四時間昏睡に陥らしめ得るもの、今まで造られた毒ガスの全部を無効にするものが發明されてゐると傳へられ、また某國では二、三發の砲弾で二十哩を中徑とする地帯を毒化して人畜を殺し植物を枯死させるものが出來たといはれてゐる。大戦後ワシントン會議で政治的驅引から五大國間にこれが使用禁止の協定が出來てゐるけれども、各國共將來の戦争には内心その使用の防止到底不可能なることを認めて化学戰に對する研究準備が眞剣に講ぜられてゐる。その最も徹底的なるはアメリカであつて、エツヂウッド毒ガス工廠、化学戰學校、ガス聯隊まで設けられてゐる。従つて將來は軍隊のみならず、一般市民も毒ガスの攻撃を豫期し、これが防護法を研究準備せねばならぬのである。

煙幕 化学兵器の一つであつて、主として敵に目つぶしを食はせるために使用する。毒ガスの一

種又は信號として用ふることもある。燐、クロソルホン酸、無水硫酸、四鹽化硅素、四鹽化チタニウム、四鹽化錫等から煙幕を發散させる。その方法としては大砲より發射したり、飛行機に發煙器を裝備し、又地上で發煙器、發煙筒を使用して煙幕を張るのである。煙幕は將來の戦争に利用されることと非常に多くなるであらう。この他煙幕彈、照明彈、火箭放射なども化学兵器に屬する。

戰車 自動車を鋼鐵で包んだもので、つまり大砲、機關銃に對し甲冑を以て兵員を移動しつゝ集團的に防護する方法である。これも二千年の昔ペルシャで幼稚なものだが、試みられた歴史がある。その後の戦争にも度々考案されてゐる。大戦中イギリスで無限軌道牽引車にもとづき、秘密に五十台製造し、一九一六年九月ソムムの會戰に突然この怪物を持出して獨軍をアツといはせた。その翌年のカンプレーの戰には聯合軍が四百台

を以てヒンデンブルク線を突破した。その後東タンク、中タンク、輕タンクと分け、今日では一、二人用から十人内外乗るものあり、これに機關銃又は大砲を備へ鐵條網を押し潰し、壕を越へて五、六十度の急坂もノコノコと這ひ上り敵陣に突込み、路外でも一時間十哩路上では三十哩を走り、小戰車などは一時間五十哩の速力を出すといふ怪物で、陸上軍艦として現代及將來の戦争にはなくてはならない重要武器である。この他に水陸兩用戰車もある。

軍の機械化

歐洲大戦以來各國軍共機械化したことは今更いふまでもないが、その機械化には二つの方面がある。一は機械力の増加により兵員に換へんとするもの、一は動力利用により機動力を増加せんとするものである。大戦後特に目立つた軍の機械化といふのは、主として後者である。大戦の末期に佛軍は九万五千台、英軍四万五千台、米軍は

四万台の自動車を使用した。又同時期に英佛軍は戰車三千二百台、獨軍は一万台を戰場に活躍させた。各國軍はこの趨勢に鑑み、將來のため軍の機械化の必要を認めるとしたが、その先鞭をつけたのはイギリス軍である。即ち同國は戦後裝甲兵團を編成し、歩兵は大小の戰車を主體とし、これに各種自動車砲兵を加へ、騎兵も裝甲自動車、輕戰車に換へ、工兵も自動車工兵とし、行李輜重まで悉く自動車を利用して目下盛に基礎的訓練を實施してゐる。同國では更に快速師團の編成が主張されてゐる。

フランスでも最近燃料問題解決し軍の機械化に着手し、モーター將軍をその總監として先づ民間重要工場製造能力を培養すると共に多額の補助金を與へて各種車輛の實驗をサワラ沙漠等で實施し、一方馬匹を自動車編制に改正することに取つかまつた。アメリカでも參謀總長サンマロー將軍の提議を容れ、各兵種の機

特別記事—最新兵器

械化部隊を編成して大々的研究に着手の段取りに入つた。イタリー、ドイツも同様の用意をしてゐる。この機械化軍は主として開戰勢頭空軍の活動と共に、速に敵國に突入したり海外に輸送し、機先を制して自國軍の集中及び行動を有利にせんとするのと、戰團の固定を防がんとする目的のやうである。

現代戰車

隨軍の裝備編制の現勢は大要右の通りであるが、近き將來に戦争ありとすればその戦法は軍事的に大體次の如く想像される。軍は第一線兵團と第二線兵團とに分れ、第一線兵團は敵軍との直接戰團に任じ、第二線兵團は第一線の支援または豫備及交代用として使用されるであらう。

第一線兵團の編制は一部専門家の推論に従へば飛行隊、戰車隊、機械化歩兵、砲兵團から成り、第二線兵團も機械化せる歩兵、砲兵を主とし、これに裝甲自動車隊、飛行機團を配屬して機動力を強大にし、

何れの方面に向つても自由に迅速な行動を取り得るやうに編成されるであらう。また戰團が固定すれば激烈なる地中戦を生むに相違ない。以上戦況の想像も著しくこれまでのものとは變つてゐるが、省略する。

未來の兵器

新式兵器の出現はいふまでもなく敵の意表外に出で、奇襲を加へ勝利を得んとする要求にもとづくものである。殊に將來の戦争は慘烈なを極め人命財產の大犠牲と、莫大の經費が豫想されるので速に戦局を結ぶ必要からも、威力大なる兵器の考案に努むることは當然である。然らばこの種の新兵器とはどんなものか。軍事科學者は古來兵器進化の跡を大體して腕力より銃砲等の機械的兵器に移り、機械的兵器より化学的兵器に進展したから、次に來るものは電氣的光學的理學兵器であらうと推論してゐる。次に紹介するものは、主として専門家の研究に屬するもので、

たゞその概念を與ふるを題目とし學理的説明は大意に止めて置く。

電氣砲

火藥を用ひず、無煙無聲三千哩の初速を與ふれば二百里、四千哩の初速にすれば四百里も砲彈が飛ぶすばらしい大砲である。全く夢のやうな話であるが、荒唐無稽と馬鹿にしてはならぬ。この大砲は電流を通ずる物體は磁場内において移動するといふ原理にもとづくもので、歐洲大戦の末期フランスのビユー・プレー氏はその機型を造つて立派に實驗に成功してゐるといふ。この大砲が出來れば三十哩の遠方からパリを砲撃したドイツのベルタ砲など兒戯に類するものとならう。たゞ有線視されながら完成に行詰つてゐるのは、數百萬アンペアといふ大電力電流を要し、その設備の困難な點である。しかし科學者は小強電流の二次電池、高壓電池の無線輸送が可能となれば容易く解決されるといつてゐる。彼等技術家は余り遠くない内にものにするので

はないかと思ふ。

無線探照兵器 無人の自動車
飛行機、戦車、艦艇等を電波により遠方より自由自在に操縦運轉する方法である。その要領は機上に電信機、二、三種の設備をなし、遠隔の地点より發送する信號電波により前進停止上下左右に所望の如く行動させる仕かけである。イギリスやアメリカの如きは一万數千の軍艦を走らせることに成功し、某國では空雷を飛行機に載せ數十里も飛ばしたと傳へられ、自動車や小艇の操縦などは何れの國でも成功してゐる。日本の軍隊でも無論可能である。これがよく發達して空中にも地上にも水上、水中にも無人の怪物が縦横に走る時代の來るのも遠くはあまい。

はラヂウム、の如き放射線等により敵の電氣設備を破壊し、飛行機や戦車、自動車等の運轉を停止し、建物その他に火災を起させるもので、人畜に對してはその組織を破壊し、忽ちコロリくと斃される。イギリスのマツシユス、イタリアのウリビー、フランスのヘノツク等何れもその成功を主張してゐるが、いかなる程度で成功してゐるか各國共極秘にしてゐるので明かでない。最近アメリカのトマス博士の發明した無線電力の如きは現に實用的なものとなつてゐる。これも早晩實現するものと見て差支へあるまい。

無線映寫 無線電送寫眞は立派に實用の時代となり、發聲活動寫眞もいよ／＼ものになつて一般觀客の拍子に迎へられんとする。電磁波が發達してテレビジョンが完成し無線電送寫眞と無線電話と併用する時代の來るのも間のないことであらう。さうなれば遠方に進出してゐる飛行機や、騎兵

との出來る方法も略完成されてゐるといふ。この機械の發明者はテレビジョンの發明者英人ペアド氏であるが、これは相手の方からは全く見られないといふ都合のよい機械である。この中途の光線はノクトビジョンといふ新光線である。その音により物體の何ものかを判斷し得る。

空雷 アメリカで發明のため屢々授賞されたスペリ氏の發明で自力を以て百呎も飛行し、自動装置により目標上に降下爆發するものである。こんなやつが大都市の上によ／＼飛んで來ては全くかはない。

無限航線飛行機 電氣砲の完成を可能ならしむる小型二次電池の發明が成功すれば、飛行機の動力を電力に換へ、その電力を無線補充することが可能となるから、非常な大馬力を用ひ、積載量も航速度も激増すると共に、航線力の如きは無限となり、無着陸の世界

一周も平氣で出來るやうになるであらう。昭和三年二月末のアメリカ電報によると、同國シヨット氏は地球の自轉を應用し電磁力により飛行機を運轉せしめる新式のモーター・エンヂンを發明したといふ。それは實驗の結果によると、一分間に一千八百回轉し、エンヂンは二千時間までの飛行は磁力に再充電を要しないといはれてゐる。この發明は學理上肯定し得べきことだから、一片の空想として馬鹿にしてはゐられない。

魔術的カムフラージュ 光學的原理にもとづく光線の利用により適時村落、森林、沼湖等種々の蒸氣機を各所に現出して、敵の空中偵察や空中攻撃を不成功又は不可能ならしむるとも研究されてゐる。例へば東京市上に秩父山を現はし大阪市を大阪露上に現出すれば、敵機は東京を窺見し得なかつたり海上に爆彈を投下して得意満面であるといふわけである。

消音器 大砲や機關銃を射つ特別記事—最新兵器

ても、飛行機が飛んでも、音響を發しない装置である。ドイツでは既に歐洲戦の末期三十センチの大砲にこの装置をしてあつたとフランスのユール大將がその著書に書いてゐる。飛行機の發動機の音を消す方法も既に色々研究されてをりプロペラも小型のものを澤山併用すれば消音することが可能だと認められてゐる。

この外専門家は壓搾空氣を動力とする自動爆撃飛行機、飛行彈丸を吸引自爆せしむる電磁石、飛行機を自動的に追撃爆破する彈丸、晴雨を任意にする天候操縦法等空想的夢物語的方法まで色々頭を捻つてゐる。

凡そ發明は偶然に行はれることもあるが、多くは必要に迫られて生れるものである。しかしその根本に溯ると、その發案者は技術者でなく、畑邊ひの大著述家とか大政治家などのことが多い。この物語的創造の始終が畫かれると、科學者、發明家、技術家の手を経て遂に

本物に練り上げてしまふのである。されば今日の空想的兵器も、理想的兵器に進み、理想的兵器が研究室に閉ぢ籠り、研究室から街頭に山野に海上に空中に水中に地中に飛出し飛込むことは少しも怪むに足らない。新兵器出現はかくの如くして多くはその時代の最新科學の應用によつて完成するのである。未來兵器も又この理法によつて生れるとは疑ふの余地がない。

未來の戦争

遠き未來戦争の具體的想像は嚴密にいへば到底現代人に許されない大問題である。それは人類生活の狀態、出現する新兵器の種類その相互關係、戦法等非常に複雑な事情があるからである。

文明華麗の平和な世界に國交一たび斷絶すれば爆彈を積んだ無人飛行機や空雷が大都市の上空に飛來り爆彈、毒ガス、空雷の落下と共に歡樂の都は忽ち阿鼻叫喚の地獄に一變するであらう。精銳な潜水艦は大群を横斷して近海内海を縱

横に駆け廻り、大艦巨砲を雷撃し時々飛行機を飛ばして都市に機雷を降らして市民を脅かし、沿岸地には毒物を放流して魚族の生存すら絶つに至るであらう。

大本營や防空司令部の映寫室には敵國飛行隊や空雷進發の狀況、軍港における敵國艦隊の行動、陸軍部隊動員の狀態、官私工場活動の初め、わが飛行隊の敵國都市爆撃の光景や電氣砲の効果などがテレビジョンにより手に取る如く映し出され軍首腦者はこれによりて速に作戰計畫を進めるであらう。航空機及び爆彈の異常なる發達は大艦の存在を許さぬこととなり、驅逐艦潜水艦主として水上水中を横行し、陸上では歩兵が陸上艦隊たる戦車隊に變じ、砲兵は自動車、カタピラ、裝甲列車によりて行動し、騎兵、工兵も裝甲自動車隊に編入され、陸海空軍は敵味方共に相手の飛行機、軍艦、戦車などに對し怪力線を放射してビタリとその行動を停止させ、人馬は殺人光線

でコロコロと不意打を食はせられるであらう。

将卒は複雑な七ツ道具を携帯する外、毒ガスの攻撃を防ぐため防毒マスク、防毒衣、防毒手袋などをつけ馬、犬、鳩まで防毒装束するのみならず、殺人光線を防ぐ防光具なども發明され、それらを纏うた光景は百鬼夜行の怪物世界を見るやうであらう。

毒ガス、コレラ、チフス、ペスト、鼠痘等を都市、水源地、田畑、河海等に撒布されれば人間も動物も植物も全滅する外はなくなるであらう。

軍艦と大砲の發達

軍艦の發達はいふまでもなく大砲の出現に因るものである。大砲のはじめて現はれたのは確實には判らないが、東洋では一二七四年蒙古襲來當時霹靂砲を使用したことが記録に残つてゐる。西洋では一三七二年西佛聯合艦隊と英艦隊との戦に大砲を使用した。一八〇五年ネルソン時代に帆艦が極度の發

達を遂げ、その大なるものは二千トに上つた。當時大は六十八斤砲から小は十二斤砲まで百余門を上下數段に載せてゐた。その砲はなほ幼稚で射程も短く彼の有名なトラファルガルの海戦には、敵々相撃する間に射ち合つたものである。一八四一年頃佛國海軍は蒸氣機關を艦船に採用し、一八五三年のクリミア戦争では非常に優秀を示した。鐵船の生れたのは一八五六年頃でこれが甲鐵艦の起源である。

戰艦 日露戦争前の戰艦は各國共排水量一萬五千ト内外、速力十七、八ノット、主砲十二吋砲(三十吋)四門とし、主砲以外に大小各種の砲を備へ、目標の遠近種類に應じて各火砲の使ひ分けをしたものである。然るにイギリスでは日露戦争の教訓にかんがみ、この傳統的形式を破つて明治三十九年戰艦ドレッドノートを進水した。これ今日いふ弩級艦の起源である。弩級艦とその以前の戰艦を取

砲四門、十吋砲四門、六吋砲十二門、三吋砲十門、三吋砲三門、機關砲二門合計六種三十五門に對し、ドレッドノートは十二吋砲十門、三吋砲二十四門、機關砲五門合計三種二十九門となつた。即ち砲種を整理してこれを單純化し、巨砲主義に改めたのである。またタービン機關を採用し速力も高速力主義に變じた。この主義は、巨砲は命中良好、射撃指揮確實、防護容易、教育簡便等の理由に因るものである。かくて巨砲主義採用の結果砲の口径の増大と共に、自然艦型の増大を來し、超弩級へと躍進した。一方魚雷が發達すると共に、舷側の装甲厚くなり、砲戦距離の増大飛行機の發達は、甲板の装甲も強くなるを要し、砲戦の威力を加へるためには、砲数の増加を促し、速力を出すには、汽機や機械燃料の増大を要し、戰艦は弩級二萬トより三萬トに急進した。これがいはゆる超弩級艦である。初めて二萬ト以上の超弩級を

造つたのはドイツで、イギリスとの造艦競争の結果交互にその上へと大きくし、二萬八千五百トまでせり上げ大戦に入り競争間益々増大した。戦後イギリスは實戰の經驗にもとづき、五萬七千トの大戦艦を設計したが、大正十年ワシントン會議の結果主力艦を三萬五千ト、主砲十六吋以下に制限された。もしこの制限がなかつたらば、當然五萬ト以上十八吋砲が出現したであらう。目下世界の最新造艦はイギリスのネルソン及ロドニーの兩艦で、その特徴は空中爆彈に對し十分の防護設備を施しあること、三聯裝砲塔三台(九門)を有してゐることである。

水中兵器

魚雷 一八七〇年頃初めてイギリス海軍に採用されたもので、日露戦争當時は有効距離千ト内外に過ぎなかつたが、一九〇五年艦縮空氣の代りに蒸氣機關を應用するやうになり、今日では二萬五千トの遠距離におよぶに至つた。近來水面に氣泡の跡を残さない無航跡魚雷なども出來た。

機雷 日露戦争で偉大の効力を顯はし、歐洲大戦でも大々的に實用された。大戦以來考案されてゐるものは、用法より區別すれば潜水艦用機雷、飛行機用機雷、流潮機雷、構造上より區別すれば二重機雷、浮沈機雷、曳航機雷等である。日露戦争で兩軍の使した機雷は四、五千個であつたが、歐洲大戦では英三十萬、米十萬二千個、佛伊獨を合すれば六、七十萬個に上るであらう。

爆雷 潜水艦を攻撃する一種

有力な母艦である。アメリカの新母艦サラトカ、レキシントンの二艦は共に三萬三千ト、一は飛行機百二十台、一は百十一台を載せてゐる。母艦に對する最近の意見は小型を有利とするに傾き、現状は一萬四千トを理想型とし將來は一萬ト級とし、その代り隻數を増加するのが得策だといはれてゐる。

潜水母艦 近來潜水艦が段々大きくなりつゝあるので、昔の如く乗員の休養所とする必要の度は減少したが、潜水艦に糧食燃料等を補給し、潜水艦を誘導するために必要なものである。

驅逐艦 高速力を有する小艦で、初めは敵水雷の驅逐を目的として生れたが、漸次水雷攻撃を任務とするやうになつた。ゆゑに今は水雷艦といふ方が適稱かも知れない。最新型の最大なものは二千三百六十ト(佛)、佛、伊の新艦は一般に大型である。

潜水艦 日露戦争後實用的になつたもので、水雷を以てする政

略す。

八六七

特別記事—最新兵器

ある。

巡洋艦 主力艦の耳目となり手足となるもので、快速力と相當の攻防力を有し、味方奇襲艦隊を掩護したり、敵の奇襲艦隊を攻撃し又通商破壊に任ずることもある。大戦前後まで七、八千トが最大であつたがワシントン會議で最大限一萬ト、備砲八吋を限度として以來、列國共その最大級の大巡洋艦を建造しつゝある。日本の足柄、那智、妙高級も一萬トの新型である。わが海軍では造船設計の權威たる平賀造船中將の設計により、七千トの巡洋艦で他國の八千乃至一萬トの威力に相當する優秀艦古鷹、加古級を建造して世界の驚異となつてゐるが、この設計を一萬ト巡洋艦にも應用してゐるので少くも他國の一萬ト、四千トの威力に値すべくわが海軍の大なる誇りである。

航空母艦 飛行機を載せ適時適所に行動するもので、わが赤城、加賀(共に二萬六千九百ト)は最新

の水雷で、或程度深さに沈むと水雷作用で爆発し、その爆発により水中に波動を起し、潜水艦の外殻を破壊するのである。

潜水艦攻防兵器

攻撃用としては、水上にある場合竹大砲を以て撃沈する、潜水した場合は特別の形状と装置をした平頭砲弾を使用して水中に破裂させる。この魚雷で攻撃することもある。

防禦用としては防禦網、機雷、頭幕、煙雷等である。

通信機關

海軍で使用する通信機關はメガホン、傳聲管、手旗、旗旋信號、信號燈、探照燈、高聲電話、無線電信、無線電話、水中聽音器等である。使用法の明かなものはこゝに略し、傳聲管は指揮台と砲塔、艦橋と機室間を細管で連絡し音聲をもつて傳達する。水中聽音器は潜水艦が水中に潜入した場合、發信のため水中で鐘を鳴らし、水に音波を傳へ特別の受信器を以てそ

れを受ける方法である。

電波の應用には暗夜濃霧等の場合方向探知器により、船の位置を確め、航海者の安全を圖る方法がある。無線燈台は光の代りに電流を利用して、航海の指導をなす方法である。

探照燈

信號用と照明用とあり、信號用は三十、四十位の反射鏡。照明用は艦上では七十五乃至一、二百位、陸上用は一、二百位である。暗夜探照燈を使用すれば五、六千呎まで十分射撃が出来る。

次 海 戰

現代戰艦の大砲は敵艦の橋頭が漸く水平線に見ゆる七、八里の遠方から射撃が出来るが普通の砲戰距離は二万(五里)位である。主力艦たる戰艦が、巨砲を以て敵艦隊に猛烈な砲撃を加へると、巡洋艦は主力艦の耳目となりその前方に進み、敵巡洋艦や驅逐艦、潜水艦を撃破する。時としては敵艦にも肉薄することがある。

陸上飛行機

は爆撃機、驅逐機、偵察機に分れてゐる。爆撃機には又遠距離用と戰場用とある。遠距離用は遠く敵國の都市重要地等を襲撃するもの、戰場用は軍隊や停車場軍需品集積所等を攻撃するものである。遠距離用は目下二千呎以上を一氣に飛行するやうになつた。驅逐機は運動輕捷機銃を有し、敵の爆撃機や偵察機に攻撃を加へるものである。偵察機も機銃を備へ輕快なる行動に適し遠距離用と戰場用とある。遠距離用は敵地へ深く侵入し、戰場用は戰場附近の偵察及砲兵射撃の觀測等に任ずる。

海軍機

には水上機、陸上機、艦上機、飛行艇、水陸兩用機がある。水上飛行機にも爆撃用、驅逐用、偵察用がある。水上機は浮舟を有するもので、車輪式の陸上機よりは鈍重なるを免れない。近來は潜水艦にも無電装置ある折疊式水上機を有し、潜水艦自ら偵察して攻防に便する。陸上機は海岸島

イ間を飛ぶことが出来る。

優越機

近來飛行機は水陸兩能力を増加し、フランスのゴライアス・フアルマン・ピーエス水上爆撃機、アメリカのサイタロップス大爆撃機、イタリー、アメリカの水陸兩用偵察機など何れも優秀なものである。最近アメリカでは費用と搭載場所の節約の必要から母艦搭載機を偵察、雷撃、爆撃の三役を兼ねた新式機の考案に着手し種々の研究を試みてゐる。

飛行機射出

飛行機を各軍艦から放射する装置も施される時代となつた。二、三年前までこれに必要なカタパルトの装置を有するものは英米伊の三國のみと稱せられてゐたが、近頃佛國でも巡洋艦に設備された。放射には英伊は壓縮空氣、米は火藥の力によるといふ。これが全部の軍艦に裝備されるやうになれば、母艦が沈没したり、行動不能となつても、空中作戰の力を艦隊より奪はれる恐れはなくなるのである。

空中燃料補給と空中發着

英米では飛行機より飛行機への空中燃料補給と航空船への空中發着を屢々實驗して完全に成功してゐる。大海洋の横斷、長大海岸線の防禦に大なる影響を及ぼすとであらう。

垂直發着機

普通機を狭地域に發着させるため可逆推進器、電磁石、發條、電扇等を應用せる種々の考案があるが大正十五年スペインで發明されたオート・ジロ機は機自ら垂直に飛ぶ構造になつてゐる。これが發着すれば將來甲板發着、陸上小地域の發着を容易にするのみならず、緩徐飛行により觀測照準も精密、水上機としては

離着水も容易だといふから、軍事上重要なものとなるに相違ない。

空中戰について述べたいが余り長くなるから省いて一言結論に及ぶと、以上の如く殺人器、殺人術を觀察して來ると、未來の殘虐戰は人類の破滅を免れまいと思ふ。吾等は生存のため現實に對する用意は缺いてならない。けれども人類は何故かくの如き非人道戰を戦はねばならぬであらうか。何故文明の建設人類福祉の増進にこの破壊力を向け得ないであらうか。吾人類はまづ精神的平和に目醒め、破壊力を建設的に轉向することに努力しなければならぬ。

列國軍備の現勢

軍縮問題

健忘性の人間 歐洲大戰といふ空前の大慘虐戰を戦つた交戰國民は悲痛なる慘禍に苦みながら何

と叫んだか彼らは戰爭は人類の破滅である、歐洲大戰を以て軍國主義侵略主義を亡ぼし將來戰爭を絶滅するための戰爭であると悲鳴を上げたではないか。この悲鳴は恐

らく嘘偽りなき正義の叫びであつたに相違ない。然るに一旦銃砲聲が止むと直ちに次の戦争準備に取りかゝつてゐるではないか。これが咽元過ぎて熱さを忘るゝものでなくて何であらう。

大戦の惨禍は澎湃たる平和思想を世界人類の上に齎らしたことは争はれない。國際聯盟の生れたのもそのためであつて幾万の生靈と巨億の財帛との犠牲がこれを促したのである。けれども國際聯盟そのものも平和條約それ自體も最初の高遠なる理想に遠ざかり公明なる正義に缺けず次に次の戦争の種を播いてゐるではないか。加之大戦はロシアの如き過激者を生み、アメリカの如き横紙破りを出し、支那の如きスネ者を作つた。かくて先進國大國は土地資源市場を壟斷するのみならず他を壓迫し攪亂し、不信不法を敢てして益々自己の伸張のみを圖り他國の人口難、經濟難に對しては知らぬ顔の半兵衛である。不平不満が世

界の至る所に充滿し、その不満が怨嗟憤激の烟となりて濃々と燻焦しつゝあるのは固より當然である。今この情勢を大別すれば(一)列強間の帝國主義的競争(二)被壓迫民族の覺醒とその帝國主義への反抗(三)國內被壓迫階級の擡頭(四)第三國の被壓迫民族及被壓迫階級への思想的暴力的煽動等である。列國がこの複雑なる難局に對して國際競争に打ち勝ち、國家的優勝の地位に立たんとするには實力に恃む外はない。國際聯盟が平和維持のため軍縮を一大眼目とし多大の努力を費してゐるに拘らず殆んどその實効を見る事が出来ないのも、故ありといふべきである。

局部的安全保障案を成立せしめた安全保障案の成立は、その名の如く不安を除くのであるから、その歸結は當然軍縮と來なければならぬはずである。そこで大正十五年ゼネヴァに聯盟の軍縮委員會が開かれたが縮小方法につき英佛間の意見一致せず、昨年春陸軍と空軍の制限に關する大體の方針だけ曲りなりに決定したのみで、海軍については英米對佛伊の間に種種多數の制限と總トシ制と各種の意見合致せなため何等決定するところがなかつた。

昭和二年十一月ロシアは第四回の軍縮準備會に軍備全廢案を提出した。その審議は次回の會合に延期するとし、三年三月第五回の委員會で正式に提議された。その大體の要旨は陸海空軍々事工業準備等を最初の一年以内に現施設の主力を撤廢し、残りは後の三年間に全廢しようとするものである。この全廢案の理由は國際聯盟は十年もかゝつて少しも軍備縮小が出

來ないのは、安全保障など、小問題にこだはつてゐるからである。一層のこと思ひ切つて不安な戦争の誘因たる武力を第一に各國から奪ふのが先決問題であるといふのである。この提議はドイツとトルコの二國が味方したのみで、他の參列二十四國は悉く反對して相手にしなかつた。殊にイギリス代表の如きは各國の内亂煽動を對外策としての如きロシアの存在こそ吾等の軍備撤廢を不可能ならしむる最大障害だと痛撃を加へた。ロシアとて相手にされない位のは初めから百も承知の上で提議したに相違なく、一は聯盟の失敗を嘲笑し、一は國際聯盟を攪亂し、勞農ロシアの宜りに利用せるものなることは、彼等が後で聯盟の準備委員會はロシアのいゝ擴張機であつたと皮肉つたことによつても想像し得る。國際聯盟の軍縮の狀態は大體右の通りであつて、いづれ本ものになるか殆んど見當がつかない有様である。

大戦後軍備の現勢

國際聯盟に背負ひ投げを食はせたアメリカは太平洋方面における有利の立場を棄かんかため、その益々たる勢力を背景として聯盟をだしにき、日英同盟を廢棄させて日本を無力ならしめ同時に英國の勢力をも減じて太平洋上に自ら最大優勢を占めんとし、大正十年ワシントンに軍備制限會議を開催したこの會議で陸軍空軍及補助艦(軍艦のトシ數と備砲の最大限のみ制限)の制限は不成立に終つたが、主力艦及航空母艦を英米各五、日三、佛伊各一・七五といふ不公平な比率に依つて制限したるのみならず、太平洋上の防備又英米に有利に、日本には甚だ不利の制限を強ひ遺憾なく強者の權を揮つた。ワシントン會議の海軍制限は無倫惡いことではないけれども、各國間に不公平の制限を加へ、二大強國殊に米國が優勝の地位に立たんとせる我利的横暴の態度は斷じて首肯し得ない所である。

特別記事—軍備の現勢

ワシントン會議における海軍制限が補助艦におよばなかつた結果その後各國の競争が補助艦建造に移つた。こゝにおいてアメリカ大統領は聯盟や各國の情勢と、自己の内政的取略上から補助艦制限會議をゼネヴァに開かんことを五大國に提議した。これに對しワシントン會議に不満を有せし佛伊二國は拒絶したけれども、日英の好意に依り日英米三國の海軍軍縮會議が二年六月ゼネヴァに開かれた。この會議はいふまでもなくワシントン會議の延長であつて、三國三條の條件を提出し、殊に英米間の排水量と備砲の口径問題が意見を異にし、遂に決裂に至つたことは讀者の尙記憶に新なるところである。要するにこの會議も英米兩國が自ら優勢を保有せんがため我慾の正體を暴露せるもので、英米の海上争覇戦がスイスの山上で戦はれたのも面白い皮肉といはなければならぬ。

ある。お互に眞の平和を目的とし合理的平等の公正なる親善關係を結べば軍備は極度に減縮し得るはずである。然るに經濟的小軍備の利益と、平和主義の美名を自己にをさめて、しかも自ら安全且優勝の地位を獨占せんとするのが今日列國の取る軍縮主義である。現實の國際生活の如く自己優越でなければ自己亡國の外なき世界は誠に悲むべく慨すべきであるが、軍縮の至難なる所以もまたこゝにある。

大戦後軍備の趨勢

最近軍備の方針は平和的時代思潮に順應し、平時軍備の外形を縮小してこれを経済的ならしむるにあるも、その實力に至つては必要の場合に應ずるため絶對的強大を企圖してゐる。國民總武裝主義即ち國家總動員準備がそれである。國民軍事教練、資源、工業力の取得培養統制等は皆國民總武裝のた

程度にもそれ／＼相違を生ずるは當然である。以下各國軍備の概要を述べる。

イギリス

イギリスは領土廣大にして全世界に跨がりその本國は、海外から得る物資によりて生存を維持してゐる。領土が全世界に擴がつてをればそれだけ各國との關係も複雑多端となり、利害感情の一致を缺く所も少くない。先づ手近のフランスとは歐洲大陸及地中海問題等が、ロシアとは反目的關係にある。特にインドの不安を感ずる所が深い。アメリカとの間又兩雄併立せぬ情勢を示しつつある。支那は經濟的重要な發展地であるが甚だしくその地位に動搖を感じつつある。この外屬領たるカナダ、歐洲等はや／＼もすればアメリカに歸かんとするの風あり、イギリスの對外對内關係は共に頗る多忙の状態にある。それだけ國防にも

影響せざるを得ない譯である。イギリスの國防の大方針は「全領土を保有しその結合を固くして對外權利を維持し、且通商發展の保護を主とする」といふのであつた。従つてこれに必要な制空制海權の確保、屬領各地の獨立防禦、相互援助が講ぜられてゐる。その國防政策は次の如くである。

海軍 「英本國海軍は最強一國標準の海軍力を保持し、根據地を整備してその移動力を増大し、有事に際し世界の海上に優勢な海軍を活動せしめ、各自治領はその獨立海軍力に委任し、又本國海軍と協力する。」

由來イギリスは海軍の優越を以て數百年來の傳統的國策とし世界の要點は一、二の外悉くその掌中に握つてゐる。太平洋方面への進出にはジブラルター、マルタ、ポルトサイド、スエズ、アデン、セイロン、ラングーン、シンガポール、香港、大西洋方面ではデヤマイカ、フォークランド、シーラレ

オン、喜望峯、その手薄なのは世界の海上中た北太平洋方面のみである。

イギリスは大戦までドイツ海軍に對しその勢力を北海に集中してあつたが、戦後その必要なに至り主力を地中海に移した。これ地中海には佛伊の艦隊あり、イギリス艦隊の東方進出線に對し危険なるがためである。而してその根據地マルタは地中海の中央に位置し東西何れの方面に進出するにも便利な重要地點である。たゞし航空機の發達はいぢるしくその價値を減じたことは争はれない。この他イギリスは北米、南阿、インド、支那、歐洲、新西蘭等にも艦隊を分置し、殊に最近シガンポールには堅固な根據地の建造に着手した。イギリスが補助艦の絕對優勢を要望してゐるのは領土の廣大なると共に、アメリカが南米を初めアフリカ、中東、支那その他全世界における經濟的飛躍に對抗するためであつて、その争鬪戰を形成するは

當然といはねばならぬ。

陸軍 「領土防衛に必要な兵力を準備し、各部相互的援助を圖り國民の軍事教育に依り戦時陸軍の大擴張を準備する。」

歐洲大陸諸國との間に國際諸問題が横るのみならず、エジプト地方殊にインド方面の如き國防上重大な關係にあるので、陸軍の整備も大なる努力を拂つてゐる。イギリスには正規軍と地方軍とあり、正規軍は外征用で、地方軍(平時は骨幹のみ)は本國防衛が本務なるも必要に應じ無論外征にも使用される。正規軍の兵力十六万六千余、これを歩兵四師團、騎兵二十師團その他に編成してゐる。他にインドに六万余の正規軍がある。地方軍の法定数は十四万六千余である。

右の外海外自治領には常備及市民、土民軍を合しカナダに三万七千、歐洲に十二万八千、インドに二十六万、ニュージラランドに二万六千、南阿に二万四千の兵を有する。

してゐる。

空軍 英本國に對し最も危険な最強空軍國を標準とする空軍を本國に備へ、且陸海軍及植民地に必要な空軍を整備せる外、民間航空の助長を圖り、戦時の要求に應ずる擴張力を築つてゐる。

イギリス空軍 は空軍省に統一され、フランスの龐大なる空軍勢力に對して一九三二年大擴張を可決し目下八十五中隊二千七十二機の整備を目標として充實中である。現在は空軍省所屬機千四百台完備せる中隊区分は正規五十六中隊、特別豫備二中隊、補助空軍五中隊合計六十二中隊、三年中には六十九中隊となるはずである。六十三中隊の配置区分は内地に四十一中隊(陸軍協同用、海軍協同用を含む)、海外二十二中隊である。航空母艦は九隻ある。

航空船は硬式二隻他に大型二隻建造中、戦時空軍擴張の一助として民間空中輸送會社に十年間百万の補助金を下附し、空中航路の

延長を計畫せる外、種々の方法を以て民間航空の發達を奨励してゐる。

アメリカ

歐洲に對するアメリカの外交は消極的なるも、ラテンアメリカ即ち中、南米及極東に對する發展政策は頗る積極的で、殊に南米と支那は未來の實地として垂涎措かざるところである。而してラテンアメリカに對しては反感を受けつゝも或は威力を以て或は懷柔策を以て、經濟的帝國主義侵入を圖り、今や大なる勢力を扶植してイギリスの壘を靡せんとする勢ひである。極東殊に支那に對しては極度の懷柔に努め常に各國をだしぬきて、獨りいゝ子になり殊に日本及びイギリスに對して大なる不利に陥らしめつゝある。この政策は國防策の上にも加味されてゐることはいふまでもない。

海軍 米本國に對する防衛を陸軍に託し、獨立して作戦に任ずる。そのためには無論攻撃的遠洋作戦の準備を有するも、表面掲げられてる任務は(1)大西太平洋沿岸の防禦と貿易の保護(2)パナマ運河及その附近の防禦、海外貿易保護(3)ヒリツピン、サモア等海外屬領の防禦。

米國海軍は大戦まで世界の第三位にあつたが、大戦中ドイツ海軍が六割優勢の英海軍に對し手も足も出なかつた經驗に鑑み、世界第一の海軍力を備ふる必要を認め、大戦間よりその大擴張に着手したが、ワシントン會議の結果主力艦航空母艦において英米對等となり、今やその全艦隊を二分して一半を大西洋に、主力たる他の一半を太平洋に配置し、必要の場合にはパナマ運河により速に合同し得る如く計畫演練されてゐる。而してアメリカの最も重きを置く海軍根據地はハワイである。アメリカがイギリスと同等の海軍力保持を強要せると共にパナマ運河とハワイに堅固なる防備を施せること

行ふ。兵力は現在十八万でこれを歩兵十八師團、騎兵四師團に編成する。編成豫備軍は戦時に編成するもので、平時は基幹となる將校下士の一部を置くのみで、戦時は歩兵二十七師團、騎兵六師團となる。アメリカの戦時總兵力は五十師團となる。

空軍 整備の方針より察すればこれも世界第一空軍を保有せんとするものゝやうである。

大戦後巨額の費用を投じてドイツ航空工場の専賣權を買収し、或は優秀なる専門技師を備聘して歐洲諸國航空の精粹を吸収し、今や世界一周、大西洋横断飛行に成功せる外、航空界の多數記録を作りその優秀を示しつつある。現在陸軍用三十九中隊、一千六百機、飛行船九隻であるが、五年計畫により一九三一年までに千八百機に擴張するはず。陸軍當局はこれをもつては満足せず右五年計畫をもつてラシスター會議決議案なる既定計畫の一部實行と稱し、次の擴張

を自論んでゐる。ラシスター會議案なるものは、それこそ素晴らしいもので常備機二千五百機、飛行船二十隻、戦時にはそれを飛行機八千七百五十六機、飛行船三十六隻に擴大せんとするものである。

海軍航空、現在機數七百五十で擴張の五年計畫は二年七月より初まり、飛行機一千六百機を造り、五ヶ年後に常備機一千とする案である。その完成する一九三二年以後は毎年三千五百万円を以て二百三十機づゝ造つて行かうといふ計畫である。又硬式大型飛行船二、小型一隻の建造計畫もある。航空母艦は現在七隻。

フランス

ロカルノ條約を以て獨佛間の感情緩和せる如きも、これを以て永久的効果あるものとは思はれない。然ゆるが如きドイツの復讐心はフランスの寸時も忘却し得ぬところ

である。過去半世紀間に二回も攻め込まれたフランスとしては無理もあるまい。大戦では最後の勝利を得たものゝその勝利はフランス一國のみで到底得られなかつたことは彼等の自覺してゐるところである。のみならずドイツの人口益々増加するに對し、たゞさへ少きフランスの人口減少は國勢衰微の因となり二十年後には現在の常備軍すら維持し難き情勢であるからその將來の不安を感ずるは無理もない。フランスが國際聯盟の規約を自國に有利にし、幾多の新興國を造りてその味方に引入れ、バルカン諸國と親善關係を結んでゐるのも、ドイツ抑制(一は對露障壁)の道具に供するためである。又昔から歐洲大陸の優越者を敵視するイギリスを牽制するにもフランスは強大なる軍備を保有するのを以て第一と信じてゐるのである。

ドイツとの關係の外、イギリスの後援を受け地中海に膨張策を探るイタリアともよからうはずがな

い。ロシアとは債務問題赤化煽動等でこれも円満でない。イギリスとはバルカン、地中海、對獨問題で何れもソリが合はない。アメリカとも快くないが戦争の借金が山の如くあるので頭がよらない。不戰條約を持出したのもアメリカの御機嫌をとるための策略である。日本とは親善であるが、インド支那に對して尙多少の脅威を感じてゐるやうである。以上の諸事情を見ればフランスの國防方針も概ね理解し得られよう。即ち第一要件としてはドイツの復讐に備ふることに、同時に海外植民地の保護を完了するためである。

陸軍

開戦に際し總動員掩護のため、第一次兵團はラインの線を確實に保持するのみならず更に積極的行動を取る。

及植民地に二十万三千、これを人種別にすれば佛人約三十七万、土人兵十九万、外國人兵十方。

目下フランスは陸軍編制に大改革を加へ二十師團とし、在營期も一年兵役を採用せんと研究中である。

海軍

フランスは陸主海従主義で、海軍の主力を地中海に置き、伊西兩國海軍に對して西部地中海の制海權を獲得し、北アフリカ植民地との連絡を確實にし、大西洋方面には一部艦隊を配しドイツ海軍に對し警備に當らせてゐる。

空軍 フランスの地理的關係は東隣諸國特にドイツに對し空中

特別記事—軍備の現勢

防禦の安全を緊要とするのみならず對英政策の後援としても又空中威力の強大を要求し平時より強大なる航空隊の保有に努めてゐる。

フランスの空軍は世界第一であつて二ヶ師團を有し、現在百二十余中隊であるが、これを更に戰闘、爆撃用百二十二中隊、偵察七十六中隊合計二百八中隊、氣球十八中隊に擴張せんとする計畫がある。目下平時飛行機數千九百機(戰用を合すれば四千機)配置區分は本國百八十六中隊、海外二十二中隊。

海軍航空隊は現在約十一中隊、飛行機四百五十、一九三八年までに五十中隊に擴張の方針である。航空母艦は一隻。

イタリア

イタリアは國策としてバルカン及アフリカに發展を企圖し、何れ

も積極政策を採つてゐる。その結果バルカン方面では塞國と衝突しフランスとの間又バルカン、地中海、タンジール、植民地等の諸問題で政策の背馳より円満でない。

陸軍

戦争に適應する準備を完全にし且總動員の實施を便にする施設を整ふ。

その兵力は歩兵三十師團、騎兵三旅團、總兵數二十万で、内憲兵約五万である。戦時は約六十師團編成される計畫のやうである。

海軍

植民地にある兵力はトリポリに約六千と憲兵一聯隊、シレナイカに一万余と憲兵一大隊、エリトリアに約六千、ソマリに約四千この外變り種の税關兵約三万、ムツツリニの旗本兵即ちフラスシスト軍隊が約十九万ある。この軍隊は十七歳以上の黨員志願者から採用されてゐる。

中部東部地中海の制海

特別記事—軍備の現勢

八七五

有し、他歐洲海軍に大なる刺戟を與へてゐる。

空軍 陸海軍の國防策と協同して隣國の大空軍國に對すると共に、海岸及交通線の保護に任ずるためムツソリニ氏は有力なる航空團の整備を計畫してゐる。

空が眞實になるまでといふムツソリニの抱負を實現するため一九二三年、陸海軍より空軍を獨立させ、一九二五年空軍省を設けてこれを統一し、現在は百中隊千六百機、飛行船陸中隊ある。一九三一年まで平時百八十二中隊氣球八中隊航空船六中隊を完成する計畫であるが、その區分は獨立空軍團七十八中隊、陸軍用五十七中隊、海軍用三十五中隊、植民地用十二中隊。イタリーの航空船は獨特の技を備へてゐることは有名である、目下各團五隻を有してゐる、航空母艦は一隻。

民間航空は軍用航空に比し頗る振はなかつたが、一九二六年以來鋭意航空路の開設に努め、補助金

五千六百万利、昨年度は一億利に上つてゐる。

ドイツ

歐洲で一、二の強大を争つたドイツは敗戦の慘境に陥り、その國勢を復興するため舉國一致の奮闘を續けてゐる。而してその國策としては外部に對し平和政策を維持しヴェルサイユ條約の緩和を圖りもつて國權國力の回復、國境の改訂、植民地の獲得、他國の軍備縮小の要求等を目標としてゐる。ドイツが他の諸國の嫌つてゐるロシアと親交してゐるのは經濟的關係もあるが一は自ら強味を加へるためである。國防問題については次の如き状態に在る。

陸軍 大戦まで世界の最強を以て誇つた大陸軍もヴェルサイユ條約の結果十方に限定され、その上重砲、飛行機、戰車、裝甲自動車、の如き重要兵器の備付まで禁ぜられたのみならず、その他にも國防上種々の制限を加へられてゐる。

海軍 ヴェルサイユ條約で保有を許されたのは戰艦六、輕巡洋艦六共に建造後二十年は代艦を許されない。代艦は戰艦一萬、巡洋艦六千、まで、驅逐艦十二、水雷艦十二共に十五年は代艦を造ることが出来ない。驅逐艦水雷艦の代艦の大きさも制限されてゐる。近來ドイツの國際的地位の向上、經濟力の復興に伴ひ、代艦の建造に着手し、既に輕巡洋艦一、驅逐艦六を竣工し、尙巡洋艦四、驅逐艦六、水雷艦一を建造中である。一九二八年には裝甲艦一の建造が計畫され、更に三隻建造の計畫がある。各艦共材料技術に特殊の方法が採用され、高速度の能力を有し列強から非常の興味を以て注視さ

が、その國防方針は帝政時代と殆んど變化なく他日國力の復興せる後においてフランスに對し復讐戰を期するは想像に難くない。又他の方面に對しても積極的發展策を取ることには疑を容れぬ所である。

現在の國防軍は歩兵七師團、騎兵三師團でその兵數十萬。これに警察隊十五萬を加へて主として戰時の幹部に充當し、兵卒は數百萬の應戰者及團隊訓練者を召集して膨大な野戰軍を編成する方針のやうである。たゞ問題は兵器特殊に大兵器の整備であるが、その方の解決は他日の問題として考慮されてゐるに相違ない。目下取りつゝある方法は比較的多數の馬匹を養つてゐること、武器彈藥器材の貯藏に努めてゐること、幹部教育に力を用ひてゐること、自動車隊、通信隊の整備、航空機その他新兵器の發明に努めてゐること、統帥的訓練を圖つてゐることなどである。

ドイツ人の勤勉にして愛國心に富むことは讀者周知の通りだが、

も又特殊の能力を有してゐることは今更いふまでもない。

ドイツ將來の軍備 同國の軍備については一般の軍縮問題と結びつけて見る必要がある。ドイツ外相のいひ分に從へばドイツに兵力の縮小や兵器の制限を加へながら列國が自由に強大な軍備を擁することはヴェルサイユ條約の規定に違反する。即ちこれを換言すればドイツの武装解除は列國軍縮の前提として行はれたものであるから、ドイツがその義務を履行してゐる以上、各國も軍縮しなければならぬ。もし各國が軍縮せぬならばドイツは各國に向つて軍縮を要求する權利あり、各國がそれに從はぬならばドイツも軍備の自由を要求するに至らうといふのである。いづれ將來以上の問題が絶えず持出されるに相違なく、かくて段々とヴェルサイユ條約の極端が緩んで來れば、ドイツは自然自由の身となり、その活動力は益々増大して列國に對する希望要

青年の軍事訓練が許されないもので盛に團隊訓練を行つてゐる。その方法が武器こそ持たないが、暗んど軍隊と同要領である。彼等は體力と團體的行動と軍紀が養はれてをれば、これに武器さへ渡すと何時でも立派な軍隊が出来上ると囁いてゐる。

戰車や裝甲自動車も禁ぜられてゐるので、貨物自動車も以て模倣的のものをつくり演習に使つてゐる。重砲も同様本ものと同型の木砲を作つて引き廻し花火筒のやうに空砲まで射つてゐる。いざといふ場合どし／＼供給の方法がつかぬならば、かゝる必要もないはず。ドイツの兵器工場、飛行機工場、毒ガス工場がロシアに造られ、その製品の一部をロシアに賣つてゐるといはれてゐるのも事實である。ドイツ兵器製造所はスペインやオランダにも設けられてゐる。

ドイツが秘密軍備を保有してゐると常に舊聯合國側から疑まれてゐるが、最近二、三年來兵器の進

求も大となり、東方國境の改訂、植民地の獲得、獨逸の併合、賠償の緩和、曰く何と漸次色々の厄介な問題が比隣諸國の上に蓄される時が來るに相違ないと思はれる。

勞農ロシア

ロシアの目的は世界革命であつて西歐諸國に對しては勞働者を煽動して階級的革命戰を誘起させ東方諸國に對しては被壓迫民族の解放、民族自決、國權回復等を好餌として赤化に努め、既にその目的を達した方面も少くない。この政策遂行の背景として大陸軍が重要な役割を受持つてゐる。それは第一に赤軍を以て内は多數の反共產黨分子を威壓して國內の秩序を保ち外に對しては宣傳と武力とを以て赤化するためである。

赤軍には常備軍と民兵軍、特別任務隊の別がある。常備軍は列國と變りはない。民兵軍は平時基幹部隊のみを設け、必要に應じて國民を召集し軍隊を組織するものだ

が訓練不十分で成績が思はしくないので目下中止の姿である。特別任務隊は純粋の共産黨員より成る労働政府の旗本兵であつて、狂暴で名高いケ・ベ・ウがその代表的のものである。

兵力は赤軍五十六万二千、國家保安部隊(ケ・ベ・ウ)約十三万合計六十九万二千、その編成は分は狙撃師團三〇、民兵師團三六、騎兵師團一三、騎兵旅團七その他

空軍 ロシアの空軍は目下整備の過渡期であるが、政府はこれが、向上充實に熱中してゐるので遠からず躍進的發展を遂げるであらう。目下編成されてゐるのは大體次の如くである。

陸軍航空隊九十一中隊(偵察五八、驅逐二一、爆撃二二)水上航空隊十三中隊(偵察九、驅逐四)合計百〇四中隊外に氣球十四中隊(二十八個)ある。機體は主として獨、佛、英、伊より購入してゐたが、近來國內にも多數の飛行機工場を設けつゝある。

これは軍閥が金に任せて外國より新銳の武器を購入するからであるけれどもその補充法が確實でないからそれも一時的のものたるを免れない。

結 言

國際聯盟組織され、ロカルノ條約結ばれ、不戰條約が成立しても人間の本能に變りがなく、國運紛争の種が依然消滅しない限り、永久の平和は望まれない。ペーケルス氏ではないが現に全人類は今樂しげに戦争の準備を急ぎつゝあるのである。この形勢を遂に改めることは至難である。吾等は國際聯盟の精神を尊重して理想に生きつゝ姑息でも平和の維持に努め、同時に民族の生存とその發展の手段を缺いてはならない。もとより堂堂正義と王道を踏みつゝ。

支 那

支那の事情は周知の通りである

民間航空 一九二二年以來軍用機三千の常備を企圖せると同時に民間航空の獎勵に努め航空會社四個を設け、又航空化學協會(アピアヒム)を組織して政府の補助と會員三百萬の強制的儲蓄に依り發達を圖つてゐる。

からこゝに省く。その總兵力は百四十七萬余と稱されてゐるけれど、この兵は國家が統一的に備へてゐるものでなく、各軍閥が政權の爭奪地盤擴大等の道具として集めたものに過ぎないから軍閥の消長に因りその兵數も忽ち土匪となり、馬賊となり、苦力となり、百姓となり、また兵と早變りして絶えず増減してゐるのでその數は全く當てにならない。二八年六月わが陸軍の調べによるや、信するに足る部隊の兵數區分は張學良、楊宇霆軍約九萬、張作相軍約三、四萬、張宗昌軍その他二、三萬、奉天軍合計十四、五萬、南方は蔣介石軍五、六萬、馮玉祥軍七萬、閻錫山軍四、五萬合計十六、七萬總計三十餘萬である。この外にも各地に軍隊が馬賊か土匪軍か正體の區別さへ判然しないものが澤山ある。

支那軍で面白いのは奉天軍の一部の如き日本陸軍よりも新式兵器で武装されてゐることである。そ

陪 審 法 大 意

特別記事

京都帝國大學教授 宮 本 英 脩

一 陪審制の沿革

多數の人民が集會して裁判を爲すことは古代においては何れの社會にも行はれたとあつて、例へば我國の神話においても、素戔男尊が高天の原において亂暴狼藉を行つたときに、八百萬の神々が天安河の河原に集會して評議をとげ、尊に多大の罰金を科した上追放に處したといふことが傳へられてゐるが、これらの場合において

な裁判の方式はその後君主制の發達、中央權力の増大と共に何れの社會でも跡方もなく消滅して了つて、今日の陪審制は全く別個の起源から新な意味を以て發生して來てゐるのである。

陪審に人民が關與する制度は汎く謂つて陪審制であるがこれには狹義でいふ陪審制と參審制との二種があつて各々その方式も違へば又起源も違つてゐる。今その大體を述べると舊來からいふ陪審制においては陪審員は専ら犯罪事實の有無を判斷し次でそれが犯罪事實ありと決つた場合に裁判官が刑法に依つて刑を量定して宣告するのが方式であつて、その起源は歐洲に於てはフランケン帝國の頃に萌芽を發してゐる。尤もその頃は

單に裁判官は人民中の有識者を選定してそれに一定の宣誓を爲さしめた上で事件の判斷を諮問した程度に過ぎなかつた。この方式は間もなくノルマン人の英國侵入と共に同地に移植され同地では一層の發達を遂げて後に英國は陪審制の母と呼ばれるまでになつたのであるが、反對に歐洲大陸の方では一旦發芽したまゝで凋むで了つた。そこで英國の陪審制についていふと、陪審に十二人乃至二十三人から成る大陪審(起訴陪審)と十二人から成る小陪審(判決陪審)との二種がある。大陪審は初めに事件を起訴すべきか否かを決するものであつて、その起源も歐洲大陸にあるのであるが、これは今日英國に於ても頗る意味の輕いものになつ

て了つてゐる。これに反して小陪審は起訴後に事件が有罪か無罪かを判斷するものであつて、これが今日一般にいふ陪審に當る。米國の陪審制はこの英國の制度をそのまま模倣したものである。この英國の制度が歐洲大陸に逆輸入されたのはフランス革命の時であつた。この時における陪審制採用の動機はもちろん官權の横暴に對する人權の保護といふことにあつたのである。即ちフランス人は革命が緒に就くと同時に今までの秘密裁判制度を廢止して英國流の公判制度を採用し併せて陪審制をも踏襲した。しかし大陪審は間もなく廢止されて小陪審のみが引續きナポレオン法典によつて維持されることになつた。フランス革命が歐洲全般の政治上社會上法律上に及ぼした影響については人の皆知るところであるが、陪審制がその後獨逸の諸國に傳はり、遂に今日歐洲諸國中殆どこの制度を採用せざるものなきに至つたのもまたこの

フランス革命の影響の一つである。但し固より何れの國でも官權に反抗する意味でのみこの制度を採用したのではない。次に陪審制といふのは裁判官と人民中から選定された陪審員とが単一の合議體として評議を爲し事實問題法律問題科刑問題凡てに亘つて裁判を行ふ方式であつて、この制度は前世紀の半頃獨逸の一邦に始まり、今日では獨逸以外に歐洲の二三の國に於て特に輕微な事件に關して行はれてゐる。この陪審制と前の陪審制との長短の比較については多年來學者間に議論があるが、事實今日なほ陪審制の勢力の熾々たるものであるとは争はれない。

は各國共に政治上の絶對的な輿論となつて了つてゐる。従つて未だ陪審制を採用せぬ國にあつても問題は裁判制度としての陪審制の可否といふことよりも寧ろこの輿論に對してこれを容れるか拒むかの何れが政治上の方策として適當であるかといふことに重點が移つてゐる。我國で過般陪審法を制定した事情も實は右の世界的傾向に追隨したまでのことであつて、それが結局國家政策の大局から見て最も得策であると考へたからに外ならぬ。或る識者が陪審法の制定を一種の無血革命といつたのもこの間の消息を論じたものであらう。我國の陪審法は大正十二年に成立したが、準備その他の都合で一部分づつ施行され全部施行せられるのは昭和三年十月一日からといふことになつてゐる。立案の際舊來の陪審制によるべきか陪審制によるべきかも問題になつたが、この點は一般の大勢に従つて陪審制を採ることになつた。たゞ一つ從來

にない特色と見るべきは、裁判所が陪審の答申を不當と認めるときは幾回でも陪審を取換へることが出来る、陪審の答申は裁判所を拘束しないことになつてゐる點であるが、裁判所が陪審の答申が氣に入らぬからといつてこれを取換へるといふことは陪審法の規定の上ではとにかく事實問題として不可解なことは勿論である。従つて實はこれは装はれた空虚な特色に過ぎぬ。これといふのも畢竟立案當時相當有力であつた陪審違憲論に對し辻褄を合はせる必要から起つた事柄であるが、併しかりに陪審法の規定どほりに裁判所が自由に陪審を取換へ得るものとして見ても、裁判所は結局何れかの陪審の答申に依つて裁判を爲すべきものであつて任意に裁判を爲すことを得ぬのであるから、その意味においては等しく陪審の拘束を免れることは出来ない。従つて現行法の規定してゐるやうな方式を採用したところで帝國憲法の規定(二四、

陪審法全文 則

第一章 總則 第一條 裁判所は本法の定むる所依り刑事事件に付陪審の評議に付して事實の判断を爲すことを得 第二條 死刑又は無期の懲役若しくは禁錮に該する事件は之を陪審の評議に付す 第三條 長期三年を超ゆる有期の懲役又は禁錮に該する事件にして地方裁判所の管轄に屬するものに付被告人の請求ありたるときは之を陪審の評議に付す 第四條 左に掲ぐる罪に該する事件は前二條の規定に拘もらず之を陪審の評議に付せず 一 大審院の特別權限に屬する罪 二 刑法第二編第一章乃至第四章及第八章の罪 三 軍艦保護法、陸軍刑法又は海軍刑法の罪其他軍艦に關し犯したる罪 四 法令に依りて行ふ公選に關し犯したる罪 第五條 第三條の請求は第一回公判期日前に之を爲すべし但し其の期日前と雖も最初に定めたる公判期日の召喚を受けたる日より十日を経過したるときは之を爲すことを得ず 第六條 被告人は該事件の被告事件陳述前は何時にも事件を陪審の評議に付することを辭し又は請求を取下げることを得 前項の場合に於ては事件の評議に付することを不得す

第七條 被告人公判又は公判準備に於ける取調に於て公訴事實を認めたる時は事件を陪審の評議に付することを得ず但し共同被告人中公訴事實を認めざる者あるときは此の限に在らず 第八條 地方の情況に由り陪審の評議公平を失する虞あるときは該事は直近上級裁判所に管轄移轉の請求を爲すことを得 公判に屬する事件に付前項の請求ありたるときは訴訟手續を停止すべし 第九條 前條第一項の請求を爲すには理由を附したる請求書を管轄裁判所に提出すべし 前項の請求書を提出すには管轄裁判所の檢事を經由すべし 公判に屬する事件に付管轄移轉の請求を爲したるときは速に其の旨を裁判所に通知し且請求書の謄本を被告人に交付すべし 被告人は謄本の交付を受けた日より三日内に意見書を提出すことを得 管轄裁判所は該事件の意見を聽き決定を爲すべし 第十條 管轄移轉の請求ありたるときは被告人は該事件の被告事件陳述後と雖も其の決定ある迄事件を陪審の評議に付することを辭し又は請求を取下げることを得 被告人事件を陪審の評議に付することを辭し又は請求を取下げたるに因り事件陪審の評議に付すべからざるに至りたるときは該事件の管轄移轉の請求は之を得

五八)は官吏たる裁判官以外の者の意思が裁判に影響することを許すか否かと先づ確定されぬ限り、我國の陪審違憲論は依然として成立の余地がある譯である。併し法律の解釋は時代の意識によつて動く。昨の反對論者も今は聲を收めて朝野を擧げて陪審法の實施に専念しつゝある今日となつては憲法の當初の精神が如何にあらうともその規定の解釋は如何とも便宜に決し得られる筈である。時代意識は明白に陪審法の憲法違反にあらざることを要求してゐるから。

二 陪審法の大要 (括弧内の數字は條文を示す) 第一章 總則 陪審法は冒頭總則の章において陪審制の大眼目となるべき事項を規定してゐる、その大體を述べると左の如くである。 裁判所は陪審法の定むるところにより刑事事件につき陪審の評議に附して事實の判断をなすことが出来る(一)。これによると陪審は評

第二章 陪審員及陪審の構成

第十二條 陪審員は左の各條に該する者たることを要す 一 帝國臣民たる男子にして三十歳以上たること 二 引續き二年以上同一市町村内に居住すること 三 引續き二年以上直接國稅を納むること 四 讀み書きを爲し得ること 前項第二號及第三號の要件は其の年九月一日の現在に依る 第十三條 左に掲ぐる者は陪審員たることを得ず 一 禁治産者、准禁治産者 二 破産者にして復権を得ざるもの 三 聾者、啞者、盲者 四 懲役、六年以上の禁錮、濫刑沙汰の重罪の刑又は重禁錮に處せられたる者 第十四條 左に掲ぐる者は陪審員の職務に就かしむることを得ず 一 國務大臣 二 在職の判事、檢事、陸軍法務官、海軍法務官

三 在職の行政裁判所長官、行政裁判所評定官 四 在職の宮内官 五 現役陸軍軍人、海軍軍人 六 在職の府廳局長官、郡長、島崎、廳支廳長 七 在職の警察官 八 在職の監獄官 九 在職の裁判所書記長、裁判所書記 十 在職の收買官、税關官吏、專賣官吏 十一 郵便電信電話鐵道及軌道の職員に從事する者並船員 十二 市町村長 十三 弁護士、弁理士 十四 公證人、執達吏、代書人 十五 在職の小學校教員 十六 神官、神職、僧侶、講堂教師 十七 醫師、齒科醫師、藥劑師 十八 學生、生徒 第十五條 陪審員は左の場合に於て職務の執行より除外せらるべし 一 陪審員被害者たる時 二 陪審員私訴當事者たる時 三 陪審員被告人、被害者若しくは私訴當事者の親族たる時又は親族たりしとき 四 陪審員被告人、被害者又は私訴當事者の屬する家の戸主又は家族なるとき 五 陪審員被告人、被害者又は私訴當事者の法定代理人、後見監督人又は保佐人たる時

鑑定人となつたとき(リ)事件につき被告人の代理人弁護士人又はは私訴當事者の代理人となつたとき(ヌ)事件につき判事檢察司法警察官又は陪審員として職務を行つたとき(五、六)更にまた陪審員がその職務を辭することを得る場合がある。即ち(イ)六十歳以上の者(ロ)在職の官吏公吏教員(ハ)貴族院衆議院および法令を以て組織したる議會の議員但し會期中に限る(一六)。

陪審員資格者については市町村長は毎年九月一日の現在に依つて資格者名簿を調製することになつてみる。件の名簿には資格者の氏名身分職業住居地生年月日および納税額を記載する。そして同時にその副本を管轄區裁判所判事に送附する(一七)。資格者名簿の續覽期間は十月一日より七日間である。もし陪審法の規定に違反して資格者名簿に記載された者又は反對に記載されなかつた者は、市町村長に異議の申立を爲した場合には因

つては區裁判所判事に異議の申立を爲して資格者名簿の修正を求めることが出来る(一八一)。

尤もその以前に地方裁判所長は毎年九月一日までに翌年所要の陪審員の員數を定めて管轄區域内の市町村に割當て市町村長に通知しなければならぬ。市町村長は修正によつて整理の出來上つた陪審員資格者名簿に基いて抽籤の方法で割當てられた員數だけの陪審員候補者を選定して更に陪審員候補者名簿といふものを作る。(二二)三)そして今度は副本でなしに候補者名簿の原本を十一月三十日までに管轄地方裁判所長に送附すると同時に、一方には候補者本人にその旨の通知を爲し、一方にはその氏名を告示する。もしその後候補者に異動があつたときには市町村長はその旨を地方裁判所長に通知する。(二五、二六)。

事件について陪審員を選定するには先づ陪審の評議に附すべき事件の公判期日が定まらなければなら

ぬ。この場合には地方裁判所長は豫め定めた市町村の順序に依り各陪審員候補者名簿の中から一人又は數人づつ抽籤し合計三十六人の陪審員を選定する(二七)。そして公判期日にはこの三十六人の陪審員全部に對して呼出狀が發せられるのであるが、しかしこれは用意のためであつて陪審員が陪審といふ合議體を構成して公判に立會ひ職務を行ふには十二人を以てする。そしてこの十二人は原則として公判において檢事が被告事件を陳述する時から裁判所書記が陪審の審申を朗讀する時まで同一の人でなければならぬ。これは陪審の評議が事件の審理の經過を直接に經驗して得た材料によつて行はるべきものである以上當然の事柄ではあるが、さりとて陪審員も人間のことであるから審理の途中に如何なる事故が起らぬものでもない。されば裁判長は事件が二日以上引續き開廷を要すと考へたときは、十二人の陪審員の外に一人又は數人の

補充陪審員を公判に立會はしむることが出来る。この補充陪審員は十二人の中の或者が疾病その他の事由で職務を行ふことが出来ないとき(二九)にこれに代るものである(二九)一三一)かやうに陪審といふ合議體は或る事件の公判期日が定まるたびにその一々の事件について三十六人の陪審員を呼出して構成するのが本則であるから、同日に同一裁判所に於て二個の陪審事件の公判が行はれる場合には、本來は合計七十二人の陪審員が呼出される都合になる。これも固よりやむを得ぬことであるが、一事件の陪審をして序を以て他の事件の陪審として公判に立會はしめることも何かと都合の場合もあるから、さういふ手續もまた方法の如何によつて差支ないことになつてゐる(三二、三三)。なほ陪審員には一定の規則によつて旅費日當及び止宿料が給與される(三四)。

特別記事一陪審法大憲

第二章 陪審手續

第一節 公判準備

第三十六條 被告人公判準備期日前弁護人を選任せざるときは裁判長は其の裁判所所在地の弁護士中より之を選任すべし。

被告人の利害相反せざるときは同一の弁護人をして數人の弁護を爲さしむることを得。

第三十七條 公判準備期日には被告人及弁護人を召喚すべし。

公判準備期日は之を檢事に通知すべし。

第三十八條 召喚狀の送達の日と公判準備期日との間には少くとも五日の猶豫期間を存すべし。

第三十九條 公判期日を定めたる後被告人の請求により事件を陪審の評議に付すべきものとしたる時は其の公判期日を公判準備期日とす。

第四十條 公判準備期日に於ける取調は定數の判事、檢事及裁判所書記列席して之を爲す。

公判準備期日に於ては弁護人出頭するに非ざれば取調を爲すことを得ず弁護人數人あるときは其の一人の出頭を以て足る。

公判準備期日に於ける取調は之を公行せず。

第四十一條 第二條の規定により事件を陪審の評議に付する時は裁判長は被告人に對し事件を陪審の評議に付することを諭し得べき旨を告知すべし。

第四十二條 公判準備期日に於ては裁判長は公訴事實につき出頭したる被告人を訊問すべし。

陪審評議は裁判長に告げ被告人を訊問する事を得。

被告人及弁護人は裁判長の許可を受け被告人を訊問することを得。

第四十三條 公判準備期日に於ては裁判所は必要なる證據調の決定を爲すべし。

檢事、被告人及弁護人は證人訊問、鑑定、檢附又は證據物若し證據書類の集取を請求することを得。

前項の請求を却下するときは裁判所は決定を爲すべし。

第四十四條 裁判所書記は公判準備調書を作り公判準備期日に於ける被告人に對する訊問及其の供述、檢事被告人弁護人の申立、裁判所の裁判其の他一切の訴訟手續を記載すべし。

第四十五條 公判準備調書には前條に規定する事項の外被告事件、被告人及出頭したる弁護人の氏名並手續を爲したる裁判所年月日及裁判長陪審員事務檢事裁判所書記の官氏名を記載し被告人出頭せざるときは其の旨を記載すべし。

第四十六條 公判準備調書は三日内に之を整理し裁判長及裁判所書記署名捺印すべし。

裁判長は署名捺印前に公判準備調書を檢閱し意見あるときは其の旨を記載すべし。

第四十七條 檢事、被告人及弁護人は公判準備期日前第四十三條第二項の請求を爲すことを得公判期日七日前迄亦同。

第四十三條第三項の規定は前項の場合

に之を準用す。

第四十八條 裁判所公判準備期日外に於て證據決定を爲したるときは之を檢事被告人及弁護人に通知すべし。

第四十九條 公判準備期日外に於て證人又は鑑定人の訊問を爲すときは被告人も亦之に立會ふことを得。

裁判所外に於て前項の手續を爲すときは拘禁せられたる被告人は之に立會ふことを得ず但し裁判所必要と認むるときは之に立會はしむることを得。

第五十條 前條第一項の手續を爲すべし日時及場所は被告人に之を通知すべし但し急遽を要する場合は此の限に在らず。

第五十一條 公判準備中陪審の評議に付すべからざる事由生じたるときは通常の手續に従ひ審判を爲すべし。

公判準備期日に於て前項の事由生じたるときは其の期日を公判期日とす但し訴訟關係人中出頭せざる者あるときは此の限に在らず。

第五十二條 被告人は公判準備期日に管轄區域の申立を爲すことを得。

前項の申立は豫審を経たる事件に對ては豫審判事に對して其の申立を爲したる場合に非ざれば之を爲すことを得ず。

第五十三條 裁判所公判準備期日に公訴棄却又は管轄區域の原由あることを認めたるときは決定を爲すべし。

第五十四條 裁判所公判準備期日に免訴の原由あることを認めたるときは決定を爲すべし。

免訴の決定確定したるときは同一の事件に付更に公訴を提起することを不得す。

第五十五條 前二條の規定を爲すには訴訟關係人の意見を聽くべし。

決定に對しては即時抗告を爲すことを得。

第五十六條 第五十一條又は第五十三條の場合に於て公判準備中に爲したる手續は其の効力を失はず。

第五十七條 公判期日には第二十七條の規定に依りて選定したる陪審員を呼出すべし。

第三十八條の規定は前項の場合に之を準用す。

第五十八條 陪審員に對する呼出狀には出頭すべき日時、場所及呼出に應ぜざる場合は其の事由を記すべし。

第五十九條 陪審員疾病その他已むることを得ざる事由に因り呼出に應ずること能はざる場合に於ては其の職務を辭することを得此の場合に於ては書面を以て其の事由を説明すべし。

第六十條 陪審員手續及公判の裁判所書記、被告人、弁護人及陪審員列席し公判廷に於て之を行ふ。

前項の手續は之を公行せず。

第六十一條 前條第一項の手續は陪審員二十四人以上出頭するに非ざれば之を行ふことを不得す。

既に述べた如く陪審手続は地方裁判所だけに行はれるのであるから係りの判事は三人であつて、その中一人が裁判長になる。裁判長は陪審事件がその所屬裁判所に屬する（これは或ひは検事の直接の公判請求に由ることがあり又他の裁判所からの移送の手續に由る）ともあるが通常は被告事件を公判に附するといふその裁判所の豫審判事の豫審終結決定に由る。裁判長は何よりも先づ公判準備期日を定める（二二五）。尤もその前に被告人が弁護人を選任してゐないときは裁判長がその土地の弁護士のの中から弁護人を選任する。いはゆる官選弁護人である。いづれの場合でも弁護人には被告人の利害が衝突さへしなければ一人に數人の被告人の弁護をさせても好い（二二六）そして公判準備期日が定まるとその日時までに呼出やら通知やらをして置いて、その日時になると判事（二人）検事裁判所書記被告人弁護人が出廷して準備手續が初ま

所在地又は其の附近の市町村の陪審員候補者名簿より抽籤を以て必要なる員數の陪審員を選定し便宜の方法に依り之を呼出すべし
 前項の抽籤は裁判所書記の立會を以て之を爲すべし
 第六十二條 陪審員二十四人以上出頭したるときは裁判長は其の氏名、職業及住居地を記載したる書面を示し檢事及被告人に對し陪審員中除斥せらるべき者ありや否を問ふべし
 裁判長は陪審員に被告人の氏名、職業及住居地を告げ除斥の理由ありや否を問ふべし
 檢事、被告人及陪審員除斥の理由ありとするときは其の旨の申立を爲すべし除斥の理由ありとするときは裁判所は決定を爲すべし
 第六十三條 出頭したる陪審員中第十二條乃至第十四條の規定に依り陪審員たる資格を有せざる者ありとするときは裁判所は決定を爲すべし
 第六十四條 檢事及被告人は陪審員を構成すべき陪審員及補充陪審員の員數を超過する員數に付各其の半數を忌避することを得忌避することを得べき人員奇數なるときは被告人は尙一人を忌避することを得
 被告人數人あるときは忌避は共同して之を行ふ共同の方法に付協議はざるべきときは忌避を行はしむる方法は裁判長之を定む
 第六十五條 裁判長は陪審員の氏名票を抽籤に入れたる後檢事及被告人の忌避することを得る員數を告知すべし
 裁判長は氏名票を一票宛抽籤より抽出し之を讀上げべし
 裁判長は氏名を讀上げたるときは檢事及被告人は承認又は忌避する旨を陳述すべし其の順序は檢事を先にし被告人を後にす
 忌避の理由は之を陳述することを得ず次の氏名を抽籤より抽出す迄に陳述を爲さざるときは承認の陳述を爲したるものと看做す裁判長抽籤終りたる旨を宣言する迄陳述を爲さざるときは亦同じ
 陳述は次の氏名票を抽出したる後は之を取消することを得ず裁判長抽籤終りたる旨を宣言したる後亦同じ
 第六十六條 前條の手續に依り陪審員を構成すべき陪審員及補充陪審員の數を充したるときは裁判長は抽籤終りたる旨を宣言すべし
 第六十七條 陪審員を構成すべき陪審員は初に當選したる十二人を以て之に充て補充陪審員は其の他の當選者を以て之に充つ
 第六十八條 陪審員は第六十五條の規定に依り爲したる抽籤の順序に従ひ着席すべし
 第六十九條 裁判長は檢事の被告事件陳述前陪審員に對し陪審員の心得を諭告し之をして宣誓を爲さしむべし
 宣誓は宣誓書に依り之を爲すべし
 宣誓書には良心に従ひ公平誠實に其の

手續が終ると裁判所は必要なる證據調の決定といふことを行ふ。即ち來るべき公判期日に如何なる證人鑑定人を訊問するか如何なる書類を取寄せるかまた場合によつては公判期日前に裁判所が現場の檢證をして置くべきか否か當日出頭不可能な事情の明証人について豫め裁判所が出張訊問をなすべきか否かといふが如き事情について決定を以て定めるのである。この點については檢事や弁護人からも種々な請求を申立てることが出来る。しかし裁判所が必要なしと認めればこの請求は却下される（四三三）。公判準備期日に於ける一切の出來事即ち被告人に對する訊問やこれに對する供述、檢事被告人弁護人の申立、裁判所の裁判その他一切の訴訟手續は裁判所書記が公判準備調書を作成してこれを記載して置く（四四一—四六〇）。右の如く公判の準備は大體準備期日に行はれるのであるが、もし必要があればその前後に於て裁判所が法廷を

開かずして證據調の決定を爲すことも出來れば檢事被告人弁護人から請求の申立をするとも出来る。公判準備期日は公判の準備を爲すことが主たる目的であるが、場合に依つては準備期日において事件が陪審の評議に附すべからざる事由が生じないとは限らない。即ち被告人が公訴事實を認めたとか陪審手續の辭退又は請求の取下があつたとかいふ場合に準備手續を中止しなければならぬ。そしてこの場合には準備期日をそのまま公判期日として通常の手續に従ひ公判手續を開始する。準備期日が終つてからでも引續き準備中に右に述べた事由が生じた場合にもやはり同じわけであつて通常の手續で審判を行ふ（五一）。また公判準備期日に公訴棄却とか管轄違とか免訴とかの裁判を爲すべき事情が認められたときは直ちにその旨の裁判を爲して事件を終結する。要するに陪審事件の公判においては有罪か無罪かの裁判を爲すべき事件職務を行ふべきことを誓ふ旨を記載すべし
 裁判長は起立して宣誓書を朗讀し陪審員をして之に署名捺印せしむべし
 第七十條 裁判長は陪審員一人をして被告人の訊問及證據調を爲さしむることを得
 陪審員は裁判長の許可を受け被告人、證人、鑑定人、通事及翻譯人を訊問することを得
 第七十一條 證據は別段の定めある場合を除くの外裁判所の直接に取調べたるものに限り
 第七十二條 左に掲ぐる書類圖畫は之を證據と爲すことを得
 一 公判準備手續に於て取調べたる證人の訊問調書
 二 檢認、押收又は捜索の圖畫及之を補充する書類圖畫
 三 公務員の職務を以て證明することを得べき事實に付公務員の作りたる書類
 四 前條の事實に付外國の公務員の作りたる書類にして其の眞正なることを證明するもの
 五 鑑定書又は鑑定圖畫及之を補充する書類圖畫
 第七十三條 裁判所、豫審判事、受命判事、受託判事其他法令に依り特別に裁判権を有する官署、檢事、司法警察官又は訴訟上の共助を爲す外國の官署の作りたる訊問調書及之を補充する書類圖畫は左の場合に限り之を證據と爲すことを得
 一 共同被告人若しは證人死亡したるとき又は疾病其他の事由に因り之を召喚し難きとき
 二 被告人又は證人公判外の訊問に對して爲したる供述の重要な部分を公判に於て變更したるとき
 三 被告人又は證人の公判廷に於て供述を爲さざるとき
 第七十四條 前二條の場合の外裁判所に於て被告人其他の供述を録取したる書類又は裁判外に於て作成したる書類圖畫は供述者若しくは作成者死亡したるとき又は疾病其他の事由により召喚し難き時に限り之を證據となすことを得
 第七十五條 證據と爲す事に付訴訟關係人の意欲なき書類圖畫は前三條の規定に拘らず之を證據となすことを得
 第七十六條 證據圖畫の複製、被告人及弁護人は犯罪の構成要素に關する事實上及法律上の問題のみに付意見を陳述すべし
 被告人數人ある場合に於て被告人の爲めにする意見の陳述は重複して之を爲すことを得ず
 公判廷に現れざる證據は之を採用することを得ず
 被告人又は弁護人には最終に陳述する機會を與ふべし
 第七十七條 前條の弁論終結後裁判長は陪審員に對し犯罪の構成に關し法律上の論點及問題と爲るべき事實並證據の要領を説示し犯罪構成事實の有無を問ひ

だけが審理されるのであつて、その他の異つた意味の裁判を爲すべき事件はそれまでに裁判所の手で整理されて了ひ、そして有罪か無罪かの裁判を爲すに必要なら一切の取調べの材料が準備されるのである。(五二—五四)。さていよくこれから公判期日が開かれるのであるが、公判期日は裁判長がこれを定めて一方には検事にこれを通知し一方には關係人に對して召喚状を發する。その際に述べた三十六人の陪審に對しても併せて呼出状が發せられる。この場合に陪審員が疾病その他やむを得ざる事由によつて呼出に應ずることが出来なるときはその職務を辭することが出来るが、それには書面に診斷書でも添へて一通り信じ得る程度にその事由を明しななければならぬ。尤も當日俄に事故が起つたやうな場合には致方がないが、それでもたとへ後からでも相當の手續を盡くして置く方が万一制裁問題でも起つたとき

に故なく呼出に應じなかつたのではないといふとの證明に役立つ便宜があらうと思ふ(五七—五九)。

第二節 公判手續及び公判の裁判

公判手續においては先づ十二人の陪審員から成立つ陪審と稱せられる合議體構成の手續から始めなければならぬ。この手續は判事檢察書記被告人弁護人陪審員等列席の上公判廷で行ふのであるが公判廷は閉じない。陪審構成の手續を行ふには陪審員廿四人以上出頭する必要がある。もし陪審員の出頭數二十四人に達しないときは裁判長はこれを補充する爲め附近の陪審候補者から適當に選定して呼出すことになつてゐる(六一)。

陪審の結果を答申すべき旨を命ずべし但し證據の信否或罪責の有無に關し意見を表示することを得ず
第七十八條 裁判長の説示に對しては異議を申立つことを得ず
第七十九條 裁判長の問は主問と補問とに區別し陪審に於て然り又は然らずと答へ得べき文書を以て之を爲すべし主問は公判に付せられたる犯罪構成事實の有無を評議せしむる爲之を爲すものとす
補問は公判に付せられたるものと異つたる犯罪構成事實の有無を評議せしむる必要ありと認むる場合に於て之を爲すものとす
犯罪の成立を阻却する事由と爲るべき事實の有無を評議せしむる必要ありと認むるときは其の問は他の問と分別して之を爲すべし
第八十條 陪審員、檢察、被告人及弁護人は問の變更の申立を爲すことを得前項の申立ありたるときは裁判所は決定を爲すべし
第八十一條 裁判長は問書に署名捺印し之を陪審に交付すべし
陪審員は問書の原本の交付を請求することを得
第八十二條 裁判長は評議を爲さしむる爲陪審員をして評議室に退かしむべし裁判長は公判廷に於て示したる證據物及證據書類を陪審に交付することを得第八十三條 陪審員は裁判長の許可を受くるに非ざれば評議室を了る前評議室を

出で又は他人と交通することを得ず陪審員に非ざる者は裁判長の許可を受くるに非ざれば評議室に入ることを得ず
第八十四條 陪審の答申前陪審員をして裁判所を退出せしむる場合に於ては裁判長は陪審員に對し陪審の場所及他人との交通に關し遵守すべき事項を指示すべし
第八十五條 陪審員第八十三條第一項の規定に違反したるとき又は前條の規定に依り指示せられたる事項を遵守せざるときは裁判所は其の陪審員に對し職務の執行を禁止することを得
第八十六條 陪審員は陪審長を互選すべし
陪審長は職務を整理す
第八十七條 陪審は評議を了る前更に議示を請求することを得此の場合に於ては公判廷に於て其の申立を爲すべし
第八十八條 答申は問に對し然り又は然らずの語を以て之を爲すべし但し間に關する事實の一部を肯定又は否定するときは之に付然り又は然らずの語を以て答申すべし
第八十九條 評議は先づ主問に付之を爲すべし
主問を否定したる場合に於て補問あるときは之に付評議を爲すべし
第九十條 陪審員は問に付各其の意見を表示すべし
陪審長は最後に其の意見を表示すべし
第九十一條 犯罪構成事實を肯定するに

なものがあつたら裁判所はこれを除かなければならぬ(六二、六三)それからなほ忌避といふことがある。これは検事と被告人の双方から各々その氣に入らぬ陪審員を排斥することである。即ち検事も被告人も右に述べた無資格者でもないまた排斥理由もない陪審員の中から十二人と補充陪審員の數を加へたものを控除した殘數の半數づゝを忌避することが出来る。もし殘數が奇數ならば被告人の方が一人だけ多く忌避することが出来る。被告人が數人ある場合の忌避の方法は面倒な問題であるが、原則として共同して行ふべきこととする。但し忌避は必ず行はなければならぬのではない。たゞ行ひ得るといふだけのことである。さて當選者を定めるには裁判長は陪審員の氏名票を抽籤函に入れ、それから一々氏名票を摘まみ出しては讀み上げる。すると検事と被告人とはそのたびに承認するか忌避するかを陳述する。順序は検事が先

で被告人が後である。忌避の理由は何でもかまはぬがそれを述べることは許されない。この場合に裁判長が次の氏名票を摘まみ出すまで何とも述べない者は承認したことになる。また既に述べた者はそれまでは取消すことが出来るがその後は取消は出来ない。かくして漸次同一の手續を繰返して忌避されない陪審員の數が十二人に達したときは(補充陪審員を要する場合に十二人にその數を加へた數に達したときは)裁判長は抽籤終りと宣言する。もし最後の當選者を忌避するか又はその者についての前の陳述を取消さうと思ふならその宣言までに爲さなければならぬ。こゝに至つて初めの十二人が陪審構成に當りその他の當選者が補充陪審員となるといふことが定つた譯であつて、そこで彼等は當選の順番に従つて陪審席に着く(六四—六八)。それから裁判長からの陪審員の心得の諭告があつて讀いて陪審員の宣誓がある。宣誓

は陪審員の過半數の意見に従ふを要す
陪審構成事實を肯定する陪審員の意見其の過半數に達せざるときは之は否定ししるものとす
第九十二條 答申は問書に記載し陪審長署名捺印して之を裁判長に提出すべし答申に不備又は顯謬あるときは裁判長は問書を返付し更に評議を爲し答申を訂正すべし命ずべし
第九十三條 裁判長は公判廷に於て裁判所書記をして問及之に對する陪審の答申を朗讀せしむべし
第九十四條 前條の手續終りたるときは裁判長は陪審員を退廷せしむべし
第九十五條 裁判所陪審の答申を不當と認むるときは訴訟の如何なる程度に在るを問はず決定を以て事件を更に他の陪審の評議に付することを得
第九十六條 陪審犯罪構成事實を肯定するの答申を爲したる場合に於て裁判所前條の決定を爲さざるときは檢察は適用すべき法令及刑に付意見を陳述すべし
被告人及弁護人は意見を陳述することを得
被告人又は弁護人は最終に陳述することを得
第九十七條 陪審の答申を採擇して判決の言渡を爲すには裁判所は陪審の評議に付して事實の判斷を爲したる旨を承すべし
有罪の言渡を爲すには罪と爲るべき事

實及法令の適用を示すべし刑の加重減免の理由たる事實の主張ありたるときは之に對する判斷を示すべし
無罪の言渡を爲すには犯罪構成事實を認めざること又は被告事件罪と爲らざることを示すべし
第九十八條 引續き七日以上開延せざりし場合に於ては公判手續を更新すべし陪審を構成すべき陪審員疾病其の他の事由に因り職務を行ふこと能はざる場合に於て補充陪審員なきときは亦前項に同じ
前二項の場合に於ては新に陪審構成の手續を爲すべし
第九十九條 裁判所は訴訟の如何なる程度に在るを問はず公訴棄却、管轄違又は免訴の裁判を爲すべき理由あることを認めたる場合に於ては陪審の評議に付せずして審判を爲すべし
第一百條 裁判所書記は陪審員の氏名陪審の構成其他陪審に關する訴訟手續及裁判所の説示の要領を公判問書に記載すべし
第三節 上 訴
第一百一條 陪審の答申を採擇して事實の判斷を爲したる事件の判決に對しては控訴を爲すことを得ず
第一百二條 陪審の答申を採擇して事實の判斷を爲したる事件の判決に對しては大審院に上告を爲すことを得
第一百三條 上告は刑事訴訟法に於て第二審の判決に對し上告を爲すことを得る事由ある場合に於て之を爲すことを得

は裁判長が起立して宣誓の文官を朗讀して聽かせた上陪審員に署名捺印させるのである。(六九)。

かくして證據測が終ると檢察被告及び弁護人は各々意見を陳述する段になるのであるが、この場合には通常の訴訟手續きと違つて、犯罪が成立するか否かについて事實の點及び法律の點を論ずるに止まり、刑の量定に關する犯罪の情狀酌量減輕の情狀執行猶豫の情狀等の有無について述ぶべきものではない。即ち陪審員が判斷して答申すべき範圍内の事柄だけについて意見を述べるのである。例へば或る店の番頭が主人の命令で銀行へ預金を持参する途中悪意を起して持逃げをしたが、まだ一文も費消せぬ中に何處かで捕へられたとす。かやうな事件に於ては、事實については番頭であるか否か持逃げをしたかしないかの點だけについて證據に依つて意見を述べた法律についてはそれが刑法上通常の横領罪(刑二五二)になるか或は重い業務上の横領罪(刑二五三)になるかについて意見を述べべきであつて、捕へられたときに一銭も

但し事實の誤謬を理由とする場合は此の限りに在らず
第百四條 左の場合に於ては常に上告の理由あるものとす
一 法律に従ひ陪審を構成せざりしとき
二 第十二條第一項第一號又は第十三條の規定に依り陪審員たることを得ざる者評議に參與したるとき但し評議を了る前訴訟關係人異議を述べざりしときは此の限に在らず
三 法律に依り職務の執行より除斥せらるべき陪審員評議に參與したるとき但し第六十二條第三項の申立を爲さざりしときは此の限に在らず
四 忌避せられたる陪審員評議に參與したるとき但し評議を了る前訴訟關係人異議を述べざりしときは此の限に在らず
五 裁判長の諭示法律に違反したるとき
六 裁判長證據として諭示したるもの法律上證據と爲すことを得ざるものなるとき
七 裁判長法律上の論議に關し不當の諭示を爲したるとき
第百五條 上告裁判所原判決を破毀する場合には事實の審理を爲さずして自ら裁判を爲す場合を除くの外事件を原裁判所に差戻し又は原裁判所と同等の他の裁判所に移送すべし
破毀の理由と爲りたる事項陪審の評議の結果に影響なきものなるときは陪審

の答申は其の効力を有す此の場合に於ては事件の差戻又は移送を受けたる裁判所は答申以後の手續のみを爲すべし
第四章 陪審費用
第百六條 左に掲ぐるものを以て陪審費用とし訴訟費用の一部とす
一 陪審員の呼出に要する費用
二 陪審員に給與すべき旅費日當及止宿料
第百七條 陪審費用は第三條の場合に於て刑の審議を爲すときは其の全部又は一部を被告人の負擔とす
第五章 罰 則
第百八條 陪審員は左の場合に於ては五百圓以下の罰金に處す
一 故なく呼出に應ぜざるとき
二 宣誓を拒みたるるとき
三 第八十三條第一項の規定に違反したるとき
四 故なく退廷したるとき
五 第八十四條の指定に違反したるとき
第百九條 陪審員評議の期末又は各員の意見若し其の多少の數を漏泄したるときは千圓以下の罰金に處す
前項の事項を新聞紙其の他の出版物に掲載したるときは新聞紙に在りては編輯人及發行人其の他の出版物に在りては著作人及發行人を二千圓以下の罰金に處す
第百十條 裁判長の許可を受けずして陪審の評議室に入り又は陪審の評議を了

費消して居らず携帶金がそつくり主人の手に戻つた爲めに主人には殆ど損害がなかつた、従つて犯罪の情狀が比較的輕いといふやうなことにまで論及すべきものではな。但し事實論を爲すときに法廷に少しも現はれ居ない他から聞き込んであるやうな證據を引合ひに出すことは許されない(七七)。

いふが如き場合は業務上の横領といつて通常の横領罪とは異なることなどを教へる。それから續いて問題となるべき事實を説明する。前例でいふと、被告人は被害者の番頭なりしや否や、持逃げを爲したるや否や等の點が問題となることを教へる。それから最後にさやうな事實があつたといふ證據はこれ、なかつたといふ利益な反證はしかくといふ工合に法廷に現はれた證據を一一指摘して要領を説明する。これが即ち説示である。この説示をした上で犯罪が有つたか無かつたかを問ひ答申を求めらるのである。しかし裁判長は説示の際に證據の信否、事件の有罪無罪の點について意見を述べることは出來ぬ。また裁判長の説示に對しては何人も異議を述べることには出來ぬ。もし不服があるなら判決の後に判決に對して上告の途を取るべきである(七七、七八)。

る前裁判所内に於て陪審員と交通したる者は五百圓以下の罰金に處す
第百十一條 陪審の評議に付せられたる事件に付陪審員に對し請託を爲し又は評議を了る前私に意見を述べたる者は一年以下の懲役又は二千圓以下の罰金に處す
第百十二條 過料の裁判は陪審員を呼出したる裁判所該事の意見を聽き決定を以て之を爲すべし
前項の決定に對しては抗告を爲すことを得此の抗告は執行を停止する効力を有す
過料の裁判の執行に付ては非訟事件手續法第二百八條の規定を準用す
第六章 補 則
第百十三條 市制第六條の市に於ては本法中市に關する規定は區に市長に關する規定は區長に之を適用す
町制を施行せざる地に於ては本法中町制に關する規定は町村に準すべきもの町村に關する規定は町村長に準すべき者に之を適用す
第百十四條 第十二條の直接國務の種類は勅令を以て之を定む
附 則
本法施行の期日は各條に付勅令を以て之を定む
本法施行前公判期日の定りたる事件に付ては本法を適用せず
勅令第四百四十六號
陪審法第十二條の規定に依る内地又は露本に於ける直接國務の種類左の如し

一 地租
二 第三種所得稅
三 營業收益稅
四 砂鹽區稅
五 乙種實木利子稅
六 鹽業稅
七 市街地稅
八 漁業稅
附 則
本令は昭和二年六月一日より之を施行す國稅營業稅は本令の適用に付ては之を營業收益稅と看做す
司法省令第十六號
陪審法施行規則
第一條 陪審員資格者名簿及陪審員候補者名簿は別記様式に依り之を調製すべし
第二條 前條の名簿には了敷を記入し職印を以て毎葉の欄目に契印すべし
第三條 陪審員資格者名簿の副本は毎年九月三十日迄に管轄區裁判所に送付すべし
第四條 陪審員資格者名簿の送附期間には日曜日又は一般の休日として指定せられたる日を算入することを得ず
第五條 陪審員資格者名簿送附の期間は其の初日より少くとも五日前に之を告示すべし
第六條 陪審員資格者名簿は之を變更に供したる後は名簿中廢除票等あるも

まぬことがある。そこで問の種類が主問補問別問といふ工合に分れる。主問といふのは例へば殺人罪でいふと殺す意思で被害者を河に突落したかといふ形式の問であり、補問といふのは主問が否定された場合を豫想しての間であつて、例へば殺す意思がなかつたとすれば単に突き飛ばすだけの意思で突いたら河に落ちて死んだのであるかといふ形式の問である。かやうな補問を設けるのはたとへ殺人罪は不成立でも暴行致死罪の成立といふことがあり得るからである。なほまた場合によつては更に第二の補問を附して、突き飛ばす意思さへもなかつたとしたら過失で被害者に衝突したのであるかといふ問を設けても差支はない被告人が全然事實を否認してゐる場合等には裁判長は犯罪のあらゆる可能なる態様を想像しなければならぬから補問の範圍はこゝまで及ぶことにもなるのである。別問といふのは實は獨立の内容を有する問でなく

して主問または補問の中に含まれてゐる事柄であるが、便宜上引離して更に同一事柄を裏面から訊ねる問である。例へば被告人が被害者を突き飛ばしたのは相手が暴行を加へて来たからやむを得ず身を護るためにやつたのであるかといふが如き問である。これは理論上は不用なものであるが陪審の答申を判断せしめる爲めに設けることがある。なぜこれが不用かといふと主問か補問か「然り」と肯定されれば被告人の行爲は正當防衛にあらずといふことで別問は當然「然らず」として否定されるべきものであり、また主問も補問も「然らず」と否定されれば被告人の行爲が正當防衛か否かといふが如き問はその目的物を失つて了ふからである。右の如き問はすべて裁判長が定めるものであるけれども、事柄が重大であるがために陪審員檢察被告人弁護人において何れも問の變更の申立が出来る。この場合には裁判所は合議の上許否を決す

異議の申立又は區裁判所判事の命に依る場合の外市町村長限り之を修正することを不得す
 第七條 市町村長陪審員資格者名簿を修正したるときは其の年月日及陪審法第二十條又は第二十一條の規定に依り削除又は追加したる旨を欄外に朱書き捺印すべし
 第八條 陪審法第二十條及第二十一條の規定に依り陪審員資格者名簿を整理したる後其の資格者中死亡し若は監禁を喪失したる者あるとき又は陪審法第十三條若は第十四條の各條の一に該當するに至りたる者あるときは市町村長は名簿の欄外に其の旨を記入し之を管轄區裁判所判事に通知すべし
 第九條 地方裁判所長は豫め翌年一月乃至十二月に於ける陪審事件の總数を推算し之に基きて所要の陪審員の總数を定め各市町村に於ける陪審員資格者の員數に之を按分して各市町村に割當つべし但し特別の事情あるときは適宜の標準に依り割當を爲すことを得
 第十條 市町村長地方裁判所長より割當てられたる陪審員の員數の通知を受けたるときは陪審員候補者抽籤の場所及日時を定め之を告示すべし
 市町村長は抽籤の立會人を選定し前項の期日より少くも五日前に之を本人に通知すべし
 立會人は正當の事由なくして立會を拒むことを不得す
 第十一條 陪審員候補者の抽籤は陪審員資格者名簿に據ぐる資格者の番號に符合する番號票を複製し之を抽籤函に入れ攪拌したる後一票宛抽籤函より所要員數に達する迄抽出すべし
 第十二條 第八條に據ぐる者は之を抽籤より除くべし
 第十三條 抽籤函及番號票は別記様式に依り之を調製すべし(省略)
 第十四條 市町村長陪審員候補者を選定したるときは陪審員候補者選定録を作成すべし
 陪審員候補者選定録には左の事項を記載し市町村長抽籤の立會人と共に署名捺印し陪審員候補者名簿の副本と併せて之を保存すべし
 一 選定の日時及場所
 二 抽籤に立會ひたる立會人の姓附氏名年齢
 三 割當られたる陪審員候補者の員數
 四 第十二條に依り抽籤を除きたる者あるときは其の氏名及事由
 五 抽出したる番號票の番號
 六 其他市町村長に於て必要と認むる事項
 第十五條 市町村長は區裁判所判事に送附するもの、外陪審員候補者名簿の副本を調製し其の應に保存すべし
 第十六條 陪審員資格者名簿及陪審員候補者名簿の原本は調製の日より五年間之を保存すべし
 附 則
 本令は昭和二年六月一日より之を施行す

る(七九、八〇)。裁判長が問を授けるには問書を以てする。(八一)は裁判長の署名捺印が在る(八一)裁判長は問書を交付すると同時に評議をなさしめるため陪審員をして評議室に退かしめる。なほその際に公判廷において示した證據物および證據書類を交付することも出来る(八二)。この時から以後の陪審員の監督は嚴重であつて、陪審員は評議を了る前には裁判長の許可がなければ評議室を出ることも出来ず、また他人と交通することも出来ない。また何人も裁判長の許可なくして評議室に入ること許されぬ(八三)。又裁判長自身は如何なる場合にも評議室に入ること出来ぬ。右のやうな譯であるから公判が二日以上に亘つて陪審員が一旦裁判所を退出するやうな場合には裁判長は陪審員に對して滞留の場所および他人との交通に關して遵守すべき事項を指示することになつてゐる。實際には陪審員のために宿舍の設けかあ

る筈であるから其處に滞留することになる譯である。(八四)。陪審員がもし以上述べた諸々の事項に違反したときは裁判所はその職務の執行を禁止する事が出来る(八五)。評議室に退いた後は陪審員は陪審長を互選する。そして陪審長が議事を整理する。陪審は評議を了る前に不明なことがあれば多數決によつて更に再説示を求めることが出来る。しかしその申立は一々公判廷においてなさなければならぬ。(八六、八七)。

擧取したる點につき然りその他の點につき然らずと答ふべきである。また一回限りの事實でももし被害金額に相違があるが如き場合には、間に金一円とあるに對して金五千円を云々したる點につき然り然らずといふが如く答ふべきである(八八)。

評議は先づ主問から始める。主問が否定された場合に補問があれば次に補問について評議を行ふ(八九)。陪審員は問について各々その意見を述べなければならぬ。但し陪審長は最後に意見を述べる(九〇)。犯罪の成立を肯定するには陪審員の過半数即ち七人以上の意見が一致しなければならぬ。從つてもし意見が半々に分れたとき是否定したものとなるのである(九一)。英米の制度においてはこの場合には全員一致が必要とされてゐる。従つて英米の制度では理論上一人でも反對があれば被告人は結局無罪になつて了ふのである

が、それでもこの方法に對して批評が起らぬ。これは一つは判事が證據の信否についてまで思ひきつた説示を爲し得る權限があるのも由るとであるが、一つは陪審員自身の間に輿論尊重の風があつて極めて少數な一二人の反對によつて多數者の意思を蹂躪するが如き場合が稀なのにも由るのである。答申は問書に記載し陪審長署名捺印してこれを裁判長に提出する。もし答申に不備又は齟齬の點があれば裁判長は問書を返付し更に評議を爲し答申を訂正すべき旨を命じなければならぬ(九二)。答申に缺點もなくまたあつても訂正が済めば裁判長は公判廷で書記をして問と答申とを朗讀せしめ、その手續が了れば陪審員を退廷せしめる。それからには前にも述べた如く、法律の上では裁判所が陪審の答申を不當と認めるときは決定を以て事件を更に他の陪審の評議に附することが出来るとになつてゐるが、事實上は正に不可能なこ

といはなければならぬ(九五)。そこで陪審が犯罪の成立を肯定する答申を爲した場合において裁判所が別段これを不當として他の陪審の評議に附する決定を爲さないときは、検事は續いてその採擇された答申の事實に對して刑法の適用を論じ刑の量定について意見を述べ、被告人及び弁護人もまた意見を述べることが出来る(九六)。

第三節 上 訴

陪審の答申を採擇して事實の判斷を爲した事件の判決に對しては控訴することは許されない。これが許されるとすれば陪審手續は無意味になるからである(一〇一)。しかし刑事訴訟法において第二審の判決に對し上告を爲すことを許してゐる理由と同じ理由が存する場合においては陪審手續を経た判決に對しても大審院に上告することは許されてゐる。但し事實の誤謬を理由とする場合はこの限でない(一〇二、一〇三)。その他下の場合には常に上告の理由がある。即ち(イ)法律の規定通りに陪審が構成されてゐなかつたとき(ロ)陪審員たることを得ざる者が評議に關與したとき但し評議の了る前に訴訟關係人が異議を述べなかつたときは別である(ハ)除斥原因のある陪審員が評議に關與したとき但しこれも初に何人からも除斥の申立がなかつたときは別である。(ニ)忌避された陪審員が評議に關與したとき但し評議を了る前に訴訟關係人が異議を述べなかつたときは別である(ホ)裁判長の説示が法律に違反した場合例へば證據の信否罪責の有無に關する事柄に亘つて何事かを述べたやうなとき(ヘ)裁判長が證據として説示したものが法律上證據と爲すことを禁ぜられてゐるものなるとき(ト)裁判長が法律上の證點に關し間違つた説示をなしたとき、即ち法律の解釋を誤つて説明したとき。

旅費、日當および止宿料の二種であつて、これらは訴訟費用の一部として本来ならば證人の費用鑑定人の費用の如き一般の訴訟費用と同様に無罪のときは國庫の損失とし有罪のときは被告人の負擔とすべきである。しかし陪審法においては陪審費用については特別の規定を設けて法定陪審事件の場合には被告人有罪の場合にもこれを負擔せしめない。たゞ請求陪審事件の場合のみ通常の訴訟費用と同じくその一部又は全部を被告人に負擔せしめる(一〇六、一〇七)。

陪審員が(イ)ゆゑなく呼出に應じなかつたとき、ゆゑなくといふから自分又は家人の急病重病のとき交通事故のあつたときなどには責任はない(ロ)宣誓を拒んだとき(ハ)故なく退廷したとき(ニ)その他二三の規定に違反したとき。これらの場合には五百円以下の過料に處せられる(一〇八)。陪審員が評議の顛末又は各員の意見若くはその多少の數を漏泄したときは千円以下の罰金に處せられる。これらの事項を新聞紙や出版物に掲載した場合にはその責任者もまた二千円以下の罰金に處せられる(一〇九)。

陪審事件について陪審員に對し請託を爲したり又は評議が了る前に陪審員に意見を述べたりした者は一年以下の懲役又は二千円以下の罰金に處せられる。

第六章 補 則

陪審法中市並に市長に關する規定は區に分れてゐる市にあつては區並に區長に適用する。また町村並に町村長に關する規定は町村制を施行せざる地にあつては町村並に町村長に準ずべき者に適用する(一一三)。



一滴ニシテ瞬時ニ奏効的確!!!

花柳病豫防新劑 (男子専用)

容器實用新案特許滴下筒

「花柳病豫防」ハ最早醫家ヤ爲政家ノミノ論議スベキ範圍ヲ超越シテ人類ノ生活ニ關スル一大問題ニ屬ス而シテ之ガ對策ニ付イテハ識者ノ等シク頭ヲ悩マス處殊ニ男性ニ對シテハ哈ト施スベキ良策ナク總力ニ不自然ナル包皮具ノ使用ヲ從テスルニアラザレバ不徹底ナル女性ニ用ヒル押入藥ノ余澤ニ甘ズル外ナキ塞心スベキ現狀ナリ
一八九〇年獨逸「プロキニスキー」博士ガ男性ノ花柳病豫防ニ初メテ滴注法ヲ發表セラレタル以來各學界ニ於テモ深キ研究ノ結果交×後病菌ガ尙ホ尿道口頭舟狀窩内ニ浮游スル間ニ殺菌スルヲ以テ最モ安全且ツ効果的確ナル事淋菌「ゴノコクケン」ノ發見者ニシテ斯界ノ世界的最高權威獨逸「プレスラウ」大學「ナイサー」博士ニ依テ極力唱道セラレ終ニ今日歐米ニ於テハ斯ノ方法ガ最モ汎ク用ヒラレニ至レリ
本劑ハ同博士ノ創意ニ則リ調製セラレタル新劑ニシテ唯ダ一滴眞ニ一滴ノ滴注ニ依リ如何ニ強烈ナル病菌モ二乃至三秒間ニ悉ク死滅ス故ニ一度本劑ヲ用フル時ハ如何ニ悪性ノ保菌者ニモ意ヲ安ジテ接スル事ヲ得容器ハ機密至更ニシテ使用法マタ極メテ簡易ナリ而モ内容藥ノ化學的變化ヲ防ギ長期ノ保存ニヨル効力減退ノ惧ナシ之レ本器ガ幾ニ實用新案ノ登録ヲ得タル所以ナリ。

定價 八十滴入一筒 金 參 円

發賣元

阿 部 一 商 行

大阪市東區北新町一
六大都市百貨店藥品部・第一流藥局ニノミ販賣ス

人名錄

秋 月 嵐 櫻 關山市廣瀬町一七九 第六高等學校教授文學博士 秋 山 治 土(井藤士) 大阪府西區土佐通三丁目九 秋 山 真 東京府小石川區福通町一五一 井藤士サンデン電氣(株)監査 秋 山 光 夫 東京府西區上二番町四〇 東京府立博物館監査官 秋 山 和 吉 香川縣丸瀨市津森一〇八 岸本汽船(株)神戶丸船長 秋 山 正 八 東京府牛込區井天町一五六 鐵道省工作局長 秋 山 武 三郎 尾崎市宮町五六 住友電機製造所常務取締役 秋 吉 吉 治 關西市地行西町七番丁七九 關西高等學校校長 天 昌 一 基津市田邊港一〇八 大阪商船(株)めなど丸船長 天 木 顯 吉 弘前市新築町一八 市立弘前病院院長醫學博士 天 兒 民 惠 神戸市下山手通八ノ八 醫學博士神戸市醫師會長 東京府下高田町維新ヶ谷三二 本名徳三 文士 秋 月 左 衛 夫 東京府豊多摩郡中野町二番

天 野 源 四郎 和歌山市新堀北丁二丁目三四 和歌山紡績(株)工場長 天 野 廣 隆(醫學博士) 名古屋市中區常盤町一五 天 宅 敬 吉 東京府外務省合町下落合五五二 日本興業銀行理事兼臨時工務 實金部長白山水力(株)監査役 天 沼 龍 吉 東京府外大井町出石五二一四 不動貯金銀行庶務課長 天 沼 俊 一 京都府吉田中大路町 京都府大教授工學博士 天 岡 直 藤 東京府麻布區木村町一四四 東京府廳庶務課長 天 津 博(井藤士) 京都府高倉通丸太町南入 天 羽 英 二 東京府四谷區信濃町二八(宅) 在支那公使館一等書記官 雨 宮 中 大阪府東區北久寶寺町三ノ番 大阪商工會議所職員棉花商 雨 宮 春 雄 大阪府天王寺區島ヶ辻町公會 大阪府電氣局電氣部長 雨 宮 治 良 東京府赤坂區青山南町五丁目自 京滙電力(株)庶務課長 雨 宮 量 七郎 東京府芝區三田四町一五 海軍中將醫學博士 尼 崎 伊 三郎 大阪府此花區下福島三ノ六五 三十四銀行外四會社重役 甘 糟 勇 雄(井藤士) 大阪府北區網走町一〇 網 野 房 治 神戸市須磨西代下西谷二一 廣海商船(株)廣福丸船長 穴 水 要 七 東京府麻布區永坂町六〇 代議士北海道電燈(株)中央 代議士(株)各社長富士製紙 務取締役其他一五會社重役 水 澤 清 次郎 水戸市上市備前町 茨城農工銀行常務取締役 崎 崎 正 治(文學博士) 東京府小石川區白山御殿二七 東京府大教授、同附屬圖書館 長、帝國學士院會員、同幹事 青 木 春 藤 東京府外務省合町下落合四〇四 東京府廳庶務課長 青 木 榮 豐 京都府下京區大佛智願院 新編雲宗智山派管長 青 木 一 兵衛 兵衛武庫郡魚崎町廣屋三 大國木材工業(株)南朝製鋼 各社長外五會社重役 青 木 月 斗(木名新藤) 大阪府北區櫻ノ宮中野町二 俳句雜誌(同人)主幹

青 木 健 太郎 名古屋市中區區區町一ノ一 愛知時計電機(株)社長外五會 社重役名古屋商工會議所職員 青 木 顯 仙台市北二番町五〇 東北帝國大學教授醫學博士 青 木 菊 治郎 大連市隆慶町一二九 瀋陽地方部連署課長 青 木 菊 雄 東京府外大井町島島谷三九 三益(株)常務理事旭硝子(株) 取締役其他一會社監査役 青 木 宏 峰(洋名) 大阪府天王寺區勝山通一ノ番 青 木 宗 作 京都府下新舞鶴北吸官舎甲八 舞臺部軍部部長海軍大佐 青 木 信 光(子爵) 東京府牛込區市ヶ谷河田一九 貴族院議員實武鐵道(株)取締 役 青 木 雷 三郎 明石市相生町 代議士井藤士 青 木 節 埼玉縣川越市小仙波四二七 東京電燈(株)川越支店長心得 青 木 周 三 東京府野方町新井四九四 青 木 隆 名古屋市中區區區町三ノ一 日本銀行名古屋支店長

人名錄

青 水 武 七 丸瀨市風袋町三三五 南洋鐵道鐵道局長 青 水 保(工學博士) 東京府外杉並町高圓寺五五〇 東京府大教授特許局技師 青 水 哲 仙台市小田原金剛院五二 仙台稅務監督局局長 青 水 知 四郎 岐阜縣羽島郡上中島村 前代鐵道省鐵道銀行取締役 其他三會社重役 青 水 神戶市平野町一八八ノ四 大阪商船(株)がんと丸船長 青 野 季 吉(洋名) 東京府下代々木初台五七六 青 戶 信 賢 金澤市見町四二 金澤高等工業學校校長 青 柳 司 京滙電力(株)庶務課長 青 柳 大 教授工學博士 兵衛 武庫郡精進村中野 兵衛 武庫郡(株)取締役 青 山 土 新編市寄町三四七 內務技師新編土木出張所長 青 山 誠 四郎 名古屋市中區南久屋町一ノ二 井藤士名古屋市會議員地電 軌社長外三會社重役

青 山 貞 治郎 兼合名社菊丸船長 青 山 藤 郎 東京府芝區高輪南町四五 日本國產(株)安中電機製作所 各社長其他七會社重役 青 山 孝 司 東京府外西區鴨池池袋三三 東京商科大學教授法學博士 青 山 敬 東京府木場區弓町二ノ二六 東京府立醫學部教授醫學博士 荒 井 初 太郎 京城市西區通一三 (株)仁川米豆取引、東洋畜産 工業各社長其他七會社重役 荒 井 賢 太郎 東京府小石川區金富町五六 樺島顧問官 荒 井 建 三 高岡市源平町 高岡銀行取締役 荒 井 惠 東京府牛込區南山伏町一六 待醫醫學博士 荒 井 操 大阪府若松町一八 大阪地方裁判所 荒 井 伸 廣 大阪府東區新堀四丁目〇 東京府火災保險(株)取締役 荒 井 貞 實 兵衛縣尾村武庫町一 聯合鐵道(株)常務取締役 青 井 誠 一郎 東京府外千駄ヶ谷田七九 大藏書記官大臣官房文書課長 荒 井 恒 雄(醫學博士) 東京府四區大番町一九 東京醫科大學、千葉病院部長 荒 川 文 六 福岡市地行西町七三 九州帝國大學教授工學博士 荒 川 實 東京府外代々木中山谷一四三 丸善株式會社取締役 荒 川 實 之丞 名古屋市中區西瓦町二〇 大同電氣(株)取締役 荒 木 十 敏(佛三郎) 東京府外長崎町一八〇七 帝國美術會會員日本畫家 荒 木 健 之助 朝鮮京滙道水庫 朝鮮殖産銀行水庫支店長 荒 木 駒 雄(醫學博士) 門司市大里綜合病院內 荒 木 事 吉(陸軍少佐) 岡山市北方二二三 陸軍兵器本廠岡山出張所長 荒 木 貞 夫 東京府外代々木橋本六三三 陸軍少將參謀本部第一部長 荒 木 竹 治郎(井藤士) 大阪府西區江戶堀北通四丁目三 荒 木 實 三郎 京都府田原里小路北近衛上 京都帝國大學校長帝國學士院

有 賀 長 文 東京府麻布區廣倉片町二 王子製紙(株)取締役三井(名) 常務理事其他六會社重役 有 水 基 札幌市北六條二丁目 帝國製糖(株)製糖事務所長 有 馬 長 太郎 北海道帝國大學教授醫學博士 有 馬 忠 三郎 東京府赤坂區青山南町六丁目 橫濱正金銀行常務課長 有 馬 忠 三郎 東京府木場區西片町一〇 井藤士法學博士東京府大講師 有 馬 顯 吉(醫學博士) 大阪府東區北落四丁目四 有 馬 顯 繁(伯爵) 東京府赤坂區青山南町二二 有 松 英 東京府麻布區木村町二七 樺島顧問官 有 村 丈 次郎 神戸市西區下天神二ノ二 福徳生命保險會社事務取締役 有 坂 昭 廣(海軍造兵中將) 東京府外駒込町上馬引八四 東京府大名堂教授工學博士 有 澤 彌 兵衛縣武庫郡精進村打出 有澤眼科醫院院長醫學博士 有 島 生 馬(名王生馬) 東京府西區下六番町九 二科會員 文士

人名錄

有田 禮三郎 台北市大正町一丁目二二 華南銀行取締役副總理

淺野 幸三 愛媛縣喜多郡内子町 愛媛縣内子銀行監査役

朝倉 會三 京都市下京區西九條島町三八 鐘淵紡績下京工場長

川島 治 福井縣敦賀町結城 步兵第十九聯隊長步兵大佐

馬場 鏡一 (貴族院議員) 東京市本郷區丸山福山町三 日本勸業銀行總務法務博士

千葉 三郎 (代議士) 東京市小石川區白山御殿二六 千葉 茂太郎 仙台市北一番町一二七

人名錄 A (有、淺、朝、麻、旭、足、瀧) B (馬、別、阪、岡、備、村、分) C (千、乳) 九〇一

人名錄

廣海商事(株)廣永丸船長
岩田 長治郎
岡山市北方二九三
岡山縣農工銀行監査役
岩田 浩(法學博士)

門司市櫻町税關官舎
岩田 長治郎
大阪市東區北濱一丁目
大阪鐵道(株)外十倉社重役
泉田 荒吉

廣島市上流川町一三〇二
住友銀行廣島支店長
加賀 豊次郎
兵庫縣木山村大字野寄七ツ藏
住友銀行常務取締役

東京市藤布區六本木町六七
住友倉庫東邦電力(株)各監査
役外五倉社重役
加藤 文七

人名錄

東京帝國大學教授理學博士
加藤 直久
大阪府日光町山内
國幣中社二荒山神社宮司
加藤 直三郎

廣島市丸太町三丁目
廣島地方裁判所檢察正
香取 秀一(名譽法學博士)
東京市川野町川田端四三八

步調第四十二聯隊長步兵大佐
門野 經之進
東京市藤布區東島屋町九
東邦電力(株)外五倉社重役
門野 重九郎

東京市藤布區大塚町一〇
加藤 直三郎
東京市藤布區大塚町一〇
加藤 直三郎
東京市藤布區大塚町一〇
加藤 直三郎

錄一K(垣、鏡、龜、浦、上、神、鴨、菅、觀、鑽、金)

青森市博野町六〇
青森電燈(株)常務
金澤市白山町一三一
山砲兵第九聯隊長砲兵大佐
東京市外日野町下目黒五五五
東京府代々木上原一二二七
日本興業銀行理事
田中 隆
滋賀市神奈川區青木町新畑
東洋汽船(株)船務部長
小倉市井原町七丁目二二〇
住友銀行理事
東京市麻布區市兵衛町一ノ七
日本興業銀行(株)常務取締役
東京市外日野町下目黒三三五
東京府日野町上目黒九〇
三井銀行常務取締役
大連市柳町
滋賀縣道都理運課長
高 徳 平(運送博士)
東京市外品川町字御殿山七三
山 直 人
東京市本郷區西片町一〇

東京帝國大學教授工學博士
蒲 原 有 明(詩人)
神戶市西區西二丁目四
上 林 聖 明(醫學博士)
東京市小石川區西江戸川一五
東京醫學專門學校教授
上 川 非 彌(俳人)
東京市京橋區尾張町二ノ六
上 阪 隆 勝
岡山市二番町一八
岡山醫科大學教授醫學博士
上 司 永 純(華僑社長)
奈良市東大寺坊中持寶院
上 司 小 柳(文士)
東京市外日野町四二二
神 林 美 治(醫學博士)
關西駐在軍軍醫少佐
神 戶 久 誠
東京府下大崎町下大崎七七
澤宮御殿詰待醫務學博士
神 戶 萬 太郎(弁護士)
大阪府北區堂島船大町三六
神 戶 正 雄
京都府上京區淨土寺西田七〇
京都帝國大學教授法學博士
神 田 純 一
旅順市日進町官舎
關東府内務局長
大連市山城町三丁目二
神 澤 浩 彌
東京府下池上村久々原五三〇
東洋汽船(株)船務部長
神 永 敏 吉

平塚府南町鮮銀舎宅一號
朝鮮銀行平壤支店支配人
神 尾 式 春
京城府永樂町二丁目一號官舎
朝鮮總督府内務局社會課長
神 定 徳 三郎
神戶市中手通七丁目三ノ一
大阪商船(株)さんと丸船長
神 谷 忠 雄
東京市神田區三番町二七
東京電力(株)理事
神 谷 健 夫(大審院判事)
東京府野田町西尾七一
神 谷 敏 行
德島市徳島町字會所町官舎
德島地方裁判所庶務正
神 山 政 良
東京市小石川區同心町三八
大藏省審判會計課長
神 崎 謙 吉
倉敷市倉敷六五〇ノ九
倉敷紡績(株)常務取締役
鴨 居 武(工學博士)
東京市外日野町下目黒小淵六
菅 貞 幸
兵庫縣安栗郡神戶村
關西市伊和神社司
觀 世 謙 之丞(醫師)
東京市下谷區西町三
鹽 江 冬 藏
關西市東田町西前山
步兵第十八聯隊長步兵大佐
鹽 江 廣 松
神戶市本郷區西片町一〇

大阪商船(株)浙江丸船長
金 田 喜 一郎
大阪府天王寺區上宮町一二
神道金田徳光教會樞機大教正
金 田 一 國 士
盛岡市上野小路一四六
三橋水産冷蔵(株)取締役社長
金 原 利 道
廣島縣神門町
關西小社酒名前神社司
金 平 亮 三
關西市庄町二三五
九大農學部教授林學博士
金 子 隆 太郎(子爵)
東京市神田區一番丁三〇
樺密顧問官
金 子 登
京都府上京區岡崎南町所町
京都帝國大學教授工學博士
金 子 信 敬
青森縣大津要港部官舎
大津要港部主計長主計中佐
金 子 因 之
和歌山市小松原五丁目六
步兵第六十一聯隊長步兵大佐
金 子 忠 夫
大連市須賀見一八
大連汽船(株)船務部長
金 子 武 隆
東京市神田區一番町三〇
内閣總理大臣秘書官
金 子 幹 太
松山市川町二丁目二二
松山高専校長

金子洋 文(文士)
東京市外上野區六四八
金子 雅 三
東京市麻布區窪町四四五
大藏省金部監理課長
金 森 徳 太郎
東京市本郷區森川町一
法蘭西參事官
金 鑄 密 守
埼玉縣兒玉郡青柳村
官署中社金鑄神社司
金 谷 範 三
朝鮮軍山軍司令官大將
朝鮮軍司令官陸軍大將
金 谷 三 松
京都府新舞臺北坂官舎甲六號
海軍監學技教授
金 山 季 逸
大阪府北區若松町八官舎
大阪地方裁判所庶務正
金 山 久 松(陸軍中將)
第十二師團司令部師團長
金 澤 仁 作
大阪府西區京町堀四
大日本紡績(株)取締役外國會
社重役
金 澤 庄 三郎
東京市本郷區駒込町二五
關西府大學教授文學博士
金 光 家 邦
岡山縣金光町大谷二七六
金光教教主、金光教管長
金 春 光 太郎(金春流宗家)
東京市本郷區西片町一〇

錄一K(象、唐、刈、笠、柏、精、春、片、勝、桂、川)

松 高 一(醫學博士)
東京市牛込區戸山町三〇
海軍技術研究所長
常 信 嗣
大連市天神町電燈
大連汽船(株)船務部長
東京市神田區中六番町一〇
關西大學教授醫學博士
廣 澤 俊 樹
東京市神田區外神田町一官舎
内務省會計課長兼地籍課長
刈 米 達 夫(醫學博士)
東京府下目黒ヶ谷町下北通
内務省衛生試驗所技師
笠 川 準 之 介
滋賀縣野洲郡三上村
官署中社初上神社司
笠 川 治 男
奈良市吳子守町一
大阪商船(株)船務部長
笠 原 正 吉
大阪府住吉區天王寺町八八〇
住友倉庫、住友信託各監査役
笠 原 隆 輔
和歌山市若原町一丁目
日本興業銀行和歌山支店長
笠 原 敏 郎
東京市牛込區原町二ノ五六
復興局技師部長
笠 井 貞 次郎(工學博士)
東京市小石川區若荷谷町八一
特殊合金(株)外二會社監査役
笠 井 健 太郎

京橋府仁壽二八
朝鮮總督府高等法院廳事
笠 井 隆
滋賀縣滋賀郡坂本村
官署中社日吉神社司
井 井 義 夫(井井博士)
大阪府東區京橋二丁目三二
柏 木 秀 茂
廣澤正金銀行青支店支配人
柏 木 五百次郎
關西府外北安東官舎
關西地方裁判所長
柏 木 正 俊(醫學博士)
東京市小石川區久野町六九
日本大學醫學部講師
柏 崎 治
東京市東區河通五ノ五
吳海軍工廠醫務部長
柏 谷 實 太郎
廣澤正金銀行天津支店支配人
精 谷 武 節
兵庫縣木山村字森
淺野物産(株)大阪支店長
春 日 明子(帝國女學)
東京府代々木代々木山谷否
春 日 政 治
關西市下野區大谷谷一九四
九州帝國大學法文學部部長
片 桐 啓 治
平安北道義州
朝鮮殖産銀行瀋州支店長
片 野 聖 吉
瀧根商店ヤサキ丸船長
片 岡 直 方

兵庫縣長尾村大字中山寺石田
大阪、樺瓦斯(株)社長
片 岡 誠 一(井井博士)
大阪北區若松町三五
片 岡 直 温
京橋府井筒堀内村
民政黨顧問代議士
片 岡 鐵 兵(文士)
東京市外務合町下落合葛ヶ谷
片 山 春 子(舞踊師)
京都府新門外小路西之町
片 山 十 太郎
大阪府港區北八幡屋町一ノ七
大阪商船(株)船務部長
片 山 勝 治郎
愛媛縣河村上町乙ノ二三八
廣海商船(株)廣通丸船長
片 山 國 藏
東京市牛込區東五軒町五一
東京市大名教授醫學博士
片 山 正 夫
東京市小石川區原町一六
東京市小石川區久野町三二
神戶市神戶町五丁目三二
吳海軍港務部長海軍大佐
片 山 三 郎(台南州知事)
台南市竹園町官邸
片 山 貞 松
下關市上田中町三四二
内務省下關土木出張所長
片 山 富 藏
香川縣小豆郡阪手村四〇
旭石油(株)船務部長

片 山 勝 勝
東京市外千駄ヶ谷五六二
中央大學教授法學博士
精(伯爵)
東京市赤坂區水川町四
淺野セメント外二會社重役
勝 部 兵 助
東京市二本橋西町二
商工書記官工務局工務課長
勝 部 敬 學
山梨縣山梨郡七里村向嶽寺
臨濟宗向嶽寺派僧長
勝 田 永 吉
大阪府東區伏見町
衆議院議員日本足球協會理事
勝 木 喜 實(醫學博士)
東京市外中野町三五〇三
農林省農業試驗場技師
勝 又 廣
台灣台南新營郡新營庄新營安
鹽水港鹽務(株)取締役
勝 野 正 魚(陸軍少將)
東京市外大久保町西大久保
陸軍軍工學校校務部長
勝 野 克 己
台北市乃木町三ノ一
台灣軍醫局長一等軍醫正
勝 矢 信 司
長崎市唐屋町一九
長崎縣大學教授醫學博士
注 勝 太郎(宮中顧問官)
東京市牛込區久野町六〇
注 辰 夫(井井博士)
京都府馬口通寺町新御堂口町

宇 字 一郎
朝鮮平壤西町一
平壤衛戍病院長一等軍醫正
桂 木 瑞 枝(帝國女學)
東京市洗足田區都市東台北五
桂 城 太 郎
大連市瀋陽路旅順會社
瀋陽子溫泉株代表取締役
川 崎 常 雄
神戶市須磨町東須磨西寺田八
勝田汽船(株)正和丸船長
川 崎 和 三郎
和歌山市新堀北丁三ノ三
勝田汽船(株)東山丸船長
川 崎 廣 成(文士)
東京市外大森新井宿下津邊
川 内 益 實(砲兵大佐)
宇都宮市清住町
川 内 九 次
大連市縣道加藤ビルヂング内
大連汽船(株)若虎丸船長
川 口 登 治
東京市外港町野澤六〇
不動貯蓄銀行取締役
川 口 章 吾
相州藤澤町藤澤海岸五四五〇
川 口 徳 三
濱松市廣野町高工官舎
濱松高工學校校長工學博士
川 上 嘉 市
濱松市廣野町三四四
日本興業銀行(株)取締役社長
川 上 清(井井博士)

人名錄 (川、河)

- 川村 武夫 仙台市留居下七七ノ一 舞臺要部部長機關大佐
- 川村 尚武 兵庫縣名都市員中將
- 川野 傳一 京城府濱江通陸軍工兵官會 工兵第二十六隊長工兵大佐
- 川瀨 忠次郎 東京市外品川町北品川宿七六 東京帝大教授醫學博士
- 川西 光之助 京都市神泉苑町西八一 別格官幣社製木神社官司
- 川崎 鮎之助 大阪府港區四條通四ノ五一 大阪商船(株)監事丸船長
- 川崎 一郎 神戸市須磨松風町四ノ二 大阪商船(株)監事丸船長
- 川崎 齊一郎(井護士) 大阪府東區高麗橋二丁目三三 大阪東區系屋町二丁目四 川崎 銀平(井護士) 大阪府東區高麗橋二丁目九 川崎 龍之 東京市外品川町若木六 陸軍省人事局長陸軍中將
- 川崎 順輔(尺八宗家) 東京市四谷區須賀町九五 川田 貞次郎(歌人) 兵庫縣御影町掛田一、二、三
- 住友合資會社總務部長 川添 正道 東京市四谷區內藤町一 慶應大學教授醫學博士
- 川副 安一 福井市豐永土町六七官會 福井地方裁判所檢察正
- 河邊 久雄 東京市外千駄谷區原宿二〇四 東京控訴院部長判事
- 河邊 真吉 大阪府南區日本橋筋二丁目四 大阪自由メソヂスト牧師
- 河原 收(井護士) 大阪府北區堂島船大工町二〇 河原 高 門司市上木町一丁目 門司稅關植物檢査課長
- 河原 十代雄 高岡市新橋一、五〇三 王子製紙(株)伏木工場長
- 河合 操 東京市外和田堀場ノ内風四三 樺島顯官在郷陸軍大將
- 河合 日辰 京都寺之内通新町西入五三二 日蓮宗大本山妙壽寺住職
- 河合 俊八郎(井護士) 大阪府東區今鷹二丁目三五 河合 繁樹 岐阜縣高山町南郡一宮 國幣小社水無神社官司
- 河合 俊太郎 長崎市鹽船町一四社務
- 三藤造船(株)長崎造船所長 河合 武雄(併備) 東京市東區永田町二丁目七 河合 多助 台藏丸船(株)長春丸船長
- 河井 醉茗(詩人) 神奈川縣平塚海岸 河石 九二夫(醫學博士) 愛知醫科大學附屬病院
- 河北 一郎 東京市外品川町松濤一 復興局書記官警地部檢察課長
- 河本 一男 神戸市山本通三丁目官會 神戸稅關港務部長
- 河本 文一 東京府葛飾町上駒込南深井 會計檢査院檢査官
- 河本 龜藏(尺八樂家) 東京市下谷區上野櫻木町四四 河本 重次郎 東京市外代々木宮ヶ谷二五五 三豐造船(株)取締役外二會社 重役
- 河村 靜水 京城仁濟醫院官會 京城稅關稅務課長
- 河本 調助(醫學博士) 東京市小石川區久野野五八 東京女子醫科醫務教授
- 河野 重 山口縣德山町海軍官會 海軍醫科所研究部長
- 河田 三郎 東京市外品川町二八 大阪省主計局長
- 河谷 俊 宮崎市谷川町 神道大日本教々主大教正
- 河竹 繁俊(脚木家) 東京市外品川町松濤五六 台北市文武町官會
- 河原崎 長十郎(併備) 台藏製糖會社社長
- 河副 重一 東京市赤坂區田町七ノ六 東京市小石川區小日向町一 東京府廳事務主計課長
- 河野 秀男 東京府高田町地出六三 會計檢査院第一部長
- 河野 甲一郎 吳市濱田町九丁目八 廣海軍工廠會計部長主計大佐
- 河野 九峰 東京市麻布區田町七〇 富士生命保險(株)東京支店長
- 河野 乙三 東京府藤野町字河野九七 大阪醫科試驗所所長

人名錄 (河、風、敷、毛、慶、木、喜、實、紀、城)

- 河野 綱(時宗管長) 神奈川縣藤澤町西宮清源光寺
- 河野 慎吾(歌詩人) 東京市外代々木宮ヶ谷二〇云
- 河野 龍也 千葉縣船橋町五市上宿野六 陸軍省兵務局教官騎兵中佐
- 河野 新助 東京市外杉並町阿佐ヶ谷野丸 渡野物産(株)營業第一部長
- 數田 春魚 藤野縣島田町四四〇 東海紙料(株)常務取締役
- 毛 戶 勝元 兵庫縣大社村森具松ノ下四〇 三ノ二 法學博士、弁護士
- 藤松 勝左衛門 東京下谷區上野櫻木町四四 東京帝大教授醫學博士
- 木 邊 孝慈(男爵) 滋賀縣野洲郡中里村字木部三 東京帝大醫學部醫學部住職
- 木部 守一(滿鐵庶務部長) 大連市乃木町四 木 邊 悅(弁護士) 大阪府西區京町堀通一丁目 木 邊 武雄(醫學博士) 盛岡市內丸日本赤十字病院內 木 田 芳三郎(農學博士) 宮崎市江平町神武櫻馬場三三 宮崎高等農林學校教授
- 木 原 清 廣島縣佐伯郡草津町
- 陸軍運輸部長陸軍中將 木 島 駒藏(農林書記官) 東京市牛込區區戶町二二 農林書記官畜產局長政課長
- 木 全良 朝鮮元山府春日町二三 水兵總務司司令官砲兵中佐
- 木 村 房次 神戸市平野區國町八九 大阪商船八雲丸船長
- 木 村 彦右衛門 大坂府東區石町一四 大阪藥專教授醫學博士
- 木 村 準二 三重縣鳥羽町岩崎 金養商船(株)東瀛丸船長
- 木 村 順次郎(井護士) 大阪府東區石町二丁目三三 木 村 敬 東京市本區區龍岡町二二 日本醫科大學教授醫學博士
- 木 村 毅(文士) 東京市外西大久保二二三 木 村 清 大阪府北區相生町 大阪商船(株)外三會社重役
- 木 村 久壽彌太 東京市牛込區弁天町七六 三發賣總理事外三會社重役
- 木 村 晴 札幌市北七條東七丁目 北海道拓殖銀行本店支配人
- 木 村 松代 東京市外中野町小籠一四四五 木 村 富子(劇作家)
- 女子英學塾及青山學院講師 木 村 光子(女權) 東京市本區駒込神前町二二一 木 村 京都市吉田神樂岡町八 京都帝國大學教授醫學博士
- 木 村 律郎(海軍大佐) 吳市胡町二五道徳町內 海軍兵學校軍醫長兼教官
- 木 村 林次郎 東京市本區駒込曙町二ノ一〇 東京海上火災保險專務取締役
- 木 村 精一 東京市麻布區木村町一八 會計檢査院第一部長
- 木 村 誠次(井護士) 大阪府天王寺區下ノ町五一 大阪府區舟越町一丁目四八 木村同族(株)代表取締役兼津 興油(株)監査役
- 木 村 重治 長崎市中川町一三〇 長崎高等商業學校校長
- 木 村 泰賢 東京府高井戸町松原北八七 東京帝國大學教授文學博士
- 木 村 哲二(醫學博士) 東京市赤坂區青山町五ノ七 東京醫科醫專及慈惠會大教授
- 木 村 德衛 東京市神代區一番町三八 東京帝國大學講師醫學博士
- 木 村 富子(劇作家)
- 東京市淺草千束町二丁目三三 木 村 通 大連市兒玉町五丁目一 滿鐵社長室人事課長
- 木 村 恒夫 朝鮮龍山江通二 步兵第七十九聯隊長步兵大佐
- 木 村 靖 東京市豐島區永田町二ノ七五 不動貯金銀行取締役
- 木 下 惠作 山口縣豐浦郡島町江浦社宅 三豐造船(株)青島造船所長
- 木 下 勇男 隨館市天神町七四稅關官會 隨館稅關檢査課長
- 木 下 昇平 日本郵船(株)香港支店長
- 木 野 戶 隆 京都府上賀茂村池殿町 官幣大社賀茂別雷神社官司
- 木 佐木 功 大阪府住吉區南田邊町二五四 福徳生命保險(株)大阪支店長
- 木 藤 郁 東京市外品川町二二五 大阪府天王寺區法院町四一 東京市神代區區長
- 木 藤 隆 隨館市富岡町五 隨館醫院婦人科部長醫學博士
- 木 造 己之藏(砲兵中佐) 東京市外杉並町阿佐ヶ谷西〇
- 陸軍工科學校教授部長 木 津 太郎平 高岡市本町 高岡銀行頭取外九會社重役
- 木 島 櫻谷(日本郵船) 京都市外衣笠村小松原 喜多 源 京都市北白川區櫻町六四 京都帝國大學教授工學博士
- 喜多 又藏 日本天守寺區小宮町一〇 日本棉花(株)社長外二五會社 重役大阪商工會議所議員
- 喜田 貞吉(文藝博士) 東京市小石川區東青柳町一〇 喜安 健次郎 東京府下大井町鹿島谷〇五 鐵道書記官大臣官房法務課長
- 貴島 圭三(熊本縣林長) 熊本市東坪井町五 紀 俊秀(男爵) 和歌山市屋形町 貴族院議員和歌山市長
- 紀 平正(文學博士) 東京市本區區駒込千駄木町五七 醫學院教授東京帝大講師
- 紀 伊方 東京市外南品川町 武庫汽船(株)第八德影丸船長
- 城 戶 四郎 東京市赤坂區區町三 松竹(名)副社長滿田攝影所長
- 城 戶 忠彦(海軍機關大佐) 吳市下山手町二六

人名錄一(兒、古、子、高、向、甲、黃、肥、嶺、駒、今、近、鴻、菰、郡、越、厚、琴)M(眞、間、馬、町、前)九三四

- 日本基督教聯合會長
兒玉 雄(伯爵)
東京市牛込區市ヶ谷藥王寺宮
重藤 隆雄
兒玉 一造
大阪市天王寺區北河堀町三六
東洋棉花(株)外務部社重役
兒玉 孝(大阪市助役)
大阪府下野寺町新尾三三〇
兒玉 謙次
東京市神戶區濱生見町二ノ二
橫濱正金銀行副取
兒島 高信
朝鮮京城地町一丁目官舎三號
橫濱正金銀行副取局長
古賀 英(英博士)
大阪市北區老松町三丁目六五
古城 隆治
京城府明地町一ノ九
警化病院院長醫學博士
古賀 幹枝
廣島市上磯川町七六官舎
廣島地方裁判所庶務正
古賀 猛
札幌市大通東七丁目一
北海道帝國大學教授
子安 平司
橫濱正金銀行下關支店長
高 勇(音勇家)
東京市牛込區北區谷三三八
向坊 盛一郎
大連市月見ヶ岡
滿鐵社長室業務課長
甲賀 三郎(文士)

- 前田 多川(銀千代)
京都下京六角通堀ノ上町二五
前田 忠
神戸市中山手通六ノ八一
正金銀行神戸支店支店長
前田 米藏
東京府葛飾區三河台町二八
法蘭西長官代議士
前田 松若(醫學博士)
大阪府區小橋西ノ町一ノ二九
日本赤十字社大阪支部部長
前田 廣一郎(文士)
東京市外中野西町三五八八
前田 謙治(海軍大佐)
東京市外東區布町橋ノ木
海軍航空本部勤務部長
前田 隆雄
東京市外東區柏木九七四
通信技術局局長技術課長
前田 徳太郎
札幌市北七條西一ノ二丁目
北海道帝國大學教授醫學博士
前田 幸次郎
大阪府區堂島通二丁目一
大阪府警部局長
前田 登
横濱神奈川通開町限谷戸八番
鹽水港製糖(株)社長
前田 榮次
奈良市宿院町七
奈良女子高等師範學校校長
牧 達之
廣島市基町一
第五師團長陸軍中將

人名錄一M(前、楨、牧、幕、萬、円、丸、正、益、増、樹、又、的、松)

- 丸 潤常
旅順市高等町二五
旅順工科大学教授工學博士
丸 山 徳(醫學博士)
東京市神田區湯島神田町一四
丸 山 善次郎
京都市上京區小路上立賣下ル
丸 山 佐四郎(高知府林局長)
高知市北堀力町六六三
丸 山 勝太郎
長崎市通町四三
三井銀行長崎支店長
正 田 良宣
京都市外東區町福開土口
扶養教養部勤務部長大教正
正 水 信次郎
東京市赤坂區山崎町二〇
東京市外代々木南山谷二九九
醫學博士文士
正 村 六之助
高岡市大野
高岡銀行常務取締役
正 宮 洋(詩人)
東京市外代々木山谷一三四
鐵道省電氣局長
増 田 忠次
大阪府住吉區天王寺町九五三
土佐セメント(株)代表取締役
増 田 健美(音樂家)
東京市外北區川二六〇
樹 田 次郎
東京府佐野區玉川村奥野町一
佐世供海運部部長主計少將

人名錄一M(眞、間、馬、町、前)九三四

人名錄 M(松)

- 大阪商船(株) 青海丸船長 松田 泰二郎
- 東京府統計局統計官國際課長 松田 常太
- 台藏基隆市石碇港官邸 松田 毅
- 大阪府下高石町羽衣五八五 石神病院院長醫學博士 松平 聖民
- 東京市麻布區富士見町八 宮内式部官侍從御用掛 松平 佐登子(醫學家)
- 東京市麹町區富士見町六ノ四 松平 恒雄
- 東京市外灘區谷町松壽二六(宅) 松平 恒雄
- 英領駐劄特命全權大使 松井 榮雄
- 廣島市橋町新小路六九ノ六 第五師團參謀長步兵大佐 松井 權平
- 京城府蓮蓬洞二八官舎 京城帝國大學教授醫學博士 松井 春生
- 東京市麻布區赤坂一七六 實業局書記官兼法制局參事官 松井 石根
- 東京府入新井町新井宿三三三 參謀本部第二部長陸軍中將 松井 國四郎(男爵)
- 東京市麹町區下六番町五二 特命全權大使兼陸軍參謀官 松井 萬雄
- 兵庫縣木山村村長宇天神一四一 加島銀行常務取締役 松井 元興
- 京都市上京區塔ノ段尾沙門町 京都帝國大學教授醫學博士 松井 定克
- 東京市牛込區區谷柳町二五 內大臣秘書官 松井 太郎
- 支那奉天駐劄一 滿洲醫科大學教授醫學博士 松居 松(醫學博士)
- 東京府長崎町葉井一七二一 松方 幸次郎
- 神戶市山本通四丁目 神戶市瓦斯社長外六會社重役 松方 正雄
- 兵庫縣川邊郡小瀬村米谷木戸 福徳生命保險(株)社長外二會社重役大阪中央放送局理事長 松方 義輔
- 兵庫縣精道村廣屋字船戸二七 三光紡績神徳生命保險各重役 松木 素彦
- 京都府太秦村大字太秦 官幣中社海宮神社宮司 松本 文三郎(文學博士)
- 京都市上京區區土寺町二 京都帝國大學教授醫學博士院會員 松本 均
- 京都市下鴨區鴨町一五ノ五 京都帝國大學教授、工學博士 松本 顯吉
- 兵庫縣武庫郡御影町字拂二二 三五 佐友(資)監事外八會社重役 松本 淳三(文士)
- 東京市外野方町上沼七七 松本 無治(法學博士)
- 東京市外東調布町上沼部三五 貴族院議員帝國學士院會員并 護士復興建築助成(株)監査役 松本 勝太郎
- 兵庫縣淡路郡西浦九二六 (株)池田組常務取締役 松本 喜一
- 東京市外西巢鴨池袋二二三八 帝國圖書館長 松本 吾平
- 東京府大森神町山 海軍參謀官兼醫院議員 松本 高三郎
- 千葉縣千葉市七六 千葉醫科大學校長醫學博士 松本 弘造
- 東京府澁谷町北谷二七 日本興業銀行理事 松本 萬一郎(弁護士)
- 大阪府南區豐後東ノ町 大阪市南區豐後東ノ町 松本 亦太郎
- 東京市小石川小日向町二ノ 帝國學士院會員文學博士 松本 泰藏
- 大阪府東區空堀通三ノ二三三 九州土地(株)外三會社重役 松本 茂三郎(弁護士)
- 大阪府東區北區三丁目三一 松本 備
- 札幌市北一條西十三丁目 北海道拓殖銀行頭取 松本 眞平
- 東京市小石川小日向水道町八七 松本米穀製粉外二會社重役 松本 辰三郎
- 東京市四谷區番町四 三菱航空機(株)取締役 松本 敏三
- 京都市田中下柳町八 京都帝國大學教授醫學博士 松本 顯光
- 台灣台南市大宮町四丁目 官幣中社台南神社宮司 松元 勇藏
- 神戶市加納町二丁目三ノ二 三井銀行神戶支店長 松村 英一(文士)
- 東京市小石川大塚阪下町三 松村 亥三郎
- 京都市大將軍西町三三 專賣局技師京都工務局長 松村 年
- 札幌市北八條西五丁目二 北海道帝國大學教授、理學博士 松村 眞一郎
- 東京市麹町區上二番町三九 農林省農務局長 松村 茂秀(醫學博士)
- 兵庫縣住吉村梅ノ木八五二 松村 武雄
- 東京市本郷區富士前町六二 東京帝國大學講師文學博士 松根 東洋城(俳人)
- 松村 敏(弁護士)
- 大阪府北區區島船大工町三五 松村 鶴造
- 京都市塔ノ段敷下町四二八 京都帝國大學教授工學博士 松室 致(法學博士)
- 東京府西巢鴨池袋大塚四四九 樞密院會計檢査官兼懲戒裁判所長行政裁判所長官評定官懲戒裁判所長法政大學長 松永 直吉
- 東京府千駄ヶ谷四四〇 外務省條約局長 松永 六二
- 京都市南區寺町四八ノ七 大阪工業試驗所第五部長 松永 昇道
- 京都市九條通大宮西九條東寺 廣濟宗東寺派管長廣濟宗京都 大長教王護國寺法主大僧正 松永 常彦
- 兵庫縣明石郡垂水村 國幣中社海神神社宮司 松永 安左衛門
- 東京府下谷合三六七林泉園 東部電力(株)社長東京電燈外 二十二會社重役 松波 仁一郎
- 東京市牛込區中町一七 帝國學士院會員法學博士 松羅 信太(工學博士)
- 東京府下井萩町上萩四四五 鐵道技師大臣官房研究所長 松根 東洋城(俳人)

九三六

- 東京市牛込區余丁町四一 大連市兒玉町五丁目一 南滿洲鐵道(株)副社長 松岡 義正
- 東京市本郷區森川町一 大審院部長法學博士 松岡 謙(文士)
- 東京府大井町 松岡 謙(弁護士)
- 大阪府西區土佐堀通一丁目 松岡 謙之助
- 岩手縣水澤町 國幣小社駒形神社宮司 松岡 謙二
- 大阪市西區新町通五丁目 昭和三院院長醫學博士迎應博士 松岡 謙次郎
- 愛知縣知多郡鈴谷村小鈴谷 平出商事(株)津輕丸船長 松浦 厚
- 東京市外灘區鴨町一五三五 貴族院議員伯爵 松浦 謙之助
- 靜岡縣原郡吉田村 國幣小社小國神社宮司 松浦 富三郎
- 東京府高輪御料地内 女子學藝院長 松浦 有吉太郎(醫學博士)
- 京都市室町通丸太町上大門町 松山 平兵衛
- 宮城縣本吉郡氣仙沼町 氣仙沼電氣(株)外二會社重役 松山 基範
- 京都市田中開田町三三ノ二 京都帝國大學教授理學博士 松山 茂
- 京都府豐多摩郡井萩村上井草 海軍軍令部參謀海軍少將 松山 俊胤
- 東京市本郷區區町二丁目一七 天佑堂病院院長醫學博士 松崎 源造
- 兵庫縣御影町塚原三三ノ一 大阪商船(株)ばり丸船長 松崎 直
- 朝鮮領海軍港部官舎甲二號 朝鮮海軍部參謀長海軍大佐 松崎 漸吉
- 金澤市長町一番丁一五 金澤地方專賣局長 目黒 眞澄
- 東京市本郷區駒込町一一 東京高等商船學校教授 壬生 基義(伯爵)
- 東京市外代々木橋代々木一九六 三原 新一(醫學博士)
- 朝鮮總督府勸業模範館技師 三原 長一
- 台灣高雄市湊町八ノ一六 大阪商船(株)大信丸船長 三上 參次(文學博士)
- 東京市本郷區駒込林町一六九 臨時帝國總務官兼東京帝國大名 警教授帝國學士院會員 三毛 一夫
- 德島市會所町 步兵第四十三聯隊長步兵大佐 三木 武吉
- 東京市牛込區若松町 代議士立憲民政黨相談役 三木 露風(詩人)
- 東京市外野區町三七五 三木 善太郎(砲兵大佐)
- 名古屋市南區瑞穂町奥ノ坊 陸軍造兵廠名古屋工廠長 三雲 敬一郎
- 東京市本郷區區町二五 三雲 敬一郎
- 東京市本郷區區町二五 三雲 敬一郎
- 東京市外灘區區町永住五〇 三村 謙三郎
- 農林省勸業林學博士 三村 謙三郎
- 東京市外灘區區町永住五〇 三村 謙三郎
- 東京市本郷區區町一ノ一一 宮中顧問官貴族院議員 三坂 隆精
- 鐵路局浦見町陸軍官舎 三崎 伊太郎
- 大阪市外池田町西ノ口三〇 山口銀行庶務部長 三浦 幸三郎
- 福岡市東子町八二 九州帝國大學教授工學博士 三浦 幸三郎
- 愛媛縣越智郡大三島宮浦村 國幣大社大山祇神社宮司 三浦 定則
- 東京府目黒町三田四〇 東京帝國大學教授醫學博士 三田村 篤魚(文士)
- 東京市外中野町打越 三浦 勝
- 三谷 勲秀
- 大阪府西區中區通一ノ六四 大阪電氣軌道外五會社重役 三戶 基介
- 橫須賀市海見町甲二號官舎 三戶 時雄
- 京都市上京區區小山大野町三九 京都帝國大學教授醫學博士 三土 忠造
- 東京市本郷區區町一六 大藏大臣兼醫院議員 三浦 敬子(醫學家)
- 東京府澁谷町櫻丘二三三 三浦 信三
- 東京市麻布區仲ノ町一一 三浦 信三
- 東京帝國大學教授法學博士 三浦 伊八郎
- 東京市外灘區區町櫻丘一七 三浦 惠一
- 廣島市南區竹屋町中央通三九ノ三 廣島憲兵隊長憲兵中佐 三浦 謙之助
- 東京市神田區駿河台袋町一五 東大名譽教授帝國學士院會員 三浦 錦太郎
- 熊本縣熊本市大江町九品寺 熊本高等工業學校校長 三浦 正二郎(弁護士)
- 大阪府西區南堀江通一丁目六 三浦 勝
- 札幌市南六條西十五丁目三三

九三七

人名錄 M(松,目,壬,三)

- 北海道大教授
- 三浦重作
- 高知市中島町
- 三浦順太郎
- 長崎市山崎町二二
- 長崎地方裁判所長
- 三浦義道
- 神奈川縣蓮子町九二六
- 中央大學教授法學博士
- 三輪時雄(陸軍少將)
- 大阪住吉區天王寺町一〇四〇
- 陸軍造兵廠大工廠長
- 三輪 誠
- 四日市市田
- 四日市銀行外七會社重役
- 三宅 憲太
- 兵庫縣武庫郡精道村打出
- 純紡(株)大阪支店工場長
- 三宅 三郎(文士)
- 東京牛込區市ヶ谷台町八
- 三宅 雅一
- 東京赤坂區青山町六ノ九〇
- 東京帝大助教授理學博士
- 三宅 德業
- 東京市外港谷町寄道九
- 行政裁判所評定官部長
- 三宅 正太郎
- 名古屋市板橋町二丁目四一
- 名古屋控訴院部長
- 三宅 速
- 福岡市大名町三二
- 九州帝國大學名譽教授
- 三宅 秀(醫學博士)
- 東京市小石川區竹早町八一
- 貴族院議員鐵道院候選東京帝
- 大名譽教授帝國學士院會員
- 三宅 周太郎(文士)
- 東京市四谷區藤町一ノ一九
- 三宅 米吉
- 東京市小石川區原町一〇三
- 東京高等師範學校校長兼宮中顯
- 關官帝國學士院會員文學博士
- 三上 喜三郎(工學博士)
- 朝鮮京城鐵道中央試驗所長
- 三野 一八
- 台北市文武町六丁目一
- 台北地方法院檢察官
- 三野 學(醫學博士)
- 東京木野西片町一〇七ノ一五
- 東京大名譽教授帝國學士院會員
- 三野 五郎
- 東京市四谷區元町五九
- 住友銀行總町支店長
- 三井 弁藏
- 東京市麻布區本村町一六九
- 三井物產(株)監査役
- 三井 源右衛門
- 東京市小石川區水道町三五
- 三井銀行三井物產各(株)社長
- 三井 甲之(文士)
- 山梨縣中巨摩郡島村
- 三井 高(醫學博士)
- 東京市麹町區河原町五ノ二一
- 三井物產(株)外三會社重役
- 三井 守之助
- 東京市麻布區永阪町一
- 三井物產(株)取締役社長
- 三矢 宮 松
- 東京市外高田町旭出四三
- 帝國林野局長
- 美濃部 運吉(法學博士)
- 東京市小石川區竹早町一二四
- 東大教授帝國學士院會員
- 右田 半四郎
- 東京市麻布區新町一八〇
- 東京帝國大學教授
- 皆川 治廣
- 名古屋市東區東外堀町一官舎
- 名古屋控訴院院長
- 三野 次郎
- 東京市外港谷町榮通二ノ六
- 東京市外阿佐ヶ谷小山四八
- 參謀次長陸軍中將
- 三野 太郎
- 和歌山市六番丁三
- 和歌山紡織社長外一〇會社重
- 役
- 南 勝 治
- 高崎市宮元町六〇
- 高崎地方官署局長
- 南 政吉
- 台北市佐久間町二丁目二二
- 台灣電氣興業(株)監査役
- 南 平(井通士)
- 大阪市南區內安堂寺町一
- 札幌市南十八條西八丁目
- 北海道帝國大學教授農學博士
- 南 大 豐
- 東京市赤坂區旗本町一
- 南宮 龍雄(醫學博士)
- 南宮 具 成(男爵)
- 南方 龍雄(生物學者)
- 和歌山縣田邊町中屋敷町三六
- 南 谷 知 佛
- 廣島市上柳町三七
- 廣島控訴院院長
- 峰 幸 松
- 東京市外港谷町一ノ一官舎
- 憲兵司令官陸軍少將
- 佐世保市東大久保町一八
- 佐世保重砲兵大隊長砲兵中佐
- 嶺 田 五 雄
- 神戶市中山手通二丁目官舎
- 神戶監獄監獄長
- 實 原 勉(工學博士)
- 東京市外中野町中野七七八九
- 海軍技術研究所電氣研究部長
- 海軍造兵大佐
- 光 山 隆 貞
- 大阪市住吉區阿部野町四二六
- 大阪地方官署局長
- 光 行 次 郎
- 長崎市馬町二四
- 長崎控訴院院長
- 滿 井 成 吉
- 三重縣名都多度村字多度
- 國幣神社多度神社官舎
- 宮 本 昌 常
- 東京市外港谷町藤七二〇
- 帝國通信社理事調查部長
- 宮城 晉五郎
- 仙台市北四番丁二八
- 東北帝國大學教授工學博士
- 宮 原 見一郎(文士)
- 東京市外駒澤町致卷六二二
- 宮 原 忠 正
- 宮崎高等農林學校官舎
- 宮崎高等農林學校校長
- 宮 井 健 吉
- 札幌市南七條西十四丁目
- 北海道帝國大學教授林學博士
- 宮 地 直 一(文學博士)
- 東京市外代々木山谷七五ノ一
- 內務省考選官東京帝大講師
- 宮 島 幹 之助
- 東京市外杉並町高圓寺五五五
- 北星研究所部長農學博士
- 宮 島 新三郎(文士)
- 東京市外大久保西大久保二〇
- 宮 川 吉 三郎
- 長崎市出大町八官舎
- 長崎郵便局長
- 宮 川 久 一郎
- 福岡市板橋町一一九
- 福岡電燈(株)外七會社重役
- 宮 川 竹 馬
- 東京市外港谷町下合林泉園
- 東邦電力(株)理事兼營業部長
- 宮 川 米 次
- 東京市本區區上富士町七八
- 東京帝國大學教授農學博士
- 宮 村 淳
- 東京市外港谷町上通二丁目五
- 加島銀行東京支店長

- 宮本 英 簡
- 京都市塔之段豊沙門町四五六
- 京都帝國大學教授
- 宮本 吉右衛門
- 和歌山市新八百屋町七
- 四十三銀行取外四會社重役
- 宮本 利 吉(井通士)
- 神戸市相生町二丁目一〇八
- 宮 成 勝(陸軍兵大佐)
- 廣島縣重兵第五大隊長
- 宮 西 惟 助
- 東京市本區區駒込林町四〇
- 官幣大社日技神社官司
- 宮 重 左 馬 吉
- 高松市野町官舎
- 高松地方裁判所檢察正
- 宮 坂 作 衛
- 長野縣諏訪郡上諏訪町
- 長野銀行外二會社重役
- 宮 坂 助治郎(海軍少將)
- 東京市外港谷町神山二二
- 海軍技術研究所航空研究部長
- 宮 下 左 右 輔
- 東京市外港谷町四丁目二二
- 東京帝大醫學部講師醫學博士
- 宮 田 光 雄
- 東京市麹町區本町町内閣官舎
- 警視總監警廳院議員
- 宮 田 武 太郎
- 兵庫縣武庫郡本庄村西青木
- 大阪商船(株)船長
- 宮 田 東 峰(ハニニカ)
- 東京市赤坂區福吉町一
- 宮 内 繁
- 東京市小石川區竹早町八一
- 貴族院議員鐵道院候選東京帝
- 大名譽教授帝國學士院會員
- 三宅 周太郎(文士)
- 東京市四谷區藤町一ノ一九
- 三宅 米吉
- 東京市小石川區原町一〇三
- 東京高等師範學校校長兼宮中顯
- 關官帝國學士院會員文學博士
- 三上 喜三郎(工學博士)
- 朝鮮京城鐵道中央試驗所長
- 三野 一八
- 台北市文武町六丁目一
- 台北地方法院檢察官
- 三野 學(醫學博士)
- 東京木野西片町一〇七ノ一五
- 東京大名譽教授帝國學士院會員
- 三野 五郎
- 東京市四谷區元町五九
- 住友銀行總町支店長
- 三井 弁藏
- 東京市麻布區本村町一六九
- 三井物產(株)監査役
- 三井 源右衛門
- 東京市小石川區水道町三五
- 三井銀行三井物產各(株)社長
- 三井 甲之(文士)
- 山梨縣中巨摩郡島村
- 三井 高(醫學博士)
- 東京市麹町區河原町五ノ二一
- 三井物產(株)外三會社重役
- 三井 守之助
- 東京市麻布區永阪町一
- 三井物產(株)取締役社長
- 三矢 宮 松
- 東京市外高田町旭出四三
- 帝國林野局長
- 美濃部 運吉(法學博士)
- 東京市小石川區竹早町一二四
- 東大教授帝國學士院會員
- 右田 半四郎
- 東京市麻布區新町一八〇
- 東京帝國大學教授
- 皆川 治廣
- 名古屋市東區東外堀町一官舎
- 名古屋控訴院院長
- 三野 次郎
- 東京市外港谷町榮通二ノ六
- 東京市外阿佐ヶ谷小山四八
- 參謀次長陸軍中將
- 三野 太郎
- 和歌山市六番丁三
- 和歌山紡織社長外一〇會社重
- 役
- 南 勝 治
- 高崎市宮元町六〇
- 高崎地方官署局長
- 南 政吉
- 台北市佐久間町二丁目二二
- 台灣電氣興業(株)監査役
- 南 平(井通士)
- 大阪市南區內安堂寺町一
- 札幌市南十八條西八丁目
- 北海道帝國大學教授農學博士
- 南 大 豐
- 東京市赤坂區旗本町一
- 南宮 龍雄(醫學博士)
- 南宮 具 成(男爵)
- 南方 龍雄(生物學者)
- 和歌山縣田邊町中屋敷町三六
- 南 谷 知 佛
- 廣島市上柳町三七
- 廣島控訴院院長
- 峰 幸 松
- 東京市外港谷町一ノ一官舎
- 憲兵司令官陸軍少將
- 佐世保市東大久保町一八
- 佐世保重砲兵大隊長砲兵中佐
- 嶺 田 五 雄
- 神戶市中山手通二丁目官舎
- 神戶監獄監獄長
- 實 原 勉(工學博士)
- 東京市外中野町中野七七八九
- 海軍技術研究所電氣研究部長
- 海軍造兵大佐
- 光 山 隆 貞
- 大阪市住吉區阿部野町四二六
- 大阪地方官署局長
- 光 行 次 郎
- 長崎市馬町二四
- 長崎控訴院院長
- 滿 井 成 吉
- 三重縣名都多度村字多度
- 國幣神社多度神社官舎
- 宮 本 昌 常
- 東京市外港谷町藤七二〇
- 帝國通信社理事調查部長
- 宮入 鑿之助(醫學博士)
- 福岡市本區區本町二一
- 九大名譽教授帝國學士院會員
- 宮 本 竹 次郎
- 大阪市港區三條通四ノ五〇
- 大阪商船(株)船長
- 宮 野 島 三三
- 大阪市外豐中町新免四四七
- 大阪商船(株)香港丸船長
- 宮 崎 道三郎(文學博士)
- 東京市外千代田區谷五三
- 東京大名譽教授帝國學士院會員
- 茂 水 謙之助
- 千葉縣船橋町九日市御殿三六
- 關兵第十六聯隊長陸軍大佐
- 茂 水 定 二
- 大連市春日町四六
- 大連汽船(株)船長
- 茂 庭 忠 次郎
- 東京市外高田町權司谷町四六
- 日本大學講師工學博士
- 最 上 國 藏
- 東京市牛込區失來町一五
- 正金銀行取締役
- 藤 谷 六 郎(歌人)
- 富山市本町二〇
- 望 月 軍 四郎
- 東京市赤坂區南町六ノ六一
- 日清生命(株)外六會社重役
- 望 月 圭 介
- 東京市外品川町南品川一ノ四
- 內務大臣兼鐵道院議員
- 望 月 龍 三(農學博士)
- 釜山府草場町三丁目四三

人名錄 (N) (中)

- 神戸市中山手通六丁目三〇 中井 哲(俳句)
- 東京市小石川區武島町一三 中井 綱六(弁護士)
- 大阪府西區土佐堀通二丁目六 中泉行 徳(醫學博士)
- 東京市京橋區元數寄屋町二〇 泉橋慈善病院眼科部長
- 中治 武二
- 京都市下鴨北園町一一一 同志社大學講師并護士
- 中島 弘道
- 東京市赤坂青山町二ノ五三 判事東京地方裁判所部長
- 中島 三郎
- 橋須賀市不入斗三二六 橋須賀重砲兵隊長砲兵大佐
- 中島 市太郎
- 南滿洲鐵道陸軍官舎 第十四師團軍醫部長軍醫監
- 中島 登喜治
- 東京府澁谷町大和田九八 東京控訴院判事
- 中島 晋(在郷海軍少將)
- 東京市外高井戸町中高井戸名 中島 鑑平(大阪税關長)
- 大阪府西區二條通ノ四六官舎 中島 正國
- 神奈川縣高座郡寒川村 國幣中社寒川神社官司
- 中島 權吉
- 東京府世田ヶ谷町太子堂一 海軍大學校教授海軍少將
- 中島 謙三
- 富山市西田地方町 富山地方裁判所檢事正
- 中島 一治
- 大阪府港區九條通二丁目廿一 大阪港土地(株)外二會社重役
- 中島 忠(醫學博士)
- 中島 廣吉
- 札幌市南六條西十二丁目 北海道帝大助教授林學博士
- 中島 忠(醫學博士)
- 中島 政(醫學博士)
- 中島 湖造(醫學博士)
- 名古屋市中區老松町二ノ一 名古屋市中區老松町二ノ一 中島 久吉(男爵)
- 東京市牛込區市ヶ谷藥土寺聖 貴族院議員東京漢汽船(株)社 長外十會社重役
- 中込 宗造
- 大阪府天王寺區眞法院町九 大阪控訴院部長
- 中丸 一平
- 東京府中野町字小籠一五二〇 三井物産(株)外二會社重役
- 中村 大三郎
- 京都府葛野郡太秦村磯崎野 日本郵政發展委員
- 中村 福助
- 大阪府南區東清水町六八 俳優本名名木伊之助
- 中村 福助
- 東京市外千駄ヶ谷八八九一 俳優本名中村鹿次
- 中村 房次郎
- 松尾鏡葉(株)外三會社重役
- 中村 不折
- 東京市下谷區上根岸一二五 洋滿家帝國美術院會員
- 中村 岳 隆
- 東京市牛込區水道町四五 日本書家本名恒吉
- 中村 應治郎(俳句)
- 中村 八太郎
- 金澤市長町六番丁二 金澤醫科大學教授醫學博士
- 中村 白葉(女史)
- 東京府駒澤町四三一 東京府駒澤新町四三一 中村 秀夫
- 名古屋市中區南長島町一ノ一 日本興業銀行名古屋支店配人
- 中村 盛(醫學博士)
- 神戸市東區尾池二丁目兵庫病院 中村 尚(弁護士)
- 名古屋市中區武庫町二ノ九 名古屋市中區武庫町二ノ九 中村 彦彦
- 東京市牛込區市ヶ谷藥土寺町 朝經紡織(株)監査役醫學博士
- 中村 純一郎
- 岡山市西田町一一 第一合同銀行外四會社重役
- 中村 保野(男爵)
- 秋田縣區區司令官陸軍大佐
- 中村 歌 扇
- 東京市小石川區西江戸川町三 俳優本名青江ひさ
- 中村 龜 市(醫學博士)
- 別府市瀧脇町
- 中村 克巳
- 東京府杉並町高圓寺五五五 三井銀行參事
- 中村 憲
- 大阪府住吉區天王寺町六四 聯合紙器(株)取締役
- 中村 憲 吉(歌人)
- 廣島縣三郡布野村上布野 中村 謙一(男爵)
- 東京府中野町上原七六〇 鐵道省建設局長
- 中村 吉右衛門
- 東京市外千駄ヶ谷八八六 俳優本名波野辰次郎
- 中村 吉 藏
- 東京府西區鴨宮町宮仲一九六九 早稻田大學文學部講師
- 中村 公 男(弁護士)
- 大阪府西區西長堀南通三ノ三 中村 喜助
- 岩手縣吉岡町鐵ヶ崎下町 三陸水産冷蔵(株)監査役
- 中村 精 男
- 東京市牛込區南町三三 帝國學士院會員醫學博士
- 中村 孝次郎
- 橫濱市中區西戸部町官舎六號 橫濱市稅關總務課長
- 中村 孝太郎
- 平塚府西町二 步兵第三十九旅團長陸軍少將
- 中村 孝也
- 東京市本郷區西片町二ノ六 東京帝國大學助教授文學博士
- 中村 龜 車
- 大阪府西區南神谷町六二四 俳優本名桂葉太郎
- 中村 久四郎(文學博士)
- 東京市本郷區西片町二ノ三號 東京高等師範教授一高講師
- 中村 正 臣
- 金澤市博勞町八ノ五 金澤地方裁判所檢事正
- 中村 雅 彦
- 奈良市登天路町三八 奈良博物館學藝委員
- 中村 政 藏
- 千葉縣一宮町通三丁目 國幣中社玉宮神社官司
- 中村 成太郎(俳句)
- 大阪府西區區玉出町五五六 中村 昇(弁護士)
- 中村 應
- 下關市川町八〇六 門司稅關監理部長兼總務課長
- 中村 良 三
- 東京市麩町區上二番町四〇 海軍大學校長海軍中將
- 中村 左衛門太郎
- 仙台市二本松通一 東北帝國大學教授醫學博士
- 中村 清二

人名錄 (N) (中、仲、難、生、給)

- 東京市小石川區指ヶ谷五九 東京帝國大學教授理學部長帝 國學士院會員理學博士
- 中村 重 喜
- 大阪府港區二條通三丁目官舎 大阪稅關監理部長兼總務課長
- 中村 進 午
- 東京市外代々木南山谷二九九 東京商科大學教授法學博士
- 中村 新太郎
- 京都市上京區寺町通廣小路 京都帝國大學教授
- 中村 忠 彰
- 東京市麩町區富士見町二ノ四 台灣銀行東京支店副支配人
- 中村 忠 夫(弁護士)
- 岸和田市岸城町
- 中村 泰 一
- 富山縣射水郡新湊町六藏寺 本郷汽船(株)五劍丸船長
- 中村 辰次郎
- 神戸市須磨大特東五ノ一 松岡汽船(株)第三日清丸船長
- 中村 遠太郎
- 東京市小石川區原町一三 警備府財局關工學博士
- 中村 哲 哉
- 埼玉縣浦和町二九七四 獸疫調查所技師農學博士
- 中村 實之助
- 京城市太平通一丁目 朝鮮總督府官房總務課長
- 中村 敏 雄(弁護士)
- 大阪府北區堂島濱通一ノ三三 富山市西田地方町
- 富山地方裁判所檢事正
- 中島 一治
- 大阪府港區九條通二丁目廿一 大阪港土地(株)外二會社重役
- 中島 忠(醫學博士)
- 中島 廣吉
- 札幌市南六條西十二丁目 北海道帝大助教授林學博士
- 中島 忠(醫學博士)
- 中島 政(醫學博士)
- 中島 湖造(醫學博士)
- 名古屋市中區老松町二ノ一 名古屋市中區老松町二ノ一 中島 久吉(男爵)
- 東京市牛込區市ヶ谷藥土寺聖 貴族院議員東京漢汽船(株)社 長外十會社重役
- 中込 宗造
- 大阪府天王寺區眞法院町九 大阪控訴院部長
- 中丸 一平
- 東京府中野町字小籠一五二〇 三井物産(株)外二會社重役
- 中村 大三郎
- 京都府葛野郡太秦村磯崎野 日本郵政發展委員
- 中村 福助
- 大阪府南區東清水町六八 俳優本名名木伊之助
- 中村 福助
- 東京市外千駄ヶ谷八八九一 俳優本名中村鹿次
- 中村 房次郎
- 松尾鏡葉(株)外三會社重役
- 中村 不折
- 東京市下谷區上根岸一二五 洋滿家帝國美術院會員
- 中村 岳 隆
- 東京市牛込區水道町四五 日本書家本名恒吉
- 中村 應治郎(俳句)
- 中村 八太郎
- 金澤市長町六番丁二 金澤醫科大學教授醫學博士
- 中村 白葉(女史)
- 東京府駒澤町四三一 東京府駒澤新町四三一 中村 秀夫
- 名古屋市中區南長島町一ノ一 日本興業銀行名古屋支店配人
- 中村 盛(醫學博士)
- 神戸市東區尾池二丁目兵庫病院 中村 尚(弁護士)
- 名古屋市中區武庫町二ノ九 名古屋市中區武庫町二ノ九 中村 彦彦
- 東京市牛込區市ヶ谷藥土寺町 朝經紡織(株)監査役醫學博士
- 中村 純一郎
- 岡山市西田町一一 第一合同銀行外四會社重役
- 中村 保野(男爵)
- 秋田縣區區司令官陸軍大佐
- 中野 六 市
- 神戸市港區(株)甲南丸船長
- 中野 太 郎
- 東京府大森新井宿木原山二五 海軍火藥廠廠務部長兼中佐
- 中野 鐵 平
- 東京市外西久保四一六 日本石油(株)專務取締役
- 中 目 覺
- 大阪府天王寺區小宮町四官舎 大阪外國語學校校長
- 中 尾 直太郎
- 大阪府西區立賣堀南通六ノ一 大阪港土地(株)外二會社重役
- 中 尾 眞 雄(醫學博士)
- 福島市舟場町七
- 中 尾 都 山
- 東京芝區白金台町一ノ一七 都山流尺八宗家本名琳三
- 中 大 路 代(工學博士)
- 東京芝區白金三光町三五五 三陸汽船(株)常務取締役
- 中 岡 孫 一郎
- 神戸市上筒井通六ノ一 日本興業銀行神戸支店支配人
- 中 潮 拙 夫
- 台北市千歲町二丁目一七 台灣總督府殖產局特產課長
- 中 田 秀 造(花道港廳長)
- 台澎花蓮港廳官舎
- 中 田 薫
- 東京市麻布區赤坂町一四〇 東京帝國大學教授法學部長帝 國學士院會員法學博士
- 中 田 直 三郎
- 大阪府西區新通二丁目二四 住友會社檢査役
- 中 田 信 子(詩人)
- 東京府入新井町新井宿五九四 中 田 正 造(俳句)
- 中 川 吉 二(女史)
- 中 川 吉 二(女史)
- 東京市外區鴨宮町宮下一八七九 中 富 計 太
- 朝鮮平安北道新義州 朝鮮殖産銀行新義州支店長
- 中 塚 一 碧(俳句)
- 東京府玉川村瀬田一四八九 中 塚 正 信(弁護士)
- 大阪府北區堂島中二丁目一〇 中 東 光 五郎
- 福岡縣糟屋郡志免村 福岡縣糟屋郡志免村 中 山 太 一
- 大阪府浪速區水崎町四〇 クラブ化粧品本舗中山太陽堂
- 中 山 福 藏(弁護士)
- 大阪府西區北堀江上通四ノ一 中 山 秀 三郎
- 東京市本郷區駒込西片町一〇 東京市本郷區駒込西片町一〇 中 山 森 彦(醫學博士)
- 福岡市荒戸町四番丁二二〇 福岡市荒戸町四番丁二二〇 中 山 正 善(天竺教管長)
- 奈良縣山邊郡丹波市町三島 中 山 正 三郎
- 大連市星ヶ浦水町莊
- 滿鐵經理部主計課長
- 茨城縣那珂郡水崎村 茨城農工銀行外二會社重役
- 中 里 介 山(女史)
- 東京府南多摩郡高尾山妙音谷 中 里 久 七
- 岩手縣氣仙郡世田米村三三 氣仙水力電氣(株)取締役社長
- 中 澤 弘 光
- 東京市外區塚町通一八 洋滿家發展委員
- 中 澤 岩 太
- 京都市塔ノ段櫻木町四五三 京都市大名譽教授工學博士
- 中 澤 清 八
- 茨城縣結城郡結城町 茨城農工銀行取締役
- 中 澤 良 夫
- 京都市上京區塔ノ段櫻木町四 五二
- 京都帝國大學教授工學博士 仲 木 真 一(女史)
- 東京府大崎町下大崎八四 難 波 剛 平(醫學博士)
- 新潟市本町通八番町 難 波 元 弘(工學博士)
- 東京市赤坂青山町六ノ二一 旭硝子(株)試驗所長
- 生 津 和 太郎
- 盛岡市仁王第一地割字内九三〇 盛岡地方裁判所長
- 給 市 太郎(工學博士)
- 堺市少林寺町一八

人名 錄一(N)丹、野、能、乃、納、昇、信、乘、額、忽、沼、布

- 丹羽 元 泰(醫學博士)
丹羽 七郎
丹羽 俊彦
丹羽 保次郎(工學博士)
丹羽 保次郎(工學博士)
野田 義夫(文學博士)
野田 大輔
野田 正金銀行儲蓄支店支配人
野田 茂樹(醫學博士)
野田 上野一郎
野田 正一
野田 信二
野田 信三
野田 信四
野田 信五
野田 信六
野田 信七
野田 信八
野田 信九
野田 信十
野田 信十一
野田 信十二
野田 信十三
野田 信十四
野田 信十五
野田 信十六
野田 信十七
野田 信十八
野田 信十九
野田 信二十
野田 信二十一
野田 信二十二
野田 信二十三
野田 信二十四
野田 信二十五
野田 信二十六
野田 信二十七
野田 信二十八
野田 信二十九
野田 信三十
野田 信三十一
野田 信三十二
野田 信三十三
野田 信三十四
野田 信三十五
野田 信三十六
野田 信三十七
野田 信三十八
野田 信三十九
野田 信四十
野田 信四十一
野田 信四十二
野田 信四十三
野田 信四十四
野田 信四十五
野田 信四十六
野田 信四十七
野田 信四十八
野田 信四十九
野田 信五十
野田 信五十一
野田 信五十二
野田 信五十三
野田 信五十四
野田 信五十五
野田 信五十六
野田 信五十七
野田 信五十八
野田 信五十九
野田 信六十
野田 信六十一
野田 信六十二
野田 信六十三
野田 信六十四
野田 信六十五
野田 信六十六
野田 信六十七
野田 信六十八
野田 信六十九
野田 信七十
野田 信七十一
野田 信七十二
野田 信七十三
野田 信七十四
野田 信七十五
野田 信七十六
野田 信七十七
野田 信七十八
野田 信七十九
野田 信八十
野田 信八十一
野田 信八十二
野田 信八十三
野田 信八十四
野田 信八十五
野田 信八十六
野田 信八十七
野田 信八十八
野田 信八十九
野田 信九十
野田 信九十一
野田 信九十二
野田 信九十三
野田 信九十四
野田 信九十五
野田 信九十六
野田 信九十七
野田 信九十八
野田 信九十九
野田 信一百

- 小畑 清次(醫學博士)
小畑 清三(醫學博士)
小畑 清四(醫學博士)
小畑 清五(醫學博士)
小畑 清六(醫學博士)
小畑 清七(醫學博士)
小畑 清八(醫學博士)
小畑 清九(醫學博士)
小畑 清十(醫學博士)
小畑 清十一(醫學博士)
小畑 清十二(醫學博士)
小畑 清十三(醫學博士)
小畑 清十四(醫學博士)
小畑 清十五(醫學博士)
小畑 清十六(醫學博士)
小畑 清十七(醫學博士)
小畑 清十八(醫學博士)
小畑 清十九(醫學博士)
小畑 清二十(醫學博士)
小畑 清二十一(醫學博士)
小畑 清二十二(醫學博士)
小畑 清二十三(醫學博士)
小畑 清二十四(醫學博士)
小畑 清二十五(醫學博士)
小畑 清二十六(醫學博士)
小畑 清二十七(醫學博士)
小畑 清二十八(醫學博士)
小畑 清二十九(醫學博士)
小畑 清三十(醫學博士)
小畑 清三十一(醫學博士)
小畑 清三十二(醫學博士)
小畑 清三十三(醫學博士)
小畑 清三十四(醫學博士)
小畑 清三十五(醫學博士)
小畑 清三十六(醫學博士)
小畑 清三十七(醫學博士)
小畑 清三十八(醫學博士)
小畑 清三十九(醫學博士)
小畑 清四十(醫學博士)
小畑 清四十一(醫學博士)
小畑 清四十二(醫學博士)
小畑 清四十三(醫學博士)
小畑 清四十四(醫學博士)
小畑 清四十五(醫學博士)
小畑 清四十六(醫學博士)
小畑 清四十七(醫學博士)
小畑 清四十八(醫學博士)
小畑 清四十九(醫學博士)
小畑 清五十(醫學博士)
小畑 清五十一(醫學博士)
小畑 清五十二(醫學博士)
小畑 清五十三(醫學博士)
小畑 清五十四(醫學博士)
小畑 清五十五(醫學博士)
小畑 清五十六(醫學博士)
小畑 清五十七(醫學博士)
小畑 清五十八(醫學博士)
小畑 清五十九(醫學博士)
小畑 清六十(醫學博士)
小畑 清六十一(醫學博士)
小畑 清六十二(醫學博士)
小畑 清六十三(醫學博士)
小畑 清六十四(醫學博士)
小畑 清六十五(醫學博士)
小畑 清六十六(醫學博士)
小畑 清六十七(醫學博士)
小畑 清六十八(醫學博士)
小畑 清六十九(醫學博士)
小畑 清七十(醫學博士)
小畑 清七十一(醫學博士)
小畑 清七十二(醫學博士)
小畑 清七十三(醫學博士)
小畑 清七十四(醫學博士)
小畑 清七十五(醫學博士)
小畑 清七十六(醫學博士)
小畑 清七十七(醫學博士)
小畑 清七十八(醫學博士)
小畑 清七十九(醫學博士)
小畑 清八十(醫學博士)
小畑 清八十一(醫學博士)
小畑 清八十二(醫學博士)
小畑 清八十三(醫學博士)
小畑 清八十四(醫學博士)
小畑 清八十五(醫學博士)
小畑 清八十六(醫學博士)
小畑 清八十七(醫學博士)
小畑 清八十八(醫學博士)
小畑 清八十九(醫學博士)
小畑 清九十(醫學博士)
小畑 清九十一(醫學博士)
小畑 清九十二(醫學博士)
小畑 清九十三(醫學博士)
小畑 清九十四(醫學博士)
小畑 清九十五(醫學博士)
小畑 清九十六(醫學博士)
小畑 清九十七(醫學博士)
小畑 清九十八(醫學博士)
小畑 清九十九(醫學博士)
小畑 清一百

人名

宇都宮實業局技木出所所長 沖野 幸三郎(文士) 東京市外務局下谷合三〇 興津 幸雄 熊本木山町四九六 熊本電氣局兒島電氣各取締役 興津 幸雄 和歌山縣海草郡西山東村 官幣中社伊太波神社宮司 岩 吉(醫學博士) 京都府田中町四ノ二 興津 保(伯樂) 東京市牛込區神保町二六 元帥府軍大尉 興津 源次郎(井護士) 神戸市神戶五丁目一四八層敷 興津 喜久三(醫學博士) 小樽市神戶市立病院院長 興津 史郎(醫學博士) 三重縣一志郡久居町 興津 祐安(醫學博士) 札幌市南二條東一丁目一 興津 武二郎 仙台市新名掛町八 仙台鐵道監督局營業課長 興津 山 瀧岡市西新町一〇六 九州帝國大學教授醫學博士 興津 平昌 洪(井護士) 大阪府北區老松町三丁目四四 興津 彦彦 白金山三光町四五〇 日本郵政銀行検査課長 興津 豐二郎(醫學博士)

九五六

折田 有彦 東京市芝高輪朝霞宮邸内官舎 郵務官附官内事務官 長部 松三郎 長岡市千手町二丁目 六十九銀行頭取外五會社重役 興津 芳(醫學博士) 東京市外務局新町四四四 海軍軍醫學校教官海軍軍醫中 佐 興津 正 瀧岡縣警務部字美町 海軍燃料廠松波部長主計大佐 長川 豐 樹 東京市四谷區右京町二四 逓信書記官管轄局監理課長 押谷 富三(井護士) 大阪府北區南森町二九 瀧岡縣久野米村神戶町一丁目 瀧岡縣今立郡瀧岡江町 瀧岡縣警務司司令官步兵大佐 乙 竹 茂 郎 大阪府天王寺區南河堀町二三 樺澤正金銀行大阪支店支配人

S

三井物産(株)名古屋支店長 佐 上信一 東京市神戶區外櫻田町一 内務省地方局長 佐 伯 信 龍 奈良縣生駒郡伏見村西大寺内 區警務署上綱西大寺國學院住 佐 伯 勝太郎(工學博士) 東京市外務局神戶西ヶ原支大 佐 伯 誠一 東京市本郷區西片町二四ノ六 東京帝國大學講師醫學博士 佐 伯 叔作 東京市牛込區矢來町二三 日清生命保險常任監察役 佐 伯 定 胤 奈良縣生駒郡法隆寺村 法相宗賢長法隆寺住職 佐 伯 誠久(醫學博士) 長野市赤十字支那病院 佐 久間 七郎(井護士) 前關市日本赤十字病院内 佐 久間 七郎(井護士) 京都府三條通東洞院東入 佐 久間 信一 平塚府警務官舎 朝野總督府鐵道局技師 佐 久間 俊一(伯樂) 仙台市北二番町五五 七十七銀行取締役 佐 野 秀之助 東京市本郷區向國生町三 東京帝國大學教授工學博士 佐 野 啓次郎(井護士)

録一〇(沖、興、奥、億、恩、遠、折、長、押、乙)

R(良、冷、李、林、令、劉、龍、六、蟻)S(佐)

大阪住吉區阿倍野町一九九 佐 野 幸助 大阪府東區淡路町二 石崎(株)南崎土地各重役 佐 野 利器 東京市小石川區瀧町一六 東京帝國大學教授工學博士 佐 野 功一 東京市小石川區瀧ヶ谷町七三 早稻田大學教授工學博士 佐 野 政 瀧岡縣武庫郡若原山角二〇五 三十四銀行取締役 佐 野 實(醫學博士) 神戸市北長狹通四丁目三三 佐 野 茂次郎(工學博士) 名古屋市東區大曾根町二〇ノ一 佐 野 寅一(醫學博士) 名古屋市中區春日町二五 佐 野 善作 東京市外千駄ヶ谷町八三四 東京帝國大學教授法學博士 佐 佐木 保(井護士) 神戸市神戶區通五ノ七三 佐 佐木 信(歌人) 東京市本郷區西片町一〇 東京帝國大學講師文學博士 佐 佐木 長治 瀧岡縣西字和郡伊方村 二十九銀行頭取 佐 佐木 忠次郎(醫學博士) 東京市本郷區神戶南町六ノ二〇 東大名教授帝國學士院會員 佐 佐木 秀一(醫學博士)

人名

録一S(佐)

東京市本郷區駒込千駄木町五 佐 々木 孫太郎 瀧岡縣五所川原町三ノ三三 瀧岡縣電氣局電線各(株)重役 佐 々木 一雄 旭川市四條通三丁目 瀧岡縣第七大隊長瀧岡縣兵大佐 佐 々木 謙一郎 東京市神戶區下二番町二三 東京市警務局長 佐 々木 謙三 東京府新井町新井宿山王三三番 東京汽船(株)巴洋丸船長 佐 々木 健助(井護士) 大阪府北區梅田町二二 佐 々木 駒之助 兵庫縣神戶三條九ノ坪八八 山口銀行常務外二會社重役 佐 々木 政一 大阪府住吉區天王寺町三三〇 大阪工務局計課長二等主計正 佐 々木 味津三(文士) 東京市外杉並町高圓寺六五九 佐 々木 仁作 神戸市五宮町八八ノ一 大阪商船(株)湖洲丸船長 佐 々木 良一 東京市神戶區西日比谷町一 司法大臣秘書官官務課長 佐 々木 幸彦(井護士) 大阪府此花區四寶島旭町一ノ八 佐 々木 茂 枝 八幡市高見町一丁目官舎 瀧岡縣所理事務部文書課長

九五七

貴族院議員法學博士 佐 武安太郎 仙台北區四番丁一四三 東京帝國大學教授醫學博士 佐 谷 有吉 大阪府住吉區天王寺町二〇〇 大阪醫科大學教授醫學博士 佐 藤 剛藏(醫學博士) 京師醫專校長兼京城帝大教授 佐 藤 秀三 東京府入新井町新井宿四〇 東京帝國大學教授醫學博士 瀧岡縣市長 佐 藤 市次郎 瀧岡市神奈川區二本樓六三 瀧岡汽船(株)香洋丸船長 佐 藤 伊惣治 山形市旅籠町 山形地方裁判所檢察正 佐 藤 想一 大連市福町一三 瀧岡縣道部工作課長 佐 藤 重 瀧岡縣警務局長 佐 藤 寛次 兵庫縣神戶區神戶中程三三 住友信託(株)常務取締役 佐 藤 寛次 東京府松澤村赤堤四四〇 東京帝國大學教授醫學博士 佐 藤 金治 東京市四谷區內藤町一 陸軍醫務局長陸軍主計監 佐 藤 清 東京市外大久保百人町二七三 京城帝國大學教授醫學博士 橫濱市鶴見區生麥町一七六四

人名錄 (健、里、澤、瀨、石、關、仙、千)

- 健 尾 正 一 東京府澁谷町櫻丘九六
- 商工技師館山尾健業課長
- 里 見 純 吉 大阪府堺市
- 大丸(株)事務取締役
- 里 見 三 男(醫學博士)
- 大阪府千里山住宅地千里通六
- 里 見 虎 瀨
- 秋田市東根小島町官舎
- 秋田地方裁判所檢察正
- 里 村 榮 藏(弁護士)
- 大阪府東區備後町一丁目三一
- 瀨 田 源 一 高松市西區新町
- 高松高等商業學校校長
- 瀨 田 敬 義 新潟市警務所第一番町
- 新潟醫科大學長醫學博士
- 瀨 田 謙 三 東京市麻布區飯倉片町二九
- 外務書記官大臣官房電信課長
- 瀨 田 虎 雄(弁護士)
- 京都市下京區六角通高倉角
- 瀨 田 竹 治 郎 東京市外橋台一〇
- 行政裁判所評定官
- 瀨 田 功 吉(音樂家)
- 大阪府寺下石津海岸三ノ三
- 瀨 原 精 一 吳市草里町四一
- 廣島縣農工銀行取締役外三會
- 社重役農工商工務所所長
- 瀨 井 爲 三(醫學博士)
- 瀨 井 市 佐佳枝中町一〇八
- 瀨 村 廣 東京市外千駄ヶ谷町原宿三
- 東京帝大名醫教授醫學博士
- 瀨 野 新 兵衛 兵庫縣御影町中御田五ノ一
- 大阪商船(株)新高丸船長
- 瀨 崎 修 京城府龜山鐵道官舎三五號
- 朝鮮總督府鐵道局監督課長
- 瀨 山 勝 八 郎 長崎市南山手町一
- 島原水電(株)外六會社重役
- 瀨 川 源 友 東京府下杉並町高圓寺五三八
- 侍從武官陸軍少將
- 瀨 川 秀 雄 東京市四谷區花園町一〇七
- 學府院教授文學博士
- 瀨 川 如 泉(脚本家)
- 瀨 川 知 三 東京市芝區新堀町三七
- 瀨 古 季 之 助 大阪府東區高麗橋三井物産内
- 三井物産(株)大阪支店長
- 瀨 下 季 男(弁護士)
- 小倉市紺屋町六丁目一八三
- 瀨 尾 利 吉 大阪府港區九條通三ノ五四〇
- 大阪商船(株)紅丸船長
- 瀨 尾 時 彦 瀨 尾 市 東京市外大久保百人町二八五
- 東邦火災保險(株)取締役
- 瀨 戸 國 治(醫學博士)
- 小樽市入舟町四丁目一三
- 瀨 戸 糾(醫學博士)
- 熊本市知足寺町四〇
- 瀨 戸 口 彌 太郎 大阪府東區釣鐘町二ノ七
- 步兵第七旅團長陸軍少將
- 瀨 戸 本 靜 藏(弁護士)
- 兵庫縣武庫郡西灘村原田三郎
- 瀨 崎 榮 藏 神戸市再渡筋一七
- 瀨 田 汽 船(株)永代丸船長
- 石 瀨 全 瀨 南 道 知 事
- 朝鮮全羅南道光州郡光州區
- 關 大阪府天王寺區南河堀町二五
- 大阪市長法學博士
- 關 市 衛(醫學博士)
- 小樽市市立病院内
- 關 直 彦 東京市京橋區本橋町一ノ一五
- 貴族院議員弁護士
- 關 正 雄 東京赤坂區青山町六ノ一
- 通信書記官大臣官房保健課長
- 關 盛 治 瀨 井 高 等 工 業 學 校 校 長
- 關 精 抽 京都府葛野郡嵯峨町天龍寺
- 應松宗天龍寺派管長
- 關 忠 三(醫學博士)
- 松本市嶺ヶ崎町
- 關 高 次 郎 正金銀行カルカッタ支配人
- 關 根 不二彦(醫學博士)
- 札幌市北一條西一丁目五
- 關 川 一 郎(醫學博士)
- 和歌山市赤十字社支部病院内
- 關 口 親(弁護士)
- 大阪北區區役所三
- 關 口 猪 三 郎 大阪府天王寺區勝山通四丁目
- 大阪商船(株)大阪支店長
- 關 口 次 郎(文士)
- 東京市外大久保町西大久保九
- 關 口 健 一 郎 東京市牛込市ヶ谷台町三ノ四
- 行政裁判所評定官
- 關 口 喜 兵 衛(航空兵中佐)
- 埼玉縣所澤町日吉丁
- 所澤陸軍飛行學校材料隊長
- 關 口 高 次 神戶市西區上流川一〇ノ一
- 福徳生命保險外四會社監査役
- 關 口 蕃 樹(醫學博士)
- 仙 台 市 北 二 番 町 六 〇
- 東北帝大教授附屬病院長
- 關 口 八 重 吉(工學博士)
- 東京市麻布區新堀町四
- 東京高等工業學校教授
- 關 原 忠 三 東京市小石川區大塚仲町四一
- 大藏省主計局司計課長
- 關 目 琴 季 京都市小山上總町六八ノ一
- 官幣中社白鷺宮司
- 關 本 謙 丞 京都乙訓郡乙訓村聖生光明寺
- 淨土宗西山光明寺派管長
- 關 根 秀 三 郎 東京市小石川區西江戸川町二
- 水産講習所教授醫學博士
- 關 根 正 直 東京市小石川區野籠町二二三
- 帝國學士院會員宮内省御用掛
- 關 野 貞 東京市本郷區駒込東片町三六
- 東京帝大名醫教授工學博士
- 關 藤 十九 二 上海北四川路二八二號
- 日本砂糖貿易(株)取締役
- 關 谷 兵 助 東京市麹町區富士見町一ノ一
- 東京株式取引所外三會社重役
- 關 谷 善 一(弁護士)
- 大阪府北區梅ヶ枝町一四六
- 關 屋 龍 吉 東京市麹町區茗荷谷六二
- 關 屋 貞 三 郎(宮内次官)
- 東京市麹町區紀尾井町三
- 仙 波 春(弁護士)
- 仙 石 亮(工學博士)
- 福井市城橋町第九號
- 仙 石 政 敬(子爵)
- 東京芝區神谷町一八
- 宮内省宗秩寮管長
- 仙 石 實(工學博士)
- 東京市麻布區富士見町二二
- 千 賀 順 市 朝鮮海州法院官舎
- 海州地方法院檢察正
- 千 賀 千 太郎 高崎市連尺町八一

御大典用酒

一升壇詰 金三圓

小本林本家吟釀

店理代總近

目丁三通下江堀南區西市阪大

店商助之伊田和 屋問酒

〇七二一(四六)川機話電

「每日年報」廣告

人名 録一(鈴) T(田)

- 江 澤 平(醫學博士)
- 澤島市佐古町十五丁目
- 川 野 一
- 廣島市段原町三九九
- 廣島電氣(株)外五會社重役
- 水 貫 太郎
- 東京市外墨田町宮下一五七六
- 海軍軍令部長海軍大將
- 水 敏 夫(醫學博士)
- 福岡市内丸日本赤十字社病院
- 水 實
- 東京市本郷區駒込吉祥寺町三
- 樺太汽船(株)外四會社重役
- 水 金 太郎
- 神戸市野崎通二丁目三ノ七
- 大阪商船(株)安南丸船長
- 水 遠 治
- 横濱市磯子區西根岸町芝生
- 横濱高等工業學校校長
- 水 二 郎
- 奉天市淀町一〇
- 滿鐵奉天鐵道事務所長
- 水 喜 三郎
- 東京市麹町區三番町七一
- 貴族院議員法學博士
- 水 文 治(代議士)
- 神奈川縣鎌倉町大町佐介通
- 社會民衆黨中央執行委員
- 水 梅 太郎(農學博士)
- 東京市外澁谷町上澁谷一四一
- 東京帝大教授帝國學士院會員
- 水 忠 治
- 東京府大崎町下大崎八三
- 東京電氣(株)外二會社重役
- 水 忠 之丞
- 朝鮮元山泉町一ノ三朝鮮會館
- 朝鮮銀行元山支店支配人
- 水 福 治郎(弁護士)
- 京都市高倉通東川南八
- 水 八 郎(弁護士)
- 東京市東成區林寺町一〇五
- 水 南
- 東京市四谷區愛住町六四
- (株)大林組取締役
- 水 久之進
- 京都市深草町福稻親川二四
- 第十六師團軍醫部長軍醫監
- 水 兼 重
- 大連市浪速町一四六
- 星ヶ浦土地建物(株)取締役
- 水 謙 三郎
- 大阪市住吉區住吉町八〇九
- 住友銀行常任監査役
- 水 金 十
- 小倉市橋崎王子製紙社宅
- 王子製紙(株)小倉工場長
- 水 康 太郎
- 兵庫縣武庫郡魚崎町魚崎一〇
- 關田鐵業(株)外四會社重役
- 水 正 美
- 東京府澁谷町榮道二ノ二
- 三井銀行理事
- 水 松 之助
- 京都市舞鶴町北田通
- 舞鶴製鐵司令官砲兵大佐
- 水 松 太郎
- 宇都宮市戸祭町二〇〇五
- 宇都宮二葉山神社宮司
- 水 三重吉(文士)
- 東京市四谷區須賀町四〇
- 水 紋 次郎
- 東京市芝田町六ノ九
- 淺野造船所外二十六會社重役
- 水 謙 三郎
- 松江市内中原町一四二
- 出雲電氣(株)常務取締役
- 水 三 郎
- 東京市麹町區下二番町六〇
- 鈴木商店常務取締役
- 水 三 郎助
- 東京市芝區高輪南町五九
- 鈴木商店東信電氣各(株)社長
- 水 茂 次
- 東京市外澁谷區中根岸町一八
- 東京農業大學教授農學博士
- 水 島 吉
- 東京市麻布區本村町一八
- 日本興業銀行總裁
- 水 新 之助
- 札幌市大森町四八丁目
- 札幌稅務監督局長
- 水 莊 六
- 東京府代々木區代々木初台六六
- 參謀總長陸軍大將
- 水 鈴 馬
- 東京市外代々木區代々木二丁目
- 帝國製藥(株)外二會社重役
- 水 孝 雄
- 兵庫縣西宮市外仁川
- 東京府淀橋町柏木四二二
- 軍事參議官陸軍大將
- 水 貞 造
- 東京市外井荻町下荻
- 陸軍造兵廠火工廠長陸軍少將
- 水 徹 雄
- 福島縣山形縣田
- 郡山地方專賣局長
- 水 實 彦
- 東京市本郷區西片町一〇
- 日本實業社長外八會社重役
- 水 四郎藏
- 神戸市平野町上三條町三八
- 大阪商船(株)ぼろね丸船長
- 水 謙 太郎
- 東京市下谷區中根岸町一八
- 樺太汽船(株)監査役
- 田 淵 吉(代議士)
- 和歌山縣日高郡御坊町
- 田 所 哲 太郎
- 札幌市北七條西二丁目
- 北海道帝國大學教授農學博士
- 田 所 芳 秋
- 八幡市高見町官舎
- 關東所技師理學博士
- 田 所 美 治
- 東京市外澁谷町角等町一四
- 貴族院議員錦織閣議候共同火
- 災保險(株)社長外五會社重役
- 田 藤 高 輔
- 東京府下王子町王子六〇社宅
- 王子製紙(株)王子工場長
- 田 上 豐 策
- 關西三井郡御井町
- 國幣大社高良神社宮司
- 田 川 謙 吉(醫學博士)
- 東京府世田谷町三宿三九〇
- 田 子 一 民(代議士)
- 東京市外上大崎清水久保一
- 田 口 福 壽
- 大連市水仙町四ノ一五
- 大連汽船(株)興順丸船長
- 田 口 純 男(弁護士)
- 神戸市下山手通六丁目一六三
- 田 原 正 人
- 仙台市二本杉通一
- 東北帝國大學教授理學博士
- 田 原 良 純
- 東京市外中野町上町二ノ四一
- 帝國學士院會員農學博士
- 田 原 豐
- 東京府澁谷町八幡通一ノ三六
- 日本フエルト(株)取締役
- 田 丸 卓 郎
- 東京市本郷區駒込二丁目
- 東京帝大教授理學博士
- 田 宮 眞 太郎
- 兵庫縣御影町上ノ山
- 聯合紙器(株)監査役
- 田 宮 猛 郎
- 東京市外大崎町中九四四
- 東京帝大教授醫學博士
- 田 村 春 吉
- 名古屋市南嶺治町二ノ二四
- 愛知縣大教授醫學博士
- 田 村 晴 胤
- 京都市下鴨宮町
- 官幣大社賀茂御祖神社宮司

人名 録一(T) (田)

- 田 村 隆 三(弁護士)
- 大阪北區小松原町六九
- 田 村 憲 造
- 東京市外大森於伊勢原
- 東京帝大教授醫學博士
- 田 村 駒 次郎(貴族院議員)
- 大阪東區安土町四ノ五五
- 日本共立生命保險監査役其他
- 田 村 隆
- 高知市天神町
- 土佐セメント(株)取締役
- 田 村 實 一
- 東京芝區高輪南町五三
- 聯合紙器(株)取締役
- 田 村 西 男(文士)
- 東京市外池上町石川一八七
- 田 村 謙 顯
- 和歌山市九番丁一
- 近藤内科病院院長醫學博士
- 田 村 剛
- 東京麻布區本村町一四二
- 東京帝大農學部講師林學博士
- 田 村 七 郎(邦樂家)
- 東京赤坂區吉町一
- 田 村 利 雄(醫學博士)
- 神戸市本通五ノ一一
- 田 村 幸 三
- 大連市台町三三六ノ八
- 滿鐵興業部長大連汽船取締役
- 田 部 芳 (法學博士)
- 東京麹町富士見町六ノ七
- 田 部 華 吉
- 廣島縣庄原町庄原一八五
- 廣島縣農工銀行監査役
- 田 部 隆 次
- 東京市外西大久保三〇八
- 女子學習院教授
- 田 部 茂 (弁護士)
- 大阪天王寺區東上町三八
- 田 邊 尚 雄(音樂家)
- 東京市外落合町下落合五四六
- 國學院大學教授
- 田 邊 長 三男
- 東京芝白金今里町九六
- 日本郵船(株)營業部調査課長
- 田 邊 至
- 東京市外野町川町田端一〇〇
- 田 邊 治 一郎
- 詳論家帝展委員
- 田 邊 九 萬 三
- 東京市外下落合四二二
- 東京電力(株)理事
- 田 邊 朝 郎
- 京都市上京區淨土寺眞如町
- 京都帝大名譽教授工學博士
- 田 邊 敏 行(滿鐵理事)
- 大連市光風台一五〇
- 田 中 信 良
- 東京市本郷區西片町一〇
- 鐵道書記官官房人事課長
- 田 中 文 藏
- 東京市外澁谷町羽瀨六六
- 三井物產取締役兼文書人事課長
- 田 中 忠 三郎
- 東京市外入新井町新井宿山王
- (株)三越本店仕入部長
- 田 中 道 雄
- 田 中 隆 一
- 京都府嵯峨郡岩倉村
- 天台寺門派大山山實相院門跡
- 田 中 榮 八郎
- 東京市本郷區根津宮永町三六
- 樺太汽船(株)副社長日本フエルト(株)社長外四六會社重役
- 田 中 義 一(男爵)
- 東京市赤坂區青山北町四ノ空
- 内閣總理大臣兼外務大臣貴族院議員在野陸軍大將立憲政友會總裁
- 田 中 文 男
- 岡山市内山下八〇
- 岡山醫大學長醫學博士
- 田 中 源 太郎(步兵大佐)
- 田 中 兵 次郎(第七十三聯隊長)
- 田 中 兵 次郎(第七十三聯隊長)
- 山形市香澄町至誠堂病院內
- 田 中 肥 後 太郎(醫學博士)
- 茨城縣土浦町外西町二二五
- 藤浦海軍航空隊軍醫長
- 田 中 久 吉
- 東京四谷區左内町四
- 橫濱正金銀行計務課長
- 田 中 市 藏
- 大阪西區北通一
- 大阪商船(株)取締役其他
- 田 中 次 郎
- 東京府上大崎長春丸二七〇
- 日本石油(株)事務取締役
- 田 中 治 朗
- 東京市外戸塚町戸塚一五六
- 王子製紙(株)取締役
- 田 中 隆 一
- 東京府布瀨尾町一五
- 日本フエルト(株)取締役
- 田 中 一 馬
- 京都市新町通錦小路
- (株)京都取引所理事
- 田 中 敬 治郎
- 福井縣津久野郡津久野町
- 二十五銀行取締役
- 田 中 敬 助
- 秋田縣雄勝郡湯澤町一四
- 日本沙洞病研究所長醫學博士
- 田 中 規 矩 士(音樂家)
- 東京市外大井町庚辰
- 田 中 健 吉(醫學博士)
- 田 中 健 吉(醫學博士)
- 岐阜縣八幡町郡上病院
- 田 中 實 太郎(文士)
- 東京市外碑文町碑文谷
- 田 中 寬 一
- 東京市外西區鴨町宮仲
- 東京高師教授文學博士
- 田 中 正 夫
- 台北市大正町二ノ三四
- 台灣電氣興業(株)取締役
- 田 中 誠 夫(弁護士)
- 大阪東區北通二ノ二六二
- 田 中 正 恭
- 北海道網走町
- 北海道拓殖銀行網走支店長
- 田 中 又 四郎
- 兵庫縣武庫郡西灘村岩屋橋本
- 福洋汽船(株)神田丸船長
- 田 中 峰 三
- 國幣市五陵郭通二二
- 札幌鐵道局羽風丸船長
- 田 中 隆 次郎
- 京都市西區金谷寺之前町
- 日本共立生命保險常務取締役
- 田 中 王 城(俳人)
- 京都市麩屋町三條上
- 田 中 錦 昭
- 兵庫縣武庫郡良元村仁川
- 日本生命保險(株)取締役
- 田 中 隆 三
- 兵庫縣魚崎町橫屋七七一
- 富士生命保險(株)取締役
- 田 中 清 一(弁護士)
- 大阪東區片江町五三二
- 田 中 千 吉
- 大連市松山町二
- 大連民政署長
- 田 中 茂 一
- 長崎縣壹岐郡石田村石田
- 農工銀行監査役
- 田 中 榮
- 神戸市平野橋元町一四
- 三十四銀行本店營業部長
- 田 中 彰 治
- 大阪東區左官町八二九
- 大阪控訴院檢察
- 田 中 竹 三郎
- 高知縣土佐郡一宮村
- 國幣中社土佐神社宮司
- 田 中 藤 作(弁護士)
- 大阪南區高津八番丁一〇
- 田 中 篤 二
- 朝鮮咸鏡北道清津
- 朝鮮殖産銀行清津支店長
- 田 中 隆 次郎

人名 第一(田、多、太、橋、只、平、但、高)

東京市外大井町開少服 東京市外大井町開少服 東京市外大井町開少服... (List of names and titles)

人名 第一(高)

高橋 貞三郎 高橋 貞三郎 高橋 貞三郎... (List of names and titles)

領海要港部補給部長兼工作部長
高野 六郎(醫學博士)
東京市四谷區南町三三
内務技師衛生局警防課長
高野 富三
東京市本郷區向阿彌生町三
帝國製藥(株)外四會社重役
高野 辰之(文學博士)
東京市外代々木中山谷一六七
東京音樂學校教授兼大講師
高野 貞三(弁護士)
名古屋市中區東外堀町二二
高尾 克巳(醫學博士)
長崎市役所一八
高尾 直三郎
茨城縣多賀郡日立町宮田五〇
日立製作所(株)取締役工場長
高野 齊(理學博士)
大阪市住吉區天王寺町三七七
大阪市立工業研究所所長
高岡 隆心
和歌山縣伊都郡高野山實業
高野 山大學長(修造時長)
高折 茂
大阪市天王寺區勝山通二ノ路
神戸鐵道病院大阪分院副院長
高阪 安太郎(弁護士)
大阪市南區大和町一
高崎 亨(男爵)
大連市山縣通五〇
貴族院議員大連取引所鐵砂係
託(株)專務取締役
高潮 清
長崎市東中町三三

長崎醫科大學教授醫學博士
高潮 武次郎
京都市出雲路内河原町四至
京都帝國大學教授文學博士
高島 忠三郎
朝鮮全羅南道大田府町
朝鮮興業(株)大田管理所長
高島 菊次郎
東京市麹町區下六番町一四
王子製紙(株)外八會社重役
高洲 清二
東京市赤坂區青山町五ノ四五
豐動機鐵道(株)社長工務博士
高階 研一
長野縣諏訪郡下諏訪町五八五
官幣大社諏訪神社司
高階 滿(音樂家)
東京市赤坂區青山北町六ノ雙
高階 哲夫(音樂家)
東京市赤坂區青山北町六ノ雙
高須 彌
靜岡縣富士郡廣岡村入山瀨
富士製紙(株)富士第一工場長
高須 龜三郎
仙台米米夕袋廣丁一九
東北帝國大學助教醫學博士
高須 芳次郎(文士)
東京市牛込區南橋町五七
高杉 新一郎(醫學博士)
東京市牛込區余丁町三八
海軍省醫務局員軍醫大佐
高杉 隆治
青森縣津輕郡高杉一七四
私前電燈(株)外二會社重役

高杉 龍藏
東京市外杉並町天沼四六九
早稻田大學教授
高田 研一
東京市麹町區三番町三〇
東洋醫院南關醫院院長醫學博士
高田 直屹
東京市小石川區丸山町大
王子製紙(株)外四會社重役
高田 早苗
東京市本郷區駒込動阪二二七
貴族院議員帝國農學院會
早稻田大學校長法學博士
高田 友助
京都府福知山町岡七
步兵第二聯隊長步兵大佐
高田 保一(弁護士)
名古屋市中區老松町一ノ一七
高田 美明(步兵大佐)
千葉市本町三丁目五七四
陸軍步兵學校教導隊長
高鳥 久次郎
樺太廳原野郡原町官舎
樺太廳内務部學務課長
高辻 奈良造(工務博士)
京都市烏丸通今出川上九八
高辻 宜隆
東京市麹町區富士見町五ノ六
式部官子爵
高谷 淳(醫學博士)
松江市母衣町松江病院內
高谷 清一郎(弁護士)
神戸市下山手通七丁目八二
高柳 俊平

豐知縣丹羽郡樂田村二ノ宮
國幣中社大縣神社司
高柳 松一郎
兵庫縣御影町郡家下山田六九
大阪商工會館所理事法學博士
高安 道成
金澤市下百々女木町七〇
高安 六郎
大阪市東區道修町四ノ二
高安病院院長醫學博士
高安 長
東京市西區京町堀上五ノ九九
高安病院內科部長醫學博士
高 山 長
東京市本郷區區町二三
東京市本郷區區町二三
高 山 圭三
關西信託(株)外四會社重役
高 山 正雄
福岡市大字春吉三〇一ノ二
九州帝國大學教授醫學博士
高 山 昇
京都市外伏見稻荷
官幣大社稻荷神社司
高 山 三平
東京市本郷區駒込林町一八一
商工省特許局登錄課長
高 山 新太郎
金澤市西區區町二〇
金澤地方專賣局製造課長
高 山 輝義
富山縣隊區司令官步兵大佐
高 山 平

札幌市北十條西三丁目
北海道帝國大學教授工務博士
鷹野 芳(文士)
東京市外代々木谷町三番七
財部 彪
東京市芝區白金三光町五一九
軍事參議官海軍大將
竹 田 儀一(弁護士)
大阪市北區北森町二二
竹 田 正次(醫學博士)
神戸市南區七神戶病院內
竹 田 默
京都市下京區小松町建仁寺內
臨濟宗建仁寺派管長大教師
竹 田 時太郎
京都府深草町中ノ島三九
京都府兵隊長憲兵中佐
竹 藤 治
台北市大正町二ノ二七
華南銀行南洋倉庫(株)取締役
竹 上 常三郎
久留米第十二師團長陸軍中將
竹 越 三郎
東京市外野方町栗原三三三
貴族院議員大阪毎日新聞編輯
竹 藤 健造
兵庫縣都島町尾村西畑三ノ二
住友(株)工作部工作課長
竹 原 莊治郎
大阪市東區道修町四ノ一七
竹原(名)外三會社重役
竹原 友三郎
大阪市東區今橋二ノ六
鎮南土地社長外十三會社重役

竹 本 續之助(女醫士)
東京市四谷區區町七八
竹 本 秀夫(醫學博士)
名古屋市中區古澤町
竹 本 節藏
台灣銀行廣東支店支配人
竹 本 土佐太夫(名南馬太郎)
大阪市住吉區天王寺町四六三
竹 本 津太夫(村上卯之吉)
大阪市住吉區長狹町四七
竹 村 勘三郎
東京市外區鴨町一丁目九三
東京帝國大學教授工務博士
竹 中 嘉藏
大阪東區淡路町二丁目九ノ一
大阪港土地(株)外四會社重役
竹 中 敬一
大連市兒玉町八丁目一
滿鐵經理部長
竹 中 安彦(醫學博士)
和歌山市新通六丁目
竹 西 輝雄(弁護士)
大阪市東區今橋五丁目二二
竹 尾 治右衛門
大阪市東區南本町三丁目八
三十四銀行外七會社重役
竹 尾 年助
佐賀縣東松浦郡唐津町城內
(株)唐津鐵工所社長
竹 岡 陽一
東京府落合町下落合四二二
東邦電力(株)常務取締役
竹 崎 嘉通
東京市藤布區材木町四三

大社東京出張所事務長
竹 澤 茂正
高知縣香川郡浦戶村三三三
勝田汽船(株)興安丸船長
竹 澤 德藏
京都市上京區室町通上長者町
(株)京都取引所理事兼支配人
竹 澤 卯一
金澤市白山町一四五
第九師團法務部長
竹 下 勇
東京市芝區車町三五
軍事參議官海軍大將
竹 下 隆
大阪市港區八幡通一丁目五
廣海商事(株)廣連丸船長
竹 內 權八(醫學博士)
福井縣坂井郡兵庫村下兵庫
竹 內 可吉
東京市芝區三田功運町三九
商工書記官工務局工政課長
竹 內 勝藏
高田市旭町九九
東亞商工(株)外二會社取締役
竹 內 慶治郎(醫學博士)
盛岡市紙町盛岡病院內
竹 內 季一
東京府大久保百人町四二
東京市麹町區區內幸町一ノ三
日立電力(株)社長日立製作所
久原鐵業(株)外四會社重役
竹 內 國敏(弁護士)

大阪府箕面村字牧瀨
竹 內 兼兵(醫學博士)
東京市日本橋區村松町二五
竹 內 正夫(醫學博士)
京都市天田郡福知山町字裏
竹 內 松次郎
東京府中新井村中六五七
東京帝國大學教授醫學博士
竹 內 貞郎(航空兵中佐)
宇治山田市辻久留町三〇
明野陸軍飛行學校材料廠長
竹 內 實藏
橫濱正金銀行名古屋支店長
竹 內 三一
大阪商船(株)香港支店長
竹 內 栖鳳(木名恒吉)
京都市御池通堀川東入九
帝國美術院會會員帝室技藝員
竹 內 莖次
大阪市天王寺區勝山通一ノ三
(株)三越大阪支店長
竹 內 正三郎
東京府大崎町上大崎中丸團團
三井物產(株)金物部長
竹 內 泰治郎
水戶市上市町一三五八
相澤汽船第二十四相澤丸船長
竹 內 端三
東京市外大森町澤田八一四
東京帝國大學教授、理學博士
竹 內 傳三郎
東京市外區鴨町上駒込六ノ三
安田銀行外三會社重役
竹 內 友治郎

東京市牛込區市ヶ谷仲之町四
陸軍政務次官兼議院議員
竹 內 謙(醫學博士)
名古屋市中區老松町二ノ四
竹 內 勇(弁護士)
大阪市東區高麗橋五丁目一七
竹 谷 實(醫學博士)
仙台市東三番丁一一一
新島市月町二〇四八
竹山病院內科部長醫學博士
武 部 欽一
東京府西區鴨町池袋四ノ一
文部省普通學務局長
武 部 弘成
名古屋市中區東瓦町七四
名古屋稅務監督局關稅部長
武 部 治右衛門
大連市山城町上七ノ三
滿鐵興業部商工課長
武 部 元雄
千葉縣船橋町九日市一一九四
習志野衛戍病院院長一等軍醫正
武 部 六藏
東京市外區橋町角番三〇〇
復興局書記官建築部庶務課長
武 部 俊雄(醫學博士)
東京市牛込區若松町一三七
武 田 長兵衛
大阪市東區道修町二ノ二七
(株)武田長兵衛商店社長
武 田 五一
京都市下京區千本丸太町西入
京都帝國大學教授工務博士

武 田 平三郎
佐賀市松原町九ノ一六
日本勸業銀行佐賀支店長
武 田 秀一
豐前市外小池二〇
豐前縣立小池學校校長步兵大佐
武 田 二郎(醫學博士)
兵庫縣禮道村片屋原二四九
(株)武田長商店取締役副社長
武 田 金助
大阪商船(株)門司支店長
武 田 寛一(社會局事務官)
東京府正己
東京市小石川區久堅町七四
東海紙料(株)外二會社重役
武 田 元一郎(醫學博士)
鹿兒島市山下町二二六
武 田 繁(俳人)
東京市赤坂區中ノ島七
武 田 三郎(醫學博士)
愛媛縣新居郡西條町
武 田 貞之助(弁護士)
大阪市東區今橋五丁目二六
武 田 良太郎
東京府代々木區夕谷一四五九
日本郵船(株)專務取締役
武 川 守藏
茨城縣新治郡土浦町立田
五十銀行常務取締役
武 井 大助
東京市外落合町下落合四一六
海軍經理學校教頭主計大佐
武 井 守成(男爵)

人 名 條一丁(武、建、瀨、宅、玉、棚、種、谷、丹、淡、頓)

東京市本郷區三軒町五九
宮内省式部官兼警備部長
武市忠治(井藤士)
堺市宿院町東二丁目四
武村貞一郎
東京市本郷區五軒町一〇
三井物産(株)外務部副部長
武岡 豐太
神戸市西須磨上ノ丁一
神戸土地社長外三會社社長
武定 巨口(俳人)
大阪市天王寺區上木町七ノ八
武島 朝暈
大阪市天王寺區法隆寺町八七
大阪商船(株)奉天丸船長
武谷 廣
福岡市大字庄二七
九州帝國大學教授、醫學博士
武谷 七郎
大阪市天王寺區法隆寺町八七
大阪商船(株)丸丸丸船長
武富 謙治
大連市密部通六〇家守方
大連汽船(株)博進丸船長
武富 時敏(實業院職員)
東京市本郷區谷加賀町二ノ三
武富 徹彦
東京市外濠谷町常盤橋六〇
外務省通商局長
武内 金平
東京市赤坂區青山南町六ノ五
橫濱正金銀行副頭取
武内 作平
大阪市東區北橋三丁目
代議士井藤士
武内和吉
東京市外濠谷町櫻丘九六ノ四
橫濱正金銀行庶務部長
武山 定雄(醫學博士)
武安 昭男
東京市本郷區三軒町一〇
朝銀銀行本店支店長
武部 嘉文(文學博士)
東京市外濠谷町九〇二
信四郎
名古屋中區南邊治屋町一ノ五
名古屋銀行外務部副部長
武部 定助
名古屋市西區東區町三ノ三
東陽倉庫(株)社長帝國醫藥
物(株)外務部副部長
武部 一(文學博士)
東京市外濠谷町二二六
東京帝國大學醫學部理事
武川 儀作
神戸市兵庫區水通
大岡橋(株)社長外務部副部長
重役神戸商工會所職員
武川 秀雄
和歌山市西丁四會館
和歌山地方裁判所庶務正
武川 定次
京都市高野清水町二七
鐘紡(株)京都支店工場長
武川 與一郎(井藤士)
大阪市南區松屋町五三
武川 俊(井藤士)

人 名 條一丁(垂、館、立、辰、候、手、轉、天、寺、照、驛、戸、十)

東京市淺草區東三筋町一三
垂井 清右衛門
和歌山市西旅籠町一
和歌山商工會所所長其他大
會社各重役
館村 甚治
大阪市東區博愛町四丁目二四
丸善(株)大阪支店長
立 作太郎(法學博士)
東京市外濠谷町下大崎七〇
東京帝國大學醫學部理事
立 花 克一郎(井藤士)
神戸市東區池田二丁目三三
立 花 綱平
愛媛縣大洲村中村五五八ノ第
(株)大洲銀行監査役
立 原 任(工學博士)
東京市本郷區上ノ原九一七
三菱電機日本電機各(株)重役
立 石 弘良
長崎縣北松浦郡楠木村二四〇
長崎縣農工銀行取組役
立 石 謙輔
名古屋市東區外堀町一丁目三
名古屋銀行監査役
立 川 二郎
朝鮮公州旭町官舎
公州地方院長
立 川 平(井藤士)
神戸市下山手通八丁目六〇
立 川 卯七(井藤士)
福岡市土手町八
立 松 清(井藤士)
東京市本郷區込神町三六七
岸和田市北町一四
岸和田紡績(株)外務部副部長
立 元 祐方
田口 謙道(株)事務取組役
辰馬 吉左衛門
西宮市敷掛町一五
三十四銀行外務部副部長
辰馬 勇治
西宮市濱町一
西宮製菓(株)外務部副部長
辰馬 國一(工學博士)
東京市小石川區堀籠町二二
帝國醫學部理事東京帝國大學
辰馬 一
東京市本郷區新町六
立憲民政黨庶務長藤原院職員
手 島 孫三郎
山形市新築三島通二三八
日本郵船(株)山形支店長
馬 作次郎(井藤士)
姫路市綿町五五
天日 常次郎
京都市南區南町
京大阪物産部村長藤原
寺 田 英一郎
大阪府信託外八會社重役
加島銀行神戸支店長
寺 田 其與茂
岸和田市南町七三
和泉銀行取組外十一會社重役
寺 田 密次郎
福島縣大沼郡高田町高天原
國幣神社伊佐須美神社宮司
寺 田 元吉
神戸市花隈町一六五
井 孝作(文士)
奈良市上高畑町
木 實(井藤士)
大阪市西區土佐堀通二丁目五
木 得之
大阪市住吉區天王寺町九二三
關西信託(株)監査役
關 山 與
京都市相國寺北門前下ノ町
京都帝國大學
寺 萬次郎
堺市九間町西一ノ五
日本工業所外務部副部長
玉 木 徳次郎
滿洲國滿洲里
滿洲紡績(株)事務取組役
玉 城 嘉十郎
京都市南區寺下河原町一六
京都帝國大學教授醫學博士
玉 置 實輔
樺太製糖部副部長
玉 置 由次郎(井藤士)
京都市船場町通押小路尾張町
玉 置 美之助(陸軍少將)
東京市外濠谷町高島寺九八七
陸軍航空本部補給部長
玉 澤 煥
吳市官原官舎乙第三號
吳海軍工廠造船部長造船少將
玉 澤 實五郎
東京市本郷區込神町一五七
日本製鐵鑛電氣各(株)社長
外五會社重役
木 俊太郎
前橋市北曲輪町官舎
前橋地方裁判所庶務正
種子田 八雲
鹿兒島縣鹿兒島郡須崎村十町
國幣神社伊佐須美神社宮司
實 夫
東京市外濠谷町西區九五〇
木郷縣隊司令部官步兵大佐
谷 信吉
宇都市朝日町一丁目
沖山同仁醫院醫學博士
谷 多喜勝(平安北道知事)
朝鮮平安北道新義州
友 次
金澤市鷹匠町六
金澤醫大教授醫學博士
谷 田 三郎
兵庫縣武庫郡御影町御影
大阪控訴院長法學博士
谷 田 俊二郎(井藤士)
大阪市北區堂島船大工町三三
谷 口 房藏
大阪市西區區粉濱本町四ノ五
大阪合同紡績(株)社長和泉紡
績(株)外務部副部長
谷 口 喜久次
姫路市龍野町四ノ一山本方
大阪商船(株)はぶる丸船長
谷 口 守雄
東京市四谷區永住町二
旭電氣(株)外務部副部長
谷 口 尚藏
吳市吳鎮守府官舎
吳鎮守府司令官長官海軍大將
谷 口 彌三郎(醫學博士)
熊本市本莊町四六三
熊本醫學專門學校校長
谷 口 美貞
佐世保市海軍官舎
依世保海軍工廠長海軍少將
谷 木 實(文學博士)
兵庫縣神戶市兵庫區谷三三
龍谷大學山大學各講師
谷 村 豐太郎
京都市堺町通竹屋町下ル
湊鐵道(株)外務部副部長
谷 村 豐太郎
東京市外濠谷町吳澤三七六
東京帝國大學醫學部
谷 野 作治
東京市外濠谷町小山五〇九ノ二
日本興業銀行庶務部長
谷 崎 潤一郎(文士)
兵庫縣武庫郡木村
谷 崎 精二(文士)
東京市牛込區喜久井町二一
丹下 謙吉
東京市外濠谷町榮通一ノ二
鐘紡(株)庶務部副部長
丹 太治郎
名古屋市中區千種町西裏一〇
千代田生命保險名古屋支店長
淡 輪 敏雄
吳市東二河通六丁目二二
吳海軍工廠會計部長
額母木 桂吉(代議士)

人名錄 (U字)

- 支那時報實工廠街
北浦興業(株)代表取締役
豐橋市東八町一三四
豐橋陸軍教導學校學生隊長
神戶市生田町三丁目八九
和歌山縣天野村
官幣大社丹生郡比賣神社官司
忠右衛門
大阪東區伏見町一ノ六
大阪産業大阪産業セメント各(株)監査役
(株)監査役
東京市外神戶町七八三
東京帝國大學教授文學博士
東京市小石川區高田町四三
商工省工業試驗所技師
辻村政治(弁護士)
大阪市此花區江成町一一〇
辻村喜作
東京府大久保町西大久保三
東海紙料(株)監査役
岡田實則
名古屋市中區白川町二丁目六
東邦瓦斯(株)取締役
東京牛込區市ヶ谷谷田町一三
富士製紙(株)外務部監査役
東京府伊勢松
東京牛込區通寺町二五
侍醫醫學博士
東京市本郷駒込千駄木町五〇
東京高等學校校長文學博士
坂本榮七郎(醫學博士)
岩手縣野田町和賀病院內
坂本憲一郎
台南市南門町二
台灣電力(株)台南出張所長
坂本小四郎
新加坡新加坡三三三
旅順工科大学教授工學博士
坂本萬輔
茨城縣新治郡中家村小倉
五十銀行常務取締役
坂本清治(農林院職員)
東京市外下戸塚宮田三三二
坂本三郎(俳諧博士)
東京府千駄ヶ谷町原宿三〇五
三十四銀行東京支店長
坂本隆三(農林院職員)
名古屋市中區陸子町四一〇一六
坂本良(醫學博士)
滿洲鐵道山形醫院內
坂本
東京市小石川區久堅町八〇
東京帝國大學教授工學博士
恒藤 規隆
東京市牛込區若宮町三六
ラサキ島(株)取締役社長
恒川 繁治(醫學博士)
神戶市日暮通五丁目

人名錄 (U字)

- 東京府伊勢松
大阪府北河内郡中津町
別格官署社四條橋神社官司
中野宮 博 (醫學博士)
石川縣七尾町字官町
宇都宮 政市(弁護士)
東京市下谷區北相町五一
下野電氣鐵道外六會社重役
宇山 崇三(醫學博士)
和歌山縣市津字支那神社內
宇山 安夫(醫學博士)
神戶市三川町三丁目七五
右近 權左衛門
大阪府西區西長堀北通
右近南社社長外四會社重役
有 勲 良夫(農學博士)
東京市本郷區駒込町三ノ八
農林技術事務局耕地課長
苑 田 茂丸
奈良縣高市郡白根村歌仙
官幣大社稻原神社官司
鳥賀野 然良
京都府吉田郡神樂岡町八
京都帝國大學教授法學博士
鶴 田 宗平
岡山縣宇野町宇野三七〇一
三井物産(株)造船部長
鶴 田 隆 善(醫學博士)
長野縣北佐久郡小諸町
鶴 池 松市
大阪府港區四條通二ノ一七
大阪商船(株)先島丸船長
鶴 池 潤(砲兵大佐)

人名錄 (若、脇、鶴、鷺、綿、渡)

- 若松 若太夫
東京市外野田町大原七二一
渡邊 又治郎(農學博士)
東京市込區神戶町一

人名錄 (W、Y、八、矢)

- 渡邊 又治郎(農學博士)
東京市込區神戶町一
渡邊 水太郎
東京市芝區白金今里町九六

